



活動年鑑 13

2017.5- 2018.4



青年技術士交流委員会

活動年鑑 13-2017.5 - 2018.4

目 次

- ・ 青年委員会 2017 年度活動報告
- ・ 広報活動報告
- ・ 例会 G 活動報告
- ・ 国際 G 活動報告

[例会活動報告書]

- ・ 2017/5 英語ワークショップ Confident in Conversation: How to Really Enjoy Speaking English
- ・ 2017/6 拡大委員会、懇親会、テクノツーリズム：「紙の博物館」
- ・ 2017/7 Dreams Project 平成 29 年度 夏休み子供理科教室
- ・ 2017/9 中部本部建設 WG 合同見学会 「横須賀・猿島と戦艦三笠見学会」
- ・ 2017/10 自己紹介企画「モロタの窓」
- ・ 2017/11 ディベート企画「ディベートを通じて技術者倫理について考えよう」
- ・ 2017/12 和食料理を通じて『食』の基本を学ぶ
『学生と技術士の対話会』（慶応技術士会との共催）
『技術士の制度・仕事とは！』（日本技術士会埼玉県支部と共催）
- ・ 2018/1 内部向け企画「高尾山を散策しよう」
- ・ 2018/2 技術士を目指そう、修習ガイダンス 2018 パネル討論
- ・ 2018/3 「ライフラインから仲間と創る自分のロードマップ」
- ・ 2018/4 一次・二次試験合格者交流会

[国際交流活動報告書]

- ・ 2017/11 CAFE035/YEAFE024

[サッカー&テクノ活動報告書]

- ・ 2017/5 統括本部サッカー練習会とテクノツーリズム：「鉄道博物館」
- ・ 2017/8 統括本部、北陸本部サッカー交流試合及びテクノツーリズム
- ・ 2017/10 第 13 回 日韓親善サッカー大会（第 47 回 日韓技術士国際会議
- ・ 2017/12 日韓サッカーお疲れ練習会

[地域本部活動報告書]

- ・ 統括本部
- ・ 北海道本部
- ・ 東北本部
- ・ 北陸本部
- ・ 中部本部
- ・ 近畿本部
- ・ 中国本部
- ・ 四国本部
- ・ 九州本部

[青年委員会名簿 2015-2017]

青年技術士交流委員会統括本部 2017 年度活動報告

委員長 諸田敦洋

本委員会は、研修委員会の下部組織であり、各部会から推薦された委員・委員補佐により構成されている。また、委員には各地域本部より推薦された地域本部委員も含む。本会運営への青年層の参画及び国内外を問わず技術者間の“交流”を通しての研鑽を実施している。

2017 年度の主な活動を以下に記す。

1. 各種例会の開催

本委員会の例会は、主として、参加者自身がアウトプットすることを通して研鑽できる場、参加者同士が交流できる場を提供しており、グループワークや講演会、テクノツーリズム、スポーツ交流を毎月 1 回以上の頻度で開催した。

2017 年度も昨年度に引き続き、一次・二次試験合格者が 4 月の特別例会まで継続して参加でき、スムーズに入会に至れる動線の強化を築いた。

準備状況、当日の状況といった各活動の内容については青年委員会 HP に公開した。

2. 特別例会

2017 年 4 月 22 日に青年技術士交流委員会主催『一次・二次試験合格者交流会（特別例会）』を開催した。

参加者の専門性をアピールできる場として「技術士有志の会を結成したとして、活動内容を考えよう！」をテーマに、社会貢献活動に関するグループワーク企画を実施した。

各チームに分かれて行ったグループワークの結果および活動報告は青年委員会 HP に公開した。

3. 小学生対象理科教室の実施

2017 年 7 月 29 日に夏休みの小学生を対象に「理科教室」を開催した。

「ペーパークラフトから道具と機械のしくみを学ぼう！ 技術士による夏休み理科教室・工作実験」と題し、工作実験を通じて子どもたちに科学の楽しさを伝えることを主目的とした。また、各小学校への広告のビラ配布などを通じ、一般の方々に対し技術士の知名度向上を図った。

工作実験として、「道具と機械の仕組みを知ろう！」、「ペーパークラフトで作ってみよう！」の二つを行い、家庭でも安価かつ容易に再現可能な実験を目指した。

当日の様子は青年委員会 HP に公開した。

4. 各地域本部青年技術士組織との交流

2017 年 6 月 17 日に各地域本部との交流会議を開催するとともに、2017 年 10 月 21 日に山口市で開催された技術士全国大会において青年技術士による分科会へ参加した。その中で全国各地域本部青年組織の活動内容を共有した。

本年度開催される全国大会（郡山）においても、各組織との交流を継続する。

上記の他、2017 年 9 月 16 日に中部本部の建設 WG と連携し、合同見学会（横須賀）を開催した。

青年層は企業内技術士も多く、出張や異動転勤などに伴う地域間の移動もあることから、全国の地域本部青年組織とのネットワークを活かし、青年層技術士のサポートにも努めていく。

5. 国際交流活動

2017 年 10 月 22 日～10 月 24 日に韓国（釜山）で開催された日韓技術士会議のサッカー親善試合の開催支援を行った。本年度、日本（神戸）で開催される日韓技術士会議のサッカー親善試合について準備を進めている。

2017 年 11 月 16 日～ 11 月 19 日にタイ（バンコク）で開催された ASEAN 技術者協会連合国際会議『CAFE035 YEAFE024』への参加者派遣の支援を行った。本年度、シンガポールで開催される『CAFE036 YEAFE025』について準備を進めている。

上記の他、国際委員会と連携した日豪交流の準備、本年度来日する香港技術士会学生支部向けのサポートおよび準備を進めている。

6. 家族参加型イベントの実施

2017 年 12 月 9 日に家族と同伴で参加が可能な例会を実施した。

「和食を通じて『食』の基本を学ぶ」と題し、家族と一緒に参加しやすい『食』をテーマに、日本技術士会の登録グループである食品技術士センターと連携し、食の専門家による講義と調理実習を行った。

家族参加型とすることで、普段は家族サービスで日本技術会へのイベントに参加できない層の参加を促すことができた。

7. 研修委員会所轄委員会行事への協力

2018 年 2 月 10 日開催の「技術士を目指そう、修習ガイダンス 2018」～技術士第一次試験合格者・JABEE 認定課程修了見込者（修了者を含む）～において、パネル討論会を企画・運営し、受験に向けたモチベーション向上や技術士会への入会促進にも繋げる活動の道筋を築いた。

また、昨年度と同様にガイダンス後の合格祝賀会も実施し、参加者間や参加者と我々日本技術士会のメンバーとの交流を促進した。

8. 産学連携の取組み

2017 年 12 月 9 日に慶應義塾大学で対話会（慶應技術士会と連携）、12 月 15 日に埼玉大学で技術士説明会（埼玉県支部と連携）を行った。

これにより、学生へ技術者の実情や魅力を伝え、今後の進路検討時の参考情報を提供した。また、技術士資格および日本技術士会のアピールも行った。

9. 情報配信の試み

青年委員会活動をより深く身近に理解していただくために、2017 年度青年技術士交流委員会活動年鑑を制作した。

広報委員会と協力し、月刊技術士 7 月号の特別企画として「活躍する青年技術士」特集にて青年技術士の活動状況をアピールした。

また、青年委員会のホームページ、Facebook などを活用し、活動紹介、主催行事の事前広報及び事後報告を積極的に行った。

上記の活動を企画・実施するため、毎月の運営委員会を青年層の参加しやすい土曜日を中心に開催した。

以上

青年委員会 2018 年度 広報グループ活動報告

広報グループリーダー 横田 敬久

1. 目的

青年技術士交流委員会(以降、委員会)の広報円滑化、およびメンバー間の情報共有を主目的として、ウェブを主軸に据えた活動を実施した。

2. 今期の活動と成果

1) 日本技術士会の同報メール、ホームページ、および月刊技術士誌への CPD 行事予定の情報発信

日本技術士会の広報媒体である同報メール、ホームページ(engineer.or.jp)、月刊技術士誌を使用し、例会開催情報等を発信した(行事内容の詳細は例会グループ報告参照)。日本技術士会リソースによる包括的な事前周知、およびウェブの行事参加申込機能の活用により、参加者管理業務の効率化を引き続き進めた。

2) 委員会内部用途の、情報共有設備の維持および改善

昨年に引き続きファイル共有システム ownCloud、メーリングリストシステム Mailman・イベント申し込み者への通知システム RainLoop、ホームページ・ブログシステム WordPress(レンタルサーバー上に構築)を維持・活用し、委員会内部の円滑な情報共有を促進している。本年度の改善点については以下の通りである:

- ・ 日本技術士会の機械振興会館ビルへの移転に伴い、葦手会議室使用マニュアルを機械振興会館会議室使用マニュアルに移行した。
- ・ Redmine に移行したマニュアル類で WordPress 上に残っているものを整理・廃止した。

3) 委員会外部に向けた、広報活動への取り組み

昨年度に引き続き、イベント参加希望者および潜在候補者に対して「漏れなく、かつ親しみやすく分かりやすい」情報提供を目指し、各種改善を行えるように環境を整えている。本年度の改善については、以下の通りである:

- ・ WordPress のコンテンツ・メニュー構成を整理・アップデートした。過去の年鑑・国際活動報告書の内容を整理・追加した。
- ・ Wordpress にイベントカレンダーを導入し、直近の青年イベントを外部の人間が知りやすいようにした。
- ・ Wordpress に多言語化プラグインを導入し、海外の人間にも青年の活動を紹介できるように基盤を作った。
- ・ Wordpress のプラグインのアクセス解析、Google Analytics による SEO 効果の分析を開始した。
- ・ Google MAP API を青年委員共有のメールアドレス(peyec)に関連付け、Wordpress に会場案内の地図情報を含む記事やイベントを作成できるようにした。
- ・ Wordpress にリンクページを作成し、技術士会支部・各地域本部青年組織・海外の技術者組織等のリンクを辿れるようにした。

3. サイトの統計情報の分析

1) Wordpress の統計情報

Wordpress によるアクセスの統計情報を分析した。アクセス数は順調に増えている知名度向上につながっていると言える。

■ アクセス数

アクセス数が 2000 を超える月が発生するようになってきている。

ビュー数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
2016 年	1,390	1,736	1,915	1,763	1,232	1,432	1,005	741	740	782	1,138	825	14,699
2017 年	977	1,303	1,973	1,974	1,093	1,248	1,198	872	699	742	885	985	13,949
2018 年	1,208	1,016	3,039	2,250	—	—	—	—	—	—	—	—	8,592

■ リファラの情報（全期間）

検索エンジンや Facebook からの移動が多い。また地域本部のページから Wordpress へ訪問する人も多いので今後地域本部との連携の強化に効果があると考ええる。

移動元のページ	移動数
検索エンジン	6,450
日本技術士会	2,463
Facebook	2,176
blog.goo.ne.jp(旧ブログ?)	459
アンドロイドアプリ	243
DOCOMO 検索エンジン	67
seigikon.jp(近畿青年技術士懇談会)	48
jp.mg5.mail.yahoo.co.jp	48
ipej-chugoku.jp/seinen/(青年委員会 中国本部)	35
ja-jp.facebook.com(他の青年ページ・個人ページ?)	33
Twitter	28
mail.google.com	27
AU 検索エンジン	26
以下(社内ネット・Web メール等)	19

■ ビュー数（全期間）

トップページには記事が新しいものからタイムラインで表示されるのでビュー数が多くなるのは当然だが、委員名簿や活動報告などのページが意外と多い。国際活動関係・英語イベントや理科教室のページの人気が高い傾向がある。

ページ名	ビュー数
ホームページ / アーカイブ	30,332
委員名簿	1,763
活動報告	776
About Us	705
活動概要	505
国際交流活動	376
技術士とは	337
FAQ	314
3月イベント 未来の自分を考える&架空のアイデアコンテスト	271
【御礼】第43回技術士全国大会(横浜)青年の集い	242
【御礼】5月イベント-課題解決手法の体系とその応用:クロスSWOT分析を用いた技術者としてのキャリア戦略作成演習-	197
12/11 学生向け小イベント「技術者と話せるカフェ」のお知らせ	191
【御礼】6月イベント:Can't stop talking! How to keep an English conversation flowing 及び青年委員会国際グループ活動報告	190
【3月イベント 準備状況】一次試験合格者向けイベントのお知らせ	172
〔技術士会青年委員会12月イベントのご案内〕	155
【対象:小学生】7/30(土)技術士による夏休み理科教室・工作実験	140

2) Google Analytics の分析

期間は短いですが、Google Analytics による分析を実施した。ページ別については URL の羅列になるため、表は省略するがトップページ、年鑑・50周年記念誌の PDF の表示・クリック数が多かった。国別、検索キーワード別、デバイス別に以下ようになった。

- ・ 海外からの検索がクリックに結びついていないのは英語ページが少ないためと考えられる。
- ・ 検索キーワードでクリック率が高いのは青年委員会に興味があるものである。
- ・ デバイスは PC とモバイルがほとんどでタブレット利用者はほとんど居ない

■国別

国	クリック数	表示回数	CTR	掲載順位
日本	280	5320	5.26%	22.84
米国	1	171	0.58%	56.55
ロシア	1	30	3.33%	81.27
香港	1	21	4.76%	20.24
バングラディッシュ	1	14	7.14%	53.29
スイス連邦	1	2	50.00%	4.5
インドネシア	0	55	0.00%	71.25
インド	0	55	0.00%	72.44
フィリピン	0	21	0.00%	27.38
台湾	0	20	0.00%	32.5

■検索キーワード別

クエリ	クリック数	表示回数	CTR	掲載順位
青年技術士	37	45	82.22%	1.24
青年技術士交流委員会	33	56	58.93%	1.3
青年委員会	8	22	36.36%	1.73
技術士	2	11	18.18%	38.27
(個人名)	1	25	4.00%	10.12
技術士 資源工学	1	20	5.00%	12.55
pe.jp	1	4	25.00%	4.25
技術士 特典	1	3	33.33%	28.33
フットサル メーリングリスト	0	66	0.00%	11.58
技術士 スクール	0	62	0.00%	29.58
湾岸フットサル愛好会	0	41	0.00%	11.61
メーリス サッカー	0	36	0.00%	74.75

■デバイス別

デバイス	クリック数	表示回数	CTR	掲載順位
PC	145	3642	3.98%	32.79
モバイル	135	2230	6.05%	18.01
タブレット	5	180	2.78%	22.98

3. 今後の活動・展開

既存媒体を活用した広報活動により、着実なベースアップ（知名度向上、新規参加者獲得等）とともに、委員会活動の円滑化に貢献できたと考える。今後は、以下の項目について議論を深め、委員会活動の更なる飛躍に向けたサポートを行う。

- ・ 例会準備の進捗確認に Redmine のチケットシステムによる情報共有を検討する。
- ・ 多言語化ページを充実させ国際的な広報活動の強化を行う。
- ・ 地域本部と広報活動における連携強化を検討する。

以 上

例会グループ活動報告(2017 年 7 月～2018 年 5 月)

例会グループリーダー 赤木 宏匡

1. グループメンバー(敬称略、順不同)

小塚(俊)、白井、太田、瀧川、道家、中川、諸田、小塚(隆)、臼井、清水、井口、後藤、赤木

2. 活動目的

今期は、“例会のスムーズな運営に向けたサポート”を目的として活動した。

また、例会グループの具体的な仕事は、前期と同様に以下の 5 つとした。

- ・ 例会準備が順調に進んでいるかの確認
- ・ 外部アンケートの実施と集計
- ・ 内部アンケートの実施とまとめ
- ・ 前月例会アンケートの振り返り、改善提案、周知、マニュアルへの反映
- ・ 例会担当に ownCloud 整理依頼

3. 活動報告

2017 年度に実施した例会は以下のとおりである。

実施年月	分類	例会
2017 年 7 月	Dreams	夏休み子供理科教室
8 月	内部	例会決め大会
9 月	地域連携	横須賀・猿島と戦艦三笠見学会
10 月	内部	自己紹介
11 月	部門横断	ディベートを通じて技術者倫理について考えよう
12 月	部門横断	和食調理を通じて『食』の基本を学ぶ
2018 年 1 月	内部	高尾山を散策しよう
2 月	修習向け	修習ガイダンス「ポスターセッション」、「パネル討論」、「合格祝賀会」
3 月	修習向け	ライフラインから仲間と創る自分のロードマップ
4 月	合格者向け	一次・二次合格者交流会
5 月	英語	Your English can improve more and more by speaking up!

8 月の例会決め大会では、新メンバーを迎えたこともあり、定番企画を充実させつつ今までにない新たな試みを取り入れることを目標に 1 年間の例会を設定した。新たな企画の特色は他団体とのコラボレーションである。9 月に実施したテクノでは、中部本部建設 WG から提案をいただき、合同で横須賀の猿島と戦艦三笠を見学した。見学だけでなく地域本部との親睦を深めることができた。12 月に実施した調理企画では食品技術士センターにご協力いただき、出汁の取り方など科学的な内容も含めて調理を行う企画を実施した。この例会には親子連れを含め、今まで青年技術士交流委員会のイベントに参加されていない方々にご参加いただくことができた。1 月のイベントは内部企画ではあるが、グループに分かれてオリエンテーリングを実施することでメンバー間の親睦を深めた。この例会には OB 家族、新委員候補者および常連参加者にも参加していただき、新たな開催形態を模索することができた。2 月の修習ガイダンスでは、修

習委員会と例年になく綿密な打ち合わせを行い、過去のアンケート結果を基に内容を充実させることができた。

定番企画において、11月のディベート企画では技術士にとって大切な技術者倫理をテーマとすることで、ディベートを学ぶだけでなく、技術者倫理を考える場とした。3月の修習技術者向け企画では、ライフラインという考え方を紹介し、参加者に過去の棚卸しと今後の人生設計について考えていただける場とした。4月の一次・二次合格者交流会では、グループワークの説明に寸劇を交える等、より参加者に楽しんでもいただける環境づくりに努めた。なお、3月および4月の主担当者は前期に同例会に参加し、その後青年技術士交流員会のメンバーになった者が担当した。その主担当者が緊張しつつも楽しそうに司会進行をしているのを見た参加者からは委員会への参加を希望する方が多くいた。

例会以外の活動では、前期より実施を企画している学生に対して技術士会をアピールする場が今期は多く実現された。12月に埼玉大学および慶応大学に対してそれぞれ埼玉県支部、慶応技術士会と連携して技術士会の紹介イベントを実施した。5月には埼玉大学で実績を作った埼玉県支部と共に、東洋大学で同様のイベントを実施した。さらに6月には稲門技術士会と連携して早稲田大学で、7月には日本大学からの依頼で日本大学でも同様のイベントを実施予定である。

4. 次年度に向けて

今年度の実績を基に、次年度も参加者に喜んでいただけるとともに青年技術交流委員会メンバーの自己研鑽に資する例会の企画を試みる。そのため、外部アンケート、内部アンケートをまとめるとともにメンバーからの意見を集約しつつ、議論を行う場を例会決め大会で提供することを目指す。

また、例会グループの基本活動である例会のサポートを確実に行うだけでなく、例会実施時にかかるメンバーの負担を軽減することを目指す。毎月実施する例会には多大な負荷がかかるが、定型化できる部分が多くあると考える。例えば、交流会用に毎回調査しなくてよいように会場リスト、ケータリング業者リストを整備することである。それらを定型化し軽減することで、より重要な例会運営に注力できるような環境づくりを行う予定である。

以上

2017 年度国際グループ活動報告

国際グループリーダー 萩尾 友治

1. グループメンバー

諸田、田角、横田、高橋、鈴木、白井、竹内、田中、栗野、明山、滝口、河野、小和田

2. 活動目的

本グループは、下記業務を円滑に進め、参加者相互の親睦を深めるための活動を行うことを目的とする

- (1) 公益社団法人日本技術士会の企画立案に対する提言及び協力
- (2) 若手技術士の国際感覚の醸成に向けた研鑽事業の企画・実施
- (3) 諸外国の技術者組織間の国際交流の推進
- (4) 技術者向け国際会議への参加
- (5) 公益社団法人日本技術士会の各地域本部のメンバーに対する国際活動機会の提供

3. 活動報告

3-1 日韓技術士国際会議

2017 年 10 月 26 日(木)から 10 月 28 日(土)にかけて、韓国釜山広域市で開催された日韓技術士国際会議に参加した。会期中の 10 月 26 日(木)に行われた第 13 回日韓親善サッカー大会に選手として参加するも惜敗。日韓の若手技術者の信頼関係を構築することが出来た。

3-2 CAFE035/YEAFEO24

2017 年 11 月 16 日(木)から 11 月 18 日(土)にタイのバンコクで開催された CAFE035/YEAFEO24 に IPEJ-YEC として 13 名で参加した。3 日間の行程の中で、WG、Technical Visit、Opening Ceremony、Country Report、Outdoor Activities、Farewell Dinnerに参加した。海外の技術者と交流し、信頼関係を築くことが出来た。

3-3 HKIE SC(香港技術士会 学生支部)の来日支援

CAFE035/YEAFEO24 での繋がりから、HKIE SC(香港技術士会 学生支部)の来日の支援を行った。5/22(火)～5/28(月)の 7 日間の日程で Transportation, Electrical, Industrial, Environmental の 4 つの技術分野に関する見学を実施。青年としては宿泊先、見学先、通訳、食事等に関する準備を支援。来日支援を通して、国際グループの経験値が向上するとともに、HKIE との関係を築くことが出来た。

4. 今後の計画

IPEJ-YEC として、日韓技術士国際会議、CAFE036/YEAFEO25 へ青年委員を派遣予定。若年層、地方からの一般参加者を増やすことを目指し、広報活動に工夫を行う。各国とのコミュニケーションを積極的に行い、アジアでの日本の存在感をアピールする。

以上

例会活動報告書

行事名	5 月例会:英語ワークショップ Confident in Conversation: How to Really Enjoy Speaking English
日時	2017 年 5 月 20 日(土) 13:30-17:30
場所	葦手第二ビル 5F A・B 会議室
講師	スティーブン・アシュトン先生
担当者: (○印:リーダー)	○栗野委員補佐、田角委員、中村委員、明山委員補佐
参加者数	参加者:30名、スタッフ:17名

1. 背景・目的

4 月の一次・二次試験合格者交流会からの参加者を受けて、継続して参加してもらえるような企画として初心者向けの英語ワークショップとした。

過去にも英語企画で講師をご依頼した、英国人講師スティーブン・アシュトン先生に再度ご依頼し、英語企画としても定期開催の運びとなった。

今回は、田角の米国での経験から、「なぜ Latino/Latina は、世界各国の中でもずば抜けて英語スピーキングの上達が早いのか!? 決め手は、間違いや失敗をおそれず、とにかくしゃべり倒すラテン魂にあった!」をテーマに、グループディスカッションを通じて、特に初級者クラスの人に「間違いを恐れず一言でも多く発言する」ことの大切さ、楽しさを感じてもらい、英会話に対する苦手意識を克服し、英会話のスキルアップを図ることを目的とした。

2. 例会内容

2. 1. 開催の挨拶、委員長による挨拶(13 時 30 分～13 時 35 分)

2. 2. YEAFEO の案内(13 時 35 分～13 時 45 分)

2. 3. グループワークのルール説明、英語イベントの趣旨説明(13 時 45 分～13 時 55 分)

(1): YEAFEO をテーマに、YEAFEO における 3 つのシチュエーション(※1)を用意。各グループに好きなシチュエーションを選んでもらい、内容に沿った 3 分程度のロールプレイ台本を作成、グループで発表を行った。(制限時間は約 45 分)

(※1) 3 つのシチュエーションは下記のとおり。

「①海外の若手エンジニアとの対面 (出合いの挨拶) お土産の交換、説明」

「②簡単なテーマでのディスカッション(エンジニアとしての理想の姿、長期休暇の過ごし方、好きな本や映画、等)」

「③交流パーティーでの会話 (簡単なテーマを設定 (例: お互いの国の紹介、いつか訪れたい国 (ASEAN 各国で)、普段の技術者としての仕事、等)」

(2): 英語初級者に重点を置き、よくありがちな上級者がひたすら喋って初級者は一言も発言する機会がない、という状況を回避するため、①必ず全員が喋ること、②誰かが極端に喋りすぎではいけない、③選択したシチュエーションから逸脱してはいけない、というルールを設定した。

2. 4. ロールプレイの台本作成、発表準備(13時55分～14時40分)

2. 5. グループ毎に発表(14時40分～14時50分)

(1) : 各グループより作成したロールプレイの発表を行った。

全グループ終了後、挙手による採点を行い、各自一番いいと思ったグループに挙手してもらった。ただし、自分のグループに手を上げるのは禁止。

採点は1人1ポイントとし、加えて5月担当が各グループの発表をチェックし、上記2.3.(2)のルールに従わない場合減点することとした。

→減点対象となるグループは無かった。

(2) : 各グループで創意工夫がこらされたロールプレイが実演された。各グループとも初級・中級者半々くらいでグループ分けをしたが、ルールを徹底したため、どのグループも英語スキルにかかわらず全員がロールプレイに参加し皆の前で英語で発言することができた。参加者の英語に対する熱い気持ちが伝わってきた。

2. 6. 講師によるワークショップ(15時～17時半)

後半では、Steven Ashton 先生による英語ワークショップを行った。今回は特に英語初級者を主対象とし、「Confident in Conversation: How to Really Enjoy Speaking English」をテーマとした。本テーマは前半部の内容を引き継いだもので主旨は同じである。

過去回と同様に、会場のテーブルを取り払い、全員による握手・挨拶に始まり、常に会場に動きのある Activity によりだんだん後半に向けて参加者が長く話せて人前で発表も出来るようになる手腕は見事である。一人もじっとしている人がいなく、全員あぶれず参加できるという点でも優れている。特に今回の主旨の通り、英語を話すことに尻込みしがちな初級者クラスには最適なワークショップであった。

2. 7. 締めの挨拶とアンケートの協力依頼、CAFEO/YEAFEO の説明会案内、記念撮影、懇親会準備(17時半～17時45分)

2. 8. 懇親会(17時45分～20時30分頃)

3. 成果と所感

・前半のパートでは「全員が均等に話す」というルールが上手く活かされ、全員が積極的にロールプレイのシナリオ作成に取り組んでいた。英語を学びつつ、本来の趣旨である【交流】も十分に行えた企画だったと感じている

・1月例会を受けて、「グループで寸劇を作成・発表」は青年委員会のワークショップのスタイルとして非常に有効かつ効果的な手段であることが示された。今後も様々な形で活用されることが望まれる。

・CAFEO に関する説明会や報告会を英語ワークショップ時に行うことが多かったが、今回はさらに理解を深めるためグループワークのテーマとして取り入れた。そのため CAFEO の内容について説明聞き流しでなく理解も深まったものと思われる。

・参加者から「楽しかった!」「来てよかった!」という意見を懇親会で頂くことが出来た。その一方で3日前～当日のキャンセルも多かったので、どのようにフォローして当日来てもらえるか工夫したい。

4. 今後の展開

・英語イベントをもっと頻繁に開催してほしい、という意見を複数頂いた。時間は短かったものの、青年企画のパートで今回初めて英語によるグループワークも実施できた。講師なしでも十分に参加者に楽しんでもらえる企画が可能ではないかと考えている。

・一方、Steven Ashton 講師による英語ワークショップも定期開催として軌道に乗り、講師にも少ない謝金で毎回素晴らしいワークショップを行っていただいている。今回も交流会・二次会と、青年スタッフと講師の親睦も深まった。講師から、いつもと同じテーマでなく変わったことをやってみたいという要望もあり、例えば中・上級者を対象とした例会など、目先を変えて実施することも検討する。

5. 実施状況

会場の様子



田中委員長の挨拶



明山委員補佐による国際 G の紹介



田角委員のタイトル説明



グループの発表風景



アシュトン先生のワークショップ



集合写真

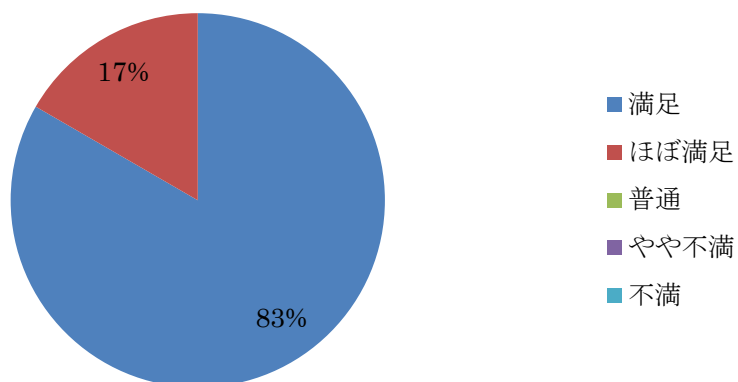


懇親会

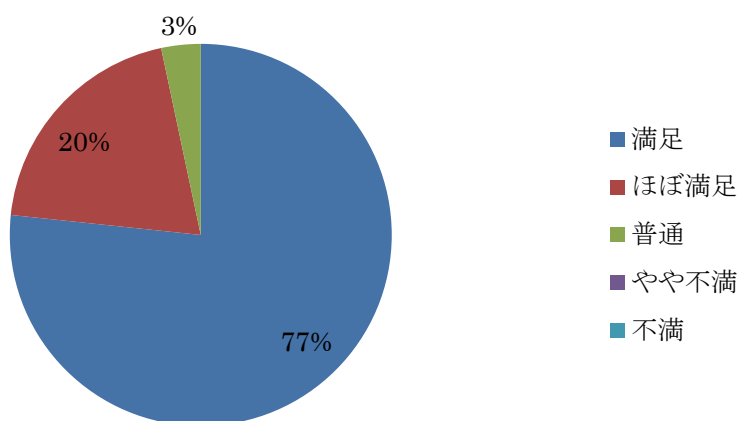


外部アンケート(回答数：30)

Q1-1 講師の話し方や進め方



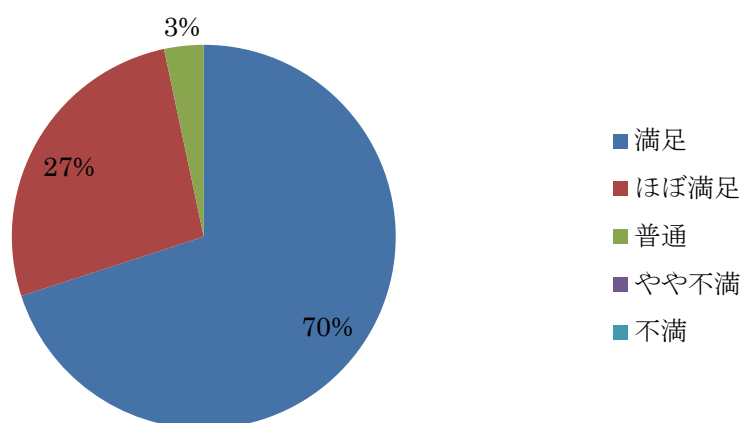
Q1-2 講師の用意した資料



Q1-3 講師に伝えたいこと（コメント）

- ・重要なことは、専門性を持つということですね
- ・楽しかったです
- ・分かりやすく、楽しく教えていただき、ありがとうございました
- ・Fantastic
- ・非常に fun なワークショップでした。

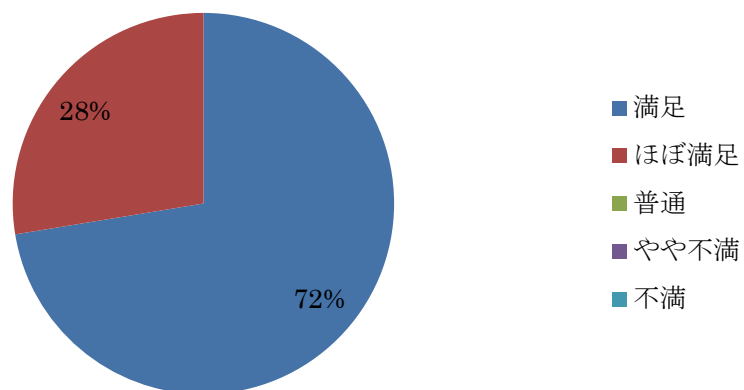
Q2-1 スタッフの対応



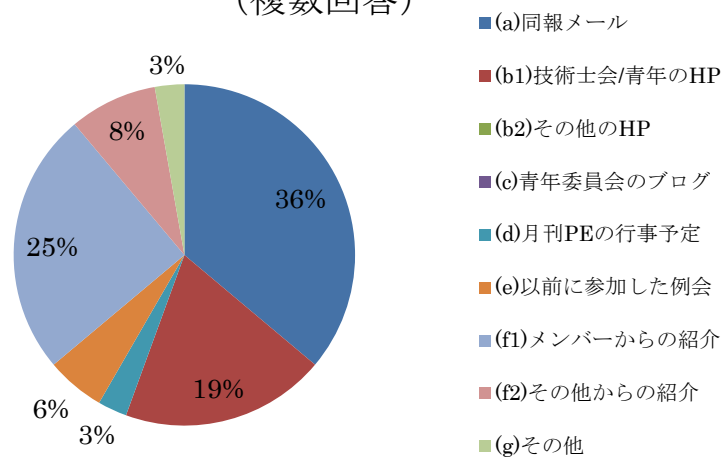
Q2-2 スタッフに伝えたいこと（コメント）

- ・感謝
- ・スムーズな進行をありがとうございました。

Q3 今回の例会は全体として



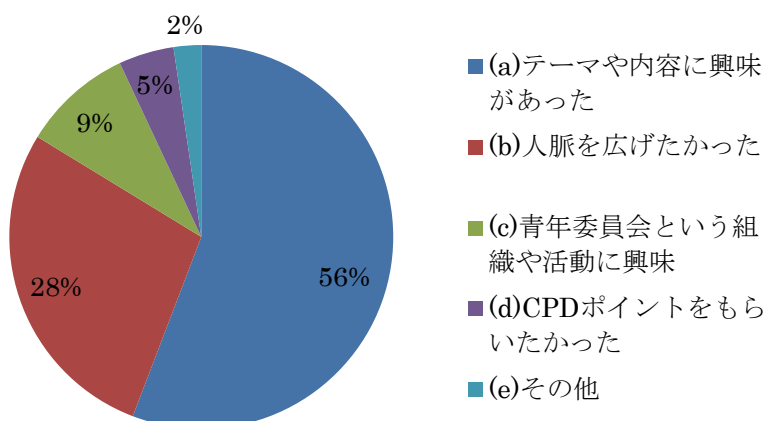
Q4 例会をどのように知り、参加したか？ (複数回答)



Q4 その他の内容

- ・ネイティブスピーカーの講義があったこと

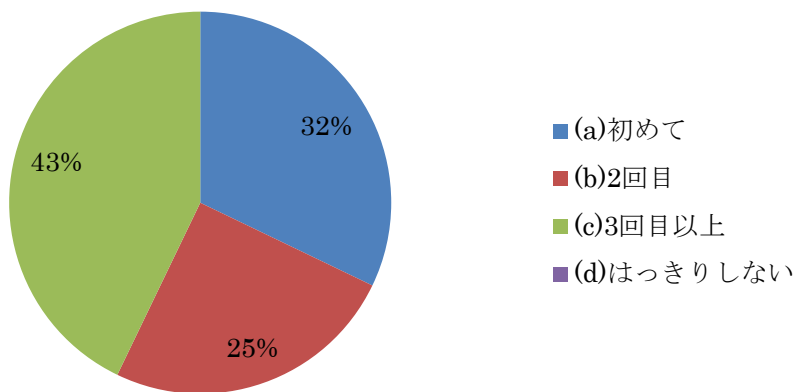
Q5 参加目的 (複数回答)



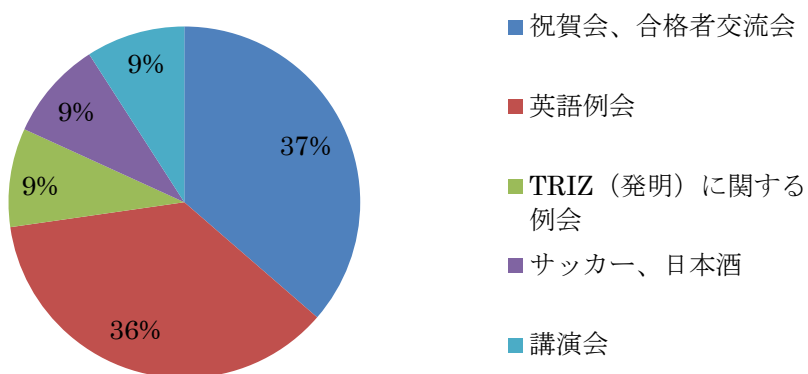
Q5 その他の内容

- ・スタッフの皆さんに会いにきた

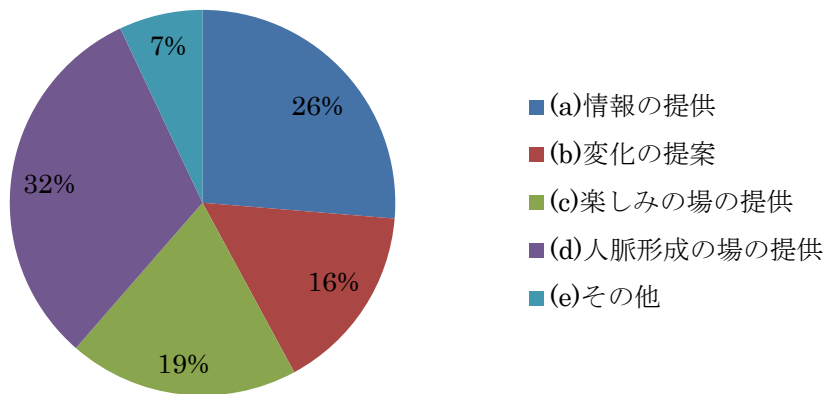
Q6 青年の例会参加回数



Q6-1 過去に参加した例会で、象深かったテーマ (2回目以上参加者)



Q7-1 今後開催してほしいイベント



Q7-1 コメント

(C)ゲーム会（学びと合わせる）、懇親会

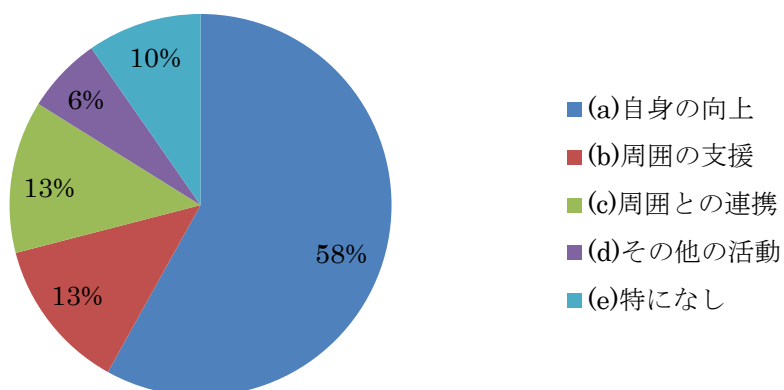
(D) 国際交流

(E) ビジネス、起業、語学講座、他業種の人と触れ合う場

Q7-2 内容以外についての希望

- ・日曜日
- ・平日の夜
- ・仕事の関係で土日に開催して頂ければありがたい

Q8 本業以外の活動について（複数回答）



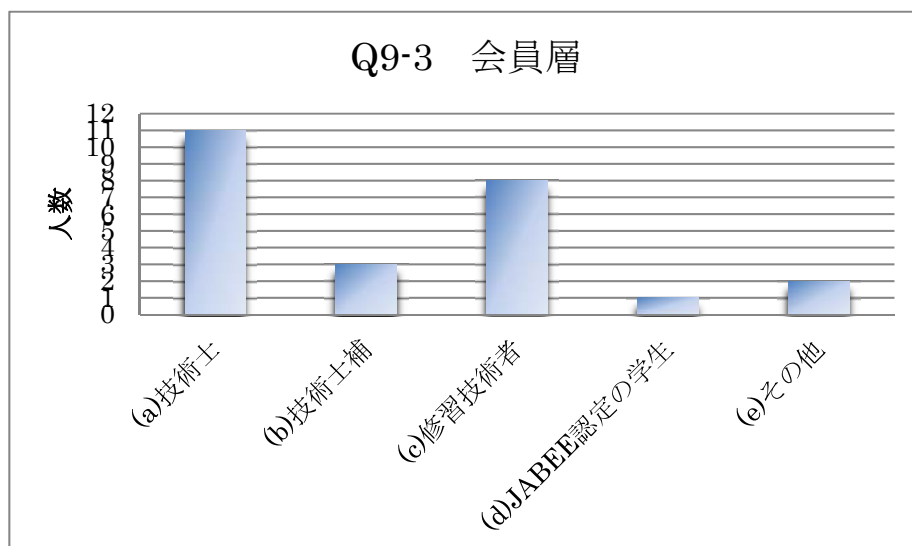
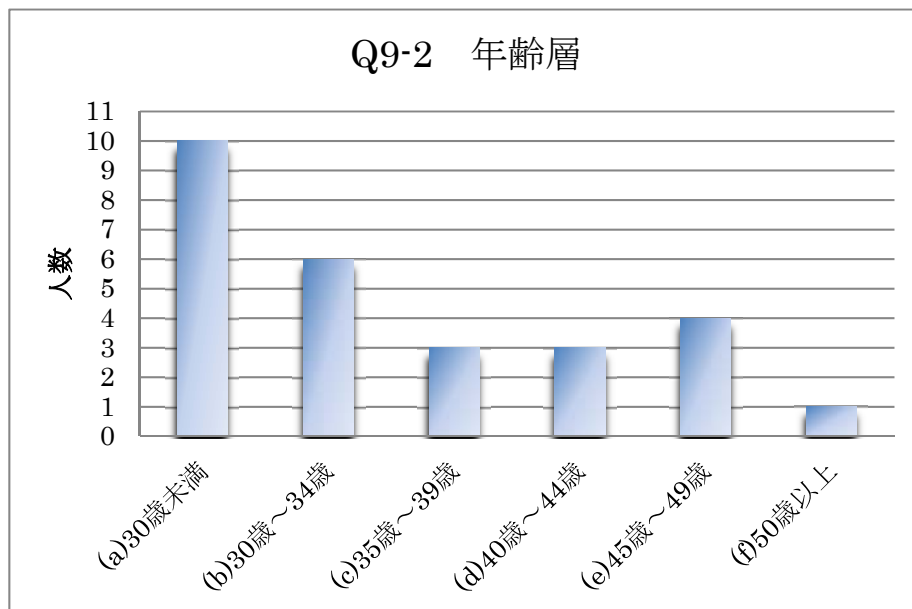
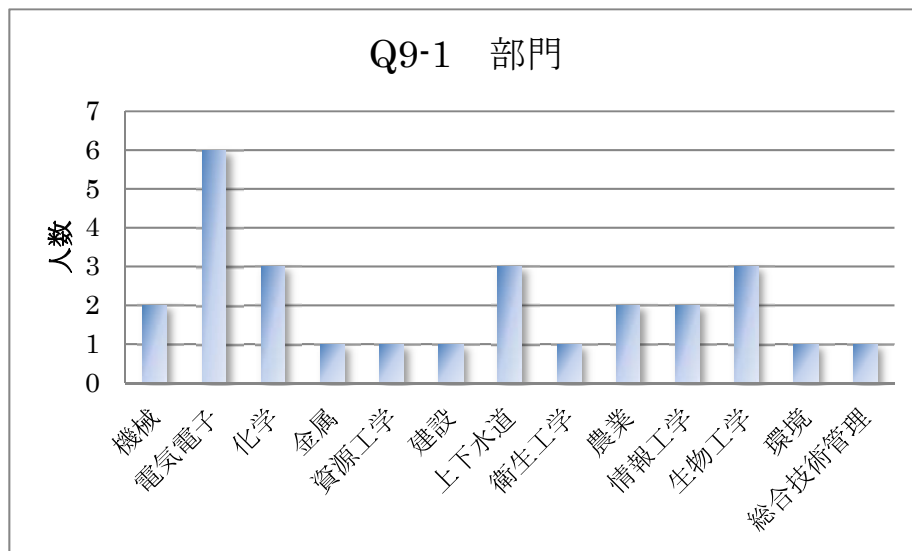
Q8 具体例

(a) 資格取得支援、ビジネスフォロー等、博士号、会計士、meet up での英会話

(b) 簿記、公務員試験、学生就活、子供たちのスポーツ支援、試験の勉強支援

(c) 料理会

(d) 国際交流活動→オリンピックボランティア目指す、海外プロポ支援



内部アンケート

1. 良かった点

田角	・栗野さんの司会はやっぱりうまいです。落ち着いて明るいだけでなく、コメントに温かみがありますね。今後もぜひ司会やってもらいたいです。 ・明山さんのプレゼンがうまい！まとめ方もわかりやすく非常にいいのですが、話も流れにのってききやすく、時間配分などとても良いです。 ・今回青年パートとして、明山さんの発案で、英語で「ミニドラマ」を作るというのをやってみましたが、とてもよかったです。CAFEO をテーマにしたのは、皆さんわかってもらったかどうか分かりませんが、CAFEO がどんなものか突っ込んで知ってもらいたいなあと思い設定しました。今後内容をブラッシュアップしていつてやってみてもよいと思いました。 ・栗野さんの作成した各国の紹介資料がとてもよかったです。あれだけいろいろ調べるのは実は大変だったと思います。 ・同じく、栗野さんがロールプレイの台本まで作って下さって、本当にありがとうございました。 ・Steven 先生の授業は本当アクティブで楽しいです！参加者がじっとしているひまがなく、簡単なイントロダクションから始まって、よく話が出る構成になっていると思いました。本当に素晴らしい！
瀧川	・栗野さんの落ち着いた司会が素晴らしかった。 ・田角さんのお食事&おつまみセレクトが素敵でした。 ・(恐らく) 青年メンバーが英語例会に慣れてきて、きめ細やかな対応や雰囲気づくりができていたこと。 ・アシュトン先生のお人柄。英語が苦手なので逃げ腰でしたが、懇親会では嫌な顔せずお相手をしてくださいました。
栗野	・懇親会のお酒のチョイスがとても良かったです。おもてなし精神を感じました。 ・YEAFFO を意識したタイコーナーも同様に、田角さんの細やかな配慮を感じました。 ・初級者、中級者が良い具合に分散しており、どのグループもレベル的に偏りのない内容で良かったです。(実は内心ヒヤヒヤしてました。) ・アシュトン先生の講義、見ていてとても楽しかったです。盛り上げ上手で、参加者に飽きさせないのはさすがだな、と思いました。
横田	タイの資料が充実していたこと。皆さん興味をもっていただけた。 他の ASESAN 諸国の資料もまとまっていた。 アシュトン先生の講義がもりあがっていたこと。 前半の打合せも話が弾んでいた。
滝口	他のグループ宛てのコメントを聞く側も、コメントをもらう側もポジティブで楽しめる内容だと感じました。 ・田角さんの最初の説明・英語のコメント イベントに対する思いや、英語に対する考え方、取り組みの姿勢を最初に伝えて下さり、英語

	への苦手意識を持たず、楽しめました。次も参加したいという気持ちになれた人が多いのではないのでしょうか。 ・ 次回の CAFE0 をイメージした構成 実際に CAFE0 に行った時に必ず必要になるだろう会話を練習でき予習になりました。 タイの料理やパンフでタイの雰囲気がつかめたこともよかったです！ ・ 男女比や年齢などを考慮したグループ分け 年齢層も職場も異なる人と関わることができ、国際的な経験を持った先輩方から各国の話も聞け、勉強になりました。 ・ 委員長の青年の活動紹介 英語で、セミナーの内容に合わせた内容になっていて凄いと思いました。 ・ グループ別の発表 どれも個性的で、制限時間内で、よく考えられた内容になっていて楽しかったです。 ・ アシュトン先生の人柄とセミナーの内容 終始楽しく受けられました。説明の仕方も進め方もエンターテインメント性があって素敵ですね！ 最後の TV ショーは他の英語セミナーには無い取り組みではないのでしょうか。 普段、一方的に自分の業務を説明するための英語を考えることがありますが、会話で成り立つ説明や、話し方はしたことが無かったと思います。勉強になりました。
小塚	(1) 前半に寸劇を行うという、青年独自企画があったこと。 毎年英語例会がブラッシュアップさせる 担当者のやる気と経験と知恵に頭が下がります。 (2) 4 月に引き続き、栗野さんの司会が良かったです。 スムーズな進行のみならず、 各班の寸劇に対して即興でユーモア溢れるコメントを返す様子はグループワークに参加せずとも楽しめるものでした。 (3) アシュトン先生のことを慮って、 懇親会で英国ビールを準備するというおもてなし。 気遣いの心にはっとしました。 例会そのものの準備も大変であったであろうにも関わらず、 このようなところまで気配りする「余裕」を持つことに恐れ入りました。 (4) 懇親会で参加者同士で会話をしているところが多かったように思いました。 「技術士仲間をつくろう！」のコンセプトが叶っているように感じました。
赤木	・ 栗野さんの場をなごませる司会進行がよかった。 ・ 先生の安定した授業により、参加者全員が積極的にアウトプットしていた。 ・ 田中さん、田角さんが英語で挨拶されたこと。 ・ レベル分けにより、前回アンケートであったような不満は解消されたかと思います。 ・ 交流会のビールセレクションがよかった。 ・ 会場に YAFE0 開催地のタイの紹介資料を置かれていた。グループワークにも活用された。

	・1月に続く寸劇がよかった。
萩尾	・グループワーク発表時の栗野さんのコメントが場を和ませていました。 ・グループワーク発表時に必ず全員が話さなければならないというルールはいいアイデアだと思います。 英語が苦手な人でも参加しやすくなったと思います。 ・交流会のビールとおつまみがアシュトン先生を意識したものになっており、細やかな配慮が行き届いていたと思います。田角さんはさすがです。
太田道	・栗野さんの司会が秀逸。コメントがキレキレだった ・ビールセレクションが素晴らしかった！ ・全体的に準備がしっかりされていたと思います
田中	企画の半分を青年独自で行ったこと。アシュトン先生を呼ばなくてもやっていけるポテンシャルを感じました。 YEAFE0/CAFE0を体験しようという企画の内容も秀逸です。
白井	栗野さんの司会が堂々としていて頼もしかったこと。 田角さんが今年のCAFE0に合わせてタイ関連の資料を紹介していたこと。 田角さんのホームページ告知、内容が充実していたこと。 田中さんの青年紹介は英語でされていたこと。 アシュトン先生には、青年委員会に好意をもって継続的に協力していただけていること。

2. 改善したい点

田角	・実のところ、5月担当内での連絡が非常に悪かったです。 あいにくメンバー全員とても忙しく、メールでの連絡もなかなかやりとり出来ていないくらいでした。最後に思ったのは、電話番号を先に押さえておいて、すぐ電話すればよかったです！ ・タスク管理が出来ていなかったこと。残タスクも何が出来ていて何が出来ていないのか共有できていなく、ケータリングも土壇場でケータリング屋さんのご厚意により何とか間に合わせたと言う感じです。 何とかはなりましたが、今後は誰が何を責任もってやるのか、明確にすべきと思いました。 ・Google Hangoutでのミーティング（Skypeの代わり） 個人的にメンバーのみなさんにご迷惑をおかけしましたが、PCのスペックが低く、音声ほとんど聞き取れないので、ミーティングにあまり参加出来ていませんでした。申し訳ありません。 ・参加者の方へフォローメールを十分送れなかったこと。 以前見学会を行った際は、育休中で比較的時間があったこともあり、参加者の方へ1件1件丁寧に返信していましたが、今回本当に
----	--

	必要最小限の方にしか返信できていませんでした。欠席の連絡をくれた方など返信もしないのでは、感じ悪いかと・・・ ちょっといっぱいいっぱいだからとはいっても、申し訳なかったと思っています。 ・Steven先生のパートについて。 Steven先生とランチミーティングを行った際、今回のテーマは？ 対象者は？ということで、「初中級者を対象に、誰でも参加しやすいテーマ」としたら、「いつもと同じじゃん！何かもっとこう違った内容はないの??」と言われたのが心に刺さっています、が、何かこう違うウヒーというテーマはまったく思いつきませんでした。参加者にも先生にも、「また今回も同じ・・・」と思われたいような面白い趣向があれば・・・ 今後の重要課題です。
瀧川	・特にありません。
栗野	・前日～当日のキャンセルが少し多かった気がします。4月のイベントはキャンセルがほとんどなかったはずなので、何かしら工夫すべきところがあったかと思います。 ・アシュトン先生のプロシユアがいつ完成するのか分からないのですが、折角なので先生にとってメリットがあるように工夫したいです・・・。 たとえば、もっと名刺を入れてもらうように促す、など。
横田	他の国の資料がもっとあると嬉しかった。
滝口	・タイムキーパー兼参加者で、席が事前に決まっていたのに、着席が遅くなり、横田さんを移動 させてしまいました。すみませんでした。
小塚	（1）懇親会で田角さんが英国のおつまみを開けてくださったのですが、余ってしまったこと。 懇親会後に開けてしまったものが捨てられてしまうことがもったいなく感じました。 次回ケータリングを行う際は様子を見ながら少しずつ開けるようにしたいですね。
赤木	・青年スタッフが余っていた。 だからどうしたというわけではないのですが、裏でイベントの打合せをする人などを考慮してタイムキーパーの選出をする等工夫ができたかもしれません。
萩尾	特にありません
太田道	・懇親会で一部のホストがご飯を食べ過ぎていたように思う
田中	仕切りの後ろで騒いじゃいました。何度もやっちゃってます、すみません。。
白井	後ろのスタッフ区画にずっといてほとんど見られなかったこと。 ケータリングで食べてばかりになってしまったこと。

3. その他なんでも！

田角	本当に振り返ると反省点ばかりですが、何とかあったのは5月担当の皆さん、青年メンバーの皆様の多大なるご協力のおかげです。
----	--

	本当にどうもありがとうございました！
瀧川	ご準備くださった皆様、どうもありがとうございました！
栗野	・皆様のご協力のおかげで無事に終わることができました。特に田角さんには色々と負担・ご心配をおかけしてしまいました。 - スミマセンでした&ありがとうございました。
横田	学生参加の方が2名いたのは意外であり嬉しかった。
滝口	・次回の開催も期待しています！ ・田中ひとみさんの流暢な英語と声が素敵で、教材用CDで欲しいと思う程でした。 ・英語だと学生も女性も参加しやすいのか、いつもと人数構成比が若干違った気がします。 ・4月例会から参加してくれた方もおり、嬉しく感じました。
小塚	(1) 赤木さんもお指摘されたように、 例会中に余った青年スタッフはどうすべきか…？ 英語例会当日、小塚はたまに様子を見つつ、 それ以外は個人的な用事をこなしている …という状態でした。
赤木	・この企画の熱気はよいですね。担当のみなさま、お疲れ様でした。
萩尾	・タイムキーパーとして入りましたが、ついつい話に入り込んでしまいました。自粛します。 ・Eグループは田中仁美さんがうまくまとめて下さり、参加者の方も楽しそうでした。 ・5月例会担当の皆様、お疲れ様でした。
太田道	・アシュトン先生に、少ないギャランティでよくやるねって聞いたら、チャンス（名刺）をもらえるしと言っていた 数枚しか入っていなかったように思う。今後も継続してやっていけるのか、人事ながら不安に思いました。
田中	5月メンバーの熱意が伝わってきました。 すばらしいイベントをありがとうございました！
白井	二次会も、もう少し品のある話ができるように気を付けます。 英語一本締めスキル向上を目指します(笑)

以上

行事名	6 月例会:拡大委員会と懇親会
日時	2017 年 6 月 17 日(土) 拡大委員会 13:30-17:30、懇親 1 次会 19:00-21:00、懇親 2 次会 21:15-23:15
場所	拡大委員会 葦出 AB 会議室、懇親会 上野近辺
講師、発表者	拡大委員会 総会:司会 諸田委員長、議長 田中前委員長 地域本部活動報告:仁田委員長、齋藤委員長、小酒委員長、石川委員長、 宮西委員長、三角委員長、池谷委員長、永岩委員長
担当者: (○印:リーダー)	○田中、太田(道)、諸田、太田(望)、瀧川(記)
参加者数	拡大委員会:57名、懇親1次会:68名、懇親2次会:41名 ※懇親会にはOBOG 11名含む

1. 背景・目的

地域本部間の情報共有と交流を目的とし、拡大委員会での地域本部活動報告および懇親会を実施した。特に今回は委員長が交代する地域本部が多いため、新委員長の紹介も含め重要な会となった。

2. 例会内容

2. 1. タイムスケジュール

13:30-14:10 総会
14:20-17:30 地域本部活動報告 & お悩み相談、ビラコンテスト
19:00-21:00 懇親 1 次会
21:15-23:15 懇親 2 次会

3. 成果と所感

総会においては、ほぼ予定通りの進行であった。昨年度の統括本部における活動および予算、決算に関して委員より承認を得た。

地域本部活動報告においては、活動実施内容を共有すると同時に、地域が抱える課題について相談する場とした。相談内容としては、人員不足、新規メンバーの勧誘の難しさ、女性メンバーの少ない、各地域本部内での連携に関する事項が目立った。このような中で、「ふるさと委員制度(自分の所属以外に応援する地域を設ける)」といった、インパクトのある意見や、実績を基にしたアドバイスなど活発な意見交換が行われた。決められた時間内では課題を話し切れない場面もあったが、今後の交流の上で有意義な場となった。

ビラコンテストについては、各地域本部より自作のビラを一枚エントリーしてもらい、投票による順位付けを行った。各地域本部の工夫が感じられるものが多く、今後のビラ制作の参考となった。

懇親 1 次会では交流を活発にするため、立食形式とするとともに、「地方おつまみ対決」を実施した。参加者は持ち寄ったおつまみや地域本部活動報告での話などをきっかけに積極的に交流を図り、懇親を深めることができたと考える。反省事項として、事前の準備においておつまみをどのように切り分けるべきか不明なところもあり、次回同様のイベントを開催するには盛り付け方法などの確認が必要である。

懇親 2 次会は、懇親 1 次回のすぐ近くに会場を設定したことで、移動がスムーズに行うことができた。店内の不審者による不測の事態から開始時刻が遅れてしまったが、その後も活発な交流活動が実施された。参加者数の急増により直前の会場変更を余儀なくされたが、店舗の確認と会費設定が不十分であったことが次回以降の反省点である。

4. 今後の展開

統括本部においては、任期が 2 年 2 期までという縛りがあり、今回その 2 期目委員の退任の時期にあたる。地域本部においても今回メンバーが大きく変わるところもあり、深まった地域本部間の交流を絶やすことなく継続するためにも、交流しやすい場の提供と、地域間の連携を深めていくことが必要である。地域によらず共に切磋琢磨し、よりよいイベント活動を実施していける体制を目指していきたい。

5. 実施状況

1) 拡大委員会



2) 懇親 1 次会



3) 懇親 2 次会



以上

行事名	6 月テクノツーリズム:「紙の博物館」
日時	2017 年 6 月 18 日(日)
場所	公益財団法人 紙の博物館(東京都北区)
参加者	萩尾、鈴木、田中、山本、北元、白井、中村、瀧川、太田(望)、田角、赤木、太田(道)、 諸田、横田、伊藤、小塚(俊)、明山、高橋、竹入、滝口 オブ:清水、臼井、小塚(隆) 敬称略
担当者: (〇印:リーダー)	〇白井、伊藤、鈴木、小塚(俊) 文責:白井
参加者数	第一部「紙の博物館」30名(統括本部の委員除く) 44名(統括本部の委員含む) 第二部 屋内BBQ懇親 22名(統括本部の委員除く) 41名(統括本部の委員含む)

1. 背景・目的

- ・青年技術士交流委員会2期目委員の任期末となる前日の拡大委員会を受けて、来期の結束を高めるべく、恒例のテクノツーリズムを実施した。
- ・今回のテクノツーリズムは、地域本部の青年技術士交流委員会から多数ご参加いただける場であること、および多様な技術部門の技術士が集まること、を踏まえてテーマ選定した。
- ・テーマは誰もが身近に触れているため普段は意識しない「紙」を選定した。
「紙」は情報記録方法を劇的に変えた産業素材であり、製「紙」産業は用水・廃水の多い製造工程ながら資源リサイクル率の高い環境対応型製造業であり、また、「紙」は新しい産業用途も広く技術検討されている先端素材という側面も持っている。
「紙」に焦点を当てることで、技術の歴史を俯瞰し未来の技術を考察する際の知見となることを願い、歴史的・文化的・技術的な展示が豊富な「紙の博物館」を見学先に選定した。

2. 例会内容

「紙の博物館」事務局との事前打合せ(2017 年 5 月 6 日)により、通常実施しない時間帯ながら王子製紙 OB ボランティアの方々に、展示品の解説と紙漉き体験補助でご協力をいただいた。
また、参加者全員が展示品の解説と紙漉き体験の両方に参加できるように、全体を2班に分けて前半後半の2部構成とした。

	10:00 - 11:00	11:00 - 12:00
第1班	解説ボランティア付館内見学	紙漉き体験
第2班	紙漉き体験	解説ボランティア付館内見学

【解説ボランティア付館内見学】

・館内は紙の原料木材、製造工程の機械装置、製造工程の廃棄物処理、昔の製造工程と現在の工程の比較、原料木材の資源リサイクル、紙の品質規格、和紙と洋紙の比較、近代製紙産業の歴史、歴史的な「紙」(掛け軸やお経)の展示、古代中国に始まる製紙技術伝搬、お金や情報記録媒体として文化社会に与えた影響など、多様な経験に裏打ちされた多くの視点をもって解説していただいた。

【紙漉き体験】

・昨年の東京メトロ CM 王子編にて、石原さとみさんが「紙の博物館」で紙漉き体験をする様子が広告されていた。この東京メトロ CM が YouTube で公開されていたので、地域本部の皆様への告知に活用させていただいた。

・紙漉き体験はボランティアの方々が流れ作業を補助して下さり、紙を漉く一連の流れを参加者自身の手で体験できることから好評であった。また、自身で漉いた紙をオリジナル葉書としてそのまま持ち帰ることができるという特典があり、これもまた好評であった。

午後は、近隣の飲食店「Tagen」を予約し、屋内 BBQ を実施した。

駅前の好立地ながら、早めの予約と大人数の参加によって貸切で実施できた。(12:30 - 15:00)

【旅のしおりの作成】小塚(俊)委員補佐、白井委員

・テクノツーリズムを盛り上げる小道具として、旅のしおりを作成して配布した。

実際配布したしおりを別途添付するので参照されたい。

【参加者の集計表】鈴木委員、伊藤委員

<6/18 テクノツーリズム 最終参加者集計>						2017.06.25		
参加：	○		・午前のみ 紙の博物館I：	¥ 300	通常 ¥300、団体 ¥240)			
不参加：	×		・午後のみ 屋内BBQ I：	¥ 4,500	料理 ¥3,000 + 飲み放題 ¥1,500 ※税込み)			
			・午前+午後：	¥ 4,800	(上記合計)			
	氏名	所属		午前 紙の博物館	午後 屋内BBQ	集金	チェック 欄	備考
1	小島 茂樹	中部		○	○	¥ 4,800		
2	石川 智康	中部		×	×			
3	後藤 真吾	中部		○	○	¥ 4,800		当日参加
4	仁田 智	北海道		○	○	¥ 4,800		
5	小澤 正志	北海道		×	×			当日不参加
6	木本 光則	北海道		○	○	¥ 4,800		
7	平岡 城栄	北海道		×	×			当日不参加
8	西村 力哉	北海道		○	×	¥ 300		
9	三吉 憲一	北海道		○	×	¥ 300		
10	須田 徹央	北海道		○	×	¥ 300		
11	高橋 歩夢	北海道		○	×	¥ 300		
12	池谷 聖	四国		○	○	¥ 4,800		
13	白鳥 実	四国		○	○	¥ 4,800		
14	赤木 真也	中国		×	○	¥ 4,500		
15	三角 春樹	中国		○	○	¥ 4,800		
16	金高 智之	中国		○	○	¥ 4,800		
17	新洲 大輔	中国		○	○	¥ 4,800		
18	立山 隆志	中国		○	○	¥ 4,800		
19	永岩 研一	九州		×	×			当日不参加
20	中園 健一	九州		×	×			当日不参加
21	大高 章	北陸		○	○	¥ 4,800		
22	小酒 欽弥	北陸		○	○	¥ 4,800		
23	齋藤 大介	東北		○	○	¥ 4,800		
24	内田 隆広	東北		○	○	¥ 4,800		
25	宮西 健次	近畿		○	○	¥ 4,800		
26	坂東 大輔	近畿		○	○	¥ 4,800		
27	萩尾 友治	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
28	鈴木 利治	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
29	田中 雅人	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
30	山本 恵一	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
31	北元 芳明	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
32	白井 一光	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
33	中村 聡	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
34	瀧川 裕美	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
35	太田 望斗	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
36	田角 由香	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
37	赤木 宏匡	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
38	太田 道宏	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
39	諸田 敦洋	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
40	横田 敬久	統括	委員	×	○	¥ 4,500		
41	伊藤 友加里	統括	委員	○	○	¥ 4,800		
42	小塚 俊吾	統括	委員補佐	○	○	¥ 4,800		
43	明山 公也	統括	委員補佐	○	○	¥ 4,800		
44	高橋 義也	統括	委員補佐	○	○	¥ 4,800		
45	竹入 祐美子	統括	委員補佐	○	○	¥ 4,800		
46	瀧口 禎美	統括	委員補佐	○	×	¥ 300		
47	栗野 美智子	統括	委員補佐	×	×			
48	竹内 将人	統括	オブザーバー	×	×			
49	清水 雄太	統括	オブザーバー	○	○	¥ 4,800		
50	白井 朗	統括	オブザーバー	○	○	¥ 4,800		
51	小塚 隆	統括	オブザーバー	○	○	¥ 4,800		
52	Ye Han			○	○	¥ 3,000		補助
53	Ye Hanの友人			×	×			別途
54	佐藤 理英			○	○	¥ 4,800		当日参加
		※集計	○	44	41	#####		参加予定者のみ
			△	0	0			
			×	10	13			
			計	54	54			

●テクノツーリズム

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
太田(望)	・身近な”紙”をテーマにしていたこと。紙漉き、楽しかったです！	・特にありません。	
太田(道)	・紙の博物館自体がとても面白かった。 ・説明員の方のお話は確かに長かったが、面白い話ばかりで楽しめた。それをうまくハンドリングされた幹事の方が素晴らしかった。時間通りでした。	・特になし。	・白井さんが予想以上に早急に回復した。 ・王子は横浜から遠い。
田中(雅)	・紙の博物館最高でしたね。当日の青年の負荷が小さいにも関わらず、紙漉き体験でお土産を作れたり、ボランティアの方々の解説が充実していたりと満足度が高かったです。選定や下見をしっかりとやったおかげですね。	・白井さんだから許される面もありますが、ホストが二日酔い丸出しで現れるのはまあ不味いですよね。	・当日しんどすぎて、「紙の博物館なんてなくなればいい」と言ってしまうすみません(*_*)
高橋	・紙漉き体験が全員できたこと。	・特になし。	・特になし。
伊藤	・満足して頂けたかどうかは抜きで、とにかくスケジュール通り終えたこと。当日朝会っていきなり、事前打ち合わせと全く違う方針を博物館側から提案されたときは、かなり戸惑いました。(打ち合わせって何??)博物館のスタッフ間でスケジュールも共有されておらず、私は時間調整に館内を走り回ってました。(だから、あの打ち合わせって何やった??)	・自由行動も入れられたらよかったです(けど、ガイドがそれを許さんでしょうな)。	・みなさん酔っ払いには寛容
白井	・朝、現地にたどり着いたこと。みなさん元気ですねー！	・二日酔い。 ・CPD 票を印刷して持っていたのに、栗の汁で配布できなかった。 ・進行が打合せ時と違っていた件、先方と連絡を密にとるべきでした。	・伊藤さん、鈴木さん、小塚さん、当日に何もできなくてごめんなさい。

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
小塚	・製紙会社のOBがガイドを務められており、技術的な質問にも丁寧にご回答いただけたこと。下見の際もガイドの方に案内していただいたのですが、そのときとはまた違うお話を伺うことができ、2度美味しい思いをいたしました。また1人で試してみようかな…。 ・鈴木さんと伊藤さんが9時過ぎには集合場所にいらっしゃり、白井さんの状態に関わらず、円滑に幕開けしたこと。	・不可抗力でしたが…事前の打ち合わせと異なるプランを提示されて、少し揉めたこと。詳細は伊藤さんの内部アンケート回答をご参照ください。 ・CPD 票が栗シロップによりパルプと化し、配布できなかったこと。	・私もテクノとBBQ 担当だったので、あまり働かず…でした。(伊藤さん、白井さん、鈴木さん、申し訳ございません。) - 全体を見渡しの確にフォローする伊藤姐さん、こだわりの白井さん、細部に目と手が行き届く鈴木さんのおかげで、テクノとその後のBBQ がうまく進んだと思います。ありがとうございます。 ・当日の状態はアレな感じでしたが、白井さんが準備をかなり精力的に行われたおかげで、通常は行われていない午前中の紙すきが実現し、しおりもでき、またガイドの方にも付いていただくことができました。白井さん、お疲れ様でした。
山本	・ボランティアの方々の解説が充実していた。 ・紙すき体験が非常に良かった。	・伊藤さんがタイムマネジメントに走り回っていて大変そうでした。各班の統括メンバがサポートする体制にすればよかったと思います。	・紙のリサイクルを心がけようと思いました。
諸田	・紙の博物館のボランティアの説明が長時間にならずに終わったこと。 ・身近過ぎて気にも留めない紙について改めて学べたこと。 ・紙漉き体験が好評を得られたこと。	・改善したいこと 二日酔いを想定して担当者を選定した方が良いかもしれませんね。(^^;	(回答なし)
鈴木	・「紙の博物館」を見つけてきた白井さんのファインプレー ・紙という身近なテーマで、実際に作るという体験ができ、詳しいガイドの説明がつく。さらにローコスト。 ・ちょっとバタバタ感があったのですが、とりあえず、時間内で終わったこと。	・見学先との綿密な打ち合わせ…をしたはずでしたが、打ち合わせをした担当の方からガイドの方へ情報がうまく通っていないようでした…	・酔っ払いは想定内(笑) ・下見で紙漉きはやりましたが、下見時も当日も、ほとんど館内見学はしていなかったものでわかっていないところがあるのですが、みなさんが満足していただけていたら幸いです。

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
萩尾	・体験・館内見学のバランスがよく、飽きませんでした。 ・紙の博物館という選択自体が良かった。身近な紙について学ぶことができました。	・事前には聞いていましたが、案内の方の話が長く、回り切れるかひやひやしました。	(回答無し)
北元	・上野から近く、また駅から近くて良かった。 ・ボランティアの方の説明が良かった。説明から知識や経験を感じることができた。 ・紙抄き体験など、実際にやってみるテクノは面白いですね！！	・特になし。	・特になし。
中村	・解説&実演の組み合わせが良かった。白井さんのナイスチョイスです。 ・紙という、身近な題材が参加者の興味をひいたのではないのでしょうか？ ・伊藤さんのフォローにより、時間通り進められた。	・事前打ち合わせと当日の段取りが違った。	・下見では解説が2時間半かかったもので、タイムマネジメントは正直心配でした。
竹入	・紙漉き体験ができたこと ・施設の方が知識と経験豊富な方々で、話題に尽きなかったこと	・特になし。	(回答無し)
滝口	・OBの方が詳細に紙の歴史から技術まで説明下さり、大変勉強になりました。 ・身近にあってどの部門の方も触ったことがあるものでとても良いテーマだと思いました。	・特にありません。	・特にありません。
瀧川	・下見にも参加させていただいておりましたが、説明員の方が変わればまた違うお話も伺えて勉強になりました。	・特にありません。	・白井さんが朝仕上げてきてくださったおかげで、当日集合場所の場が和んだ気がします。白井さん、ありがとうございます

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
田角	・近くに住んでいながら、紙の博物館は今まで行ったことがありませんでしたが、かなり専門的な内容で、しかも詳しい説明をして下さる王子製紙 OB のボランティアの方々が大勢おり、すばらしいチョイスと思いました。見学だけでなく、紙漉き体験というアクションが盛り込まれており、全体のバランスもよく面白かった。	・しらいさん飲みすぎ・・・	・2歳の子供を連れて行き、大変お騒がせしました。皆様には申し訳なく思ったのですが、実のところ「わざと」連れて行っています。賛否両論あると思いますが、賛否含め 私が子供を連れてその場にいるという存在意義について考えていただけたらなあと思います。

●屋内 BBQ

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
太田(望)	・屋内だったので、天候を気にせず懇親会ができたこと。	・特にありません。	(回答無し)
太田(道)	・店の選定が良かったです。味もよく、量も十分でした。店員さんも感じの良い方々でした。	・焼き場に統括メンバが、奥の席に地域本部重鎮が固まってしまっている感じが気になりました。(最後だし、それもそれでいいのかな)	・通りに面していたので、通行人にジロジロ見られた。それが逆に快感だったりするのかしら、と思いました。 ・ちゃんと姐さんに挨拶しないで帰ったので、次会う時は怖いなと思いました。
田中(雅)	・美味しかったです。朝ホルモン食べてたのに、大変美味しくいただきました。雨降ったけど屋内で良かったです。	・あえて言うなら。。やっぱないです、姐さん。	・最後は統括のメンバーと語り合いたかったです。地域本部のみなさんと話さなくてすみません。それでも話せなかった統括のメンバーもいます。。 ・竹入さん、おめでとうございます！！
高橋	・屋内だったので雨を気にせずに開催できること。	・特になし。	・特になし。
伊藤	・満足して頂けたかどうかは抜きで、とにかくスケジュール通り終えたこと。	・予想はしていたが、食べるペースに焼くペースが追いついていなかったこと。	・前の通りの通行人見物は、お店の良い宣伝??でした。王子のおばちゃんに話しかけられてる青年メンバーもいましたね(笑)。
白井	・スケジュール通りに進行できたこと。	・二日酔いでアタマが回らず、面白い話題提供ができなかったこと。	・面白い話題提供が常にできるよう、日々のネタ作りを意識したいと思います。

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
小塚	・お店の構造が良く、表でワイワイやりたいニーズと、奥の席でまったりしたいニーズの双方に応えられていたこと。 ・特定の面々が固まることには賛否両論あると思いますが、久しぶりに顔を合わせた同士の交流もあるかと思うので、私は良かったと思います。 ・肉がたくさん出てきたこと。	・特にありません。	・退任のあいさつを拝見していて切なくなりました。また近いうちにお会いできるような気がして未だに実感が湧きませんが、退任される皆様、お疲れ様でした、ありがとうございました。
山本	・駅から近い、便利な場所であったこと。 ・料理が美味しかったこと。 ・次期メンバー含め、久しぶりに統括メンバとゆっくりお話しできたこと。	・特にありません。	・外から店内が丸見えで、通行人からジロジロ見られるというのが新鮮でした。
諸田	・都会の駅前で、オープンスペースで、肉をガツガツ喰らえたのは良かったです。 ・朝にホルモン食べていたので、水分補給しかできないと思っていたのですが、美味しくいただきました。胃が早く回復したのは自分でも驚き。意外とまだ若いのかも！？	・なし。	・いつの日か統括本部でのんびり、マツタリ同窓会できると良いですね。
鈴木	・博物館、および駅から近くの室内BBQ ができるお店を見つけた伊藤さんのファインプレー。どう探してもここ以外で近くに大勢で BBQ 等ができる場所はありませんでした。最後の方は雨も降りだしていたので、この選択は本当に当たりだったと思います。 ・ここも、ほぼ時間通りに終えることができたこと。 ・お店が協力的で助かりました。	・組員でありながら、伊藤組長にずっと焼きをまかせてしまっていました…スミマセン。	・二日目の最後のイベントでしたので、みなさんにはリラックスしていただけていたら幸いです。

	良かったこと	改善したいこと	その他何でも
萩尾	・天候を気にせずにバーベキューができるとは、お店選びが素晴らしいです！量も満足でした。	・なし。	・楽しい2日間でした。幹事の皆様、本当にお疲れさまでした。
北元	・料理が美味しかった。 ・天候が微妙だったので、全天候型のチョイスは良かったかと思います。	・特になし。	・特になし。
中村	・駅近、屋内とお店のチョイスが良かった。 ・途中から雨が降ってきたが、屋内だったので問題なかった。 ・飲み物のバリエーションが豊富だったのと、BBQ の他にも料理が出たので、長居しても退屈ではなかった。	・特になし。	(回答無し)
竹入	・お店が貸切だったこと。 ・ぶ厚くて凍ってないお肉がたくさん出てきたこと。 ・テクノの会場からも駅にもお店が近かったこと。	・特になし。	(回答無し)
瀧川	・屋内だったので、急な雨でも問題なかった。 ・お肉が美味しかった！	・焼き続けてくださった皆様、どうもありがとうございました。お手伝いすべきでした・・・。	・伊藤組に入れてほしいとお願いしたかったのですが、勇気が出せず言えませんでした。
田角	・お店がおしゃれでテクノ会場からも近く、よかった。 ・いつも梅雨時期の BBQ というハードルの高いテーマとなっているが、今回見事にクリアしていた。	・ほかの人のアンケートでも、「地域本部の方々など島になって分かれていて・・・」みたいな話があったのですが、統括の皆さんは各テーブルに割り込んで行って交流する気がありましたか？特に新委員長の諸田さんはBBQを焼いている近くですっかりくつろいでいるように見えたんですが、新委員長ともなると、「結婚式会場での花嫁の父」のように、冷えたビール片手に各テーブルにビールをついで回ってご挨拶をすべきでは・・・ 過去の先輩委員の方からいつも口をすっぱくして言われていますが、「青年はいつもホスト役をつらぬくように」よろしくお願いします。	(回答無し)

3. 成果と所感

・博物館見学でありながら、ボランティア解説、紙漉き体験という付加価値を提供できたのは、王子製紙 OB のボランティアの方々のご協力が得られたことに尽きると振り返っている。

・今後のテクノツーリズムも一般の団体見学というだけでなく、付加価値を提供できる外部団体との連携を模索するというオープンな進め方が有効であると感じた次第である。OB ボランティアの方も技術士会の団体見学ということで気合を入れて解説して下さったと感じた。

・青年技術士交流委員会は内部リソースで付加価値の高いイベントを提供する能力も実績もあるが、

内部交流に閉じずに外部団体と連携して交流を広げるという視点をもって今後の活動に活かしたい。

- ・小生の不注意により CPD 行事参加票を当日配布することができなかった。今回は後日発送した。遠方よりお越しの地域本部からご参加の方々にとっては特に貴重な機会であることを自覚し、準備不足のないように対応したい。

- ・「紙の博物館」事務局とは事前打合せをしていたにも関わらず班分けが2班より多くなり、対応に混乱が生じた。伊藤委員、鈴木委員の尽力によって当日の対応がスムーズとなったが、小生が事務局と事前のコミュニケーションをより密にとっておく必要性があったと反省する。

- ・青年技術士交流委員会のイベントは夜も盛り上がって話し込む傾向があるため連日となると2日目以降に小生を含め精彩を欠く傾向にある。当日の小生は疲労してしまっていた。しかし、ホスト意識を持って元気よい活動を心掛けたい。

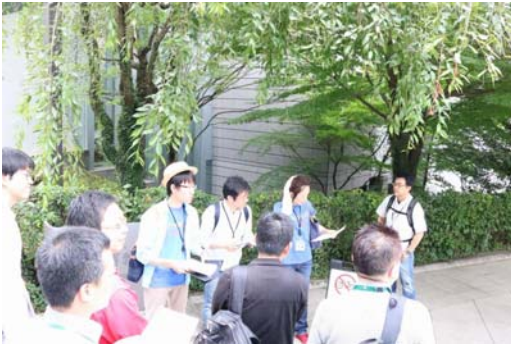
4. 今後の展開

- ・青年技術士交流委員会を卒業される2期目委員の方々、お会いする機会が限られている地域本部の青年技術士の方々、そして今後活躍が期待される現役の青年技術士交流委員会統括本部、技術士会内部イベントとしては多様な参加者が集う6月テクノツーリズムを有意義でオープンな交流の場として今後も継続したい。

- ・今後も外部連携企画によって青年技術士交流委員会の影響力・存在感の拡大を図りたい。

5. イベントの様子

「紙の博物館、集合」



「紙の博物館、講堂で説明」



「紙の博物館、繊維の解説」



「紙の博物館、紙漉き体験」



「紙の博物館、東京メトロ CM ポスター有」



「紙の博物館、館内見学」



「紙漉き体験でつくった手作り葉書」



「屋内 BBQ、鈴木委員挨拶」



「屋内 BBQ、白井委員の乾杯」



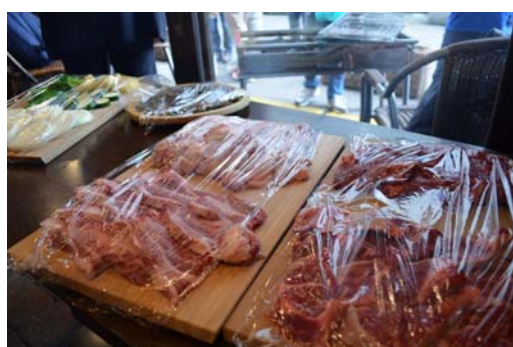
「屋内 BBQ、歓談の様子」



「屋内 BBQ、外からの様子」



「屋内 BBQ、お肉」



「諸田新委員長あいさつ」



「竹入委員補佐退任あいさつ」



「中村副委員長退任あいさつ」



「中部本部、小島副委員長退任あいさつ」



「田中委員長退任あいさつ」



「伊藤委員退任あいさつ」



「太田(道)副委員長退任あいさつ」



「退任あいさつを聞く面々」



「屋内 BBQ 集合写真」



「屋内 BBQ 集合写真2」



以上

6/17(土) 14:30～17:30
本支部交流会議＆ピラコンテスト

■北海道

良かったところ
・各地域本部の特性？特徴？などがわかった ・各地域本部の悩みがわかった ・時間配分が良かった ・各本部が活動をどのように行っているか知ることができた ・各本部の悩みごとについてもそれぞれの地域性、部門の違い等があることが知れた ・質疑応答で発言できる時間（機会）があって良かった ・ピラコンテストも面白かった ・ピラコンテストについては、活動内容の違い等でデザインも変わることが理解できた
改善してほしいところ
・時間が足りない（しょうがないけど） ・各地域本部の委員長以外にもプレゼンして欲しい ・各地域本部まとめて座るようにして、簡単に挨拶できる時間が欲しい ・プレゼン資料は事前配付すべき（スクリーンの字は見えない） ・年鑑のアップはもっと早い時期にすべき ・最初、席が足りなくてゴタゴタになっていた（事前に出欠確認していたのでは？） ・後ろの席だったので、少し聞こえない、見えない等があった ・空き時間に統括の皆さんがもっと積極的に近づいてきてくれると嬉しい
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・シランプ大統領は・・・(-_-;) ・準備等お疲れ様でした ・地域毎の悩み相談については、共通課題を挙げ、議論を深める方法もあるのではないかと思います ・皆さんの発表を聞けて、非常に刺激をうけました ・統括本部の皆さま、お疲れさまでした。ふるさと委員制度の北海道担当はどなたになりましたか？

■東北

良かったところ
・各地域本部ともに同じような悩みを抱えていることが分かった。 ・各地域本部の活動状況（熱意）が感じられ、良いところを真似てみたいと思った。
改善してほしいところ
・ピラの作成者を知りたかった。（委員なのか、外注委託したのか） ・悩みを事前に取り集めて、交流会議の中でディスカッションが出来ればより良かったような気がします。 ・女性委員の意見も聞きたかった。（参加理由等）
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・田中委員長のMC、さすがでした。

■北陸

良かったところ
・統括・各地域本部での精力的な活動報告を聞いて励みになりました。 ・各地域本部で同じような悩みを抱えており、いろいろと解決策を試しているところは、これからの北陸青年の発展のヒントになると思います。 ・また、北海道本部のように上手くいっている事例は（真似できるかどうかはわかりませんが）参考にしたいと思います。 ・ピラコンテストは、当日じっくり見られなかったですが、事前の配布資料にあったので、良かったと思います。 ・特別ゲストのシランプ大統領を生で見ることができてうれしいです。 ・各本部のお悩みや改善提案が聞けたことが良かった（色々な悩み、アイデアに納得させられた）。 ・ピラコンテストも各支部の工夫が垣間見えて、良い企画だったなと感じました（定例ではなく、たまにやるのが良いのでしょう）。
改善してほしいところ
・発表順はくじ引き、なんかいかがでしょうか？（事前でも良いです） ・末席側に座っていると議案資料が配布されないため、ちょっとつまらない。どうにか改善できないでしょうか？ パワーポイントなどでスライド表示してもらえただけでも、参加している気分になるのですが、、、。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・毎回（？）行われるコンテスト。意外と一喜一憂しています。

・ 田中委員長はじめ、今回退任されるメンバーの皆様、お疲れ様でした。

■中部

良かったところ
・ 毎年のことですが、各地域本部の活動内容を見聞させていただき、いろいろを勉強になります。 ・ 地域本部の「お悩み相談」は面白い企画でした。 ・ 「ピラコンテスト」という発想は無かったですね。今回のコンテストのおかげで、あらためて外部へのアピールが不足している感を持ちました。 ・ 本支部交流会議のお悩み相談は、各支部の悩みを通して色々気付き事項があり、参考となった。 ・ 刺激になりますよね。周りの活動や、活発なやる気をみると参考になるところが多いです。 ・ 各地域の意見を自然に出て、全国交流の意義が出ていたと感じます。
改善してほしいところ
・ 皆がしゃべりたいという意識が強いせいか。。。時間が足りませんよね。。。 ・ お悩み相談に対する回答時間がちょっと残念でした。 ・ 交流の時間がもう少しあると良いですね。全ての項目について全地域の話聞ききたかったです。 ・ 中部は交流誌と報告資料が同じにしていますが、違っていいことをあまり認識していませんでした。（私だけかもしれませんが） ・ 悩みは共通項があると感じました。それらは青年全体で整理して、その解決法をノウハウ集として残すのが良いと思います。 毎回話が出るが、それをうまく活用できていないような気がしています（中部だけ？）
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・ 楽しい企画有難うございました。また、是非参加させて頂ければ幸いです。今後も宜しくお願い致します。 ・ 私が田中さんのような熱い思いを持っていない＆それを発信できていないことを反省しました。 メンバーがどうのこうのというより、そのような思いが各本部の勢いをけん引しているという事も改めて実感しました。 ・ ピラ、悩み相談等、色々な視点を提示して、具体的な議論が出来ました。その一つ一つを生み出すのにも、たくさんの議論や考える時間があつた想像します。 統括本部の皆様のそのような地道な活動が全国の青年を活性化していると思います。有難うございました。今後ともそのような活性化策に期待します！

■近畿

良かったところ
・ 思いの外、ピラのクオリティが高く、非常に感銘を受けた。 ・ 各地域本部の熱意や問題意識を共有できる貴重な機会であった。 ・ 発表時間と質疑の長さはちょうどよかったと思います。 ・ 質疑も活発でよかったと思います。 ・ お悩み相談の質疑が不十分だったかもしれないですが、悩みは言葉にして口にして聞いてもらえれば、半分くらいは解決できていると思うので、あれはあれでいいと思います。
改善してほしいところ
・ 集計にかなり手間取っていたような気が・・・ ・ 時間の制約があるとは言え、進行が忙しなかった。休憩時間を設けるべきだった。 ・ お悩み情報の事前共有または、事後共有はあったほうがいいのかも。共通点も多いし、引き続き議論の機会があればな、と思いました。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・ 対面だと年1回程度しか、こういった会議を開催できない。 SNS(FacebookやLINEのグループ)やSkypeといったITを駆使して、必要となる都度、オンライン会議ができる体制を整えられたら良いと思う。

■中国

良かったところ
・ ピラコンテストの試み＆太田さんの元気いっぱい司会！ ・ 白ンブ大統領の登場＆マスク引継ぎ！＆須田ンブ大統領！ ・ 田中委員長の退任挨拶！人間田中を感じるとともに、田中君をもう少し理解できた気がします。違うことはいいことやね。 ・ 各地域本部の活動がわかってよかっただけではなく、活動の参考になりました。ピラコンテストも素晴らしかったです。 ・ おつまみコンテストは楽しゅうございました。 ・ お悩み相談があつたせいか、例年よりも地域本部間の話が出来たように思いました。 ・ ピラコンテスト盛り上がりました。良企画でした。 ・ 各地域本部の皆さんがどういう方針で活動されているのか垣間見えた。
改善してほしいところ
・ 地域本部の報告会がやや冗長でした。以下のような工夫がほしいと思いました。 ①質問＆質問に関する地域の活動状況について事前に集めておく ②上記資料をベースに今後の対策についてワークショップ形式等で協議 ・ 今回は感じませんでしたが、拡大委員会では統括メンバーと地域メンバーで別れてしまうイメージがあるので、両者の交流を促進するための仕掛けがあると良いと思います。 ・ 委員長以外の新しいメンバーがもっと活躍する場所が欲しかったです。

・ピラコンテストは企画としては素晴らしかったですが、強いて指摘するのであれば、投票基準がややわかりにくかったかなと。 ・活動紹介だとテーマが広すぎて全地域本部に話を聞くと内容が薄くなってしまうと感じた（時間も長い）。 ・外部向けのイベント、例会運営など、テーマを絞ったうえで3地域本部ずつ3テーマについて報告するなどではどうでしょうか。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・地域本部では分からない統括本部の苦労も知って、みんなで共有できたら、統括と地域になんとかありそうな溝が小さくなると思います。 ・昨年、YAFEO（inマレーシア）で仲良くなったYe Hanとの再開はまじでビックリした！ ・ピラ対決で負けた！

■四国

良かったところ
・スムーズに進行したこと ・いろんな地域の実情を知れたこと
改善してほしいところ
・会場が縦長だったので後ろに座っている人たちは画面が見えたかどうか。 ・ピラコンテストもPRが欲しかった。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・お悩み相談で回答を聞けなかったことが今となっては悔やまれます。懇親会や2次回以降ではお悩みのことなどすっかり忘れていました。 ・各地域趣向を凝らしたピラをつくって参考になりました。ピラコンテストでは下位でしたが、予想よりも検討していた。 ・お悩みコンテストなら四国が1番だったかも。

■九州

良かったところ
・進行がスムーズで時間通りに運営されていたところ。 ・意見交換が活発で、各地域の活動の様子が詳しく紹介されたところ。 ・ざっくばらんな雰囲気、堅苦しさがいないところ。 ・シランプ大統領のインパクト ・「お悩み相談」は、新たな取り組みで、各地域本部の個別事情やあまり表に出ない相違があることに気付いてよかった。 ・「ピラコンテスト」は、ビジュアルに訴えたものを作成する意義を理解できた。（委員の中に得意な人が居るかどうか大きい）
改善してほしいところ
（限られた時間なので仕方がない部分もあると思うが・・・） 各地域の「お悩み」は、ほぼ似たようなものが多く、ある程度予想をつけて絞込めると思うので、 ・課題解決に向けた方策などを、質疑応答形式ではなく、ワークショップ形式のような小G（地域ごちゃまぜ）でディスカッションすると、随行の若いメンバーも含めた、もっと多くの生の声が出る・・・ような気がする。 ・シランプ大統領のものまねクオリティ ・空き時間（ピラコンの集計時間など）の活用
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・運営にあたられた統括の皆様、ご苦労様でした。 ・全国のメンバーをお迎えするにあたり、大変心遣いをされていたのがよく伝わり、非常に有意義な会議に参加させていただきました。 ・拡大運営委員会が、あまりにも「シャンシャン」だった。せっかく地域本部委員も参加しているので、議題があるとよかった。

6/17(土) 19:00～21:00
大懇親会(一次会)&おつまみコンテスト

■北海道

良かったところ
・おかえり金高さん企画 ・サンシャイン田中のテンション ・初めての参加でしたが、多くの方と挨拶ができ良かった ・立食で交流しやすかった ・おつまみコンテスト企画 ・おつまみコンテストは、行ったことのない地域のを食べて非常に良かった ・良い雰囲気の間（お店）でした。すばらしい！ ・食べ物も美味しかった（量は少なめ？）
改善してほしいところ
・立食は嫌だー青年らしくない！！ ・名刺交換であちこち回ってほとんど何も食べられなかった ・各地域本部の参加メンバーを紹介させて欲しい ・あの料理では、会費の設定が高い
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・サンシャイン田中！最高でした！ ・太田みほしさんの声、すごいね（笑） ・会議終了後のホテルチェックインからの移動時間が非常にきびしかった（改善点ではありませんが・・・個人のホテル手配次第） ・統括の皆さん、準備等お疲れ様でした！ ・OB/OGの代表から一言を頂いても良かったかも（先輩たちの出番が無さすぎ？）

■東北

良かったところ
・立食のため移動、会話が弾み、交流が活発に出来た。
改善してほしいところ
・おつまみの説明は提出元の方からした方が良かった。（アピールポイントの説明が違ったのでは？） ・各地域本部で引退される方から、一言づつだけでもいただければ良かったと思います。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・田中委員長と北海道の高橋さんの勢いとアドリブに感服しました。 ・金高さんの復活祝いが出来て良かったです。（準備等ご苦勞様でした。）

■北陸

良かったところ
・「サンシャイン田中」すごく良かったです。この「熱さ」を北陸のメンバーに伝えたいと思います。 ・金高さん、おかえりなさい。本当に良かった。 ・OB、OGの人にもお会い出来て良かったです。 ・全国のおつまみを食べながら交流できたこと。
改善してほしいところ
・改善ではないですが、おつまみコンテストは、最後にもうひと押し、みなさんにPRしたかった。枝豆味がお薦めでしたが、最初未開封だった・・・ ・ここだけは、できれば参加者名簿（登録部門も分かれば）が欲しかったです。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・70人超の参加者でスタッフの皆さん大変お疲れ様でした。 ・「食」に関して、北海道にはかなわない・・・とは思いたくない。リベンジを！ ・懇親会の幹事は大変ですね。準備された皆様、お疲れ様でした。

■中部

良かったところ
・金高さんの快氣祝いは良かったですよね。 ・おつまみコンテスト。「くさいものは禁止」この前提条件は大事です！ ・大懇親会も盛り上がるように工夫されていてとても良かったです。 ・若いところですね。委員長自らが若さをアピールされていて青年だなーって思いました。（見た目や雰囲気はサンシャインだなと思っていたので違和感なし）

・金さんのケーキ良かったですね。ほんまにうれしかった。
改善してほしいところ
・おつまみコンテストのアピールについて、各地域本部の代表が品物の発表をするものだと思っていたら、いつの間にか解説が終わってしまっていた。。 ・おそらく多くの地域本部が2, 0 0 0円以上のおつまみを持ち寄ったものだと思います。しかしながら、あれだけの人数が集まると、この金額設定ではちょっときついと思われます。 ・せっかく、おつまみ大会等や話をする企画をされているのですが、ほとんど聞いていない、聞けない状況でしたね。我々も30周年の際のあいさつ等はほとんど聞いていただけなかったので、交流と企画ものの両立は難しいと思います。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・田中委員長！あのパフォーマンスには驚きましたがさすがが若い。私がサンシャインをいう芸人を知らなかったので、最初のうちは圧倒されました。。(^_^) ・領収証について、「懇親会」という文字が入るとなかなか経費として落としづらいものがあるので、例えば「拡大委員会参加費」といった名称にならないのでしょうか。 ・場所も良かったですよね。貸し切りでじっくり話が出来たと思います。

■近畿

良かったところ
・旧知の仲間と久しぶりに再会できました。 ・田中委員長の思いが伝わってきました。 ・会場はベストチョイスだったかと思います。程よいスペース、程よい光加減、程よい量の食事・・。 ・統括OBOGの方もたくさん来てくださっており、懐かしいお顔も見られてよかったです。
改善してほしいところ
・私が食べようとする前に、食べたかったおつまみが品切れでした・・・ ・マイク音声が不安定だったこと。 ・統括OBOGの方からもマイクでコメントがあってもよかったかも。 ・入口がわかりづらかったので、改築中のところですが、とか事前アナウンスがあったほうが良かった（下見をしてなかったらゴメンナサイ）。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・本当に疲れ様でした。多忙な本業を抱えつつ、これだけ大規模なイベントの企画立案をこなすとは、本当に頭が下がります。

■中国

良かったところ
・サンシャイン田中！ぶっちぎりのパフォーマンスでした。みんなの前であんなに振り切れることができてうらやましい！ ・ケーキまでご用意いただき、本当にありがとうございました！なんとか生還して、皆さんにまた会うことができて、本当に良かったです！（金高より） ・各地のつまみ！どれもおいしかったです。 ・山ちゃん、品川さん、鳶田さんたちと再会できたこと。 ・会場の雰囲気も良かったし、立食形式もよかったと思います。 ・会場まで案内してくれたツアーコンダクターの栗野さん。「大丈夫、ぐるぐる回ってればそのうち着きます」となぜか毅然と言い放ちつつ、目的地を見つけたときは一番うれしそうでしたね笑。 ・おつまみコンテスト、知らない各地の名物堪能できました。 ・サンシャイン田中を筆頭に統括パワー全開でしたね。笑い有り、涙あり、厳しいツッコミありとすばらしい会でした。 ・おつまみ対決、どれも外れがなくて、さすが青年ってかんじでした。
改善してほしいところ
・うまくて冷えた日本酒（そんなに高くなくていい）の一升瓶が2～3本あったらよかったかな。 ・我儘で申し訳ないですが、会場到着が早すぎたので、ゼロ次会の店も紹介していただけたら尚よかったかなと。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・うまい棒のあんな食べ方、初めて知りました。おどろき。 ・統括の明山さん、もっと早く帰れるはずなのに、方向音痴の僕をわざわざ最寄駅まで送ってくれてありがとうございました。 ・委員長のおかげでサンシャイン池崎を知りました。お疲れ様でした（色々と。） ・田中さんの知らない一面を見ることができました。

■四国

良かったところ
・各地域のいろんなおつまみが堪能できた。 ・金高さんが無事復帰できたこと。 ・広すぎず狭すぎず、ちょうどいいスペースだったと思います。 ・色々楽しかったです。

改善してほしいところ
・おつまみコンテストのPRを各地域でさせて欲しかった(準備していた)。周りは聞いていなかったかもしれないけど。 ・統括本部のおつまみはうまい棒ではちょっと・・・ ・せっかくステージがあったので、各地域ごとのメンバー紹介をして欲しかった。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・途中からノドの調子が悪くなり、途中から声がかすれて思うようにしゃべれなかった。 ・竹ちくわ20本しか用意できなかったので、事前に切るとかしておけばよかった。 ・おつまみコンテスト、優勝できなくて残念でしたが、表彰式を見てホッとした。

■九州

良かったところ
・青年らしく、終始にぎやかな雰囲気。 ・料理や飲み物も十分、時間もちょうど良い ・金さん復帰祝いはサプライズでよかった。後ろのほうで涙ぐんでたのは私（永岩）だけ？ ・田中委員長のパフォーマンス。今だけ（？）使えるネタを思いっきりやったのが良かった。その場で引き継ぐのもアリ！
改善してほしいところ
・おつまみコンテストは、各地域のメンバーから、地域の特色（観光ポイントなど）を踏まえて、ひと言紹介が欲しかった。 ・娘用にくすねた中部の「てづくりどうぶつえん」帰って出したらコースター状になって怖いもので泣かれた。 ・おつまみコンテストが埋没していた。（いつの間にか始まって、アピールは司会から、後ろのほうは聞いていない・・・） ・おつまみテーブルを数箇所設けては。 ・飲み物の種類が少なかった。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・会場選択、設営、進行、携わった統括メンバーの方、お疲れ様でした。お蔭様で楽しい時間が過ごせました。 ・担当の方が本支部交流会の最後の田中委員長のありがたいお話を聞けなかったですね。（リアルに聞くともっといい話）

6/17(土) 21:30～
二次会、三次会、四次会、五次会、。。。。

■北海道

良かったところ
・二次会会場は（アクシデントあったけど）良かったかな ・一次会で、話せなかった方と話せる機会ができたかった ・各地域の皆さんとゆっくり話ができて良かった ・32時半まで田中委員長が楽しんでくれたこと
改善してほしいところ
・一人一品が1,000円未満とかありえない ・だとすると会費の設定が高い ・泣け！田中委員長！ ・三次会が二つに分かれてしまった（当初の案内と異なるお店だったから？）
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・準備等、お疲れ様でした ・三次会の最後の方で寝てしまったことが、残念でならなかった（自分に対して） ・二次会の会場について、階段の無い雑居ビルは、なんとなく落ち着かない（場所柄、仕方ないとは思いつつも・・・）

■東北

良かったところ
・二次会参加者が多く盛り上がった。
改善してほしいところ
・焼肉ダミーはちょっと。。。。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・二次会が不可抗力の理由で若干微妙な空気となってしまったのが残念（泥酔客、店員の宮西さんへの粗相等）

■北陸

良かったところ
・みなさん、遅くまでお付き合い頂きましてありがとうございました。 ・二次会でハプニングがありましたが、それも思い出の一つかなと。宮西さんの対応はさすが、技術士のカガミ。めっちゃめちゃ良かった。 ・お店のチョイスが良かった。 ・今回はホテルで少し睡眠が取れた（2年前はホテルにたどり着かず）。 ・1次会で交流できなかった人とも交流できたこと。
改善してほしいところ
・自らの改善点として、最後までお付き合いできませんでした。更に、次の日に疲れが・・・ ・朝まで飲むという最近の伝統に、たぶんついて行けないので、改善してもらわなくても良いのですが、個人的な気持ちをお伝えしておきます。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・統括の皆さんは、テクノの準備は大丈夫？と思いましたが、タフガイばかりですね。 ・色んなアクシデントも良い思い出ですね！準備&片付け&見ず知らずの人の世話？など、色々とお疲れ様でした！

■中部

良かったところ
・これも毎年のことですが。。。みなさんすごいです。。。大したものだ！ ・白井さんの行きつけのスナックで楽しく時間を過ごせました。 ・どこまで行くんだらうというワクワク感がありますね。三次会で焼肉って聞いた時には本とか！って思いましたが。 ・各地域にパフォーマーがいてそれぞれ何かやってくれるのが良かったです。
改善してほしいところ
・特になし
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・二次会以降は、いつも通りでよいのではないのでしょうか。 ・私自身は、二次会の最初の段で余計な乱入者の対応をしていたので、あまり楽しめませんでしたが。。。その分三次会以降で楽しめました。 ・白井さんご推薦のお店「桐」。楽しかったですよ〜。

・楽しいお店に連れて行って頂き有難うございました。

■近畿

良かったところ
・ 二次会まで楽しめました。三次会以降は体力が持たず、早退させて頂きました。 ・くつろげる店（だったはず）だったこと。1次会立食のあとの2次会はやっぱり座敷がいいですね！ ・諸田さんが付き合ってくれたこと・・・ありがとうございました。
改善してほしいところ
・ 三次会は参加してないですが、焼き肉よりは、寿司とかラーメンとかの方が無難では？ ・雑居ビルの8階は上すぎる・・・技術士としてのリスク対策の観点から、イザというとき、階段でスムーズに避難できる場所がいいかも、と思いました。あのビルに関して、というわけではなく雑居ビルは消防法上どうなの？という管理状態のところも多いですね。 ・焼肉のために、2次会までの間、肉を避け、胃袋のスペース確保にいそしんでいたのは私だけ・・・？ 超少数意見だと思いますが、焼き肉、行きたかったです！
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・出だしいろいろありましたが、逆にテンションが一度リセットできたような気がします。

■中国

良かったところ
・32時半の大記録達成、おめでとうございます！うらやましすぎ！ ・二次会までの参加でしたが、楽しかったです。 ・朝ホルモンの後、平気な顔でざるそばを平らげる中村さんを見て勝てねえ・・・と思いました。 ・新委員長とお話しできて良かったです。
改善してほしいところ
・特になし
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・「改善してほしいところ」と迷ったのですが、気が付いたら宿舎まで帰れる終電を逃してしまい、結局行けるところまで行って、終点からタクシーを利用しました。 ・そういう性質の会である、という認識を持ってなかったので、次回からは心して臨みます。それにしても皆さんタフですね・・・。

■四国

良かったところ
・焼きうどんがおいしかった(二次会) ・とりあえずほっとした(三次会 寿司屋) ・途中からメンバーが合流した時はエンドレスかと思いましたが、次の日を気にする人がいて程よい時間(3時過ぎ)で切り上げることができた(四次会 白井さん行きつけのお店) ・参加していません(五次会)
改善してほしいところ
・もう一品ぐらい頼みたかった(二次会) ・何か食べたっけ？(三次会 寿司屋) ・白井さんが途中行方不明(三次会～四次会) ・特にありません(四次会 白井さん行きつけのお店) ・参加していません(五次会)
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・白井さんお勤めのお店良かったです。また行きたいけどなかなか行けない。 ・二次会では色々と混乱があったみたいですが、奥の方に座っていたので状況が分かりませんでした。誰か教えて下さい。

■九州

良かったところ
・途中はぐれた白井さんと合流できたこと。 ・32時半という新記録（？）達成。 ・しょっぱな、全身（宮西さん）半身（永岩）ずぶぬれになりながらも、その後、気にならず歓談できたこと。
改善してほしいところ
・二次会の乾杯がテーブルごとにズレたこと。 ・田中さんに渡す寄せ書きが封筒とは。（あのような形で渡すのであれば、せめて色紙にしては。）だから泣けなかった？

その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも

- ・飲んだ朝方の焼肉（ホルモン）、結構アリですね。ご飯茶碗片手に焼けた肉を取り合ったりして。
- ・白井さんお気に入りのお店、また行きたい。
- ・九州メンバー（2人）は、ここまででした。テクノ＆BBQも参加したかった。

6/18(土) 10:00～12:00
テクノツーリズム(紙の博物館)

■北海道

良かったところ
・内容等、とても面白かったし、良かったと思います ・専門以外の技術に触れることが出来た ・見学のガイドさんの説明が面白かった ・紙すき体験も良かった ・王子の歴史を知ることができた
改善してほしいところ
・集合時間、もう少し遅くしてもいいかもね（黒井リーダーが一番きつそうでしたし（笑）） ・一般の観覧者が少なかったため、なんとなっていたが、少し邪魔になっていたかも
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・準備等、大変お疲れ様でした ・皆さん、酔っ払いに寛容で（慣れてて）すばらしい（笑） ・伊藤さんたちが何事も無かったように采配されていたのが印象的でした（笑） ・BBQ会場までの道のり、大きい荷物を持っている方たちは、ちょっと大変そうでした

■東北

良かったところ
・説明が面白かった。 ・紙漉きも面白かった。（子供とやりたいと思いました。）
改善してほしいところ
・説明が面白くて時間が足らなかった。（説明員の方も不満気でした。）
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・白井さんは前日飲み過ぎ！（ご苦労様です）

■北陸

良かったところ
・ガイドの方の説明が、丁寧で面白かったです。 ・色々な紙の活躍の場面を知ることが出来ました。興味深く見學しました。 ・紙の奥深さを知れたこと。自宅で分別する際の、紙の仕分けに関する意識が大きく変わりました。 ・宮西さん（と女性の方。ごめんなさい、名前を聞かなかったのが、カッコよかった（技術士なんだと実感））。 ・王子駅に初めて降りたこと。 ・説明の方が一生懸命だったこと。 ・紙漉き体験のはがきを子供が喜んでくれたこと。
改善してほしいところ
・ガイドの方の説明が、面白いけど、やや長かった。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・前日の疲れも見せずに参加されていたメンバーの皆さん、お疲れ様でした。 ・すみません。最初は、心の片隅で紙の博物館？と疑問でした。すごく、奥深いですね。日々研鑽、日々反省です。

■中部

良かったところ
・紙の博物館はもとより、あのような場所に製紙工場があったこと自体、今回のテクノで知ることができました。 ・紙すき体験は、私自身初めての経験ということもあり、楽しい機会でありました。 ・紙の博物館は、ガイドの方の丁寧な説明があり、紙や王子について知らないことを知る良い機会となりました。 ・体調良ければ、参加したかった！
改善してほしいところ
・特になし ・紙の博物館のガイドによる見學をもう少し長い時間あれば更に有意義な時間が過ごせたと思います。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも

・田中委員長の代となり、「統括のテクノはショボイ！」ということをきっかけに改善した成果が実ったものだと思います。

■近畿

良かったところ

- ・製紙は専門外でしたので、非常に勉強になりました。
- ・自分で作った葉書をお土産に持ち帰ることができて良かったです。イベント後のこういう気の利いた手土産は良いですね。
- ・案内して下さった皆さんが、すごいろんなことを知っておられて予想以上に、広く深く解説いただいたこと。
- ・白井さん撃沈を想定していたかのような伊藤さんほかの対応力。あれは想定リスク範囲内だったのか・・・？

改善してほしいところ

- ・傍らで会話を聞いていましたが、青年メンバーと博物館側との間で意思疎通の齟齬があったように見えました。事前に、詳細な条件を合意していた方が良かったかもしれません。

その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも

- ・良いCPDになりました。紙資源を大事にしようと考えさせられました。

■中国

良かったところ

- ・紙すき体験、とても楽しかったです。白井さん、ナイスチョイス！さっそく嫁さんに送ったところ、昨日手紙が届いて喜んでました。
- ・おっちゃん達の話が非常に面白かった。
- ・最後の挨拶の部分が若干グダリましたが、全体的にはいい会だと思いました。
- ・紙すき体験。簡単に紙ができて驚きました。子供達への理科教室に使えるかも。。。

改善してほしいところ

- ・会場内をゆっくり見学できる時間があればなお良かったです。

その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも

- ・遅刻してごめんなさい&鈴木さん、待たせてしまったすみませんでした。でも、おしゃべりとっても楽しかったです。（反省してねえ〜）
- ・32時半の大記録達成のために魂を削った中村さんの、燃え尽きた、白くてカサカサの顔がウケました！（テクノと関係ないけど）
- ・今回はテクノに遅刻しないことだけを胸に参加したのですが。。大変申し訳ありませんでした。

■四国

良かったところ

- ・焼きうどんがおいしかった(二次会)
- ・とりあえずほっとした(三次会 寿司屋)
- ・途中からメンバーが合流した時はエンドレスかと思いましたが、次の日を気にする人がいて程よい時間(3時過ぎ)で切り上げることができた(四次会 白井さん行きつけのお店)
- ・参加していません(五次会)

改善してほしいところ

- ・もう一品ぐらい頼みたかった(二次会)
- ・何か食べたっけ？(三次会 寿司屋)
- ・白井さんが途中行方不明(三次会～四次会)
- ・特にありません(四次会 白井さん行きつけのお店)
- ・参加していません(五次会)

その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも

- ・白井さんお勤めのお店良かったです。また行きたいけどなかなか行けない。
- ・二次会では色々と混乱があったみたいですが、奥の方に座っていたので状況が分かりませんでした。誰か教えて下さい。

■九州

不参加

6/18(日) 12:30～15:00

BBQ

■北海道

良かったところ
・ いや、いい店だったと思います！ ・ 場所、お店の雰囲気、食べ物、どれもバッチリでした
改善してほしいところ
・ 統括と地域の皆さん、もう少し混ざり合ったほうが（？）良かったかも ・ でも、それはそれで、しっかりと交流（懇親）を深めているかんじで良かったかも
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・ 準備等お疲れ様でした。入念な下見（味見？）の後がうかがえて、よかったと思います！ ・ 黒井さん、復活するのが早いね（笑） ・ 統括の皆さんが焼き係などホスト役に徹してくれたおかげで、ゆっくりと楽しませていただきました。ありがとうございます！ ・ 今回で退任される皆さま、本当にお疲れさまでした。また全国大会などで会いましょう！

■東北

良かったところ
・ 料理が美味しかった。
改善してほしいところ
・ BBQならやっぱり屋外が良い。（結果的には雨が降ったので室内で良かったと思います。） ・ 席があると固定して座ってしまうので、やはり立食が良い？ ・ 前日にかなり飲み歩いた翌日の肉は、体にキツイ（あまり食べられませんでした。）
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・ 統括の皆様、ご多忙中のなか準備等、大変ご苦勞様でした。 ・ 両日ともに交流を深め、自己研鑽を図ることも出来ました。有難うございました！

■北陸

良かったところ
・ BBQおいしかったです。 ・ ゆるく楽しめたこと。
改善してほしいところ
・ 自らの改善点になりますが、前日の疲労により奥の席からあまり動きませんでした。すみません。 ・ 特に、思いつかないですね。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・ 統括の皆さん、ありがとうございました。2日間、楽しい、充実した時間を過ごすことが出来ました。この「熱」を北陸に注入するべく努力いたします。 ・ BBQは楽しかったんですが、焼く人は大変そうでした。ありがとうございました。今後も無理のない内容で企画してください。

■中部

良かったところ
・ 屋内でのBBQということで、天候に左右されず楽しめました。このような屋内会場もいいですね。また、お肉もおいしかったです。 ・ このBBQ会場で、結構多くの方との交流をすることができました。（自分で焼くことがなかったのも。。） ・ BBQは、屋根のあるお店で雨に濡れなくて良かったです。また、お店で調理をして頂けたので交流の時間を多く取ることが出来て良かったです。 ・ 体調良ければ、参加したかった！
改善してほしいところ
・ 特になし
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・ BBQ担当の方、Good Job！（￣ー￣）bゲッ!

■近畿

良かったところ
・ 期待以上に、料理が美味しかったです。会話ははずみました。

・お店は完ぺきでした！立地、店員の方のご対応、焼きあがるまでの料理の量と質・・・。
改善してほしいところ
・見学先から近かったものの、アップダウンのあるハイキングコースで、キャリーケースの人が少しつらそうでした。 あらかじめアナウンスがあれば、コインロッカーに入れて見学会に来るなりの対応が取れてたかも、と思います。 お店の荷物置きスペースも小さかったですね。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・途中で離脱してしまい恐縮です。大変お世話になりました。誠にありがとうございました。 ・これで卒業される２期目の統括の皆さんが「最後のホスト役」をかみしめるかのように丁寧に肉を焼く作業をされているのを見て、じ〜んと来てました。

■中国

良かったところ
・肉がおいしかった！ ・諸田さんの就任挨拶！おだやかで、どっしりとしていて、包容力があり、すばらしいですね。 ・立食とチェアー、両方準備しているところがにこいです。雨天にも対応したナイスチョイス！ ・今期引退メンバーの退任挨拶。伊藤組長、長いお勤め、大変ご苦労様でございました！ ・テクノの会場と、駅から近かったのはよかったと思います。 ・駅からのアクセス良かったです。 ・駅に近い雨も気にならないパーベキュー、料理も質・量ともに良くばっちりの店チョイスでした。
改善してほしいところ
・特になし
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・お互いにシンパシーを感じたらしく、いつの間にか仲良くなっていたYe Hanと立山さんのマンマーブラザーズ結成がナイスでした。（顔が似すぎ！） ・統括本部の皆さん、２日間に渡る心からのおもてなし、本当にありがとうございました！&お疲れ様でした！ ・特に焼き専門で頑張っていたらっしゃったメンバーの方々、お疲れ様でした。 ・統括の皆さん、最後までしっかりとしたおもてなし本当にありがとうございました。濃い〜二日間でした。 ・この６月までが任期の委員の皆様、お疲れ様でした。 ・田中委員長、お疲れ様でした。今回は最後と言うこともあり、気合い入ってましたね！ ・統括チームの皆さんがまとまっているのが感じられ、良い雰囲気でご過ごすことが出来ました。

■四国

良かったところ
・料理がおいしかった。 ・天気が気にならなくて良かった。 ・駅から近かったので、帰りの時間を計算し易かった。
改善してほしいところ
・人数のわりにはコンロが少なかった。 ・人口密度が高かった。 ・統括と地域本部で分かれる傾向があった。
その他、想うこと、コメント、メンバーへの労いなど何でも
・統括メンバー全員とは交流できなかったかもしれませんが、思い出深い２年間でした。次の２年間は統括全員との交流を深めたい。 ・退任される皆様、２年間お疲れさまでした。 ・次の統括本部の皆様、地域本部の皆様、これから２年間よろしくお願いします。

■九州

不参加

行事名	8月例会:Dreams Project 平成29年度 夏休み子供理科教室
日時	2017年7月29日(土) 13:30-16:30
場所	日本技術士会 AB 会議室
講師、発表者	鈴木副委員長
担当者: (○印:リーダー)	○熊原委員、諸田委員長、鈴木副委員長、白井副委員長、山本委員、中川委員、道家委員、太田(望)委員、木原委員、下野委員、北元前委員、清水委員補佐、滝口委員補佐
参加者数	参加者:29名(うち児童17名、保護者12名)、スタッフ:14名(うち委員・委員補佐10名、協力者4名)

1. 背景・目的

我が国が目指している科学技術創造立国とは裏腹に子供達の理科離れが進んでいる。この現状を打破すべく、子供達に工作実験を通じて科学の面白さを伝えることを主目的とした。またこれを機に、近隣の小学校、参加された児童、およびその保護者に対して、技術士の知名度向上を図った。今年度も昨年度に引き続き、家庭でも再現できる内容で実施した。また、昨年・一昨年は、電池やモーターといった電気系の内容で開催したが、今年は少し趣向を変えて機械系の内容で実施した。

2. 例会内容

はじめに、熊原委員より注意事項について説明を行った。また、開催にあたり、白井副委員長より青年技術士交流委員会を代表して挨拶を行った。

2. 1. 技術士の紹介(13:35~13:50): 熊原委員

技術士の知名度アップを図る目的で、「技術者について」をクイズ形式で説明を行った。子供たちの活発な発言もあり、良いアイスブレイクになった。また、今年は昨年度の反省を踏まえて、各テーブルでスタッフの簡単な自己紹介の時間を設けた。

2. 2. テーマ①「道具と機械の仕組みを知ろう」(13:50~14:20): 鈴木副委員長

最初に、「道具と機械の仕組みを知ろう」をテーマに講義および実験を行った。「機械ってなんだろう?」という問いかけから、身近なうちわと扇風機を題材に、道具と機械の違いを説明した。続いて、「機械が動く「からくり」の仕組みをみんなで探していこう!」ということで、実際に時計を参加者に分解してもらい、中に入っている部品「ギヤ」のはたらきを一緒に考えた。最後に鈴木副委員長が実際に設計に携わったカメラにも多数のギヤが使われていることを説明し、機械はギヤのような簡単な部品が集まってできていることを説明した。事前準備で時計のアラームが鳴らないよう調整しておいたが、1名のアラームが鳴ったのをきっかけに、アラームをわざと鳴らして何故アラームが鳴るのかを自分なりに一生懸命実験している子供達の様子が印象的だった。

2. 3. テーマ②「ペーパークラフトで作ってみよう」(14:30~16:00): 鈴木副委員長

二つ目の実験では、「ペーパークラフトで作ってみよう」をテーマに講義および実験を行った。本テーマでは、機械の運動には、「回転運動」と「直線運動」があるという簡単な説明を最初に行い、ペーパークラフトで簡単な機構(カム)を作ってどんな動きをするかを考えてもらった。ペーパークラフトには「からくりの素 ペーパークラフトブック」のキットを教材として使用した。工作の難易度が少し高めだったのと低学年の参加児童が予想に反して多かったので、時間内に工作が完了するか心配があったが、スタッフの尽力により、全員が時間内に製作して動作を確認することができた。また、工作が完成した児童から油性ペンやシールなどで工作を各自アレンジしてもらうことで、低学年から高学年の児童間での工作時間の差をうまく調整できた。工作後に回転運動を直線運動に変えるカム機構の説明を行い、身近な車のエンジンにも使われていることを説明した。

3. 成果と所感

前回・前々回と同様、講師の講義と説明の工夫、理科工作実験キットのみで理科教室を企画・実施した。参加者の事後アンケートでは、保護者全員の90%以上が5段階評価の「5. とても良かった」との回答で満足度は高かった。また、保護者全員から「ア)次回もぜひ参加したい」、「イ)機会があれば参加したい」との回答を得た。さらに、児童全員の90%以上が5段階評価の「5. すごくおもしろかつ

た」または「4. おもしろかった」との回答で全体的に満足度は高かった。

また、今回の理科教室は4名の協力者(技術士会会員・非会員)に協力頂いた。理科教室の開催を通して協力者と交流できたことも成果の一つである。

4. 今後の展開

青年技術士交流委員会主催の理科教室は、今回で4回目を迎えた。今回の理科教室は、テーマをペーパークラフトにしたということもあり、昨年よりもさらに安価に実施できた。一方で、参加者の評価も例年同様に高い水準で維持できている。参加者の事後アンケートでも、「今後もぜひ続けてください」「来年の教室に期待している」との感想もあり、これまでの経験の蓄積を活かして、今後も継続的に理科教室を実施できるものと思われる。

今回も参加者から参加費を徴収し、保険費・教材費等に充当したが、保護者アンケートでは、全員から参加費は妥当、もしくは安い・とても安いとの回答をいただいております。参加者の満足度は高かった。参加費、理科教室の内容・コスト、参加者の満足度のバランスについては、今後も検討していくべき課題である。

次回以降も、年1回もしくは年複数回行うものとして、理科教室を開催していきたい。

5. 実施状況



開催挨拶



技術士の紹介



子供たちの発言の様子



鈴木副委員長による講義



「①道具と機械の仕組みを知ろう」の実習(時計の分解)



休憩時間中の展示物紹介



「②ペーパークラフトで作ってみよう」の実習(工作)



「②ペーパークラフトで作ってみよう」の実習(動作確認)



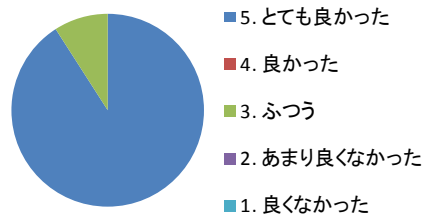
理科教室の全景



集合写真

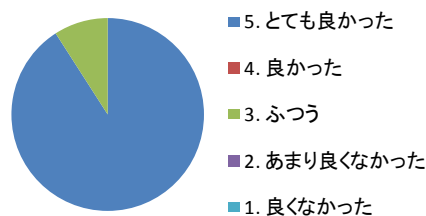
Q1. 今回の理科教室は全体的にどのように感じましたか。

満足度	人数	割合 (%)
5. とても良かった	10	90.9
4. 良かった	0	0.0
3. ふつう	1	9.1
2. あまり良くなかった	0	0.0
1. 良くなかった	0	0.0
合計	11	100.0



Q2-1. スタッフの対応はいかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
5. とても良かった	10	90.9
4. 良かった	0	0.0
3. ふつう	1	9.1
2. あまり良くなかった	0	0.0
1. 良くなかった	0	0.0
合計	11	100.0

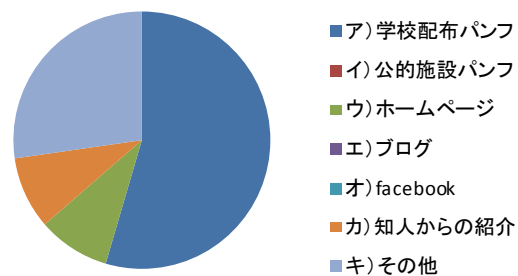


Q2-2. Q2-1で1または2とお答えの方、具体的に良くなかった点をお聞かせ下さい。

(「5.とても良かった」と答えた方から)
・楽しそうでした。ボランティアは楽しいですね。

Q3. この教室を知ったきっかけを教えてください。(複数回答あり)

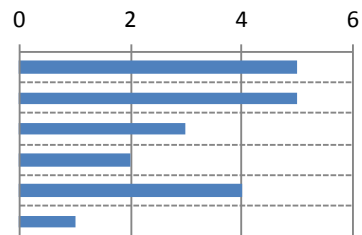
きっかけ	人数	割合 (%)
ア) 学校配布パンフ	6	54.5
イ) 公的施設パンフ	0	0.0
ウ) ホームページ	1	9.1
エ) ブログ	0	0.0
オ) facebook	0	0.0
カ) 知人からの紹介	1	9.1
キ) その他	3	27.3
合計	11	100.0



- ・麻布小学校 2名、王子第二小学校 2名、泰明小学校 1名、無記入 1名
※学校配布パンフをみて参加された保護者数の内訳です。
- ・その他は、3名すべて「一昨年参加してご案内いただいた」などE-mailの案内です。

Q4. なぜこの理科教室に参加したいと思いましたか。(複数回答可)

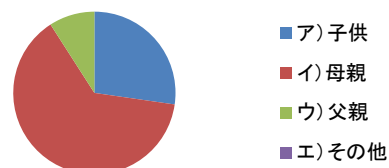
目的	回答数
ア) 子供が興味を示していたから	5
イ) 子供に理科を好きになってもらいたいから	5
ウ) 子供に勉強させたいから	3
エ) 将来、子供に研究者や技術者になってもらいたいから	2
オ) テーマが面白そうだから	4
カ) その他	1



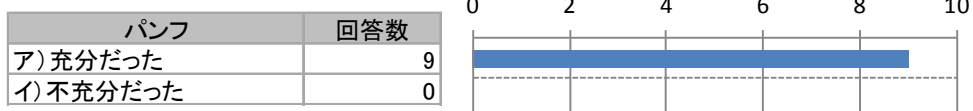
- ・手を動かして考える機会を与えたかったので。

Q5. はじめに参加をしようと思ったのは誰ですか。

	人数	割合 (%)
ア) 子供	3	27.3
イ) 母親	7	63.6
ウ) 父親	1	9.1
エ) その他	0	0.0
合計	11	100.0

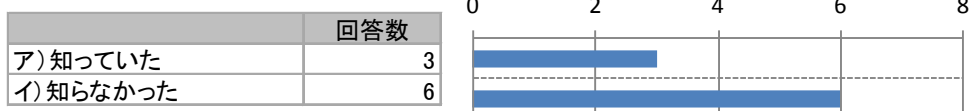


Q6. パンフレットには安心して申し込むための必要な情報は記載されていましたか。

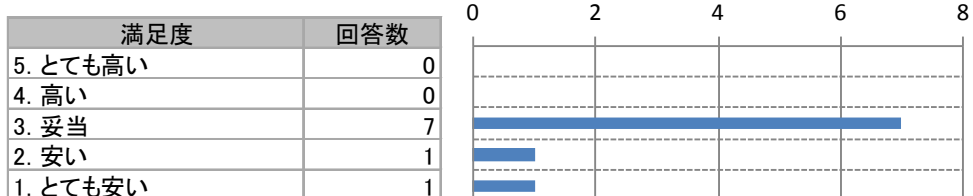


↓ 記載してほしい情報

Q7. 「技術士」という資格を以前から知っていましたか。



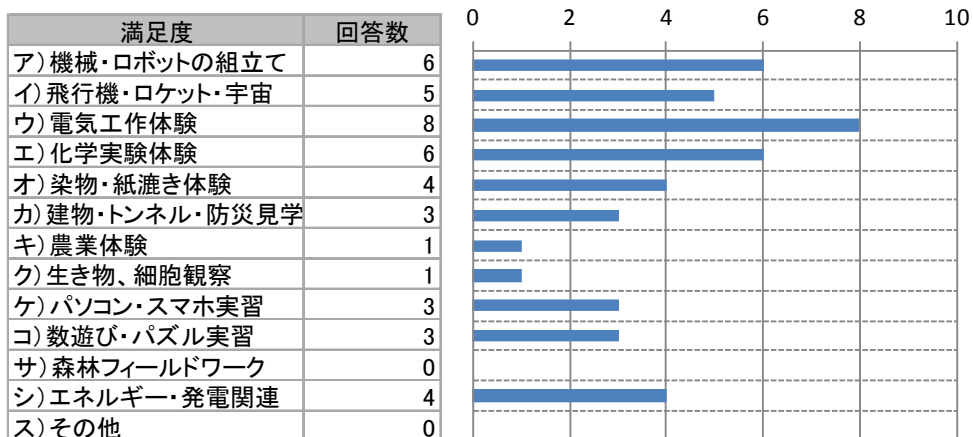
Q8-1. 参加費について教えてください。



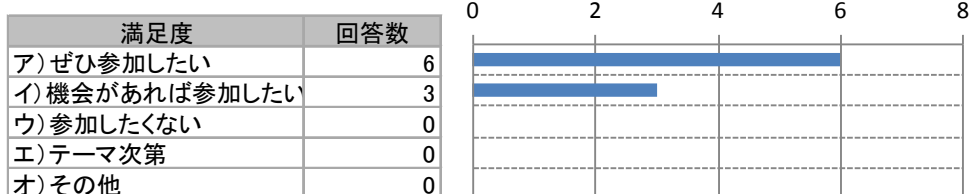
Q8-2. Q8-1で3以外とお答えの方、妥当な参加費はいくら位だと思いますか。

- ・1,000円 1名
- ・無記入 1名

Q9. 今後、どのような内容の理科教室を希望されますか。(複数回答可)



Q10. 今後も技術士会が主催する理科教室に参加したいですか。



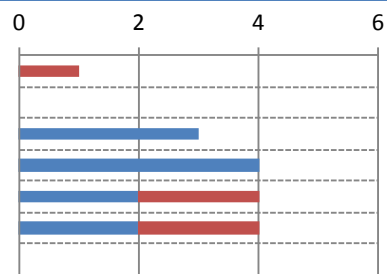
Q11. この教室へのご意見、ご感想をご自由にお書きください。

- ・子供の現在の理解力や工作力を知ることができてよかった。
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・また参加したいと思いました。
- ・夏休み期間に、丁寧に子供の興味の持てそうな内容について教えて下さってとても有益です。今後もぜひ続けてください。
- ・とても分かりやすい説明で、子どもたちも楽しく取り組めたと思います。またぜひ参加させていただきたいと思います。
- ・子供が理科・工作に興味を示しやすい内容で、今年も参加できてとても良かったです。
- ・2年連続の参加となりますが、非常に楽しく学びながら作ることができました。来年の教室にも期待しております。本当にありがとうございました。
- ・とても優しく教えてくださり、楽しく過ごせました。ありがとうございます。

裏全面白紙 2名

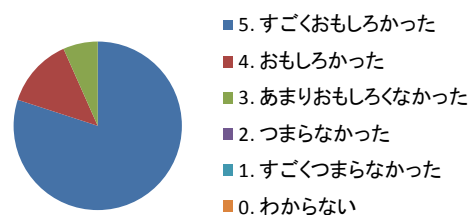
Q1. あなたの学年と性別を教えてください。

参加者	男の子	女の子
6年生	0	1
5年生	0	0
4年生	3	0
3年生	4	0
2年生	2	2
1年生	2	2
年長	0	0



Q2-1. 今日の教室は、おもしろかったですか？

満足度	回答数	割合 (%)
5. すごくおもしろかった	12	80.0
4. おもしろかった	2	13.3
3. あまりおもしろくなかった	1	6.7
2. つまらなかった	0	0.0
1. すごくつまらなかった	0	0.0
0. わからない	0	0.0
合計	15	100.0

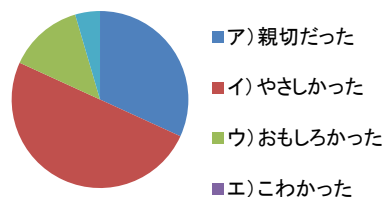


Q2-2. こんなところがおもしろかった、つまらなかった、あれば教えてください。

- ・カムAをつくるところがおもしろかった(ペーパークラフト)
- ・うしろにいろいろなきかいがあった。またきたいと思う
- ・時計の中をみたりどういところでつかわれているのかを考えること
- ・しくみがわかったところ
- ・できあがって遊んだら楽しかった
- ・とけいをぶんかいしちゃったけれどくみてていったらもとにもどせました
- ・ペーパークラフトをまわしたこと
- ・つくるのがおもしろかった
- ・こうさくのつくるところがおもしろかった
- ・カメラがおもしろかった
- ・かむがまわっておもしろかったです
- ・つくりおわったときまわしたところがおもしろかった
- ・しいるをはるところ

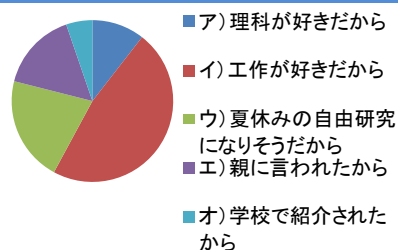
Q3. スタッフのお兄さん、お姉さんはどうでしたか？(複数回答あり)

印象	人数	割合
ア) 親切だった	7	31.8
イ) やさしかった	11	50.0
ウ) おもしろかった	3	13.6
エ) こわかった	0	0.0
オ) その他 → 「ふつうだった」	1	4.5
合計	22	100.0



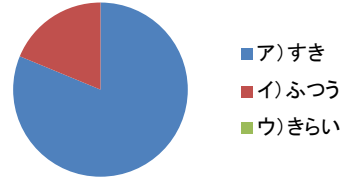
Q4. どうしてこの教室に参加しようと思いましたか？(複数回答あり)

目的	人数	割合
ア) 理科が好きだから	2	10.5
イ) 工作が好きだから	9	47.4
ウ) 夏休みの自由研究になりそうだから	4	21.1
エ) 親に言われたから	3	15.8
オ) 学校で紹介されたから	1	5.3
合計	19	100.0



Q5. 理科や科学は好きですか？

	人数	割合
ア)好き	13	59.1
イ)ふつう	3	13.6
ウ)きらい	0	0.0
合計	16	72.7



理由があればおしえてください。

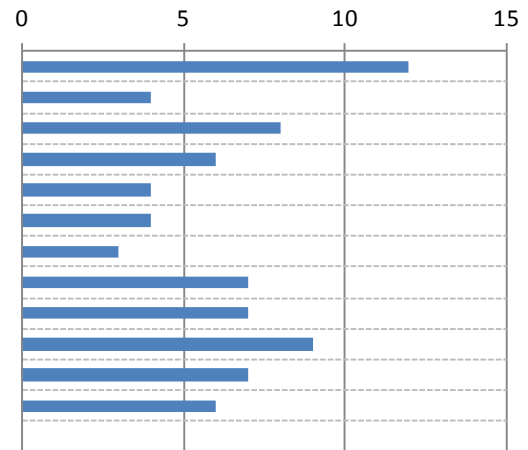
【好き】

・実験がたのしいから、・いろいろな実験ができるから、・どういうふうにつくればいいのかなど考えるのが楽しいから、・作りおわってから遊ぶのが楽しい、・わからない、・なぜかといういろんなことがわかるから、・おもしろいものができるから

●平成29年度 夏休み理科教室 ～ペーパークラフトから道具と機械のしくみを学ぼう！～ お子様用(裏面)

Q6. 今、興味があることや、これから知りたいことを教えてください。(複数回答あり)

部門	人数
ア)ロボットの組立て	12
イ)飛行機、ロケット、宇宙についての勉強	4
ウ)電池や豆電球を使った実験、ラジオの組立て	8
エ)薬品を使った実験	6
オ)染物、紙すき体験	4
カ)大きな建物やトンネルの工事現場の見学	4
キ)野菜や果物の育て方	3
ク)生き物とのふれ合い、顕微鏡を使った細胞の観察など	7
ケ)パソコンやスマホを使った勉強	7
コ)数遊び、パズル	9
サ)森林の中での虫観察や植物観察	7
シ)太陽光発電などの自然エネルギーの発電所の見学	6
ス)その他	0



Q7. 意見や感想、将来の夢など自由に書いてね。

- ・くみたてはかせ
- ・れっしゃのうんでんし
- ・なつやすみにびったりでした
- ・いぬのじゅういさん、ロボットハカセになりたいです
- ・わたしのしょうらいのゆめはどうぶつをたすけるじゅういさんです
- ・すこしめんどうだったけど楽しかった
- ・ない
- ・もっといきものにさわってみたい
- ・こん虫がく者
- ・時計の中みを見てどうやってうごいているかを見るのが一番楽しかった
- ・とてもたのしい理科の工作ができてとてもうれしいです。理科はとても好きで工作も好きなのでまたきたいです。
- ・たのしかった
- ・とてもいいねいに教えてくれてうれしかったです

以上

平成 29 年 7 月度 Dreams 内部アンケート

1. 良かった点

鈴木	・とにかくにもやりきったこと。 ・「分解」と「工作」という二つの異なる作業を取り入れることで、内容の幅が広がったと思います。 ・前もって分解、工作を行ったことや当日の午前中にプレゼンの内容を伝えることで、メンバーの波長を合わせることができた。（と思っています） ・いろいろ気を回す必要がある外部むけのイベントでありましたが、経験値のある山本さん、みほしさんのサポートが効きました。 ・サポートの方たちが各テーブルの参加者を引っ張っていたこと わたしが前で話すことしか出来ない中、サポートのみなさんがどれだけフォローしてくださるかが肝だと思っていました。（他力本願ですが・・・）ふらふら見ていましたが、とてもとても素晴らしく進めてくださっていました。 ・神田さんのラスト一週間の手引きは大変だったと思うのですが、ありがとうございました。
熊原	・鈴木さんの「参加者の方にはできるだけ完成度の高いものを提供したい」というこだわり素晴らしかったです。 ・「時計の分解」の資料や JIS では「ギヤ」と言うなど、自分自身の勉強にもなりました。 ・昨年・一昨年の電気系のテーマとはまた違った機械系の新テーマに挑戦できたのは良かったです。 ・昨年リーダーの山本さん、みほしさんをはじめ、経験者の手厚いサポート大変助かりました。 ・急な体調不良や忙しいときなど、柔軟にみんなでサポートし合えたのは良かったです。 ・開催まで 1 か月をきってからのラストスパートは、みんなからいろいろな提案が出てきて活気があって良かったです。 ・展示物やシール、学習の手引きなど、時間がない中みんなで直前に準備しましたが、総じて良かったと思います。 特に学習の手引きは時間がないなか仕上げてくださった神田さんに脱帽です。 ・当日、開始前(13:00～13:30)から展示物に多くの子供が集まっており盛況でした。
清水	・とにかく、楽しめた！ お子様達だけでなく、自分も楽しむことができました。 ・展示物 理科教室が始まる前から、みんな興味津々で“これ、こういう仕組みでしょ～”など、活発な発言が聞けて機械に対する興味を感じることができました。 ・鈴木さんの説明 一番最初の“こんにちは～”の段階で皆の心を掴んだ感じがありました。発言の促し方やそこからの切り返しは大変勉強になりました。 ・中川さん、山本さんのお子様への距離感 写真を撮っていて凄く良い絵になりました！
沢井	*①事前練習* 前の週に実際のもの（時計・カム）に触っておけたので、当日の迷いが少なかったです。 時間も計っていたので当日のペース配分がわかりやすかったです（それでも 1 年生の子が全員時間内に完成できたことには驚きましたが。。。) *②展示コーナー*

	実際に触れることもあり、子供に大人気でした。ただこちらから説明するだけでなく、子供が自分から「これは〇〇だよ」「これってこうなってるんでしょ？」と考えを話してくれたので非常に有意義だったと思います！ *③プレゼン* こちらも一方的な説明ではなく、子供への問いかけがたくさん散りばめられていてよかったです！問いかけが多いので子供が退屈せずに最後まで聞けたんじゃないかな？と思います。 *④配布物* 実験ノート+ギヤBのお土産は親御さん中心にとっても喜ばれていました！特に、実験ノートを配ったことで、あの場限りの「体験」で終わらない理科教室になったことは、なかなか他の理科教室にない点だと思います。
木原	・準備中の熊原さん、みほしさんを中心としたフォローがうれしかったです。 ・鈴木さんプレゼン、神田さん資料、事前準備… 総じてスタッフ全員の「子どもたちのために良いものにしたい」気持ちが常に表面化している素晴らしい取り組みだったと感じました。 ・展示、シールコーナーが盛況だった⇒とても重要だったと実感しました。 ・電話をかければ色々言われることもありますが、結果的にビラを配って告知してくださった学校側の対応にとっても感謝しています
中川	・鈴木さんのプレゼン、とてもよかったです。 子ども目線で分かりやすい言葉で問いかけつつも、とても堂々とされていて技術士として頼もしかったです。 ・主導してくださった熊原さん、山本さん、みほしさんのリーダーシップ、そして皆のチームワーク、最高でした。 スタッフの声がよく出ていて活気があったのが好印象だったと思います。
森田	・鈴木さんのプレゼンが上手で、子供を引き付け、理解が進んでいた プレゼン中の通路を確保するために開始前に机を移動させていたのが印象的でした。 ・時計やペーパーラフトを机に出すタイミングが的確で、子供がプレゼンに集中できた。 ・工作の準備が十分で、ケガなくスムーズに進行できた。 折り筋があることにより低学年でも簡単に組み立てができたと思います。 ・低学年の机でも予定時間内に工作が完了した。 (熊原さん、鈴木さんのフォローが助かりました。) ・工作が完成した子供が飽きないような工夫(シールやペン)が機能していた。 ・持ち帰れるものが多かったこと(お得感) 分解した時計をお持ち帰りくださいとお伝えしたら、保護者の方は「もらえるの？」と得したという反応でした。 ・テーマの選択が技術士が開催する理科教室として適切だった。 「学んだことを踏まえて、自分で製作する」ということが技術士的で良かったと思います。
神田	保護者用のお土産資料は、仕事を増やしてしまっていて迷惑かも。と思っていたのですが、そうでもなかったなので、ほっとしました。
富田	○スタッフのみなさんが本当に楽しみながら、生き活きと活動していたこと。 もちろん、私も楽しかったです!!! ○子供たちの発想の柔軟性に驚きました。

	私の班の子供は、カムを反対に取り付けてしまったため、回転方向が反対になってしまいました。ところが、自分で考えて、ハンドル部分の矢印を逆回転に直していたのには驚きました。 （うまく、失敗をリカバーしていた） ○メール案内による「リピーター」がいたこと。 「前年の内容が面白かったので、今年もまた申し込んだ」との話を聞きました。 学校側の対応が読めないので、メールでの案内は有効だと思います。 ○鈴木さんの説明、わかりやすかったです。 子供さんにも反応が良く、「わかった！」と言っていました。 難しい仕組みを簡単に説明するって、大変なことですね。 ○保護者向けの解説資料が良かったです。 あの短い期間で、素晴らしいものを完成してくださった、神田さんには脱帽です。 当日の様子を思い出して、親が説明を加えながら、 もう一つの教材（ギヤ）を組み立てることができると思います。 （親子のコミュニケーションツールとしても良いのではないのでしょうか？） ○スーパーバイザーがいてくださって、良かったです。 準備段階でのスーパーバイザー（太田さんの娘さん）のご意見、良かったです。 子供さんが興味を示してくれるかどうか、直感的に理解できるかどうかなど、事前に反応がわかったことで、安心できました。
下野	・展示スペースが盛況だった。 ・事前の準備が行き届いていたので滞りなく進んだ。 ・カメラに興味を持ってくれた子がいた。 ・時計分解は自分にとっても勉強になって楽しめた。
太田	○当日、スタッフが楽しんでいたこと。 ○たくさんのスタッフが集まったこと。Dreams は人手がかかるイベントなので。 ○ケガなく終えたこと。 ○山本さんの過去の振り返りの展開によって、応急手当セットの準備、スタッフの紹介といった、改善が図れたこと。 ○私が体調不良のときに、山本さんに参加受付をフォローしていただいたこと。ありがとうございました m(_ _)m ○鈴木さんのプレゼン、分かりやすく、こどもを巻き込んで一緒に考えていく姿がカッコ良かったです！ ○いろいろと物申してしまいましたが、1 週間という超短期間で学習の手引きを仕上げていただいた神田さんに感謝です m(_ _)m ○神田さんの提案で今回導入した学習の手引き、今後も続けていきたいですね。おうちに帰ってこどもともう一回実験するとき、これがあると心強いですね。 ○学習の手引き、ギヤ B をお土産として配ったことが、お客様からすると『これももらえるの！？』というお得感があって良かったですね。 ○展示物ゾーンが盛り上がったこと。 ○実験内容を事前にスタッフがやってみることで、当日のサポートがスムーズにいったこと。 ○熊原さんがほぼすべてのメールにリアクションして、全体把握をしていたこと。事前準備や当日、現場を仕切って動かしていたこと。主担当、大変でしたね。お疲れさまでした！ ○滝口さんがカムやギヤに関する分かりやすい解説、自由研究のネタを独自に調べて、整理してい

	たこと。
諸田	・熊原さん、山本さん、太田さんの準備、進捗・作業管理、フォローがきちんとまわっていた。 ・鈴木さんのプレゼン資料が対象となる小学生に向けて、分かりやすく丁寧であった。 ・保護者向けに解説資料を用意する案はとても良いことでしたので、来年度以降も継続していただければと思います。 ・Dreams がチーム一丸となって役割分担と、お互いのフォローをする姿を見て、素直に「素晴らしい！」と感動しました。
白井	・熊原さん、山本さん、太田さんの的確な準備と進行で成功に導いていただきました。 ・鈴木さんの考え抜いた説明は、機械の勉強になっただけでなく、聞き手の視点に合わせたプレゼンのお手本を見させていただきました。 ・清水さんのカメラマンがお子様に大人気でしたね！ これも鈴木さんの説明で、お子様たちがカメラを本日のテーマの機械として認識できていたからですね。 ・準備ブログの案作成から、ペーパークラフトのデザイナーに直接お会いしてきたお話、そして保護者向け解説資料を作成いただいたお話、神田さんのバイタリティには本当に頭が下がります。 ・お忙しい中、委員でないスタッフとして多数のご参加をいただいたことは本当にありがたいことと感謝しています。 ・お子様たちが行儀よく、しかも活気があって、とても雰囲気が良かったこと。

2. 改善したい点

鈴木	・テーマを決めるときは、それを理科教室で行う背景や、意義まで考えたい。 ・全体的に日程が押してしまったこと。 ・直前まで、プレゼンの準備が終わらなかったこと。 もっと早く具体的な方向性を決めて、メンバーに伝える必要があったかと・・・ ・プレゼンでは伝えようとしていたことが、いくつか飛んでしまいました・・・ ・ブログ掲載など、自分が担当だったところができず、みなさんに迷惑をかけてしまったこと ・スタッフは委員以外の初対面の方も参加してくださっていたので、顔合わせの何かはやったほうが良かったですね。
熊原	・最初思ったよりテーマ募集で案が出てこなかったもので、常日頃から情報収集してみんなで共有できるとよいかもしれません。 ・テーマ決めはもう少し早めにやるべきでした。 4月や6月は青年の大きなイベントがあり集まってもDreamsのための時間がとれませんでした。また委員交代の影響もありました。 ・途中から参加してくださった新メンバのみなさんへのケアが手が回らず不十分でした。 なかなかメンバ全員で集まらないので、新メンバの受け入れと進め方に課題があります。 ・昨年・一昨年と実績のある小学校への電話連絡は確実であった反面、新たな小学校の開拓にはならなかったもので新たな小学校をもっと加えるべきでした。
清水	・途中から天気が悪くなり、室内の光量が減っていたことに気付かず、写真が少し暗くなってしまったこと。一応、今回は加工して対応しました。次の撮影までに腕を上げておきます。
沢井	*①メモ用紙*

	当日にメモ用として A4 の紙を配布しましたが、1 年生の子供などは何を書いていいかわからないようでした。最低限の情報は持ち帰れるよう、穴埋め形式のワークシートみたいなものにしてもいいかもしれません。 *②顔合わせ* 祝賀会から興味をもって参加した方ですと、どうしても途中からの参加になるので最初に顔合わせと簡単な説明があれば活動に参加しやすかったかなと思います（自分が言うのもなんですが。。。）。
木原	・まずは、昨年までのレビューから始める ⇒「実は昨年の振り返りにあった」点が、結構後から出てきた印象です。 開始直後からすべてを把握するのは困難ですが、レビュー内容を事前に共有して思い出しておくのは大事かと感じました。 ・何人か書かれていますように、茸出ビルの分かりにくさです。 ビラには「茸出」、実物のエントランスは「FUK I D E」 ⇒ビラにルビを振ったほうが良いと感じました。 ・スタッフの余裕や流動性をもたせる ⇒森田さんの書かれたように、競争意識の芽生えもありました。 担当の机がお子さん 4 人でしたが、苦勞するお子さんにスタッフがしばらく張り付く場面もありました→ほかのお子さまフォロー不足に熊原さんや鈴木さんのフォローがありましたが、お二人への負担が大きくなってしまったと反省しています。 スタッフ確保は困難ですが、全体を俯瞰してみられるスタッフの配置ができればベストと感じました。 ・持ちかえり用の袋の準備 ⇒「手ぶらで帰りたい」と話すお子さんがいらっしゃいました。 さすがに手ぶらはできないかと思いますが、作成物を入れる袋も準備してあげられたらと思いました。
中川	・当日スタッフの自己紹介、グループ毎でなく、全体にむけて一言ずつ喋ったらよかったかもしれません。 他グループの保護者 2 人から、あなたは何やってるんですか？と聞かれました。 ・鈴木さん、前・後ともプレゼン担当で負荷が大きかったのでは、と思います。 どちらか鈴木さんに監修役に回ってもらい、実務は分担する方がよかったですね。
森田	・3 組の方が欠席者されたこと 2・3 日前にリマインダメールを流すなどの対応により改善できないでしょうか？ ・「茸手ビル」がわかりにくい ビラに地図だけでなくビルの外観写真も必要だと思います。 ・同じ学校は同一班ではない方がよいかも 私の担当した班では同じ学校の同級生が同一班となり、工作の進捗が遅い子のお母さんが競争意識を燃やされていました。
神田	特になし
富田	○最初の顔合わせで「自己紹介」の場があると良かったです。 私は初参加だったため、みなさんの顔と名前がなかなか一致しませんでした。

	来年以降も、初参加のかたが戸惑わないよう、最初のうちに自己紹介、名刺交換ができると良いです。 ○会場の「茸手ビル」の読み方がわかりませんでした。 ビルにはローマ字表記しかなかったため、会場が合っているのかどうか自信ありませんでした。 ビラ、ホームページ等にビル名のフリガナを振っておいた方が良いと思います。 (私も最初は迷ってしまいました・・・) →結果的には、会場前での呼び込み(案内・誘導)のおかげで、混乱はなかったです。 ○ドタキャンがあったこと 子供相手なので、急な体調不良とか別の予定はある程度、致し方ないのですが、定員オーバーで断っている一方で、参加者が減ってしまうのは残念でした。 数名程度は多めに受け付けても良いと思いました。 ○子供たちのプレゼンテーションの場があれば良いと思います。 →自分が作ったものをみんなに披露して、「工夫したところ」「失敗したところ」を一言でも話してもらおうと思います。 その後、スタッフがコメントする(=褒めてあげる)ことで、自分の意見を言う訓練+自信につながると思います。 ○私自身、今年は様子見でした・・・ 初めての参加のため、雰囲気がわからず、あまりご協力できませんでした。 次の機会にはもっとアイデアを出していきたいと思います。
下野	・事前に「あまり手出しをしないよう」お願いを受けた親子がペーパークラフトの完成後に制作物を独自に評価したり、改善方法のやりとりをしていました。完成後に少し時間を設けて同じように親子やサポータと振り返りをする時間があっても良かったと思います。つくりっぱなしにしないところが、単なる工作と我々の理科教室との相違のゆえんかもしれません。 ・キャンセルが20人中3人で割合としては15%でかなり高いと思います。不可抗力のキャンセルの場合は、通常どの程度の割合があるか統計をとって、少し多めに受け付けるなど対策ができるような気がします。もし全員が来ても少し狭くなる程度でしょうか。
太田	○キックオフのときにスタッフの顔合わせと飲み会をやりたいです。メールベースの議論が中心になるので、事前にどんな人たちの集まりなのか分かっておいたほうが良いです。今回もメールの発信者が限られていたように思います。 ○展示物ゾーンに置くものは、破壊される恐れがあることを展開しておく必要がありましたね。キャタピラのおもちゃ(神田さんのやつですかね?)、だいじょうぶでしたか? ○申込みフォームで、保護者とお子様の住所が同じ場合は同上でいいですよ、のような案内を入れたいです。実は、保護者とお子様で住所が違う(明らかな入力ミス)ということがありました。 あと、保険の関係で、保護者は当日くる方の名前を入れてもらえるように誘導したいです。(書いてありましたっけ?) ○保険手続きの関係でキャンセル待ちはやらないことをパンフとブログに明記したいです。 ○ドタキャン対策のひとつとして、準備ブログをアップしたら、参加者へメールで案内すると良いかもですね。
諸田	特になし。

白井	・個人的には、時計の分解、、、練習させてもらったのに当日わたしも壊しちゃいました。手先の不器用さを改善したいです。お子様も時計を壊して中を見る経験ができたという点では、良しととらえています(笑) ・当日のドタキャン欠席分がありました。やむを得ないことではありますが、チャンスロスであることも事実なので、どういう対策ができるか考えたいところです。 ・やや風邪気味のままだに前でお話してしまったことに悔いが残ります。
----	--

3. その他

鈴木	・今回のテーマは、普段接しない人にとっては、理解するのが難しいと感じていましたが、ただ分解したり、作ったりするのではなく、さわりでも技術的なことをつたえようと考えていたため、子供達はもちろんですが、親御さんに向けても、使う言葉、文言に悩みました。 ・学年によって理解度が変わってしまうので、テーマを考えるときは、注意が必要かなと思います。 ・熊原さん、主担当大変だったと思いますが、大変おつかれさまでした。 ・今回は4回目なんですね。私は昨年のお手伝いから2回目ですが、今までの内容をまとめてもいいのかもしれないですね。
熊原	・事前準備でみんな夢中になっていたのも、大人の理科教室としても開催可能な気がしました。 ・打ち上げで来年の理科教室をどうするかみんなと話せたのは良かったです。また来年が楽しみです。
清水	・カメラが大人気だったのは良かったです。チビッ子カメラマンズには少し大きかったかもしれませんが、それでも、頑張って写真を撮る姿からは執念のようなものを感じました。そして、工業製品に興味を持ってもらったのは凄く嬉しかったです。
沢井	今回初めて参加させていただきましたが、みなさまに温かく迎え入れていただきすごく楽しかったです！！ありがとうございました！
木原	・不運なことに会社の大トラブルとバッティングしたことにより、事前準備への参加ができませんでした。 - 次回からはみなさまにご迷惑おかけしないよう、そういった事態も想定した準備を自分自身、心がけていきたいと思います。 ・私個人は仕事柄で食品科学、趣味の範囲で生物系がやりたいです。
中川	・懇親会で、さっそく「さあ次は何やろう！」という話になり楽しかったです。
森田	・私自身、機構を勉強することが出来て良かったです。
神田	ペーパークラフトの坂さんとしやべって思ったことです。 坂さんは、グラフィックデザイナーなので、技術的な観点で、うそを言っていないか、心配だといって、監修の方をとても頼りにしていた様子でした。 デザイナーとコラボした技術士監修の夏休みの宿題セットのようなものは作れたらいいのにと。 過去4回の夏の実験をまとめてもいいでしょう。 (たったの?)17名の子供のためだけに終わらせてはなにかもったいないような感じがするのです。
富田	また、なにかありましたら、ぜひ声をかけてください。
下野	・打ち上げで少し話題になりましたが、善ちゃんのサイエンスショートとのコラボも以前話題に上がっていました。 - 善ちゃんがサイエンスで我々がテクノロジーとすれば、棲み分けができたコラボも可能かと感じました。

太田	○今回のことがなければ、一生、クォーツ時計の仕組みを知ることはなかったでしょう(笑) ○うちの娘の自由研究に使わせてもらいました(^_^) ○人手がかかるイベントなので、スタッフ確保が課題ですね。委員、委員補佐だけで 15 人規模はなかなか集まらないので。 ○私は第二回 Dreans から参加して、これで 3 回目です。 初めて Dreans に参加したとき、当時のリーダーの『学校の先生ではできない、技術士だからできる理科教室にしたい!』という想いに共感しました。以降、私は今回までその想いを引き継いでやってきました。 日常生活で活かされている技術に関する実験ネタを推したり、プレゼン内容にその技術を活かしていることを盛り込むように言ったりするのも、そういう背景があるのです。 この想いを引き継いでもらえるかどうかは、8 月に決まるであろう、次の Dreans 幹事に委ねます。今回までは、あーだこーだ言い過ぎたので、次回以降は、会計兼当日サポーターとして、ひっそりと見守ることにします。 ○受付フォーム、Dreans メール送信、レク保険加入などのノウハウを伝承していく必要があります。 ○理科教室とは少し離れますが、みなさんの専門分野に関する自由研究ネタを持ち寄ったら、面白い本ができそうですね!
諸田	・テーマは違えど毎年行っているイベントですので、今後新たに委員・委員補佐になる方のために「これを見れば誰でも Dreans の作業ができる」という手順書と いうか、ワークフロー（チェックシート）のような資料を作ると良いと思います。 ・各小学校へのアポ取り電話は、小学校によって受け止め方に温度差があるので、教育委員会に事前申入れをすることも検討できればと思います。 ・アメリカから Skype で参加してみたかったのですが、こちらは金曜日で仕事でしたので参加できませんでした。（あらかじめ Skype で参加しないと決めておいて良かったです）
白井	・ペーパークラフトは実際に工作すると大人も夢中になる題材で良かったなあと振り替えています。 ・自分で見本作成したときに予想以上に時間かかったことを思い返し、一つ一つの工程をシッカリ仕上げてモノをつくるという今回の工作体験が、お子様の将来の物事への取り組み方に生きることを願っています!

行事名	9 月例会:中部本部建設 WG 合同見学会「横須賀・猿島と戦艦三笠見学会」
日時	2017 年 9 月 16 日(土) 13:00-17:00
場所	横須賀・猿島、戦艦三笠記念館
講師	猿島公園専門ガイド協会 喜多村氏、田村氏
担当者: (○印:リーダー)	○田角委員、臼井委員
参加者数	参加者:23名(うち統括本部18名、中部本部5名)

1. 背景・目的

中部本部建設 WG との合同企画として見学会を行った。中部本部建設 WG は、ダム等建設関連の施設見学会を国内・海外共に行い活発に活動している組織である。今回は前中部本部青年委員会副委員長であり建設 WG 前幹事の小島氏よりご提案をいただき、中部本部からの参加者と共に横須賀市の猿島・戦艦三笠記念館を見学した。

横須賀は製鉄所の建造や久里浜へのペリー来航等によりその後造船、さらに軍港へと発展した都市であり、明治～昭和期の近代技術が結集され、さらに首都防衛の拠点として数多くの軍事施設が造られた。現在でもアメリカ海軍第七艦隊、海上自衛隊、陸上自衛隊の基地がおかれ、軍港都市として重要な機能を果たしている。本見学会では、近代技術遺産としての猿島要塞、戦艦三笠を見学し、ガイドツアー等を通じて施設の詳細や歴史的背景について学んだ。

2. 例会内容

2. 1. 9 月度運営委員会(10:00～11:45):

例会内容ではないが、横須賀で見学会を実施するにあたって、9 月度運営委員会を当日午前中に横須賀市内で実施することとし、会場を検討、確保した。予備も含め横須賀市内、都内と数件候補を挙げたが、第一希望の公共施設である「ヴェルクよこすか(横須賀市立勤労福祉会館)」を安価に借りることができた。会場の予約にあたっては臼井委員が予約開始日当日に電話予約を行い、横須賀まで足を運ぶことで実現することができた。

2. 2. 無人島猿島・史跡見学(13:00～15:45):

猿島は、横須賀港沖にある無人島で、明治期から東京湾要塞の一施設として要塞建設が行われ、戦前まで民間人の立ち入りが禁止されていた。現在は横須賀市管理の下、史跡として一般公開されている。

猿島の見学会にあたっては、中部本部の小島前副委員長より提案があり、猿島公園専門ガイド協会が実施している、団体向けガイドツアーにガイドを依頼した。当日は 2 班につきガイド 1 名がついて猿島島内を一周見学した。ガイドツアーでは、弾薬庫等通常入れない施設の内部も見学することができ、壁の弾痕や引き込み線の跡、トイレ跡等、一般見学では気付かない遺構の説明や各施設の建設年代、ブロック積の様式、トンネルの工法等建設分野の視点からも興味深い説明を聴くことができ、参加した委員からも好評であった。

2. 3. 戦艦三笠記念館見学(16:00～17:00):

猿島ガイドツアー終了後は、三笠公園内にある戦艦三笠記念館を見学した。

戦艦三笠は、日本に唯一現存する戦艦であり、世界三大記念艦の一つとされている。日露戦争の際日本海海戦を勝利に導き、海軍総大将東郷平八郎や作戦参謀の秋山真之らが乗艦した。司馬遼太郎の代表作「坂の上の雲」にも描かれている。

見学は、事前の団体予約により、映写室にて係の方から戦艦三笠記念館概要説明と、三笠紹介ビデオを 30 分ほど視聴し、艦内の自由見学を行った。記念館公式 HP では、団体見学の目安として概要説明+ビデオ 30 分、艦内見学 30 分とされていたが、艦内が非常に広く、見学に時間がかかったこと、VR 日本海海戦など視聴できる新しい施設があり、視聴した委員も多かったこと、懇親会の予定時間を繰り下げてもらったことから見学後の集合時間を早めに設定したことなどから、全体に見学時間に余裕がなかったことが反省点である。

2. 4. 懇親会(17:30～19:30):

懇親会は、運営委員会時のアンケートや中部本部へのヒアリングにより、横須賀らしい「アメリカな雰囲気を感じられる店」として、どぶ板通りの「どぶ板食堂 Perry」で行った。

臼井委員が再び横須賀まで赴き、店長と交渉の結果、「横須賀三大グルメ」のうち「横須賀ネイビーバーガー」「チェリーチーズケーキ」をメニューに入れたコースで飲み放題付 4,000 円と破格の値段で店舗貸切でご提供いただいた。

お皿とテーブルの数が合わないなど、マイナートラブルもあったが、通路が広く席も比較的移動しやすく、好評であった。Perry 店長氏にはこの場を借りて感謝を申し上げます。

また、事前の小島前副委員長の取り計らいにより、同日所用で東京に来ていた北海道本部委員 2 名と合流して二次会も行われ、統括本部、中部本部、北海道本部の 3 本部で親交を深めることが出来た。

3. 成果と所感

中部本部の方は、日頃からよく見学会を行っていること、関東在住の我々が気付かない視点により、非常に興味深いテーマの見学会をご提案いただいた。中部本部メンバーは午前中に「横須賀軍港めぐり」ツアーにも参加し、さらに横須賀について理解を深めたとのことである。

準備にあたっては、栃木在住の臼井委員がはるばる横須賀まで 2 度も足を運び、運営委員会会場予約、運営委員会の会場から三笠公園までのルート、昼食場所の確認、懇親会会場の予約と交渉など委員就任後初の担当として非常に大きな活躍を下された。

反省点としては、しおり作成について準備不足により内容が薄かったこと、高橋委員補佐に執筆依頼をしたものの内容を活かせなかったこと、配布が当日となり情報共有として遅かったことと、など、しおり作成につき準備不十分であったことである。また、猿島ツアーの開始時刻がガイド協会の都合により1時間遅れたが、それにつけても所用時間の見込が甘く、戦艦三笠記念館の見学時間が不十分となったことである。

4. 今後の展開

今回は中部本部と初の合同企画として例会を実施した。

他の地域本部とは、拡大委員会・全国大会時に集合する他、フットサル愛好会メンバーは特に北陸本部・中部本部と年数回合同で練習会やテクノ等実施しているが、それ以外は特に交流の機会が設けられていない。

中部本部は統括本部と隣接する地域本部であり、アクセスも名古屋～東京間が新幹線で約 2 時間と比較的行き来しやすい。

中部本部は本部活動の他、今回合同企画を行った建設 WG、環境 WG、製造 WG と委員による自主活動には長い活動履歴があり、活発に活動しており内容も濃いものとなっている。

中部本部からはぜひ今後も継続して合同企画を行っていきたいというお申し入れをいただいております。合同企画を実施することにより、中部本部委員との交流の促進のみならず、中部本部の活動ぶりから多くを学ぶことが出来ると考えている。

通常の月例の例会は、1 年の活動予定を事前に決めてしまうため、今後は自主企画として双方の都合のよい時期に自由に設定し継続していくのがよいと思われる。

5. 実施状況



猿島フェリー乗船



猿島フェリー乗船



猿島ガイドツアー



猿島ガイドツアー



集合写真(猿島)



集合写真(猿島)



戦艦三笠記念館



三笠紹介ビデオ視聴



戦艦三笠艦内見学



懇親会(どぶ板食堂 Perry)

外部アンケートとりまとめ（中部本部、統括 OB 中村さん、松田さん）

<猿島・戦艦三笠見学会>

	よかった点	改善点	その他
松田	ガイド案内は数倍も猿島のことを知ることが出来ました。		・手配、取りまとめありがとうございました！
中村	・ガイド付きだったこと。おかげで普通には入れないところを見ることができたし、丁寧な解説で理解が深まった。 ・2班に分けたこと。回った人数が少なくなったため、ガイドさんの解説も聞きやすかった。	・三笠はもう少し見学時間があってもよかったかもしれません。	・天気が良かったらもっと良かったですね。
木村	・ガイドに説明いただき、単独だと見学できない場所が見れたこと、理解が深まったこと。2グループもちょうどよかったと思います。	三笠だけでもう1～2時間いけます。 時間があればなお良かったですね、あれが精一杯ですね。	・御手配ありがとうございました！
伊勢野	・猿島と三笠でのガイド説明が良かったです。個人見学では無理ですね。	・戦艦三笠はもうちょっとゆっくり見たかった。これはタイムスケジュール的に難しいですね。	・本部の方の段取りが良く、楽しい見学会でした。

<懇親会>

	よかった点	改善点	その他
松田	・メニューが横須賀らしくてよかった	・（席が分かれる）お店のレイアウト	・美味しかったです！
中村	・店のチョイス。横須賀っぽくて良かった。 ・貸し切りだったので、結構好き勝手に回ることができた。		
木村	・店の雰囲気・内容とも良く、中部以外の方々とも和やかに交流できたこと。		・御手配ありがとうございました！
伊勢野	・アメリカナイズされた店での懇親会は、なかなか機会がありませんので、良かったです。締めがハンバーガーというもののレアでした。	・どうしても名古屋は名古屋で固まってしまうがちなので、はじめの席をくじで決めたりするといいいかなと思います。	・こちらも本部の方の段取りが良く、楽しい懇親会でした。

内部アンケートとりまとめ

＜猿島・戦艦三笠見学会＞

よかった点

白井	・中部本部のみなさまと交流ができたこと。 ・猿島をガイド付きで見学できたこと。良く準備されていて良い見学会でした。 ・午前中の運営委員会も近くの場所を用意されていて、動線に配慮されていて良かったです。下見もされて、しおりまで作成されていて、準備期間が短かったにも関わらず完成度の高いテクノだったとおもいます。
萩尾	・待ち時間が少なく、見学時間もちょうど良かったです。時間配分がうまかったと思います。 ・猿島は弾薬庫など通常では入れないところを見ることができて感激しました。 説明がないとよくわからないので、ガイド付きで良かったです。 ・無人島に上陸、というだけでわくわくしました。 ・雨でしたが、森のおかげで傘をささずにすみしました。雨の猿島もいい雰囲気でした。 ・戦艦三笠の説明 DVD が意外とわかりやすく、勉強になりました。
滝口	・ガイドさんの説明で勉強になることが多く、終始興味をもって参加できました。 ・ガイドさん付きの特典（弾薬庫の見学など）があり良かったです。 ・田角さんのパンフが綺麗に且つ移動場所の地図も含めてコンパクトにまとめられ、とても使い易かったです。 ・中部の方と交流できたことも、今後の活動の幅の広がりにつながって良かったと思います。 ・内部向けにしたことで、1期目の委員の皆さんと打ち解ける機会にもなったと思います。
太田	・ガイド付きでなければ入れない場所に入れたこと。 ・ガイドさんの解説もわかりやすく、楽しめました。 ・当日、「雨かあ、、、」と正直思っていたましたが、雰囲気が出ていて良かったです。
赤木	・ガイド付なので、歴史的背景を含め、よく理解できた。 ・猿島では、レンガ積みなど建築的な要素も教えていただいた。 ・しおりのおかげで、待合わせ場所、懇親会場がすぐに分かりました。 ・中部本部と懇親できた。 ・近くに運営委員会の場所を確保していただき、移動が楽だった。昼の時間もちょうど良かったです。
高橋	・ガイド付きツアーで通常は入れないところを見学できた。（専門家のガイドがいるといいですね。個人ではなかなか参加できないことが多いので） ・天候はあいにく雨でしたが、その分猿島は空いていたので、見学しやすかったです。 ・チケットの購入もまとめてやっていただいたので楽でした。 ・記念艦三笠の説明 DVD が非常にわかりやすく良かった。

瀧川	・ガイド付きであったこと。それぞれの施設の説明、道案内、時間配分等々、プロの方にお任せできて安心感がありました。 ・個人では入れない施設に入れたこと。
小塚(俊)	・ガイド付きツアーで個人見学では見られない遺構を見学できたこと。 ・雨のおかげで猿島が混雑しておらず、動きやすかったこと。また、帰りの船も事前に並ばずに乗れたこと。(ガイドさん曰く、普段は出港の30分前には並ばねばならないとのことでした。) ・全国大会で日本丸の見学時間が短かったことの反省を踏まえて(?)、 ・戦艦三笠の見学は時間にゆとりが確保されていたこと。 ・しおりのシンプルさ。 ・要点の押さえ方が上手だったように思います。 ・歩きながら読めて、見学直前に猿島と戦艦三笠についての予習を行うにはもってこいでした。
鈴木(利)	・運営委員会を近くで行ったために、時間のロスが少なくできたと思います。 ・特に猿島ではガイドがついたことで、より深く理解することができました。説明がなければ、気にせず通り過ぎてしまっていたところもあったと思います。 ・普段、入ることができないところに入れていただいたことも良かったです。 ・しおりのボリュームが合間に目を通すにはちょうど良い感じでした。
清水	・ガイドさんが居てくれたので質問がしやすく良かったです。 ・野外での活動は新鮮で良かったです。
竹内	・猿島ではガイドさんがいたことで、普段見ることができないところも見学できたこと！ ・手作りパンフレットを同報メールでお送りいただいたので、電車での移動時にスマホで見ることができたこと。 ・戦艦三笠の紹介ビデオ上映が、我々の到着に合わせて開始していただけたこと。(おかげではじめから最後まで見ることができました。内容も秀逸でしたね！) ・坂の上の雲を読み、いつか見に行こうと思っていたのですが、おかげさまで実現できました。三笠の中の展示物が、思った以上にハイテクで驚きました。
後藤	・ガイド付きの見学会でとても良かったです。時間もあっという間に ・過ぎ、とても濃厚で充実した時間を過ごせました。

改善点

白井	・ 雨を心配していましたが、むしろ雰囲気が出て大丈夫でしたね！
萩尾	・ 完成度の高いしおりだったのですが、配った後にちゃんと読んだ人が少なかったのではないのでしょうか。渡し方に工夫が必要だと思います。他にすることのない待ち時間に渡すと、読んでもらいやすいかもしれません。
滝口	
太田	
赤木	・ 三笠の展示物をもう少し見たかったです。
高橋	・ 記念艦三笠の見学時間が短かった。はとばすツアーと被ったので仕方ないですね)
瀧川	
小塚(俊)	
鈴木(利)	・ 三笠の時間がもう少しあればと思いますが、時間の制約は仕方ないですね。
清水	
竹内	
後藤	

その他

白井	・三笠は以前、坂ノ上の雲を読んだ影響で見に行ったことがありましたが、1人で見るのとは違った視点で見ることができて良かったです。 ・雨の猿島は確かに田角さんのいうとおり要塞感タップリでしたね。弾薬庫内のゲジゲジとカマドウマ。アイツらがあまり動かなくて良かった(笑) ・しかし、あのモルタルで塗り固めた発電所が現役で稼働中とは驚きました。明治28年竣工とあったので、122年前の蒸気機関ですよ！？軍の設備となると、一般の建物より強固な造りなんではしょうか。 ・猿島ガイドさんの解説、砲兵はB29の高度に届かないのを分かって打っていたという話。砲兵なんだから飛距離や軌跡は予測でも計算しますよね。これは印象に残りました。
萩尾	・今回は全くお手伝いをせず、ただただ楽しませて頂きました！田角さん、白井さん、ありがとうございました。 ・カメラ担当の竹内さん、清水さんは重い荷物を持ちながらの撮影をありがとうございました！
滝口	・運営委員会の開催場所が綺麗で使い易く良かったです。
太田	・お昼に横須賀っぽいものを食べておけば良かったです。
赤木	・個人的に予習しておけばもっと楽しめたかと反省。
高橋	しおりの作成をお手伝いできずにすみませんでした。 ※「走水神社」は日本武尊と弟橘媛命を祀ってますのでググってみてください。 横須賀に住んでましたが、猿島初上陸、三笠発乗艦と楽しめました。
瀧川	・生憎の雨でしたが、とても楽しかったです。田角さん、白井さん、清水さん、竹内さん、お疲れさまでした！
小塚(俊)	・猿島の中に様々な様式のレンガの積まれ方があることが興味深かったです。(どれがフランスで、イギリスで、オランダなのか思い出せませんが…。) ・防衛省が大学に資金を出して研究委託することの是非が取り上げられ、軍事技術と科学技術との関係についてよく考えねばならない状況になっていると思いますが、猿島の遺構、戦艦三笠を見るに、その技術力に感嘆してしまいました。軍事技術と科学技術の関係…簡単にはあるべき姿は見出せそうにありません。
鈴木(利)	
清水	・私自身としての改善すべきところとして、カメラマンとして雨対策をすべきだったです。傘ではなく、カップにしておけば良かったです。
竹内	
後藤	

<懇親会>

よかった点

白井	・どぶ板食堂ペリーは、横須賀名物のネイビーバーガーも、チーズケーキも食べれて良かったです。
滝口	・アメリカンな雰囲気、貸し切りなので、席の移動もしやすく多くの人と話せて良かったです。 店員さんや、食事良かったです。
太田	・貸し切りだったこと。
赤木	・横須賀らしい会場で、名物を食べる事ができた。 ・貸切だったので、交流しやすかった。
高橋	・地元のネイビーバーガーとチーズケーキが食べれたので良かったです。 ・貸し切りだったので、移動しながら交流できました。
瀧川	・横須賀の雰囲気を楽しめたこと。締めは雑炊などではなく、ハンバーガーなのですね！
小塚(俊)	・「どぶ板通り」とは、すごいネーミングだなと思い、どのようなところなのか心配しておりましたが、 日米が入り混じった繁華街でした。 ・横須賀らしさを感じられて、ここで懇親会を開催したこと自体が良かったと思います。 ・飲み会でハンバーガーを食することになろうとは思いませんでしたが、これが美味しかったこと。
鈴木(利)	・貸し切りだったことで、周囲に気にすることなくコミュニケーションがとれたこと ・横須賀らしいところで代表的な名物を食できたこと
清水	・チーズケーキがおいしかったです。ハンバーガーもおいしかったです。 ・お店の広さに対して人の数に余裕があって良かったです。
竹内	・貸し切りであったため、他のお客さんに気兼ねすることなく盛り上がり、交流を深められたこと。 ・ハンバーガー、チーズケーキとおいしい横浜グルメが楽しめたこと。

改善点

白井	・二次会に行くことだけ考えていて計画を全くしていなかった点は反省です。品川の居酒屋に入れて良かったです。
滝口	
太田	
赤木	・改善しようがないのですが、料理、飲物が取りに行きづらかったです。私がいたテーブルでは臼井さんが動いてくれて助かりました。
高橋	・帰宅時に汐入と横須賀中央に分かれたのでちょっと残念でしたね。結局、品川駅で会いましたが。
瀧川	
小塚(俊)	
鈴木(利)	
清水	
竹内	

その他

白井	・どぶ板通りはベースの人達がたくさんいて、雰囲気は外国でしたね！
滝口	・場所のお陰で、久しぶりに最後まで参加できました。皆さんといつもより沢山お話ができて、とても楽しかったです。 ・個人的に中部の方と（本当は自分も中部なので）、継続して交流をしていきたいと思います。
太田	・田角さん、臼井さん、おつかれさまでした！！
赤木	・臼井さん、初幹事おつかれさまでした！もう次回から大丈夫ですね。 ・田角さん、お忙しい中準備とフォロー、おつかれさまでした！ ・清水さん、竹内さん、雨の中カメラマンありがとうございました！
高橋	・今、ロナルド・レーガンが出かけていたので、ベースの人は少なめだったのではないかと思います。
瀧川	・生憎の雨でしたが、とても楽しかったです。田角さん、臼井さん、清水さん、竹内さん、お疲れさまでした！
小塚(俊)	・部青年との合同例会という、新しい試みでしたが、良いものに仕上げていただき、田角さん、臼井さんのご苦労をお察しいたします。ありがとうございました。 ・竹内さん、清水さん、カメラマンお疲れ様でございました。船上（戦場？）から猿島まで、たくさん撮影いただきありがとうございました。面白い写真がたくさんありそうですね。

鈴木(利)	・青年イベントとしては内部イベントでしたが、OB、OGの方が参加されたことが良かったと思います。しかし、統括とのリンクがぷつつりと切れてしまったため、このような形（中部側から）で参加したと中村さんがおっしゃっていました。卒業されたOB、OGとのつながりも課題かもしれませんね。 ・短期間での中部本部の方とのすり合わせ等の準備、大変だったと思いますが、担当された田角さん、臼井さん大変おつかれさまでした。
清水	・田角さん、臼井さん、お疲れ様でした！とても楽しめました！
竹内	

行事名	10 月例会:自己紹介企画「モロタの窓」
日時	2017 年 10 月 28 日(土) 13:00-17:00
場所	葦手第 2 ビル
講師	-
担当者: (○印:リーダー)	○井口委員、赤木委員、守田委員、後藤委員、滝口委員補佐
参加者数	例会:18名、懇親会:19名

1. 背景・目的

プレゼン能力は技術士として重要な能力であると共に、青年委員会として外部向け例会や、活動の説明・報告でも必須になる。また、今年 7 月より新たな委員が委員会に加わり、委員間の相互理解を深めることも重要である。そこで、各委員の自己紹介プレゼンを通じて委員間の相互理解を深めると共に、各自のプレゼン能力の向上を図ることを目的とし、10 月例会では自己紹介企画を実施した。

2. 例会内容

2.1. 「プレゼンのコツ」説明とフリーディスカッション (13:00～13:30)

「パーフェクトプレゼンテーション(八幡紘史 著)」「あなたのプレゼンに『まくら』はあるか?～落語に学ぶ仕事のヒント～(立川志の春 著)」を参考に、赤木委員による「プレゼンのコツ」の講義を実施した。プレゼンのコツとして紹介された内容は以下①～⑦の通りである。

- ①発表中はスクリーンを見ず、視線を聴衆全体に配る様にすること
- ②発表者の体の向きは、意志決定者と対峙する向きとすること
- ③指し棒の持ち手は、発表者がそれを使用する際に聴衆に背を向けることの無い側の手を選択すること
- ④「えー」の様な無意味な音、頭を掻くなどの無意味な動作は避けること
- ⑤無意識に演台に隠れたり、寄りかかったり、無意味に演台上の物を触るのを避けること
- ⑥聴衆の嗜好を探ったり、本題へのスムーズな導入を図ったりするために、プレゼンでも”まくら”を付けることが効果的
- ⑦上記①～⑥を意識した上で、とにかく入念なりハーサルを行うことが重要

講義後には委員間でプレゼン全般に関するフリーディスカッションを実施した。ディスカッションでは「緊張を防ぐにはどうすればよいか」「発表時間をコントロールする方法」等について質疑があり、参加者それぞれの方法を紹介し共有した。

2.2. 自己紹介 (13:30～17:00)

発表時間:5 分/人、質疑時間:3 分/人の持ち時間で、参加者全員(18 人)のプレゼンを行った。聴衆者は予め配布されたフィードバック用紙に、プレゼン毎に概要、共通・共感した点、良かった点、アドバイス等を記入した。プレゼン終了後に聴衆者からのフィードバック用紙を回収し、発表者に渡すことで、発表者と聴衆者の意志疎通の成果・課題の洗い出しを図った。プレゼンを通じ、委員の人物や考えを把握し、委員間の相互理解を深めることができた。また、ファシリテータ役を務めた守田委員の軽妙かつ時間管理を意識した司会によって、予定時間通りに終了することができた。

2.3. 懇親会 (17:30～20:00)

「串特急 神谷町店」で懇親会を実施した。例会参加者全員に加え、同日に実施していた日韓サッカー交流に参加していた清水委員補佐も成田空港から本懇親会に参加してもらい、大盛況の懇親会となった。懇親会の座席は、滝口委員補佐が予め実施した心理テストの結果によって各テーブルに異なる性格のタイプが混在する配置とし、懇親が深まる様な工夫を行った。時間の都合で例会中に質問しきれなかった内容を本懇親会でも聞くことができ、委員間の相互理解をさらに深めることができた。

3. 成果と所感

今回の例会は、青年委員間の相互理解を深めることと、各自のプレゼン能力の向上を図ることの2つの目的を同時達成することを意図していたが、その両方とも達成できたと考える。参加者のプレゼンからは、各プレゼン資料に記載された内容だけでなく、発表者の人柄が十分に伝わってきた。発表時間5分という制限が、自分のことをシンプルに伝えるということを自然と発表者に意識させていた様に思う。また、他者のプレゼンから自分のプレゼンの課題や改善の参考になる点が発見でき、今回の例会は今後の実務においても大いに役立つものになったと考える。反省点としては、フィードバック用紙の記入内容が多すぎた点が挙げられる。フィードバック用紙に注視してしまうことや、記入完了前に次のプレゼンが開始することもあり、記入方法や記入時間を考慮した内容にするべきであった。

4. 今後の展開

当日の欠席者も含め、各委員の業務内容や技術士資格取得の動機等に関する事前アンケートを実施し、その結果も同日配布した。これによって、欠席した委員に対する情報もある程度把握はできたものの、委員間の相互理解を深める点では対面することが好ましい。時間が許せば、今回欠席された委員の自己紹介の機会を設けられればと考えている。また、プレゼンとそれに対するフィードバックは、その機会が多ければ改善のサイクルが増えると考える。自己紹介に限らず、別テーマでも今回の様なプレゼン企画を定期的の実施することが好ましい。

5. 実施状況



以上

2017 年 10 月例会 内部アンケート

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
白井	懇親会に間に合って参加できたこと。	カギの準備を忘れていました。	屋に参加できませんでしたが、みなさまのスライドみせていただきました。楽しいイベントに参加させていただいて幹事のみなさま、ありがとうございました！
太田	- 各自のプレゼンの前に、プレゼンに関する講義・ディスカッションがあったこと。 - プレゼンに関する講義・ディスカッションの内容が実践的であったこと。 - 各自の個性的なプレゼンを聞いた、評価することで、良い刺激となったこと。 - 司会進行が上手でした。 - 懇親会の席次を心理テストの結果で決めたこと。	特にありません。	- こんなこと話そうといくつか考えていたのですが、話せなかったですね。リハーサル的重要性を再認識しました。 - 今期も個性的なメンバーであることが良くわかりました。これからの委員会活動も楽しみです。
臼井	- 企画の流れがよかったと思います。発表の技術を伝授してもらった後、実際に発表を行ったことで、自分自身の改善すべき点が明確になった気がしました(スライドの方を見すぎる等々)。 - 心理テストで席を決めるといった形式も斬新で面白かったです。 - 赤木さんのプレゼンテーションの知識と技術の講義はかなり勉強になりました。別企画としてプレゼン技術の講座を開いてもらいたいくらいです。 - 守田さんの司会は聞いててすごくおもしろかったです。やっぱり司会の方が発表内容を拾ってくれるのは発表者としてはかなり緊張がほぐれます。	特にありません。	青年委員会の皆様のことを知るとても良い機会となりました。幹事の皆様、ありがとうございました。
守田	- 皆様の人となりが見えてきて、顔と名前が一致してきたこと。 - 自分のイメージが、目的通り皆様にお伝えできたこと。 - 時間内に予定内容が消化できたこと。	【フィードバック時間】 - フィードバック資料への記載時間が足りなかったかなと。 - 項目の削減か、内容のブラッシュアップをすると、良かったかなと思いました。 【ボギャブラリー】 - 何度か単語が出てこなかったり、言葉選びに詰まってしまいました。 - 年齢のせいにせず、気をつけてお魚を食べようかと。 【ハウレンソウ】 - 交流会の集金・支払い担当でしたが、井口さんが対応してくれていたもので、先に退席してしまいました。 - 金銭に関わることなので、キチンと引き継いでおくべきでした。今後は留意いたします。 【発表内容】 - イメージだけでなく、個性として残る内容もお話すべきでした。 - 眼鏡コレクションとか？	ホモ・ルーデンス！！

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
中川	- 皆さんの顔と名前が一致したこと。 - 時間内で収まったこと。	特にありません。	- 準備してくださった皆さん、お疲れさまでした。 - 熊原さん、アメリカでのご活躍を期待しています。
下野	- プレゼンのやり方の説明が要点が多すぎずわかりやすかった。 - 自己紹介のフィードバックで自分を客観的に見れた。 - 他のメンバーと趣味などのつながりがわかって懇親会で話が弾んだ。 - 時間管理がしっかりしていた。	特になし。	準備された方、どうもありがとうございました。
田中	- 皆さんのバックグラウンドや人となりを知れたこと(良い意味で、自分が持っていた印象とは、かなりかけ離れた方が多かったです)。 - 心理テストにより、さらに皆様のタイプを知れたこと。 - フィードバックコメントをいただけたこと。自分のプレゼンに対してご意見をいただくことは初めての経験で、とても勉強になりました。 - 赤木さんがプレゼンの前に、良いプレゼンをするための講義をしてくださったこと。講義のおかげでより良いプレゼンを意識しながらプレゼンすることができました。 - 守田さんの司会進行がユーモアがあり、素敵だったこと。 - 井口さんが丁寧にフィードバック資料を回収してくださったこと。 - 滝口さんのお菓子！絶品でした。	フィードバック資料の記載時間が少し短かったように感じました。選択形式にして、コメントは最後の一コマだけにする等でも良かったかもしれません。	- 例会担当の皆様、本当にありがとうございました。素敵な例会でした。 - これからの委員会活動を通して、皆様とっと仲良くなれば嬉しいです。 - 熊原さん、お身体に気を付けて、アメリカ生活を楽しまれてくださいね！
井口	- メンバーのことをよく知れたこと。 - 交流を深められたこと。	- フィードバックを記載する時間、確かに短かったですね。記入項目を絞ってもよかったかと思いました。 - 写真担当のくせに、発表風景の写真の撮影漏れ多数。普通に皆さんのプレゼンを聞いてしまいました。	今後ともよろしくお願いします。
清水	- 懇親会に間に合ったこと。 - 熊原さんと最後にお会いできたこと。	特になし。	- 途中参加にも関わらず、懇親会に参加できる様に手配をして頂きありがとうございました。 - 熊原さん、今までありがとうございました！Dreamsは突然の参加にも関わらず、ピッタリな仕事を振って頂き、とても楽しめました。アメリカへ行ってもがんばってください。また、日本に寄ったときに時間があれば青年にも顔を出してください。待ってます！
小塚(隆)	- 赤木さんが発表されたプレゼンのコツ、とても勉強になりました。 - 皆さんのことを知ることができ、交流を深められました。 - オーバーすることなく、時間内に終わったこと。 - 自分の発表について、色々なご意見を頂けたこと。	特にありません。	- 準備を担当された皆さま、お疲れ様でした。 - 熊原さん、アメリカに行かれても頑張ってくださいね。 - 大分飲みすぎ、皆さまにご迷惑をおかけしたかと思います。すいません。 - こんな自分ですが、今後ともよろしくお願いします。

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
木原	- みなさんのバックグラウンドを知ることができました - 時間管理が素晴らしかったです - 赤木さんの講義およびご自身の発表姿勢がたいへん参考になりました	なかなかのボリューム(聞く、書く、質問)でしたので、すべてをこなすことに必死になってしまった感があります →発表内容、フィードバックのポイントをより絞ることで質問部分を活性化するのも一つかと思いました	- 毎年新メンバーが増えた際にできると良いと感じました - 加えて、鍵の運用等、私自身もあまり把握していない点があるため、ルール等共有いただけると幸いです。 - ウコンの力不足、失礼しました！次は十分量発注しておきます！ - 熊原さん、自由の国で一層羽ばたいてください！お身体に気をつけて
諸田	- 自己紹介だけでなく、プレゼンのレクチャーがあった。 - その場でプレゼンのフィードバックを書いてもらえた。 - 時間管理がしっかりしていた。 5分という限られた時間で自己紹介するために、皆さんが色々考えながらパワポ作りをしていたことが伝わり、感動しました。 - 単純に楽しかった！参加者の皆さんも楽しそうで良かったです。	- 会議室の鍵は忘れないようにしよう。特に来年からは会議室の扱いが変わるので、予約方法(物品含む)などは事前に確認しておきましょう。 - プレゼンのフィードバックを書くのに気を取られ、プレゼンを一部聞き逃してしまった。(フィードバックを書く時間が短かったため)	- 懇親会がとても楽しかったです！ - 熊原さん、米国出張頑張ってくださいね。3年はあつという間ですので、色々なことに挑戦すると楽しいですよ。ぜひグランドキャニオンに行ってください！(リスは噛まれると狂犬病になる恐れがあるので、可愛くても絶対に触っては駄目です)現地には色々な集まりがあるので、積極的に参加して人脈を作るとさらに楽しいですよ。私は「Meet up」という共通の地域や興味に関するコミュニティを探す無料サービスを使って色々な集まりを見付けて参加しました。(Meet up は日本にもあります)
山本	- 皆さんの人となりを知れたこと。 - フィードバックを頂けたこと。めったにない機会で大変良かったです。 - 赤木さんのプレゼンのレクチャーがあったこと。ポイントを使わないというのは、納得感がありました。	アンケートの回収が大変そうでした。	- フィードバックをあまり書くことが出来ませんでした。すみません。反面、皆さんからは、あの短い時間で、こんなに書けるのか！というくらい多量のフィードバックを頂き、恐縮しています。 - PCの向きを変えたところまでは良かったのですが、結局PCの画面は見えていませんでした・・・
小和田	- 各自の自己紹介プレゼンの前にプレゼンについての講義とディスカッションがあったこと。 - 時間管理がしっかり行われていたこと。 - 各自のプレゼンに対してフィードバックがあり、自分のプレゼンを客観的に見ることができたこと。 - イベントで自己紹介をすることでメンバーの人となりを知ることが出来、その後の懇親会が盛り上がったこと。	幹事間で鍵を取りに行く担当が不明確であった点。	- 熊原さん、アメリカでのご活躍を期待しております。 - 皆さんのプレゼンを伺い、今後、個性豊かな方々と活動できることを楽しみにしております。
赤木	- 太鼓つながり、早起きつながりなど、新たな共通点が見つかった。 - しゃべりすぎる方もおらず、定刻前に終了した。 - 心理テストによる席順決定はおもしろい。飴システムに代わる可能性を感じました。	- アンケートの回収方法と展開方法が十分に検討できていなかった。 - 欠席された方の紹介などでできればよかったと反省しています。	滝口さんにお借りした本+みなさんの経験をベースにプレゼンテーション能力向上の外部イベントもできると思いました。

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
横田	・ 時間通りの進行。 ・ 個人的に仕事のほうがきつかったので間に合わせのプレゼン資料でしたが参加してよかったとおもえるイベントだった。 ・ 太鼓をやっている方(自分は秩父地方だけに特化しているのですが)が多かった。	・ イベント前に鍵の確認が必要だともいきました。今回は内部イベントなので安心していった面があると思います。 ・ イベントのバッティング(日韓サッカー)がないようになるべくしていきたいですね。	・ 白井さん、清水さんお忙しい中、途中参加ありがとうございます。 ・ 熊原さん、アメリカでもがんばってください。
田角	・ 赤木さんのプレゼンに関する講義がよかった。ご本人も、話し方がゆっくりして聞きやすく、内容もわかりやすい良いプレゼンだった。 ・ 守田さんが余裕でプレゼンを行っている様子。相当お得意ですね！ ・ 自己紹介のフィードバックを全員からもらえるのがよかった。 ・ 心理テストでプレゼン時の席や飲み会の席が決まるのが面白かった。 ・ 滝口さんの手作りお菓子が美味しかったです。全員分作るの大変だったろうと思いますが、ありがとうございました。	・ 欠席者のプレゼンをやはりみたかったですね。	・ 熊原さん LA 赴任頑張ってください！ LA に行ったら、おすすめは近郊の Santa Monica.Santa Barbara です。 - Route 1 をサンフランシスコまでドライブもいいし、サンフランに近いモンテレー水族館はとにかくおすすめです。野生のラッコもいます。 ・ 10 月担当の皆様、いろいろなアイデアにあふれた自己紹介企画をどうもありがとうございました！！
熊原	・ 人数が多かったのに時間管理ができていたこと。 ・ 最初にプレゼン方法の講義があったこと。 ・ 自己紹介をすることでメンバーを知ることができ、交流できたこと。 ・ 心理テストで席決めなどいろいろ工夫されていたこと。	・ アンケートの回収(書くのも、集めるのも)が大変そうでした。 ・ フィードバックが間に合わず、後半になるにつれ、空欄が多くなってしまったこと。	・ コメント頂き、ありがとう御座います！ 今後参加できなくなってしまうのが残念ですが、青年での経験を活かしてアメリカでも頑張ってきます。成長して戻ってきますので、その際はまたよろしくお願い致します。

行事名	11 月例会:ディベート企画「ディベートを通じて技術者倫理について考えよう」
日時	(例会)2017 年 11 月 25 日(土) 13:30-17:30 (意見交換会)2017 年 11 月 25 日(土) 17:45~19:30
場所	葺手第二ビル五階 AB 会議室
講師	-
担当者: (○印:リーダー)	○高橋委員補佐、下野委員、白井委員、滝口委員補佐、小塚(俊)委員補佐
参加者数	例会:13名、意見交換会:12名

1. 背景・目的

近年、築地の豊洲移転問題や BMW の排ガス規制の不正のような社会的事件や問題の再発防止、持続的な社会・経済的発展のため環境・事業形態に対する配慮や国際的な決め事の反映に加えて、ICT、AI、ドローン、自動運転等の新技術を適切に利用することを目的に、多種多様な政令・法令・法規が、短時間で改定・新設されています。

企業はこのような政令・法令・法規といった様々な規制を満たし、明示的な顧客の要求品質のみならず暗黙的な要求品質も満足する製品を製造しなければなりません。そのため、多くの技術者は倫理観に基づき、価格・機能・性能・品質・安全性のトレードオフを考慮しながら製品の設計製造を行い、企業の社会的な価値、地位、信頼を守らなければなりません。

特に若手の技術士(者)は、製品の設計や製造、営業に関わる適切な情報の申告や取り扱いが求められる一方、企業と顧客からの要求や規制に合致する製品を設計する難しさに日々悩み、倫理観と規制に対する悩みが多いことと思います。

そこで、技術者の倫理観の良い面、悪い面を改めて考え直し、日々の悩みの解決とこれからの技術士(者)としての思考の一端を担えるように、ディベートを通じて技術者の倫理観を討議する企画を行うこととしました。

2. 例会内容

2.1. ディベートのテーマ

「A I が発展すれば技術士制度は不要である。」

2.2. 第一部「ワーキンググループ」(13:30~15:00)

ワーキンググループではディベートのチームとなる 4 チームに分かれて作業を行った。

まず、今回のイベントは「ディベートを通じて技術者倫理について考えよう」というテーマであるため、個人ごとに技術士倫理綱領の 10 項目を A I で代替し場合のメリットとデメリットを一覧表にまとめた。

その後、ディベートに向けての準備として、先の作業を踏まえて技術士倫理綱領からディベートの理念を選択し、今回のディベートのテーマ「A I が発展すれば技術士制度は不要である」に対して肯定側の立場で立論を考えた。

その立論に対し同チームの別のメンバが否定側の立場として立論し、グループ内で肯定側と否定側の立論に対して検討を行った。

2.3. 第二部「ディベート」(15:00~17:30)

ワーキンググループを 4 チーム作成し、ディベートは各チームが 1 回ずつ参加できるように 2 試合実施した。実施内容は以下の通りとした。

- | | | |
|----------|----------|-----|
| ①肯定側・否定側 | 作戦会議 | 8 分 |
| ②肯定側 | 立論 | 4 分 |
| ③肯定側・否定側 | 作戦会議 | 8 分 |
| ④ | 否定側 反対尋問 | 3 分 |
| ⑤ | 否定側 立論 | 4 分 |
| ⑥肯定側 | 反対尋問 | 3 分 |
| ⑦肯定側・否定側 | 作戦会議 | 2 分 |
| ⑧ | 否定側 反駁 | 3 分 |

⑨肯定側	反駁	3分
⑩肯定側・否定側	作戦会議	2分
⑪	否定側	結論
⑫肯定側	結論	3分
⑬ジャッジ・講評		15分

また、それぞれのディベート毎に、審判によるジャッジと講評を行った。

2.4. 意見交換会 (17:45～19:30)

今回は茸手第二ビルの会議室でそのまま意見交換会を実施した。イベントに参加した方も多く出席いただき、ディベートでも話足りなかった点や様々な話題を和気あいあいと活発な交流会を実施することができた。また、立食ということもあり多くの方々と交流を持つことができた。

3. 成果と所感

今回のイベントはワークグループとディベートの二部構成で実施した。ワークグループでは技術士倫理について個々に考えて、メンバ同士で意見交換することで、改めて技術士倫理について考えることができたと感じている。また、このワークグループを行うことでディベートに向けてのチームワークを築くことができたと思う。

ディベートでは、参加者がディベートの流れを十分に把握できずに、流れに沿ってディベートができなかった部分があった。ディベートの流れについては、もう少し丁寧に説明し、常にディベートの流れが見られるような状況にしておくべきであった。

また、青年委員会の内部で同テーマに基づきディベートの練習を行い、メンバに対してディベートの流れの周知や立論作成シートやディベート評価シートの使い勝手を事前に確認しておくべきであった。

ただ、アンケート結果では、技術士倫理について改めて考えなおす機会ができたイベントに参加して満足していただけたようである。

4. 今後の展開

今回のアンケート結果を踏まえて、立論作成シートやディベート評価シートを修正し共有化しておきたいと考えている。ディベートの企画については、リピータの方や楽しみにしている方が多く、定期的開催したいと考えている。

5. 実施状況





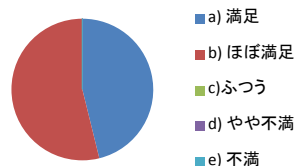
以上

●平成29年11月度 ～ディベートを通じて技術者倫理について考えよう～（表面）

●今回の例会について

Q1. スタッフの対応はいかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
a) 満足	6	46.2
b) ほぼ満足	7	53.8
c) ふつう	0	0.0
d) やや不満	0	0.0
e) 不満	0	0.0
合計	13	100.0

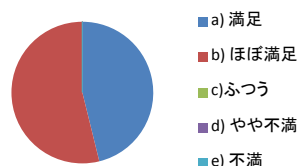


Q2. スタッフに伝えたいこと(コメントなど)ありましたら、お書きください。

- ・説明資料(ディベートの流れ)も手元にあった方が良かったと思います。最初に聞いただけでは覚えきれません。
- ・最初から肯定、反対を決めて立論(両チーム)→作戦8分→お互い尋問とした方が良いと思いました。
- ・実例があるとわかりやすかった。
- ・進行についてはもっと明確にリードしても良かったと思う。
- ・たくさん事前資料がありありがたかったが、反駁などの流れ(青技ディベートページでも可)など基本情報が欲しかった。

Q3-1. 今回の例会は、全体としていかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
a) 満足	6	46.2
b) ほぼ満足	7	53.8
c) ふつう	0	0.0
d) やや不満	0	0.0
e) 不満	0	0.0
合計	13	100.0



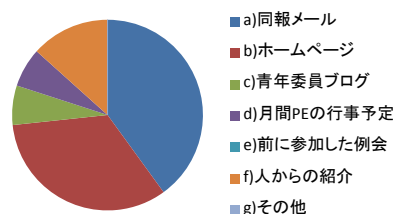
Q3-2. 今回のイベントへのご感想がありましたら、お書きください。

- ・学ぶことが多かったです。ありがとうございました。
- ・とても緊張しました。人前で話す良い機会になりました。
- ・技術士への理解を深めるだけでなく、楽しくディベートすることができて良かったです。
- ・体力、気力、知力を使い切りパテました。

●今回の例会に参加するまでの経緯について

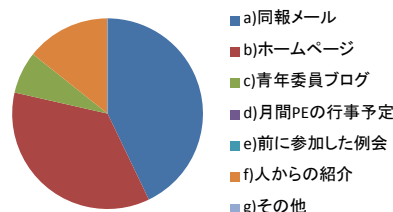
Q4-1. 今回の例会をどのように知りましたか。(複数回答あり)

きっかけ	人数	割合 (%)
a) 同報メール	6	40.0
b) ホームページ	5	33.3
c) 青年委員ブログ	1	6.7
d) 月間PEの行事予定	1	6.7
e) 前に参加した例会	0	0.0
f) 人からの紹介	2	13.3
g) その他	0	0.0
合計	15	100.0



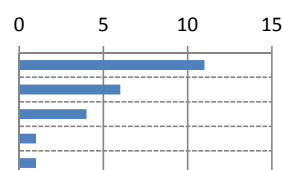
Q4-2. Q4-1の中で特に参加のきっかけとなったものはどれですか。(複数回答あり)

きっかけ	人数	割合 (%)
a) 同報メール	6	40.0
b) ホームページ	5	33.3
c) 青年委員ブログ	1	6.7
d) 月間PEの行事予定	0	0.0
e) 前に参加した例会	0	0.0
f) 人からの紹介	2	13.3
g) その他	0	0.0
合計	14	93.3



Q5. 今回の例会に参加した目的は何ですか。いくつでもお選びください。(複数回答可)

目的	回答数
a) 例会のテーマや内容に興味あり、知りたかった	11
b) 例会の参加者と知り合いになりたかった(人脈形成)	6
c) 青年委員会という組織や活動について知りたかった	4
d) CPDのポイントをもらいたかった	1
e) 上記以外	1



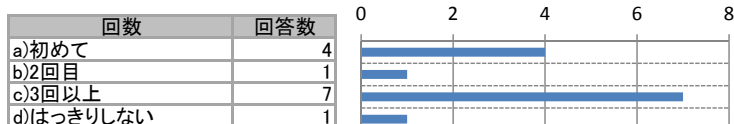
e) の詳細

- ・技術士そのものについて理解を深めたかった。

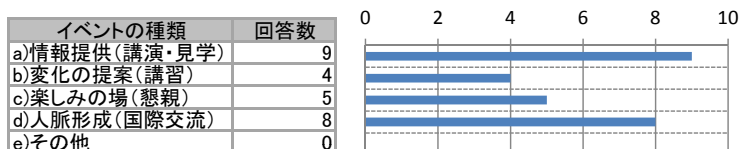
裏へ

●平成29年11月度 ～ディベートを通じて技術者倫理について考えよう～（裏面）

Q6. 青年委員会の例会に参加するのは、今回で何回目ですか。

Q6-1. 2回目以上の方にお伺いします。過去の例会で印象深かったテーマや面白かったテーマ
祝賀会, サッカー

Q7-1. 青年委員会の活動として開催して欲しいイベントについて、ご希望の内容(複数回答可)

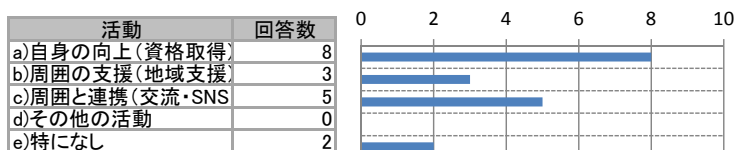


- a) 講演会, 若い人の感性?場所や話題
b)
c)
d) 各国技術士との交流, APEC参加国への派遣, 英語ミーティング
e)

Q7-2. また、内容以外でご希望ございましたらお書きください。

●技術士または技術者としての活動について

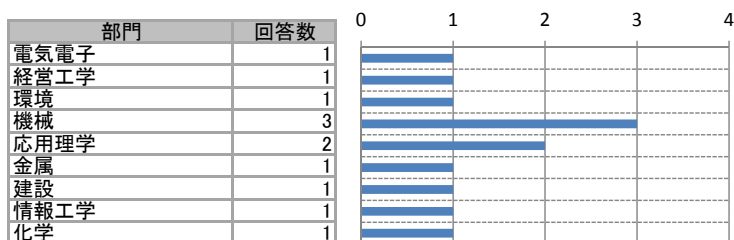
Q8. あなたご自身は技術士または技術者としての本業に加えてどのような活動をなさっていますか



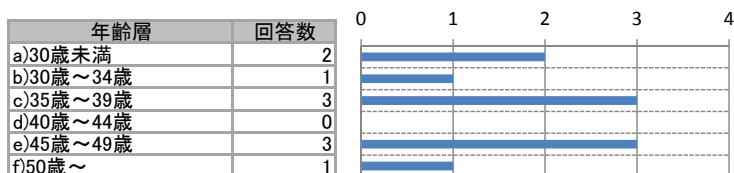
- a) 資格取得, 情報処理技術者, 地質調査技士の資格取得の勉強, TOEIC
b) Sukiyaki塾東京講師
c) 国際交流

●あなたご自身について

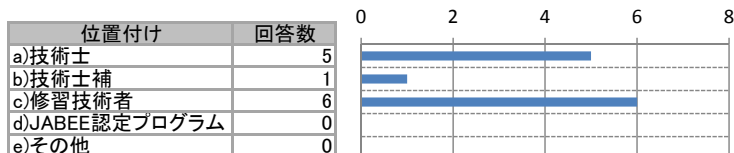
Q9-1. 技術部門。(複数回答可)



Q9-2. 年齢層をお選び下さい。



Q9-3. 会員層(技術士制度での位置付け)について、該当する項目をお選び下さい。



以上

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
太田	○立論シートがわかりやすかったです。 ○ディベート初体験の方が参加しやすいイベント構成でした。	○特にありません。	○参加者にとっても青年メンバーにとっても、テーマとしては否定側に傾きやすいなか、あえて肯定側を考えることでAIや倫理への理解が深まる、良い例会でした。
守田	・参加者方がいろいろと事前データを集めてらっしゃった。 ・ディベートでの審判の経験ができたこと。 ・AIについて未知の情報が得られたことと、誤情報に気がついたこと。	・パワーポイントの文字が後ろから見にくいようでした。 - 背景と文字色の明暗をつけると良いように感じました。 ・一部、反対尋問と反駁を混在されていたので、事例を用いて説明すると理解がよかったかと考えます。 ・評価シートですが、ページ変えて肯定と否定の記入欄がありましたが、パートごとに記入欄を探す必要がありましたので、肯定・否定で同ページに並べておくと、記入が楽と考えました。	イベント担当各位、委員各位お疲れ様でした。 テーマが自身の存在意義を否定することに繋がりそうでしたので、感情と理論を切り離す訓練にもなるのかな？と自分は見てみましたが、肯定側はなかなかやりにくかったようでした。 今年も残すところ1ヶ月程度ですが、皆さま怪我や病気などしませんよう。
小塚 (俊)	・青年委員でディベートを主催できたこと。 ・審査員のコメントが端的でわかりやすかったこと。かつ、勝者・敗者ともにためになるコメントをされている方が多かったことも良かった。 ・事前に展開した証拠資料が充実していたこと。	・明るい緑の背景に白文字のスライドは読みにくかったこと。（私も事前に確認した際に気が付かなくて申し訳ございませんでした。） ・参加者に、立論、反対尋問、反駁、結論、の違いが十分に伝わらなかったこと。 - 反対尋問の際に反駁をしてしまったチームがありましたね。	・良いテーマを選ばれたと思います。当日の午前中に今後の技術士制度の在り方について議論をした後のディベートのテーマだったので、技術士を目指す理由を改めて考えさせられ、また、今後の科学技術と技術者の在り方を熟考するきっかけとなりました。しばらく考え込むことが増えそうです…。

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
白井	・青年の内部リソースで実施できたこと。	・技術士制度を否定する側のロジックで説得力のある論拠がでてこなかったの で、もっと事前の情報提供を探しておけばよかった。心情的にはわかるのですが、結局、技術士制度を肯定する側が二回とも勝っていました。 ・リピーターが多いのは嬉しいですが、もっと新規参加者が来てくれるように広報を考えたいです。 ・欠員分の参加者に入ろうと思っていましたが、開始直後に来られたので、出番を奪わないように引きました。欠員対策はその場対応になってしまいました。 ・ジャッジを含めて、事前にスタッフでディベートのリハをやっておくのが好ましいと思いました。	・口頭試問を控えたこの時期に技術者倫理でディベートというイベントはタイミングが良かったと思います。
高橋	・リピータの方や新しい方と様々な分野から参加があってよかった。 ・前半の WG では若干静かでしたが、後半につれてグループ内でも議論が活発になっていた。(同一グループでやり続けてよかった) ・参加者も 12 名と 4 チーム作成でき、予定通り 2 試合できた。	・前半の WG の時間が短かったので、全て書ききれなかった。 - 事前のシミュレートをやっておけばよかった。 ・ディベートのやり方の説明が不足していたので、参加者が手順がわからずに戸惑っていた。事前に配布や紙ベースで確認できる資料を準備すればよかった。 ・パワポの配色で文字が見にくかった。文字は濃い目の色にすべきだった。または周りの背景色を濃い目にすべきだった。 ・証拠資料は充実していたが、テーマ等の連絡が 2 週間前だったので、準備期間は少なかった。できれば、1 か月前にテーマと証拠資料を提供できればよかった。	・審判の方は初めてにも関わらず、お引き受けいただきありがとうございました。 ・小塚さん、守田さん、資料等の修正のご指摘ありがとうございました。 ・下野さん、証拠資料や参加者へのご連絡ありがとうございました。 ・滝口さん、YEAFE0 や 10 月イベントで忙しい中、資料確認やサポートありがとうございました。 ・白井さん、YEAFE0 や学生向けイベントで忙しい中、資料確認やサポートありがとうございました。 ・イベントでの受付、写真撮影、懇親会の準備、会場設営等お手伝いいただいた皆さん、ありがとうございました。

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
下野	・参加者の年齢が 27～61 歳と幅広かった。 ・高橋さんの司会や説明の雰囲気で場が和んだと思います。 ・時間がタイトだったという意見もありましたが、これくらい時間が無い中の方が、かえって頭が回って 良い意見が出せるような気がします。	・否定側の立論シートを、肯定側の立論を聴く前でも書けるように、もう少し練っておけばよかったです。そうすれば、肯定側立論後の作戦会議で 8 分も取らずに済んだかもしれません。 ・ジャッジの評価シートで書く順番が時系列にくらべて前後して書きずらかったので、フォーマットを再考したいです。 ・半日のイベントで行う初心者向きのディベートのルールを 明文化しておいた方が今後の為にも良いと思います。 ・リハーサルか内部企画でディベートをして、委員会内部でディベートに慣れ親しんでおけばより良かったと思います。 ・参加者が肯定側になるか否定側になるかは、運営が決めるのではなくて、くじなどで決めた方が公平感がでたかもしれません。	・日本人はディベートが苦手という意味を実感しました。つまり、ディベートというとかまえてしまって攻撃的になるようです。なので、波風立てたくない日本人はディベートに対して拒否反応を起こすのかもしれませんが。実際にグループワークあたりまでは近寄りたい怖さがありました。ディベートを体験していただくうちに、冷静に議論されるようになったと感じました。 ・今回はディベートのテーマ「AI が発展すれば技術士制度は不要である」を誤解を生まないように、同報メールで流さず参加者にのみ伝えましたが、年配の参加者からは、そういう配慮なしに活動するのが青年らしくて良いとの意見を頂いています。 ・ディベート企画は続けてほしいという意見を委員会内外から聞いてますので、 今回のシステムの反省の上に次回はブラッシュアップしていければ良いと思います。 ・お手伝いいただいた皆様、どうもありがとうございました。
赤木	・自前でディベート企画を実施したこと。 ・タイトルどおりの内容であり、技術者倫理について考えるきっかけになった。 ・この企画は毎回そうですが、参加者が積極的でした。 ・2015 年パネル討論のパネラーをしていただいた佐藤さんが広島から参加してくれたこと。	・判定後、各チームから感想を聞かせてもらうのもよいかと思いました。	・自前でのディベート、テーマを変えつつ定番にしたいですね。 ・担当の方、ジャッジの方、おつかれさまでした！

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
諸田	・ 外部講師などに頼らずディベート企画を実施した。 ・ テーマの選定からじっくり丁寧に考えられており、技術士らしいディベートになった。 ・ アンケート結果を見ると参加者全員が満足しており、大変良かった。	・ ディベート初心者の例会担当およびジャッジする方に事前勉強会を開催すると良い。 →ディベート経験者の下野さんの負担が高かったと思われます。	・ ディベート参加者の常連化は嬉しいですが、新規参加者の割合を少し増やしたいですね。 →今回は 4 名の新規参加者がいましたが、5 割位いると良いかも。 ・ チーム構成（ディベート経験者と初心者の割合）を均一化できると良いかも。 →そのためには事前に参加者へディベート経験の有無を聞いてみてはいかがでしょう。 ・ アンケート結果を見ると、参加者の多くが青年委員会へ「講演・見学会」と「人脈形成」を求めていることが分かった。 →外部向けにも講演や見学会を増やせると良いですね。（休日は見学できる施設が少ないので、たまには平日開催もありかも）
清水	・ 評価項目がまとまっていたこと。 ・ ディベートをジャッジする視点から見ることで、実際にディベートをするのと違う観点で見れて、色々と学べました。 ・ 久々にカメラ係以外ができた（嫌な訳ではないですが）。	・ 評価シートが少し使いにくかったです。多少、フォントを小さくしてでも、枚数が少ない方が、後で見直し易いと思います。 ・ グループ内での議論が白熱する余りか、仲間割れしかけているグループがあった。まとめ役として、青年からオブザーバーを入れるのも有りかと思いました。	・ 今回の企画で、参加者としてディベートをやってみたくくなりました。

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
滝口	・テーマ：刺激的なテーマで皆さんの議論も白熱する様子が伺え、興味深い意見を引き出せたように思います。 ・チームの一体感があって、1 回戦終えたチームも 2 回戦目に興味を示し、議論していました。 ・参加者の年齢、性別、地域、部門、修習～総監まで様々な人で議論できました。 ・今後の青年の企画に対する興味を持ってくれる人がおり、嬉しかったです。 ・高橋さんのブログが親しみ易さを醸し出して良かったと思います。 ・事前に配布した資料でテーマに興味を持ち、更に調査してくれた参加者が多いように感じました。 ・審査員のコメントが丁寧で、判定結果に納得でき、反省点もわかりやすく良かったです。	・ディベートの全体の流れ・時間配分を把握しきれておらず、すみませんでした。	・下野さんのディベートや AI に関する知識や情報発信が素晴らしく、大変勉強になりました！ ・高橋さんの綿密な準備と現場力でディベートがとても盛り上がりました。
井口	・ディベート初体験できた。審判の難しさを知った。 ・テーマ的にも肯定側が不利な気がしますが、そういう中でも色々考えることが、参加者全体の気づきに繋がるんだなと感じました。	・ディベートの基本事項の周知徹底が難しかった。最初に青年委員だけでデモを見せても良かったかも。	・特にありません。
明山	ディベートの審判は初めてだったので、双方チームの主張を最初から最後まで集中して聞く必要があり、かつ同時に、どこを直せばより良い議論になるのかを考える、という大変さ、身に染みて感じました。貴重な経験になりました。またテーマからも深く考えさせられる内容でした。	事前にディベートについて、よく勉強すべきでした。そうすれば、もっといい講評ができたかもしれません。	ディベート企画担当のみなさん、お疲れ様でした！

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
竹内	・ テーマが良かった！ディベートが進む中で、どんどんテーマの奥深さを感じた。 ・ AI が発達したらどうなるか、ディベートを聞きながら、頭の中で反駁し、自分なりの考えを持つきっかけとなった。 ・ 進行が絶妙で、滞りがなかった。 ・ 講評がとてもしっかりしていた。個人一人一人の講評などもされていて素晴らしいかった！	—	・ 議論のレベルが高く、驚きました。（自分が参加したときはディベートのルール通りやることで精いっぱいでした） ・ 担当のみなさま、お疲れさまでした！！

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
太田	○懇親会出席率が高かったこと。(参加者 12 人中 11 人?) ○食べ残し、飲み残しが少なかったこと。 ⇒逆に考えると、少なかったかな。。 ○立食ということもあり、参加者同士、参加者と青年スタッフの交流がしやすかったこと。	○チーズ、切れてなくてすみませんでした。	○飲み物と食べ物のバランス、難しいですね。
守田	不参加	←	←
小塚 (俊)	・参加者同士でも会話が盛り上がっていたこと。 ・19 時過ぎに 1 次会はお開きとなり、遠方からの参加者も参加しやすい懇親会であったこと。 ・1 次会は立食形式であり、色々な方と会話をしやすかったこと。	・買い出しに行った私が言うのも難ですが、料理およびソフトドリンクが少なかったかもしれません。（量よりも質を優先しました。）余らなかったのは良かったのですが…。	・滝口さんの自家製ケーキが美味しかったです。ごちそうさまでした！
白井	・マルエツ買い出しで対応できたこと。 ・購入量が適切だったこと。 ・二次会参加も多かったこと。	・個人的反省ですが、個別に話が盛り上がっていてあまり周囲をみていませんでした。全体をみて対応できるようになりたいです。	・ディベートに毎回来てくださる方でも満足していただけているようで、よかったです。 ・二次会で下野さんオススメの本の話、昼にオススメしてもよかったですね！
高橋	・立食形式だったので、参加者同士での交流がやりやすく、とても盛り上がってました。 ・お酒の量と食事の量はよかったと思います。ちょっと足りないくらいが、二次会への参加者が増える気がします。 ・交流会の費用も安くてよかったと思います。	・ソフトドリンクの量が少なかったかもしれません。	・滝口さん、手作りケーキありがとうございます。 ※参加者の方に、もっとアピールすればよかったですね。気づきませんでした。
下野	・一次会の立食形式は参加者が参加しやすかったと思います。 ・滝口さんの手作りケーキが美味しかったです。 ・二次会で AI や技術士制度の話題で盛り上がったと思います。	・特になし。	特になし。

2017 年 11 月例会 内部アンケート回答（懇親会について 2 / 3）

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
赤木	・ 1000 円でそこそこ飲み食いできるのはよい。買い出し班はドキドキでしたが。 ・ 立食で多くの人と話をすることができた。	・ 人数に応じた買い出しリストがあればよい。（もう必要ないですが・・・。）	・ マルエツ、CanDo から離れると不便になりますね。
諸田	・ 1,000 円であのクオリティは良いと思います。 → 一部の懇親会でも同様の形式で懇親会を行うことが多いのですが、飲み物と食べ物のチョイスが青年らしくて Good です！ ・ 懇親会の会場設営や後片付けなどを参加者含めて皆で協力し合う姿は素晴らしい。	・ 特になし。	・ アンケート結果で多くの参加者が人脈形成を求めているので、参加者全員と交流できる仕組みがあると良いですね。（引っ込み思案の方には積極的に青年委員が声をかけるなど） ・ 機械振興会館で同様の懇親会を開催することは難しいですね。一応、東京タワーの反対側にマルエツがありますが、ちょっと遠い。
清水	・ 食べ物、アルコール類がちょうど良い量だったです。余り物が少なく、片付けがスムーズでした。 ・ 滝口さんの手作りケーキがおいしかったです。すぐになくなってました。	・ 特になし	・ できれば、開けやすいワインオープナーが欲しいです。
滝口	・ 立食形式で、人数も会場の広さと合っていて、参加者と交流しやすい雰囲気だったと思います。 ・ 久しぶりの方も、初参加の方も、皆さん楽しんで交流できているように感じました。	・ 特にありません。	・ 白井さん、買い出しにご協力くださった皆さん、ありがとうございました。 ・ やはり外部向けのイベントで、交流ができ、青年の良さを理解してもらえるのは嬉しいと感じました。 ・ メンバーが入れ替わって初の外部向けイベントが、ディベートで、係や審査員など仕事が多い企画で少し心配でしたが、皆さんの現場力の高さのお陰で無事完了し、感動しました。 ・ 準備からアンケートまで、小塚俊吾さんの仕事の速さと誠実な対応が素晴らしいと思いました。
井口	・ 欠席したので特にありません	←	←

2017 年 11 月例会 内部アンケート回答（懇親会について 3 / 3）

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
明山	一次会のおつまみの量、ちょうど良かったです。いつもより少なめとは言え、千円で妥当だったと思います。2 次会も盛り上がりましたね！と言ってもほとんど青年メンバーでしたが笑	特になし	お酒余りましたが、毎回適量を準備するのは難しいですね。
竹内	・懇親会参加率が高かったこと。 ・共通テーマで議論したあとであったため、他のチームのメンバーとも交流が深まったこと。	—	・滝口さんの手作りケーキおいしかったです。

行事名	12 月例会:和食料理を通じて『食』の基本を学ぶ
日時	2017 年 12 月 9 日(土) 12:30-17:00
場所	池上会館調理室(大田区施設)
講師	嶋田潤治氏、伊藤健氏(食品技術士センター会長)
担当者: (○印:リーダー)	○竹内委員、瀧川委員、田角委員
参加者数	例会:24名 (内スタッフ5名)

1. 背景・目的

「食品」をテーマに、講師による講演および参加者による調理実習を行う。

テクノツーリズムでの工場見学や Dreams での理科教室のように、身近でありながら知られざる技術を学び、実習を通して理解を深める。

家族参加可能な企画とすることで、青年技術士の家族層にも日本技術士会の活動を知ってもらい、参加者間の交流を促進する。

2. 例会内容

2.1. 食品技術士センター紹介 (12:30~12:50)

本例会は、例会のテーマである「食」について専門とされている、食品技術士センター伊藤会長に講師のご紹介を始め例会内容に関するご助言等、全面的なご協力をいただいた。

冒頭に、伊藤会長より、食品業界における技術士の活躍の状況や、食品技術士センターの活動、今後の企画等についてご紹介いただいた。

2.2. 講義および調理実習 (12:50~16:00)

本例会のメインは、(有)レザン研究所アールの嶋田潤治講師による「だし」に関する講義・解説と調理実習を実施した。

嶋田講師は「だし」の専門家であり、道場六三郎氏に師事された和食料理人であり、現在は高級おせち等食惣菜の監修などを食品コンサルタントとして手がけられている。

実習資料として、青年委員担当が本実習のテーマに沿った調理科学等の資料を収集、資料を作成し配布した。嶋田講師よりご提供いただいた調理レシピ及び伊藤会長が持参された資料も併せて配布し、今回の学びのポイントを確実に持ち帰ってもらえるようにした。

また、講義・解説だけでなく、数種類の「だし」を使った実習を盛り込んで、講義内容を実習により体験し、理解を深めるようにした。

実習に先だって調理実習を効率的に実施するため、午前中も調理室を確保し、仕込みとして食材買い出しのほか各具材の計量、昆布の浸水、野菜のカット、官能評価用のだしの準備等を行った。このため、時間に余裕をもって調理実習を行うことができた。

講義でははじめに講師の嶋田氏より和食の基本であるだしについて解説いただき、次に「実験ノート だしの味比べ」を用いて参加者各自による官能評価を行った。だしの種類は、①だし用利尻昆布、②一般的なだし用日高昆布、③だしの取りにくい硬水を用いた利尻昆布、④工業生産されている顆粒だしの4種で行った。

また BRIX 計を用いてだしの濃度を「可溶性固形分総量」として数値化し、参加者が行った官能評価の結果と照らし合わせた。

だしの準備は仕込み時間に行っていたが、各調理台への4種類のだしの配布および BRIX 計での濃度測定に関して段取りが不十分であったため、もたついてしまったことが反省点であった。

続いて嶋田講師による解説を行いながらの調理実演ののち、各調理台に分かれての調理実習を行った。嶋田講師が各調理台をまわり、だしのとれ具合や包丁の使い方といった基本的なところも含め、各調理台の状況に応じて補足いただいた。なお、調理実習のメニューは次の通り。

《メニュー》

- ・鶏の治部煮
- ・キャベツの浅漬け（だし使用）
- ・白飯（時間の都合のため運営側で準備）

2. 3. 青年委員会の紹介、食品業界の最新トピックスの紹介、質疑応答（16:00～17:00）

各班のメニュー完成後、実食を行った。

実食中、青年委員会諸田委員長より、青年委員会と活動について紹介を行った。

その後、伊藤会長より話題提供として航空機内食でのハラル食対応に関する最新の取り組みや、食肉生産に関する最新トピックスについて、写真資料を用いて紹介いただいた。

鶏が食肉用に特化して品種改良が非常に進んでいることや、飼料によって肉質がコントロールされていることなど、食肉生産において技術的な管理がなされていることを学ぶことができた。

次に嶋田講師との質疑応答を行った。料理全般的な質問も含めて、非常に活発な質疑があった。時間に余裕があったこともあり、丁寧な回答を得ることができた。

2. 4. 懇親会（17:30～20:00）

「もつ真路 池上店」で懇親会を実施した。

最大20席強の店で、最終的には貸し切り状況となり参加者との懇親を深めることができた。

しかし店が狭かったために席の移動がしにくく、全員との交流は難しかった。

また、参加者の事前把握・予約反映が十分でなかったため、開始時には2名が立ち飲みとなってしまった点が反省点であった。

3. 成果と所感

今回の例会は、当初中高生向けの理科教室（料理＝実験）のイメージも持っていたこともあり、体験を重視した内容とした。

講師の嶋田氏が一流の料理人であり、自らも料理教室を開催されることがあるため実習タイムスケジュールも含めスムーズに進んだこと、各調理台へのきめ細かな実技フォローアップをいただくことができ、参加者から高い満足度を得られた。

また、技術的な学びの部分においては、官能評価（味の比較）を行うほか、嶋田会長から、航空機内食のハラル食への取り組みや、養鶏をはじめ食肉業界の状況といった業界の最新トピックスについてプレゼンテーションしていただき、他では得難い「食」にまつわる学びが得られた。参加者が非常に熱心にメモを取り続ける姿が非常に印象的であった。

調理実習を盛り込むため、時間配分においては座学的な学びの割合は小さくなったが、新しいことを体験とともに学ぶことで、子供の時のような新鮮な驚きと未知の分野への興味を持ってもらうことができたのではないかと感じた。専門分野（とその境界領域）において、新たなアイデアのきっかけとなると幸いである。

4. 今後の展開

今回、調理実習というチャレンジングな企画を行ったが、参加者からは好評を得ることができ、また講師陣からも好印象を得ることができた。今後も調理実習企画を行えればと思う。

会場は公共施設の調理室を活用したが、時間の都合で一般団体として登録したため開催直前まで開催場所が確定しなかった。このため告知期間が短く告知が不十分となったこと、他の企画と日程が重複してしまうなどの問題が生じた。また、12月は食品業界の繁忙期であった。このため、次回は教育団体としてあらかじめ登録し、早い時期に優先的に会場を確保するようにすることと、食品業界の繁忙期を避けた時期に実施したい。

技術士としての学びの部分については、食品技術に精通したメンバーを担当に加えるか、早い段階で食品技術士センターへ相談するなどして、練り上げることが望ましい。

5. 実施状況



食品技術士センターの紹介(伊藤会長)



嶋田講師による講義



嶋田講師による講義



嶋田講師による実演



実習(官能評価)



調理実習



調理実習



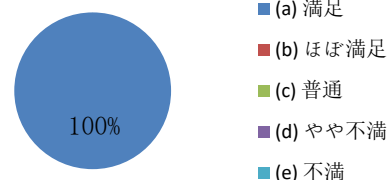
懇親会

以上

●今回のイベントについて

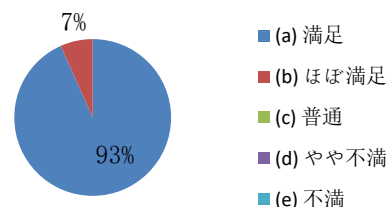
Q1-1. 講演者の話し方や進め方は、いかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	15	100.0
(b) ほぼ満足	0	0.0
(c) 普通	0	0.0
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	15	100.0



Q1-2. 講演者の用意した資料(配布資料、プレゼン資料)の内容は、いかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	14	93.3
(b) ほぼ満足	1	6.7
(c) 普通	0	0.0
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	15	100.0



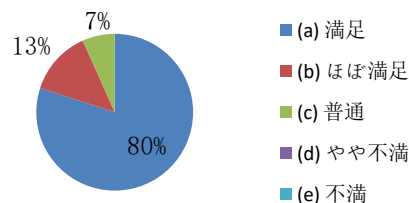
Q1-3. 講演者にお伝えしたいこと(コメントなど)がありましたら、お書きください。

- ・面白かったです。ありがとうございました。
- ・とても有意義でした。
- ・大変楽しく、興味をそそられるお話でした。
- ・プロの技術に感動しました。
- ・楽しかったし、美味しかったです！
- ・和食は奥深いと感じた。
- ・出汁をとること、利用することへの難しいという固定観念を振り払うことができました。質問にも丁寧にお答え頂き、ためになるイベントでした。
- ・たまには出汁をとってみたいと思いました。
- ・分かりやすく教えていただき、ありがとうございました。

●スタッフについて

Q2-1. スタッフの対応はいかがでしたか

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	12	80.0
(b) ほぼ満足	2	13.3
(c) 普通	1	6.7
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	15	100.0

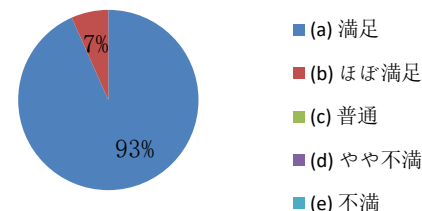


Q2-2. スタッフに伝えたいこと(コメントなど)ありましたら、お書きください。

- ・準備お疲れさまでした。ありがとうございました。
- ・豊富な資料の準備、ありがとうございます。
- ・良かったです。
- ・お誘いありがとうございました。ご準備お疲れさまでした。

Q3. 今回のイベントは、全体としていかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
(a) 満足	14	93.3
(b) ほぼ満足	1	6.7
(c) 普通	0	0.0
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	15	100.0

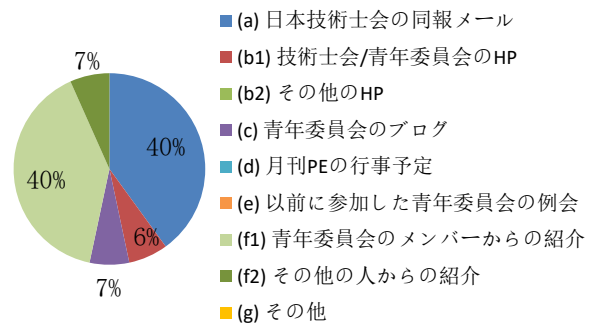


●2017年1月例会 外部アンケート（表面）

●今回の例会に参加するまでの経緯について

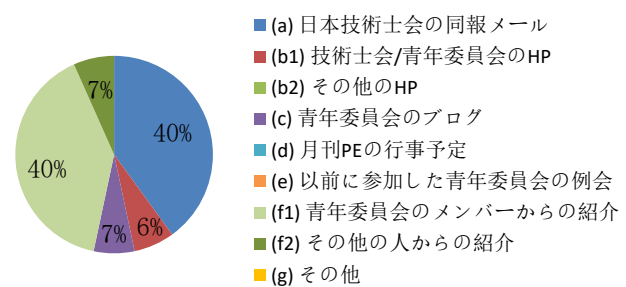
Q4-1. 今回の例会をどのように知りましたか。（複数回答あり）

きっかけ	人数	割合 (%)
(a) 日本技術士会の同報メール	6	40.0
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	1	6.7
(b2) その他のHP	0	0.0
(c) 青年委員会のブログ	1	6.7
(d) 月刊PEの行事予定	0	0.0
(e) 以前に参加した青年委員会の例会	0	0.0
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	6	40.0
(f2) その他の人からの紹介	1	6.7
(g) その他	0	0.0
合計	15	100.0



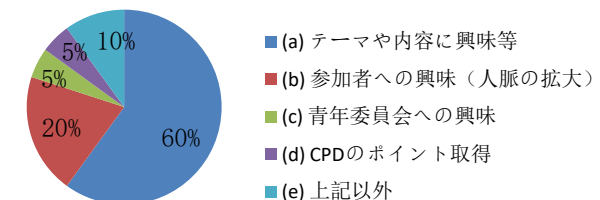
Q4-2. Q4-1のご回答の中で、特に参加のきっかけとなったものはどれですか。

きっかけ	人数	割合 (%)
(a) 日本技術士会の同報メール	7	50.0
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	0	0.0
(b2) その他のHP	0	0.0
(c) 青年委員会のブログ	1	7.1
(d) 月刊PEの行事予定	0	0.0
(e) 以前に参加した青年委員会の例会	0	0.0
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	5	35.7
(f2) その他の人からの紹介	1	7.1
(g) その他	0	0.0
合計	14	100.0

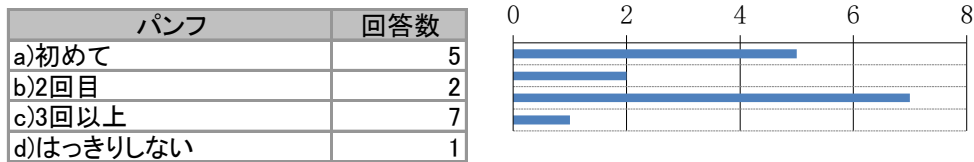


Q5. 今回のイベントに参加した目的は何ですか（複数回答あり）

きっかけ	人数	割合 (%)
(a) テーマや内容に興味等	12	60.0
(b) 参加者への興味(人脈の拡大)	4	20.0
(c) 青年委員会への興味	1	5.0
(d) CPDのポイント取得	1	5.0
(e) 上記以外	2	10.0
合計	20	100.0



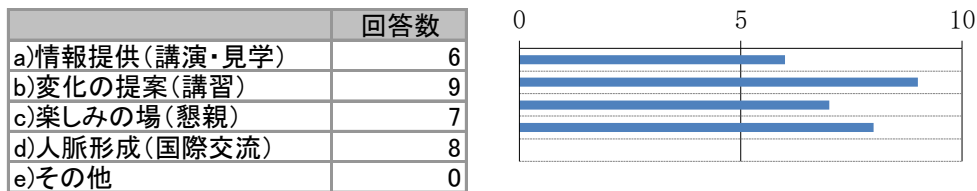
Q6. 青年委員会の例会に参加するのは、今回で何回目ですか。



Q6-1. 2回目以上の方にお伺いします。過去の例会で印象深かったテーマや面白かったテーマは。

- ・英語ワークショップ
- ・TRIZ
- ・技術士仲間を集める交流会
- ・合格祝賀会のワークショップ
- ・全国大会、ディベート、修習ガイダンス・・・etc

Q7-1. 青年委員会の活動として開催して欲しいイベントについて、ご希望の内容（複数回答可）



具体例

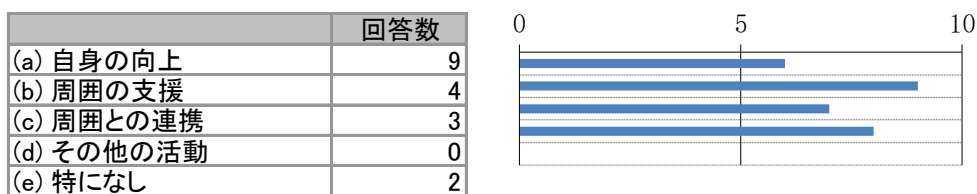
- (a) 今回のような普段なかなか聞けないテーマでの講習会がよい
- (a) 講演会
- (a) 見学会 (2票)
- (b) マーケティング
- (c) 懇親会
- (d) 地方交流会
- (d) 国際交流は青年中心でやってほしい。
- (e) 今回のようなワークショップ。実践的に取り組めるようなもの。

Q7-2. また、内容以外で希望ございましたらお書きください。

- ・土日がよいです。

●技術士または技術者としての活動について

Q8. 技術士または技術者としての本業に加えて、どのような活動をなさっていますか。（複数回答可）

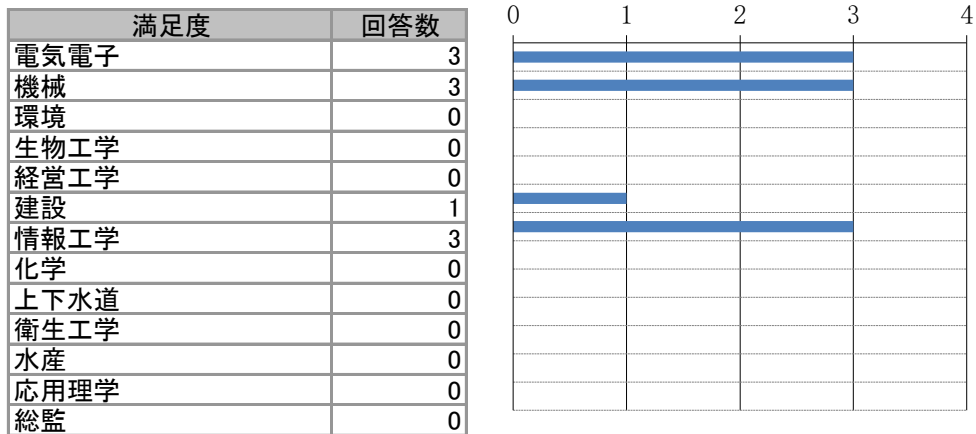


- (a) 資格取得(4票)
- (a) 優良技術者候補
- (b) 環境調査、ボランティア活動など
- (b) 地域活性化の研究
- (b) 国際交流活動
- (c) 理科教室
- (c) 交流会

●2017年1月例会 外部アンケート（裏面）

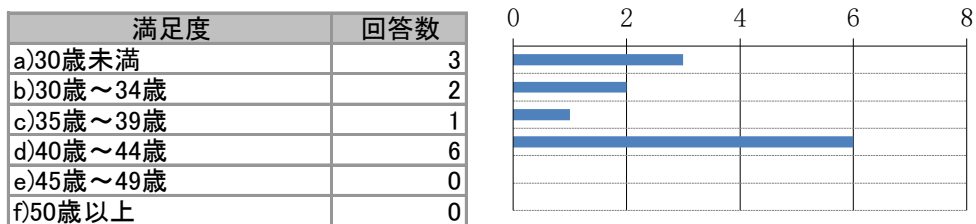
●あなたご自身について

Q9-1. 技術部門。（複数回答可）



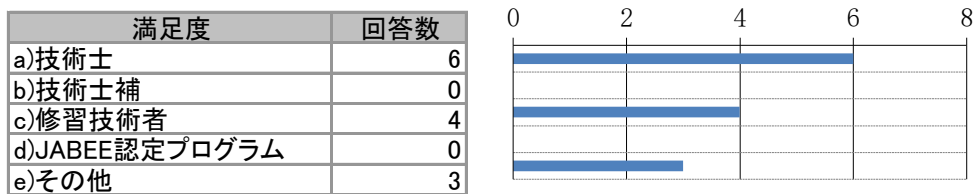
・回答なし 5名。

Q9-2. 年齢層をお選び下さい。



・回答なし 3名。

Q9-3. 会員層（技術士制度での位置付け）について、該当する項目をお選び下さい。



・回答なし 2名。

以上

◆12月イベント「和食調理を通じて『食』の基本を学ぶ」について

●良かったところ

- ・講師の嶋田さんが理論と実践の両方をわかりやすく解説してくださったこと。米が美味しく炊くコツ、うま味を感じるメカニズム、煮物が一晩置くと美味しくなる理由などについて、科学的に解説していただき、料理を面白く感じました。
- ・当初は参加人数の少なさが危惧されていましたが、青年関係者の割合が多かったものの、結果的には嶋田さんから直接ご指導いただく機会が増えて、満足感が強まったと思います。
- ・伊藤会長からのハラール認証の話が面白かったこと。技術とは少し異なるのかもしれませんが、多くの技術士は国際化に対応することが必要であり、ハラール認証からは国際化の1つの事例として学べる人が多いと思いました。
- ・今までにない企画だったため、青年初参加の方がいたこと。
- ・グルタミン酸とイノシン酸の話など技術的な話もあり勉強になりました。料理は化学という言葉をもつて経験できました。
- ・タッパーを準備していたのは良かったと思います。
- ・お茶漬が、ものすごくおいしかったです。
- ・初の調理実習イベントでしたが、出汁の試飲を交えた講師の方の説明も興味深く、参加者も十分楽しめたイベントでした。
- ・調理などで時間がかかるかと思いましたが、余裕のあるスケジュールリングで焦ることもありませんでした。
- ・お子さんが参加されるため、お菓子を準備されていたのは良かったです。
- ・大阪からの方を含め、4月特別例会のリピーターが来てくれた。
- ・参加者の方から同様のイベントがあればまた参加したいとおっしゃっていただけたこと。
- ・食品技術士センターの伊藤会長、伊藤会長の紹介の嶋田氏の全面的なご協力のおかげで短い準備期間の中でも企画運営できたこと。また、嶋田氏より、次回企画（応用編）をぜひにと仰っていただけたこと。
- ・他のイベントと重なってしまいましたが、ご参加いただいたメンバーの皆さまが準備等積極的にご協力くださり、無事に終えることができたこと。

●改善したいところ

- ・各班での出汁の飲み比べの段取りがなされていなかったり、ホワイトボード用のマーカーが無いことに、マーカーを使うときになって気が付いたりしていたので、行うことに対して必要となる物品を事前にチェックする体制があると良いと思います。
- ・参加者募集に工夫が必要だと思いました。
- ・集合写真を撮り損ねたこと。
- ・グループのメンバーからも提案がありましたが、より科学的、物理的な内容があってもよいと思います。
- ・今回は人数が少なかったので大きな問題にはなりませんでした。受付場所を確保したかったです。
- ・出汁の試飲の段取りができていませんでした。
- ・ハラールの説明は少し唐突な感じを受けました。業務上関係ない方向けに導入があるとよいと感じました。
- ・お子さん向けの講義、体験コーナーがあってもよいかもしれません。
- ・つてや知識がなく、講習会のイメージを作り上げるまでに準備期間をとられてしまったこと。
- ・直前まであわただしい準備となってしまったこと。
- ・当日の流れについて講師および担当間でもっと詰めるべきでした。

●その他

・技術士会で料理を取り上げるという、恐らく前例の無い企画をやりきったこと自体がすごいことだと思います。
・瀧川さんの食品技術士センターの伊藤会長への直談判がここまでの企画につながったことには驚きを隠せません。
・今回は料理の「火加減」について、科学的にアプローチして欲しいです。
個人的には料理によって、強火、中火、弱火、が異なる理由を知りたいです。

・昆野さんの手作りお菓子を初めて食べることができて、嬉しかったです。おいしかったです。

・参加理由として、「メニューが治部煮だったから。」「場所が池上だったから。」という意見もありました。
・会場探し、講師探しなど初めてのことで干渉の方は大変だったと思います。おつかれさまでした！
・池上会館1階のレストランでランチタイムに寿司の食べ放題やってます。コスパ良いのでぜひ！

・初担当ながら青年初となる食品イベントを成し遂げた竹内さん、お忙しいところいろいろ頼りにさせていただいた田角さん、本当にお疲れさまでした。どうもありがとうございました。

・初めての企画で、しかも慣れない地での開催ということで、本当にお疲れ様でした。
改善点もあると思いますが、新しい事例ができたこと自体が大成功だと思います。頭が下がる思いです。
・嶋田先生のお話にもあった通り、煮物は一度冷まして再び温めると美味しくなるということですので、この料理企画も再び火を通してみたいですね。

◆懇親会について

●良かったところ

・イベントから引き続き参加してくださった方が多かったこと。
・料理がおつまみ程度で分量が程良かったこと。

・食後だったので、食べ物が少な目で良かった。

・講師の方が最後までご参加いただけた。

・九州料理のお店を選定したところ(事前に嶋田氏より「おいしいものは九州にある」と伺っていたため)。

●改善したいところ

・人数に対してお店が狭かったと思います。
・なかなか難しいかもしれませんが、お子様連れの企画では懇親会の会場は禁煙になっているところが良いのかなと思います。

・会場写真を撮り損ねました。

・場所が分かれてしまい、少し残念でした。

・想定外の人数で会場が狭く、自由に講師等に挨拶できる雰囲気ではなかったところ。

行事名	2017 年 12 月:『学生と技術士の対話会』（慶応技術士会との共催）
日時	平成 29 年 12 月 09 日（土） 13:30～17:00
場所	慶應義塾大学 理工学部（矢上キャンパス） 厚生棟 3 階 中会議室
参加者	白井一光、横田敬久、滝口禎美、鈴木利治、守田哲
担当者： （○印：リーダー）	○白井一光、横田敬久、滝口禎美
参加者数	学生6名（慶応技術士会 6名 青年技術士交流委員会 5名）

1 背景・目的

日本技術士会に学生層を取り込むために、新たな試みとして大学技術士会と連携し、日本技術士会へ大学の1次試験受験層・準会員層のスムーズな取り込みをおこないたいと考える。

2 イベント内容

2-1 対話会開催の趣旨説明(13:30～13:33)

慶應義塾大学 理工学部機械工学科 小川邦康 准教授（教育点検改善委員会 委員長）

JABEE の審査員および慶応技術士会との連絡を担当しておられる小川准教授より、今回の学生との対話会の企画について挨拶をいただいた。

2-2 開会の挨拶(13:33～13:35)

慶應技術士会 石井 正則会長（機械・総合技術監理）

慶應技術士会の石井会長より技術士取得により、単なる一会社員ではなく、会社という組織をでても活動でき、一生活躍できるので目指してほしい旨の挨拶をいただいた。

2-3 技術士の業務紹介(13:35～14:00)

対話会に参加する技術士の自己紹介・業務紹介をおこなった。参加した技術士・技術士補は以下の通り。

慶應技術士会 天野 稔 （電気電子）
磯辺 栄介 （電気電子・機械・総合技術監理）
島本 珠生 （経営工学）
須田 裕之 （電気電子）

青年委員 白井 一光 （化学）
鈴木 利治 （機械）
滝口 禎美 （化学・JABEE・修習）
守田 哲 （情報工学）
横田 敬久 （情報工学・総合技術監理）

2-4 学生との対話（14:05～16:00）

3つのテーブルにわかれて、1テーブルあたり学生2名と技術士・技術士補3名での対話会をおこなった。

途中で休憩をはさみ、グループを交代した。どのテーブルも青年委員1～2名、慶応技術士会1～2名の構成になるようにした。これにより、学生（20代）、技術士（30代・40代・50以上）と1グループで各世代がそろった対話会が実現した。

2-5 閉会の挨拶(16:00～16:05)

慶応技術士会の蔭山様より閉会の挨拶をおこない。本対話会を終了した。

3. 成果と所感

今回の対話会で以下の成果と所感を得た。

- A. 大学技術士会は慶應技術士会だけでなくどの組織も比較的年齢層が高いのではないかと考える。そのため、青年層が補助に入ることにより、多層的・多世代的な対話が実現でき、学生のニーズにも答えることができるのではないかと考える。
- B. 大学技術士会のベテラン技術士と青年委員の対話を強化することにより、青年層の技術士も今後のキャリアを考える参考になった。
- C. 参加いただいた学生は少なかったものの、満足度は非常に高かった。加えて、今回始めて学生側からアンケートで質問をいただいたとのことであった。幅広い年齢層の技術士・技術士補との対話ができ、なんらかの反応を学生から得ることができたという成果になったのではないかと考える。

4. 今後の展開

今後、発展させていただきたい点は、以下の通りである。

- A. 他大学技術士会との連携の強化・定期化
慶應技術士会だけでなく他大学の技術士会も年齢層は高いと推測する。そこで青年委員会との連携で若手を送り込むことにより、学生の求めるニーズに沿った対話会が開催でき学生に対する人気もでてくると推測する。
- B. 他学科へのイベント開催アピールの強化
今回はJABEEの一環の対話会であるため、機械工学科の学生のみでの参加となったが、技術士側は機械だけでなく様々な部門をそろえているため、他学科へのアピールも慶應技術士会・慶應大学側に呼びかけていきたいと考える。

以上、文責 横田

【添付資料：慶應技術士会対話会開催状況】



【対話会開催の趣旨説明 小川准教授】



【開会の挨拶 石井会長】

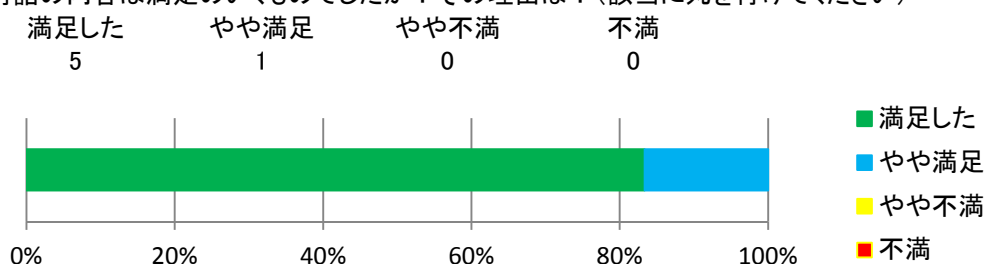
2017 年 12 月例会 学生イベント 慶応大学 内部アンケート回答（ 1 / 1）

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
横田	・ 学生とで青年層～ベテランまで幅広い層を 1 グループとして対話ができたこと。	・ 特にありません。	・ JABEE（機械工学科）以外の層も参加してほしいので少なくとも理工学部的全学科にイベントの告知はしてほしい。
白井	・ 青年側のイベントが重なったにも関わらず青年スタッフに参加いただけたこと。	・ 学生さんの参加が少なかった。 ・ 事前の広報には、まだ改善余地が大いにありそう。	
鈴木	・ 最近の学生の考え方に直接触れることができたこと ・ 少人数だったので、ざっくばらんに会話ができたこと	・ もう少し、学生さんの数がいた方がバランスがよかったかと思います。 今回はおじさん達の方が多かったので。	
諸田	・ 青年委員の参加者が多かったこと。 ・ 委員が所属している大学技術士会の繋がりを活用できたこと。		・ 例会など他のイベントと日付が被ってしまったのは残念でした。 ・ 次回、都合が合えば参加したいです。
滝口	・ 学生さんが技術士を知っている前提で、対話をスタートできたこと。 ・ 毎年実施しているらしく、進行がスムーズであったこと。 ・ 学生さんが熱心に質問してくれたこと。	・ 自分から話し過ぎたところがあったので、学生さんの質問しやすい雰囲気づくりができるよう、心掛けたい。	・ 慶応技術士会の方がとても親切で、協力的にイベントを進行して下さい、青年の PR の場にもなっていたと思います。次回も参加したいです。

第8回学生と技術士の対話会 事後アンケート集計

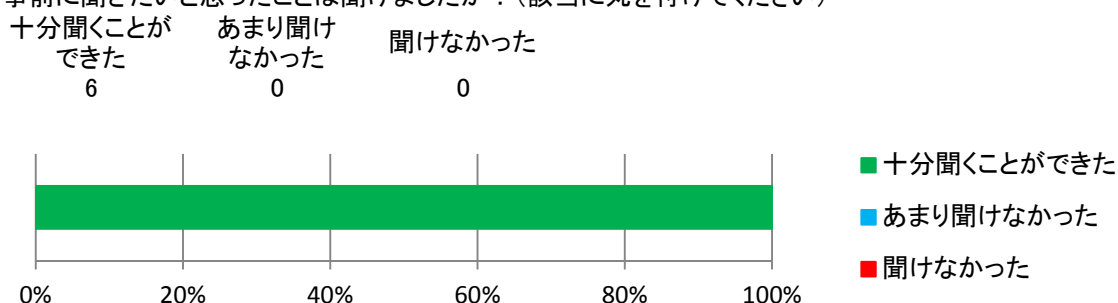
対話会実施日：17年12月09日

- (1) 対話の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？（該当に丸を付けてください）

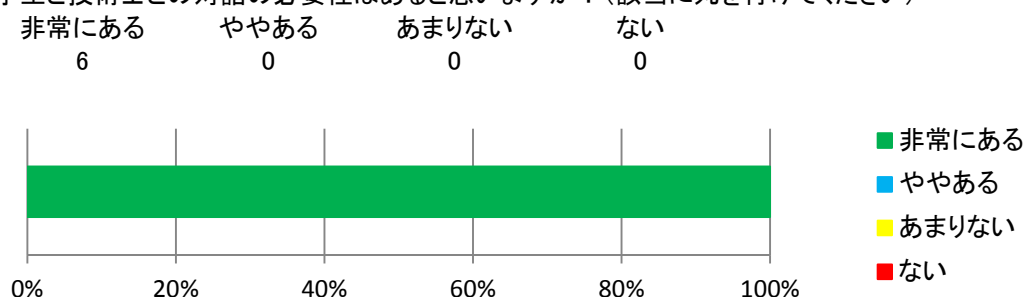


大学からは得られない現場の情報が聞けて大変参考になった。
技術士に関する理解を深めることができたから。

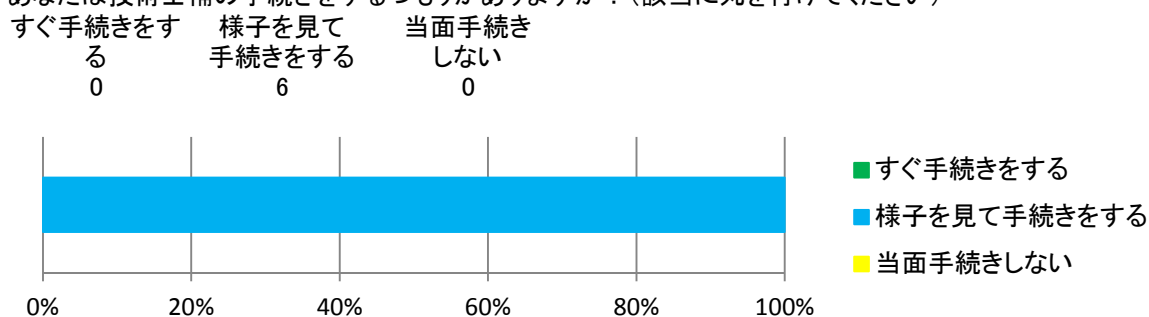
- (2) 事前に聞きたいと思ったことは聞けましたか？（該当に丸を付けてください）



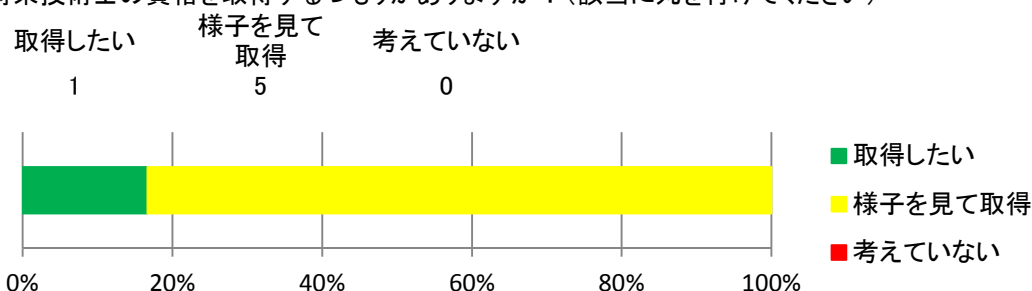
- (3) 学生と技術士との対話の必要性はあると思いますか？（該当に丸を付けてください）



- (4) あなたは技術士補の手続きをするつもりがありますか？（該当に丸を付けてください）



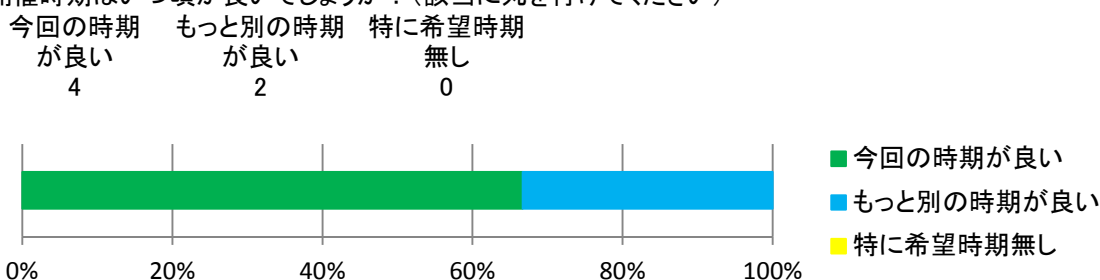
- (5) 将来技術士の資格を取得するつもりがありますか？（該当に丸を付けてください）



- (6) 今回の対話会で参考になったこと、印象に残ったことは何ですか？（自由記述形式）

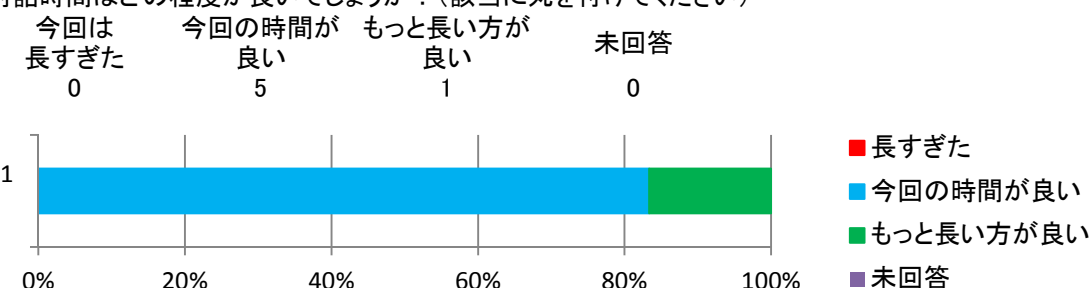
現場に所属したあとどのようにステップアップして理系職として生きるか具体例を見られた。
 いろいろな職種の方から意見を伺えて非常に多面的に考えられた。
 技術士という資格が自分自身のステータスとして。
 非常に役立つことを知ることができた。
 技術士の資格を取得することで海外においても認められることができる、技術士同士でつながりができ、深い話をする事ができる、試験の対策について。
 技術士には様々な部門があり、多様な分野で活躍できることが分かりました。
 技術士の仕事の幅広さ、技術士会のネットワークの重要性

- (7) 開催時期はいつ頃が良いでしょうか？（該当に丸を付けてください）



職種やその後の進路を考える上で、「JABEE」の有用性を含めて全体に話す場として欲しい。
 研究などが忙しい時期なので、もう少し早い時期がよい。
 就職について考える時期でもあり、ためになるお話を聞くことができました。
 B4とM1が忙しい時期であるため、今回の時期が良い。

- (8) 対話時間はどの程度が良いでしょうか？（該当に丸を付けてください）



- (9) 技術士との対話に期待することは何ですか？（自由記述）

現場での生き方や苦労することなど。
 技術士としての生活でどのようにキャリアアップしていくか。
 技術士に対する理解の向上
 技術士の仕事について理解を深めることができた。
 技術士としての仕事について。
 技術士になるためにどうすればよいのかを聞くこと、技術士になることの利点を聞くこと。

(10) 聞きたいことで聞けなかったこと、他に聞きたいことがありますか？(自由記述)

現場で感じる、こういう分野を学習しておくといふなど、学生に対して学んでおいて欲しいことや身につけておいてほしい考え方があればお伺いしたい。

技術士の資格の取り方や資格を取る上で仕事で意識すべきこと。

いろいろな話が聞けて、今後の将来について考えることができた。

就職に関するアドバイスなど様々なお話を聞くことができ良かったです。

行事名	2017 年 12 月:『技術士の制度・仕事とは!』 (日本技術士会埼玉県支部と共催)
日時	平成 29 年 12 月 15 日(金) 13:30~17:00
場所	埼玉大学 工学部 講義棟 4 F 56 番講義室
参加者	白井一光、横田敬久、滝口禎美、諸田 敦洋、瀧川 裕美、鈴木利治、清水 雄太、田中 雅人(前委員長)
担当者: (○印:リーダー)	○横田敬久、白井一光、滝口禎美、
参加者数	学生28名、教授2名(青年技術士交流委員8名、埼玉県支部 2名)

1 背景・目的

日本技術士会に学生層を取り込むために、新たな試みとして大学でのイベントの開催を計画しており、このたび埼玉県支部との共催により埼玉大学での技術士資格の説明会が実現した。これにより、日本技術士会への1次試験受験層・準会員層の増加やとりこみをスムーズにおこなっていきたいと考える。

2 イベント内容

2-1 開会の挨拶(13:00~13:05)

埼玉大学 工学部 重原孝臣 工学部長

イベント開催の趣旨を理解いただき、開催に尽力をいただいた、重原工学部長による開会の挨拶をいただいた。

2-2 説明「技術士の資格をとろう～技術士資格の活用について～」・埼玉県支部の紹介(13:05~13:50)

日本技術士会 埼玉県支部 黒澤兵夫 副支部長

埼玉県支部 黒澤様に技術士資格と制度についての解説と今後の試験制度の変更等の解説をいただいた。埼玉大学出身の技術士の数等、埼玉大学出身の学生にとっても身近な内容も取り上げていただいた。最後に埼玉県支部の活動についても紹介した。

2-3 青年技術士交流委員の紹介(13:50~14:00)

日本技術士会 青年技術士交流委員会 瀧川委員(上下水道)

瀧川委員より、青年技術士交流委員会の紹介を自信の就職～社会人から技術士資格取得・青年委員会への参加までの実体験をとおして解説をいただき、交流に重点をおいた青年委員会には学生でも参加できる旨も紹介された。

2-4 講演(14:00~16:50)

埼玉大学 工学部に対応する部門別に業務内容の紹介やそれぞれの部門に関する講演を行った。

2-4-1 講演「機能性材料を設計する技術士」 白井委員(化学)(14:00~14:40)

白井委員より自身の業務内容の機能性材の設計とキャリアの形成についてお話しされた、学生では体験できない工場勤務の経験や資格の習得の必要性、自己研鑽や特許について解説いただき、最後に特許についての本の紹介をされた。

2-4-2 講演「レンズ鏡筒の設計者が技術士を目指すまで」鈴木委員(機械)(14:50~15:30)

鈴木委員より、産業構造の変化によるプレーヤの変遷について自身のレンズ鏡筒を例にフィルムカメラ～デジタルカメラ～スマートフォンを例にお話しいただいた。そして、優秀な技術者としては産業構造の変化に対応することが必要だということをお話しいただいた。

2-4-3 講演「アンテナ設計と技術士資格と私」 田中雅人（前委員長）（電気電子）（15:30～16:10）

田中雅人（前青年委員長）氏よりスマートフォンのアンテナ設計の例を iPhone や XPERIA を例に設計の困難さを解説いただき、多数のアンテナの共存、仕様、規制、デザイナーの要求をどう満たすかなどの困難さ、また現在は車載アンテナの設計を行っており、自動車のアンテナの変遷や最新のシステムへの対応などについても解説をいただいた。1箇所にこだわらず常に、主流プレーヤーとなるところに技術者として身を置いて学び続けることの重要性についても話された。

2-4-4 講演「組込みシステムの開発事情と技術士資格取得の利点」 横田委員（情報工学）（16:10～16:50）

自身の現在の業務紹介（組込みシステム・組込み OS）と取り組みとしてマルチ OS の紹介、また案件に基づいた応用事例を紹介した。また、最近の傾向として ADAS や人工知能との連携について紹介し、最後に技術士・技術士会の業務での活用事例や業務での他社の技術士との関わりについてお話した。

2-5 質疑応答（16:50～17:00）

就職後、技術士取得までに取得すべき資格についてや技術士・技術士会の活動への会社の理解がどれくらいあるのかについて質問があった。

2-6 懇親交流会（17:00～18:00）

埼玉大学側のご厚意により無償で懇親交流会をひらいて重原工学長・黒川副工学部長や学生との交流の場を設けていただいた。青年委員の目的である学生との交流の場をいただき、技術士資格や技術系の就職に興味のある学生と現役技術士との情報交換や交流ができ青年委員や日本技術士会の認知も広がったと思われる。

3. 成果と所感

今回の対話会で以下の成果と所感を得た。

- A. 大学でのイベント開催は大学技術士会もしくはその地域の支部にお伺いをたてるとスムーズに進むのではないかと考える。また、大学の事務局・教授よりも学部長等トップからアプローチをかけるほうが効率は良いと考える。
- B. 大学側の広報の力の入れ方など周知方法についてはアンコントロールであり要検討事項と考える。
- C. 開催費用は今回の場合は懇親会もふくめて無償であった。大学・広さ・収容人数・熱意によって無償・有償のどちらになるか識別は難しいが、定期開催する場合は一定の額の予算をしたほうが良いと考える。

4. 今後の展開

今後、発展させていただきたい点は、以下の通りである。

- A. 埼玉大学での定期開催・他大学・高専での開催

今後も大学側の要求・要望があれば関係を強化し、他大学・高専などを検討していくべきと考える。

以上、文責 横田

【添付資料: 埼玉大学イベント開催状況】



受付風景



白井一光 委員 の講演



鈴木利治 委員の講演



田中雅人氏(前青年委員長)の講演



懇親交流会



集合写真

2017 年 12 月 学生イベント 埼玉大学 内部アンケート回答 (1 / 2)

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
横田	・時間はかかったけれども大学側が協力的で懇親会も行えた。 ・参加人数が多く女性も4～5人いた。 ・普段は会話になることがない、各委員の業務内容を知ることができた。	・次回があるなら、もっと円滑に定期的におこなっていききたい。 ・技術士制度や試験も我々でおこなっていいんじゃないかなと・・・(県支部の監修ということで)	・皆様、ほんとにほぼ1年お疲れ様でした。2つのイベントをきっかけに次回に繋がっていただきたいと思います。
白井	・重原工学部長、黒川副学部長にご挨拶いただけたこと。 ・30名ほどの参加者が集まったこと。	・講演でもう少し学生さんに響くコンテンツを盛り込みたかった。例えば、講演や出版のチャンスがえられること、議員さんや他団体、国際交流などのチャンスがえられること。	
清水	・技術士を知らない学生さんも多く参加されていた。 ・青年から参加した部門と参加した学生さんの学科がマッチしていて、其々の分野について、専門的な話ができた。	・もう少し早めに告知ができれば良かったかと思います。学生さんだと、アルバイトやサークル活動との兼ね合いもあるので。	・特になし
鈴木	・まずは、大学での講演会が実施できたこと。 ・懇親会にも学生さんが来てくれていたこと。	・我々が伝えたいことと、実際に学生が知りたいことを理解して次につなげられればよいと思います。	・学生さんを相手の場合は、技術士の前に技術者、技術職そのものがぼんやりしているのではと思うので、その辺も含めて伝えられればと思いました。
諸田	・30名程の学生が参加して下さった。 ・大学の先生方が多くの学生へのお声掛けや会場設営など、各種ご尽力いただいたことはありがたいです。 ・複数部門の委員が発表できたため、単調にならず終始楽しめた。 ・皆さんのプレゼンが解り易かった。	・埼玉県支部との調整にも時間を要したので、同様のイベントの際は開催地の支部に確認をしましょう。	・各種調整お疲れさまでした。これを糧にして他県の大学でも開催したいですね。
田中 (雅)	・瀧川さんの青年紹介。自分のことを晒すプレゼンで親近感がありました。 ・滝口さんが率先して細かい仕事に対応していたこと。電気のオンオフ、途中参加者の対応、懇親会の準備や片付けなど。 ・白井さんが紹介する本を実際に持ってきたこと。私には持参するという発想はなかったです。	・講演者同士で講演内容を事前に確認し意見交換できていたらよりまとまりがあってよくなったと思います。 ・専門分野のキーワード主体の講演よりエンジニア一般の話の方がより有意義な講演内容になり、学生が集まったと思います。自分の専門に関する分野の講演のみを聞けばよいという雰囲気が出てしまっていました。	・本当にご対応お疲れさまでした。またお声がけくださると嬉しいです。

2017 年 12 月 学生イベント 埼玉大学 内部アンケート回答 (2 / 2)

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
瀧川	・各人の持ち味が発揮された内容であったこと。皆様のお話は、私自身大変勉強になりました。 ・大学側の先生方がとても好意的であったこと。 ・最後まで興味津々に話を聞いてくださった学生さんが複数名いたこと。	・青年だけでできるような人脈づくりもしていきたいと思いました。	・ご苦勞が多かったと思いますが、同時に今後の糧になるものを沢山収穫できたかとも思います。準備をしてくださった皆様、本当にお疲れさまでした。どうもありがとうございました。
滝口	・大学の技術士会が無い大学で、開催できたこと。 ・埼玉大学との関係作りができたこと。 ・埼玉大学側が協力的で、午後半日分、教室や機器・交流会まで無料で利用させて下さり、教職員の方も多く参加下さったこと。 ・皆さんのプレゼンが 40 分と長かったにも関わらず、聞きやすく、学生が熱中できる内容であったこと。	・次回は大学や県支部、関係団体の把握をした上で実施の計画を立てたい。 ・事前の告知方法は紙媒体に限られるので、より効果的なポスターの作成など、告知の依頼の仕方を考えたい。	・大学の行事や試験などの都合を考慮していたため、計画よりも実施月度が遅れがちになり、平日開催となってしまいましたが、皆さまが業務を調整下さり、無事完了させることができました。 - 想定外の急な依頼、連絡事などにも、横田さんをはじめ皆さんが快く対応下さったおかげです。本当にありがとうございました。

行事名	1 月例会:内部向け企画「高尾山を散策しよう」
日時	2018 年 1 月 20 日(土) 12:00-16:00
場所	高尾山
講師	-
担当者: (○印:リーダー)	○栗野委員補佐、赤木委員、守田委員
参加者数	例会:22名(青年委員メンバー14名、オブザーバー1名、紹介・同伴者7名)

1. 背景・目的

高尾山は東京都心に隣接しアクセスのよい「世界一登山者の多い山」である。そこに至るには地域住民が連携してゴミ問題を解決するなどの努力が実り、ミシュラン三ツ星を獲得し、世界的な観光地へと発展させた背景がある。また、高尾山はオリエンテーリング発祥の地であり、常設のオリエンテーリングコースも設置されている。そこで、オリエンテーリングをし、パワースポットをめぐりながら、世界的な観光地として発展をとげた理由をさぐる。オリエンテーリングはグループ分で、観光地として工夫されている点を見つけながら行う。

2. 例会内容

【概要】

5～6 人のグループを 3 班作り、それぞれのグループに「神社とお寺が一緒にある風景」や「丸いものを持った童子像」など複数のお題を配布。登りながら探し出してもらい、Facebook の非公開グループへ投稿してもらった。お題はグループ毎に異なるが、重複する場合は先に見つけ出して投稿したグループへ多めの点数を与えることとした。山頂をゴール地点とし、最も多くの得点を獲得したチームが優勝となる。

【行程】

10:30～12:00 新宿駅集合、高尾山口駅へ移動開始
 12:00～12:15 高尾山口駅前集合、グループ分けとオリエンテーションの説明を実施
 12:15～14:15 オリエンテーション
 14:15～14:30 点呼、集合写真撮影
 14:30～16:00 下山して再点呼を行い、解散。
 16:00～18:00 各自で新宿へ移動
 18:00～20:00 懇親会

【グループと採点結果】

- ・A チーム: 山本 恵一、山本 佳奈、清水 雄太、本田 晃之、小塚 俊吾、田中 仁美
- ・B チーム: 内田 孝輝、竹内 将人、滝口 禎美、Ye Min Han、高橋 義也
- ・C チーム: 河野 恭彦、明山 公也、諸田 敦洋、横田 敬久

優勝は **A** チーム

3. 成果と所感

- ・ Facebook を利用することで参加者同士のコミュニケーションを促すことができたと感じている。イベントが終わっても交流の継続や、アルバムの活用が出来るため、企画内容に応じて導入したい。一方で、全ての人がアカウントを持っているわけではないので、持っていない人が疎外感を感じないような工夫も必要だと思った。
- ・ 青年 OB、新規委員希望者、リピーターの方、青年委員の家族など青年委員以外の参加があり、幅広く親睦を深めることができた。
- ・ 担当者による下見を行うことで、お題の作成だけでなく、当日のスケジュール、緊急時の対応方法などを確認することができた。

4. 今後の展開

- ・ 今回、レク保険は AIG 損保を利用した。今まで利用していた保険とほぼ同額であるが、参加人数とイベントの内容を伝えるだけで申し込みが出来るため、個人情報の収集が不要だった。人数の下限が無く、個人情報流出のリスクもないため、機会があれば利用したい。
- ・ 小さいお子さんのご家族がケーブルカーで別行動となってしまった。班分けを工夫する、お子さんも楽しめるお題を設けるなど考慮すべきであった。

5. 実施状況



2018 年 1 月例会 内部アンケート

■高尾山

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
田中	・ 事故やトラブル無く終えることができたこと。 ・ 全員が集合時間を厳守したこと。 ・ 時間管理が完璧で、しおりの完成度が物凄く高かったです。 ・ 前日のリマインド連絡や、先頭・一番後ろに必ず例会担当の方が付いていてくださり、細やかな気遣いに感動しました。 ・ Facebook を使って、リアルタイムでの状況共有が出来て、どのグループがどこにいて何をしているのかが分かったのが良かったです。 ・ オリエンテーションのおかげで、ワクワク感UP、且つグループの団結力が向上しました。	・ ケーブル組が1組だけで、少し寂しそうだったかもです。 ・ コラムのケーブルカーの説明を、配布するだけでなく、頂上でみんなで読んでも良かったかもです。 ・ OBの方や他地域の青年の方もいらっしゃっていて、良い交流の機会になったので、今後内部イベントでは青年関係者を呼んでもいいかもと感じました。	・ 本当によく練られた企画でした。これだけの企画と下準備はとても大変だったと思います。素敵ないベントをありがとうございました。
諸田	・ 委員・委員補佐の親睦が深まりました。 ・ 色々調べたことがしおりにまとめられており、良かったです。現地調査素晴らしいと思います。 ・ Facebook を活用し、各チームの進行状況が見える化できたのは良かったですね。 ・ 委員・委員補佐の日頃の行いが良かったためか、天候に恵まれ、清々しい気分になりました。ケガや体調不良になった方もおらず良かったです。	・ しおりにケーブルカーのコラムを掲載したので、下山時は皆でケーブルカーに乗ると良かったかも。 ・ チームの人数に若干偏りがありましたね。	・ 私のチームは若干時間が押したので、11時半頃にスタートでも良かったかもしれませんね。 ・ のんびり楽しみ過ぎて山頂到着時間がギリギリになってしまい申し訳ございませんでした。 ・ 日頃の運動不足に気付くことができ、それを解消できるキッカケとなりました。ありがとうございました。
守田	・ 美味しい空気と景色、そしてメンバーの笑顔が見れたこと。	・ 自身の体力。昨日(1/23)まで筋肉痛でした。	・ カメラを持っていたのに、一枚も写真を撮っていませんでした。
赤木	・ 大規模な野外イベントでしたが、天気にも恵まれ、怪我人、遭難者が出なかった。 ・ 山中さん(青年 OB)ご家族、河野さん(青年希望者)、内田さん(関西からのリピーター)、YeHan(オブザーバー)など多彩な方々にご参加いただいた。 ・ Facebook を利用した回答の仕組み。 ・ 小塚さんのケーブルカーのコラムのおかげで、よりケーブルカーを楽しめた。 ・ 高橋さん、天狗焼ごちそうさまでした。	・ 小さい子を含むご家族が1組となり、ほぼ単独行動となってしまった。	・ 夏のビアガーデンもオススメです。
清水	・ 都心から近く、また登山としての難易度も低く、とてもいいチョイスだったと思います。 ・ お題に運要素もあり細部まで観察しながら探したので様々な発見があり、とても楽しかったです。	・ ケーブルカーの駅前等でケーブルカーについての説明があると良かったかと思います。	・ 初めての高尾山でしたが、とても楽しめました。ご準備頂いたみなさま、ありがとうございました。
栗野	・ しおりの内容が充実していたこと。かつ、持ち運びやすい大きさ、見やすいレイアウトなど、参加者目線の工夫が沢山ありました。(守田さん、赤木さん、ありがとうございました！す！！)	・ 雨天時のバックアッププランが十分に練り切れてなかったのが、次回野外イベント時には十分に検討したいです。	・ 同行中、皆さんがお題に気付かずに通り過ぎた所が何ヶ所があり、「あ～、教えてあげたい～！！」と悶々としていました。

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
	・ Facebook でグループを作ること で、参加者同士の繋がりが強くな った気がします。(イベントが終わ った後の交流にもつながりそうデ すし、外部向けでもやってみたい ですね。) ・ 時間通りに進行したのと、トラブル がなく終わられたのが良かったデ す。皆さん、 ご協力ありがとうございました！！		
小塚 (俊)	・ スケジュールにゆとりがあり、安全 に全日程を終えることができたこ と。 ・ グループ行動にしたことで、コミュ ニケーションが密に取れたこと。 ・ お題に回答しながら登山したの で、普通に歩いていたなら目を向け ないようなところに目が向き、高尾 山の新たな魅力や取り組みを知る ことができたこと。 ・ しおりがわかりやすく、内容が充 実していたので、事前の準備を行 いやすかったこと。	・ ケーブルカーを希望する方が一 組だったことが事前にわかってい たと思うので、ケーブルカーの班 に青年が入るように事前に募集を かけると良かったかなと思います。	・ お題作成のために下見を精力的 に行われたことと思います。寒い 中だったと思うので、大変恐れ入 りました。ありがとうございました。
山本	・ 場所の選定が良かったです。近 場で気軽に参加できる場所で、家 族連れでも参加しやすかったです。 ・ お題を解いていくのが楽しかった です。ちょっとスタンプラリー的な 要素もあり、すこしづつクリアして いくのが面白かったです。 ・ FaceBook に、リアルタイムに写真 を投稿していくので、他の班の様 子が分かって楽しかったです。	・ 特にありません。	・ 娘連れでの参加、初めてでちょ っと不安でしたが、皆さまの暖かい 対応で、親子とも、とても楽しむこ とが出来ました。あらためて、あり がとうございました。
竹内	・ しおりや、フェイスブックを使った アイテム発見課題など、とてもよく 準備をされて練られた内容であっ たこと。(相当に現地調査をされた ことと思います) ・ FBでのリアルタイム写真共有が斬 新であったこと。 ・ 「甘い天狗」と、課題にグルメ紹介 が織り込まれていて、いいタイミン グで休憩・おやつタイムがとれたこ と。 ・ ゆっくりと健康的にお話をする時 間が持てたこと。	・ とくにありません。	・ 担当の皆様、冬場に何度も登られ たことと思います。大変お疲れ様 でした。おかげさまでとても楽しか ったです！！

■懇親会

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
諸田	・ 時間通りに新宿に到着し、懇親会を開始できたのは良かったですね。	・ ありません。	・ 今回は先約があり参加できませんでしたが、皆さんと懇親できることを楽しみにしております。
守田	・ 新宿で新しいお店を開拓できたこと。 ・ 白井さん、田角さんが参加してくれたこと。 ・ サイト経由で予約したことで、予算内に開催できたこと。 (直接予約したら予算オーバーでしたが、Hotpepper 様様です)	・ ビールか否か(発泡酒か第 3 のビール等)が、よく分かっていないこと。	・ なんかお酒が回ってしまい、後半寝ちゃっていました。 ・ 参加者の方々、私とお話できなくて、ごめんなさい。
赤木	・ 田角さん、白井さんが参加してくれた。 ・ 守田さんがよいお店を探してくれた。コスパ良かったです。 ・ ピッチャーで提供されるサワーを初めて見たこと。	・ イベントの結果発表を忘れていた。 ・ 例会担当にもかかわらず、遅刻した。0 次会には要注意ですね。	・ Google Map を信じて店に向かったら、裏口だった。デジタル情報への頼り過ぎは要注意ですね。
栗野	・ お料理が美味しく、雰囲気も良かったです。守田さん、ありがとうございます！	・ 特にありません。	・ 白井さん、田角さん、ご参加ありがとうございました！ ・ コスパ抜群なので、プライベートでも活用させていただきます～！
清水	・ とてもおしゃれなお店で良かったです。インスタ映えするお店でした。 ・ 白井さん、田角さんが来てくれたこと。	・ 特にありません。	・ 特にありません。
小塚(俊)	・ 料理が美味しく、量もほど良かったです。 ・ 清潔感のある、きれいなお店であったこと。 ・ 駅からのアクセスが良かったこと。	・ 強いて言えば、飲み物が届くのに時間を要していたことでしょうか。土曜日だったので、しょうがなかったと思いますが。	・ 例会、懇親会ともに、質が高くて大満足です。ありがとうございました。
竹内	・ 帰宅ルート上に懇親会場があったこと。 ・ 飲み物がジョッキでしか来ないという変わったルールに、うまく乗って楽しむことができる、皆様の遊び心。	・ 二次会～も行きたくなってしまう自分の貧弱な自制心。	・ 特になし。

以上

行事名	技術士を目指そう、修習ガイダンス 2018 パネル討論
日時	平成 30 年 2 月 10 日 (土) 14:30～15:55
場所	日本教育会館 3階ホール (九段下、神保町、竹橋)
講師、発表者	コーディネーター:山本恵一*(電気電子、総合技術監理) 修習技術者パネリスト:滝口禎美*(化学)、谷川一貴(情報工学) 技術士パネリスト:田中仁美*(生物工学)、小塚隆*(金属)、萩尾友治*(機械) PC 操作担当:赤木宏匡*(経営工学) *は、青年委員/補佐
担当者: (○印:リーダー)	○山本、滝口、田中、小塚(隆)、萩尾、中川(アドバイザー)
参加者数	約200名(参加申込者数)

1. 背景・目的

修習技術者支援実行委員会(修習委員会)が主催する第一次試験合格者/JABEE 認定課程修了(見込)者を対象とした「技術士を目指そう、修習ガイダンス 2018」において、パネル討論を青年技術士交流委員会(青年委員会)にて例年通り担当した。

パネル討論の主な目的は以下2点である。

- 1)修習技術者に向けて第二次試験受験および日本技術士会参加への動機づけを図る。
- 2)パネリストの実体験共有、技術士試験突破への意欲の増進、および技術士としての将来像を認識頂く。

2. パネル討論内容

タイトル:「技術者から技術士へ～第二次試験を通過点として～」

No.	時間(分)	内容	説明
1	5	オープニング	・ コーディネータ挨拶 ・ パネリスト紹介 ・ パネル討論の目的と流れ
2	10 (5×2)	修習技術者パネリスト講演	・ 自己紹介 ・ 技術士受験動機 ・ 第二次試験に向けた現在の取組み ・ 第二次試験に向けた不安、悩み
3	5	パネル討論 1 2次受験に向けた不安、悩みの整理	・ 漠然と感じている悩みの顕在化
4	15 (5×3)	技術士パネリスト講演	・ 受験動機 ・ 第二次試験突破の工夫 ・ 受験勉強中の悩みと解決方法 ・ 技術士とは
5	15	パネル討論 2 第二次試験に向けて	・ 第二次試験への取組み ・ どのような能力が必要か ・ 勉強方法 ・ 試験へのモチベーション維持
6	10	パネル討論 3 技術士として生きる道	・ 技術士の在り方 ・ 技術士になって変わったこと ・ キャリアプラン
7	10	パネル討論 4 日本技術士会の活用	・ メリット ・ 具体的な活用方法
8	10	質疑応答	
9	5	クロージング	・ 修習技術者の決意表明 ・ 技術の激励 ・ 締めの挨拶

3. 成果と所感

3-1. 成果

- ・参加者目線でのストーリーづくりに心がけた。祝賀会で、複数の参加者から分かりやすかったという評価を頂いたので、おおむね成功と考える。
- ・討論が自然な流れになるように、参加者目線でパネリストと対話することを心掛けた。内部アンケートで、流れが自然であったという評価を頂いたので、聞き手として聞きやすかったのではないかなと思う。
- ・時間通りに討論を終わらすことが出来た。事前ストーリーの作成により、時間配分を管理しやすかったのが良かったと考える。
- ・質疑応答では、しっかりと討論内容を把握した上での質問が多かったことから、討論内容は参加者に届いたと考える。
- ・パネリスト全員が登壇できた。皆様のスケジュール調整と、健康管理に感謝いたします。

3-2. 所感

- ・パネリスト未経験でコーディネータに挑戦したが、青年内に過去の蓄積があったので、最後までやり切ることが出来た。中川さん、赤木さん始め、多くの方に助けて頂いて非常に助かった。
- ・内容の重複が少なくなるように、ストーリーの内容を各パネリストと調整した。結果的に、各パネリストの得意分野をうまく引き出すことが出来た。
- ・リハーサルで、PC 環境の確認ができたのが良かった。PC 貸していただいた守田さんに感謝いたします。

4. 今後の展開

- ・次回以降も、例年同様パネル討論を青年委員会で企画し、組織として経験を引き継いでいくことが重要と考える。
- ・修習委員会とのコミュニケーション不足により、混乱が生じた。次回以降は、修習委員会側ワーキンググループへ青年スタッフを派遣し、取り組みに対して相互に理解を深めることが必要である。
- ・従来は、パネル討論の企画内容については青年に一任されていたが、今回は修習委員会より様々な要求があった。いずれも短期間では対応できない内容であったため、対応できない旨の回答したが、再三にわたり要求が続き対応に苦慮した。青年側と修習側で、準備の日程感に大幅な認識のズレがあることが一因と考える。次回以降は準備日程について、青年側から修習側に積極的に情報発信していく必要がある。
- ・ガイダンスへの参加者が年々減ってきていることに対する分析が必要と考える。

以上、文責 山本

【添付資料 1: パネル討論の開催状況】



写真 1 パネル討論全体図



写真 2 パネリストの谷川さん



写真 3 パネリストの滝口委員補佐



写真 4 パネリストの田中委員



写真 5 パネリストの小塚委員



写真 6 パネリストの萩尾委員



写真 7 コーディネーターの山本



写真 8 終了後の記念撮影

行事名	修習ガイダンス 2018 祝賀会の部
日時	2018 年 2 月 10 日(土)
場所	日本教育会館(東京都千代田区、神保町駅近く)
講師、発表者	総合司会: 竹内委員 インタビュー司会: 白井副委員長
担当者: (○印: リーダ)	○竹内委員、白井副委員長、守田委員、小塚委員補佐、清水委員補佐
参加者数	約200名

1. 背景・目的

修習ガイダンス 2018、パネルディスカッションに参加した一般参加者の交流を深めるために、例年、修習委員会が会場の手配を行って立食形式の祝賀会を開催しており、青年委員会としては、催し物の企画と司会進行を任されている。

2. 例会内容

2. 1. タイムテーブル

- 16:30 祝辞 修習委員会 石附委員長
乾杯 青年委員会 諸田委員長
～ 歓談 ～
- 16:50 パネリスト・コーディネーターの再紹介
山本さん、小塚さん、田中さん、萩尾さん、滝口さん、谷川さん
－ 参加者の挙手により、パネリストとの質疑応答
－ 懇親会担当(白井、竹内)が会場をまわって参加者に突撃インタビュー
- 17:25 今後の行事予定
修習委員会 多田委員
青年委員会 (3月清水さん、4月白井さん)
～ 歓談 ～
修習委員・青年委員がテーブルの表示交換を行い、地域別→部会別に配置替え
～ 歓談 ～
部会、地域本部からの一言
(その場での募集をおこない、Yes!Metals、情報工学部会より一言いただいた)
- 18:25 閉会の挨拶
挨拶 修習委員会 野村副委員長
三本締め 青年委員会 山本委員(コーディネーター)
アンケート記入依頼のアナウンス
- 18:30 閉会
出口でアンケート、ストラップの回収(守田、小塚(俊)、清水)

3. 成果と所感

- ・懇親会の企画について事前に修習委員会からもコメントをいただき、タイムテーブルや配置換えの順序(先に地域別、あとから部門別)等、細かいところにも気配りができた。
- ・最登壇したパネリストから場を盛り上げていただき、和やかな雰囲気となり参加者からの質問が得やすくなった。またホールとは雰囲気の違う場で質問時間を設けることで、パネルディスカッションのフォローアップの役割を果たし、かつ各テーブルへの話題提供ができた。このとき、青年委員、修習委員が各テーブルに分散していたことも各テーブルでの交流の盛り上がりにつながった。
- ・歓談が盛り上がってくるとマイクの声も聞き取りにくくなる。このことは例年アンケートにコメントいただいているが、音量をあげて強制的にマイクの話題に引き込むよりも、各テーブルでの参加者同士の交流を重視した。また交流が停滞気味の方へは突撃インタビューでフォローした。
- ・マイクの声が聞こえないという方には、前に出て聞いていただいて良い(地域、部門別のテーブルから離れてかまわない)とのアナウンスがあればよかったと思う。
- ・懇親会のコンテンツとしては昨年の流れを引き継いだが、ひとつの完成形とも言えると感じた。

4. 今後の展開

- ・祝賀会の目的は、修習ガイダンス、パネルディスカッションに参加した一般参加者の交流を深めることであり、アンケート結果に見られる参加者の目的とも一致している。したがって、企画としては交流を促進するものが良いと考え、企画は話題提供を狙ったものとした。
- ・今回は昨年と同じ企画であったが、会場の盛り上がりおよび参加者の満足度に再現性があったと思う。今後も構成は同様のものとし、パネリストや司会の個性合わせたブラッシュアップや、参加者への細やかな配慮に力点を置くことが良いと考える。

5. イベントの様子



パネリストの再紹介



質疑応答



歓談の様子①



歓談の様子②



歓談の様子③



閉会の挨拶

以上

行事名	技術部門別展示・説明会
日時	2018 年 2 月 10 日 (土) 10:30-12:00
場所	日本教育会館 9 階 喜山倶楽部 平安の間
参加者	諸田、赤木、守田、栗野、小塚(隆)、小塚(俊)、横田、白井、滝口、清水、竹内、高橋、中川、臼井、明山、鈴木、山本、下野、田中、井口、萩尾、瀧川
担当者: (○印:リーダー)	横畠、滝口、○瀧川(記)
参加者数	約200名(参加申込者数)

1. 背景・目的

技術士第一次試験合格者・JABEE 認定課程修了の修習技術者に向けて、日本技術士会の各部会・委員会活動の紹介を行い、研鑽・交流の場への参加を促す。

その中でも青年技術士交流委員会は以下を目的として実施した。

- ・青年技術士交流実行委員活動内容紹介

- ・青年技術士交流実行委員主催 3 月・4 月例会の案内

※3月例会(一次試験合格者・JABEE 認定課程修了の修習技術者が対象)

※4月特別例会(一次・二次試験合格者交流会)

2. 内容

2-1. ポスター展示およびビラ配布

ポスターおよび写真を展示し、各委員・委員補佐による青年技術士交流委員会の活動および今後のイベントの紹介を行った。

2-2. 委員長によるプレゼン

青年技術士交流委員会の目的および具体的な活動について、委員長よりプレゼンを実施した。

3. 成果と所感

3-1. ポスター展示およびビラ配布

ポスターの他に過去一年間に実施した活動の写真を展示することで、より具体的なイメージを参加者に持たせることができた。展示場所も昨年同様立地条件がよく、活動内容を効率的にアピールすることができた。

3-2. 委員長によるプレゼン

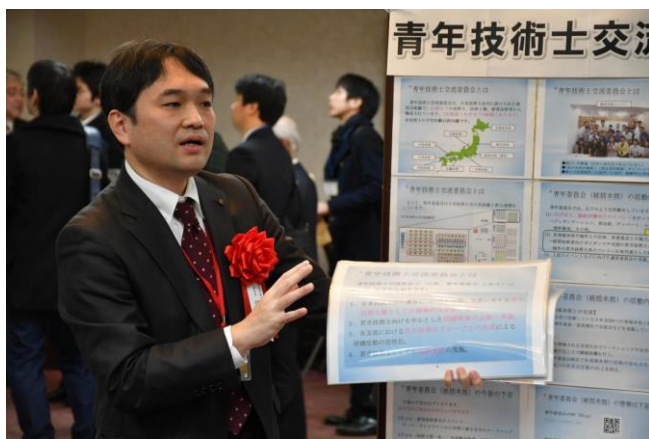
たくさんの参加者がブースの前に集まり、委員長のプレゼンに話に耳を傾けていた。その後の委員・委員補佐の委員会紹介活動も活発に行うことができた。

4. 今後の展開

青年技術士交流実行委員活動に興味をもっていただいた方を中心に3月例会・4月特別例会の案内や今後の青年委員例会告知を行い、会員拡大を目指す。

また、次回ポスターや写真の展示、ビラ配布以外にも効率的にアピールできる媒体があれば採用を検討する。

【添付資料：開催状況】



以 上

1. 今回の合格祝賀会について

Q1-1. 今回の合格祝賀会は、全体としていかがでしたか。

a) 満足	43
b) ほぼ満足	28
c) 普通	9
d) やや不満	0
e) 不満	0

Q1-2. スタッフの対応（会場の準備、当日の進行など）は、いかがでしたか。

a) 満足	46
b) ほぼ満足	23
c) 普通	11
d) やや不満	0
e) 不満	0

Q1-3. スタッフに伝えたいこと（コメントなど）がありましたら、お書きください。

けっこう早くから来たが、午前中はあまり必要と感じなかった。
親切に対応頂きありがとうございます。
楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。
マイクでもききとれない
気軽に声をかけていただき、ありがとうございました。
貴重な情報をご教授頂き、ありがとうございました。
お酒の量の確保が素晴らしい
このような場を設けて頂き、ありがとうございました。
楽しかったです。有難うございました
お忙しい中、素敵な会を催して下さいありがとうございました。
今年度合格します。来年は赤いストラップを付けて会場でお会いしましょう。
部門別展示会のスタッフの方が少ない様に感じました。
部門が違うのに色々教えて頂きありがとうございました。
本日はありがとうございました。
気をつけて話しかけてくださり、本音トークもできて他の学会にはないわきあいあいとした雰囲気が良かったです。

2. 祝賀会参加について

Q2-1. あなたが合格祝賀会に参加した目的はなんですか。選択項目に○印を付けてください（複数可）

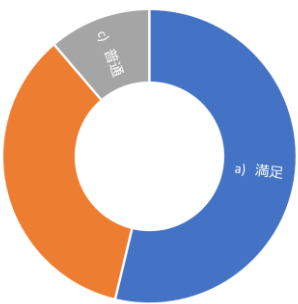
a) 技術士第二次試験の情報収集	60
b) 一次合格者（修習技術者）との交流	40
c) 技術士との交流	56
d) 各部会や各委員との交流	33
e) その他	3

※その他の記載内容：同業他社や関連会社の方との交流、技術士資格の取得目的の検討、技術士補登録のための技術士の方探し

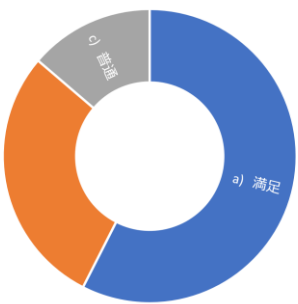
Q2-2. 最後に、何かご意見などございましたら、お書きください。

いろいろな分野の方と話しができた良かったです。
貴重な機会をくださり感謝いたします。
いい会でした。是非継続してください。
モチベーションupや情報収集に役立ちました。ありがとうございました。
技術士会のハードルを下げて交流を深めていけば良いと思う。
とても楽しく、モチベーションupにつながりました。
本日はありがとうございました。
IPDの活動等に参考にしたい。（時間が許される限り）
今後もこのような素晴らしい機会を継続してください。
部会の紹介は、もう少し力を入れた資料があると良いと思います。
今後ともよろしくお願い致します。
楽しかったです。受験部門の方々とお話しさせて頂いたことも、とても有意義でした。ありがとうございました。
社内で仕事をしていると他社の方と話す機会がなく、技術士会は部会等の活動が活発でよいと思いました。

Q1-1.今回の合格祝賀会は、全体としていかがでしたか。

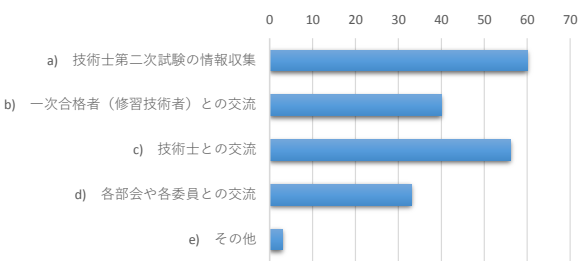


Q1-2.スタッフの対応は、いかがでしたか。



Q2-1.あなたが合格祝賀会に参加した目的はなんですか。

(複数可)



2018年2月10日 修習がイダンス 内部アンケート

例会Gr. 中川

【ホスター展示】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
白井	諸田さんの青年紹介の紙芝居にひとが集まっていたこと。 瀧川さんのホスターと写真が注目を集めていたこと。	来場者が少なかった印象。事前の広報活動に修習委員会に協力して取り組んだ方が良いと考えます。	部会ばかり居ましたが、青年ブースは昨年からも進化していて、人数も多くて存在感抜群ですね。
諸田	・早朝から10名以上が修習委員会の朝会への参加および会場設営を積極的に支援したこと。 ・ホスターのデザインが新しくなり、より素敵になったこと。 ・活動写真を数多く展示したことで、活動内容の見える化・見せる化ができ、参加者の多くを呼び込めたこと。 ・委員、委員補佐の全員で参加者にお声掛けできたこと。	私のタイムマネジメントが悪く、青年委員会としての朝礼ができなかったこと。また、青年委員会の集合写真撮影を開場ギリギリにしてしまったこと。申し訳ございませんでした。	委員、委員補佐が自主的かつ臨機応変に動いていたため、盛況のうちに終えることができました。本当に心より感謝します。ありがとうございました。
下野	・諸田さんの解説の時間に人だかりができていました。人が集まっているとさらに人が集まる相乗効果が得られたと思います。 ・写真が多く貼られていたので説明がしやすいかったです。	私の理解不足ですがチラシが封筒に入っていることを知らずに参加者に手渡していました。手渡したときに、もう持っている、と言われました。一方で、チラシを手渡す方が話しかけるきっかけにしやすいし、わざわざ封筒から取り出してもらってから説明するよりも手間取らずスムーズにできチャンス逃さないと思います。改善策はすぐに思いつきませんが、このような事を感じました。	特になし。
萩尾	・ホスターの出来映えが素晴らしかった。青年の良さのわかる内容だったと思います。 ・諸田さんの青年紹介の時、たくさんの人が集まったこと。 ・青年メンバーがそれぞれ熱心に青年の紹介をしていたこと。 ・みんなで集合写真を撮れたこと。	特にありません。	瀧川さん、滝口さん、あれだけの質・量のホスター・写真の準備は本当に大変だったと思います。お疲れ様でした！
竹内	・ホスターが大きくきれいで、とても目を引きました。また、毎月の例会写真も雰囲気伝わって良かったです。 ・みなさまが参加者の方々へ説明されている時の熱心な姿勢が、とても印象的でした。 ・諸田さんの説明時の人だかり、どこよりも大きかったです。	ホスターを貼る板やテーブルのサイズ等が事前にわかっていればよかったかと思いました。	準備レベルがほかの部会等と比べてダントツでした。滝口さん、瀧川さん、諸田さん、お疲れさまでした。

2018年2月10日 修習がイダンス 内部アンケート

【ポスター展示】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
赤木	・例年どおり場所は最高でした。 ・写真にタイトルがついていたので、説明しやすかった。 ・ポスター、華やかなデザインで目立ちましたね。部会とは大違いでした。 ・諸田さんの委員紹介を含め集客力がありました。	諸田さんのプレートの紙ですが、持ちづらそうでしたので、厚紙に貼る、ポスターに入れるなどがよいかもしれません。	瀧川さん、準備から片付けまで、ありがとうございました。
後藤	私自身ほぼ終始水産部会の方のホールにいたのですが、遠目からでも青年のブースには沢山の人が集まっていた、目立っていました。	個人的なものです、今回初めてのがイダンスということもあり、色々勝手が分からず、水産部会内での事前調整をしておけば、もっと青年のブースに足を運ぶことも可能だったと思いました。今後の改善に活かしたいと思います。	-
田中	・ポスター、写真、とても素敵で華やかで、一番目立っていました。 ・私は生物工学部会のポスター前にいたので遠くから見えていましたが、一番たくさんの方が集まり、目立っていました。	最初の貼付準備の際に、写真を貼るのに時間を要していたので、ある程度の写真をあらかじめ繋げておく等しておいても良かったかもしれません。	瀧川さん、滝口さん、お忙しい中、あれだけクオリティの高いポスター・写真の準備、お疲れ様でした。
鈴木	・とにかく、目立っていたこと。 ・ホールの裏表を目いっぱい活用できていたこと。 ・諸田さんの紙芝居。参加者の方は注目しやすかったと思います。 ・どの写真がどの例会かわかるように帯を作っていたので、参加者もわかりやすかっただろうし、説明する方も伝えやすかったと思います。	・参加者が集まり始めていた段階での集合写真は、内輪で盛り上がりつつあるように見えたので、早めに撮りたかったですね。 ・10時半スタートでしたが、10分前くらいから参加者は部屋に入ってきていました。参加者の方が戸惑っている中で対応できなかったのが反省です。	・同じ参加者の方が、異なる青年メンバーと何度もおはなししていたので、青年メンバーといっても、いろんな視点で話をしていたんだなと思いました。 ・1次合格の方にとっては、初めてのイベント参加という方がほとんど。場合によっては、技術士に関係するものに接すること自体も初めての方もいて、青年の説明はもちろんなのですが、技術士について、受験について、技術士会についても初めての方に理解ができるようにしておく必要があると思いました。
清水	・写真が例会毎に別れており、説明がしやすかったです。 ・ポスターに存在感があり、様々な交流が一枚にまとまっていて、良い印象でした。	会場にいても集合写真に入れなかった人も居たので、集合写真の段取りを決めておけば良かったです。	瀧川さん、滝口さんお忙しい中ポスター作成、写真の精査ありがとうございました。

2018年2月10日 修習がイヴンズ 内部アンケート

【ホスター展示】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
山本	・ホスターが素晴らしかったです。使われている写真ひとつひとつが大きくて印象的でした。 ・青年イベントのスタッフ写真を一覧で並べたのが良かったです。この1年のイベントの流れが分かり易かったと思います。	特にありません。	・年配の方が、青年ではないのでイベント参加できないとおっしゃっていました。この反応には、毎回、企画側が青年で、参加側には年齢制限が無い旨を説明しているのですが、なんとかしたいですね。
中川	毎年のことながら、青年のホスターのクオリティの高さは目を引きますね。場所もよかったです。	特にありません。	ご担当の皆さん、お疲れさまでした。
小塚(俊)	・「楽しそう！」と思えるホスターで、青年の魅力がたくさん詰め込まれていたこと。 ・一面いっぱい写真を掲げ、メッセージは最小限ということで、見た人が気になって立ち寄りたくなるホスターだったと思います。 ・活動の様子の写真が時系列で並べられていたので、青年がどのような活動をしているのかを説明しやすかったこと。 ・全体的に文字が少ないにも関わらず、伝えられる情報が多かったように感じました。全体構成がよく考えられていたことに加え、ここまで写真を撮り溜めていたカメラ係の方、委員・委員補佐の日頃のめまさがここにて花開いた…という印象です。 ・諸田さんのプレゼンに大勢の方にお越しいただけたこと。	・(個人的な反省ですが) スーツ着用であることは完全に忘れており、私服で来てしまったこと。 【対策】スケジュール帳に当日の服装を記します…。 ・私は諸田さんのプレゼンを真横で聴講していましたが、残念ながら、せっかく諸田さんがお話をされていて、諸田さんの真横ですと声が聞き取りにくかったです。 【提案】諸田さんの立ち位置をコースの中央にすれば、より多くの方に声を届けられたのではないかと思います。(ホスターが諸田さんの背に隠れないように配慮されていたのだとは思いますが…。)	・「学生の方が多いなあ」という印象を受けました。やる気のある学生を取り込めると良いですね。 ・来場されていた学生さんから話を聞いたのですが、技術士一次試験の受験を積極的に勧めている大学もあるそうです。技術士の認知度が少しずつ上がってきているのかなと感じました。 ・写真がたくさんあったので印刷が大変そうだなと思いました。手伝いは不要でしたでしょうか？
瀧川	・滝口さんのセンスと諸田委員長の想いのこもったメッセージで、素晴らしいホスターに仕上がったこと。 ・諸田さんの紙芝居に参加者が聞き入っていたこと(位置によっては全然聞こえなかったのが残念でしたが…)。	写真貼りに時間がかかってしまった。予めつなげておくなどすべきでした。	・直前の方針変更、当日のお手伝いで皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。ご協力いただいた皆様、本当にどうもありがとうございました。 ・来年もあの位置が確保できるといいですね ^ ^

2018年2月10日 修習がイヴンズ 内部アンケート

【パ° 初討論】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
白井	皆様しっかり準備されていて、参加者のためになる論点に時間を確保できていたと思います。個人的には萩尾さんの魅力にしました。	来場者が少ないのはここでも気になりました。広報活動は課題に挙げた方が良いと思います。	かろうの清水さんがいい位置から撮ろうと動き回っていたのが印象的。
諸田	・山本さんが修習委員会との窓口およびコーディネータとしてしっかり、じっくり、的確に対応してくださったこと。心より感謝いたします。ありがとうございました。 ・昨年末から参加者全員が一丸となって入念に準備に取り掛かり、改善を繰り返すことで、素晴らしいパ° 初討論になりました。 ・講演、パ° 初討論ともに自然な感じで時間通りに進化したのは良かったです。 ・私は見る側だったにも関わらず、とても緊張し、心拍数が上がりましたが、パ° 初討論が進むにつれ、「安心感→ワクワク感→感動」という気持ちになりました。特にパ° 初討論の終盤は、これまでの皆さんの頑張りが走馬灯のように 思い浮かび、胸と目頭が熱くなりました。皆さん素敵でした。ありがとうございます。	パ° 初討論のテーマや進行について、修習委員会と青年委員会との間で目的やスタンスの違いをお互いに理解しあい、調整することに時間を要しました。そのためにも早めに振り返りをしましょう。	皆さんが程よい緊張感を持ちつつ、楽しそうにパ° 初討論を行っている様子を見て、とても嬉しい気持ちになりました。重ねてお礼申し上げます。本当に ありがとうございます。
下野	・参加者には2次試験の受験に向けての心構えを感じ取ってもらえたように思います。 ・時間配分が適切だったと思います。	・前半はパ° 初リスト同士の議論が活発で盛り上がりを感じましたが、後半はコーディネータからパ° 初リストへのインタビューのような感じで単発の受け答えで話題が続かない感じをうけました。 ・参加者の年齢層が1次試験の合格者のそれに比べて1～3歳程度上のような感じです。原因究明と必要に応じた対策も今後の課題かもしれません。	山本さんはじめ準備された方、年度末に向け忙しい中どうもありがとうございました。修習がイヴンズ全体のことであり、また青年委員の所管ではないかもしれませんが、日本技術士会の会長が登壇していませんでした。いつからか知りませんが、10年くらい前に私が参加したときはいらっしゃったので、少し違和感を感じました。対外的なインパクトの点からも会長の挨拶があっても良いように感じました。
小塚(隆)	とても楽しくパ° 初ディスカッションができました。山本さんの進め方が上手かったことと、みんな頑張れました。時間通りに進められたこと。(素晴らしいです)	今回の内容については特にありませんが、修習委員とうまくやっていければと…。	清水さんが頑張って写真を撮影されていたこと(素晴らしいです)

2018年2月10日 修習がイグニス 内部アンケート

【パ〇礼討論】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
滝口	・山本さんの進行がとても落ち着いていて、自然で分かり易かったこと・会場からの質問が思っていた以上に手が挙がっていたこと（興味を持って聞いて下さった方が多かったのでは？） ・中川さんのパ〇礼がとても手厚く安心できたこと（アドバイス、当日の移動など） ・直前にスライドとポインターのテストができたこと ・谷川さんをはじめ、修習の方と協力して良いパ〇礼ディスカッションに仕上がったこと ・山本さんの進行表や資料がとても丁寧で、ビューを重ね、分かり易く、気遣いのある内容に作られていたこと ・ひとみさんの発表がひとみさんらしい完璧さと親しみがありつつも、中川さんテイストの気品があり、高感度が高かったこと（交流会で皆さんの話題になってました!） ・萩尾さんの安定の現場力と力強さ、楽しそうな雰囲気会場に皆さんに良く伝わっているように感じたこと。 ・谷川さんが青年のことを気遣い、最後までタイムスケジュールやパ〇礼修正、修習との連絡窓口に尽力下さったこと。 ・マイク係のお二人もサッと挙手した方へ対応して下さいとあり、時間通り進行できたこと。	・練習が足りておらず、皆さまにご迷惑をお掛けしました、すみません。リハサル、重要と再認識しました。 ・白井さんと同じで、会場の参加者が例年より少ない気がしました。試験法改正のお知らせ等、重要な内容もあることを、もう少し広報しても良いかと感じました。	・パ〇礼ディスカッションの間、会場に青年の皆さんが見えてとても安心しました、パ〇礼ありがとうございました！ ・写真選びやポスター作製、お忙しい時期にご担当下さった瀧川さん、本当にお疲れ様でしたありがとうございます！ ・諸田さんの発表は聞けず残念でしたが、Innovative your skills with us! とてもかっこよくて、今年の青年・諸田さんらしい言葉で素敵だと感じました！ポスターは是非例会でも活用頂きたいです。 ・赤木さんとデザインを扱う例会も良いかも、と話しました。1月辺りに、例会担当で各自写真選びやビジュアルを作成してがイグニスに出すものをコンテストすると、準備も楽になりますし、全員で作れるので、楽しそうだと思います。如何でしょうか。
後藤	山本さんの進行に、谷川さん・滝口さん・萩尾さん・田中さん・小塚さんの発表まで全てが本当に素晴らしく感動しました。技術士への熱い思いが参加者に間違いなく伝わったと思います。また、青年委員会のみんなの思いを背負ってそれぞれが発表されていることもすごく感じました。	特にありません	個人感想で恐縮ですが、部門を問わず、技術士を目指すことの本当の意味が分かったというところで、私自身非常に勉強になりました。私が技術士を目指した第一のきっかけは、仕事上で必須の資格のためだったことですが、特に会社的に求められていなかったり、資格のこともよく周りでは知られていないという環境下で、どういったモチベーションを持って資格を目指すかということが気になっていましたが、そのもやもやがはじけ飛びました。そういった意味でもとても刺激的な時間でしたし、参加者の多くがそのようなことを感じていたのではないかと思います。

2018年2月10日 修習がイヴン 内部アンケート

【パネリスト討論】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
赤木	・修習技術者から始める方がよいですね。 ・山本さんのコーディネーター、たまにとる間が絶妙で、自然な感じでした。 ・パネリストも自然な感じで、回答されていました。パネリスト同士の問いかけも良かったです。 ・質問が活発に出されたことから、聴者がちゃんと聞いていたことがうかがえます。	ライトの位置が演台になっており、コーディネーター、パネラーに当てるように変更してもらいたい。	山本さん、修習との調整ありがとうございました。
竹内	・参加者の方々、これから二次試験を受けられる方々の目線にあったプレゼン、ディスカッションだったと思います。 ・流れがとてもスムーズで、全体が違和感なくまとめられていたので、聞く側もよく理解できたと思います。 ・修習委員から一人登壇された谷川さんとも、一体となって同じ思いで。	プレゼンターの名前が演台に貼られていましたが、演台で話す予定だったのでしょか？ (今回のように自由な位置としたほうが全身が見え、動きも入れられてよいと感じました)	・山本さん、修習委員との調整含め、コーディネーター大変お疲れさまでした。 ・パネリストのみなさまの個々の魅力が出ていました。資料作り、準備、お疲れさまでした。
中川	・山本さんのコーディネーターが素晴らしかったです。落ち着いた語り口で筋も言葉も丁寧で分かりやすく、あっという間でした。会場の皆さんへ力強いエールになったと思います。 ・パネリストの皆さんの個性がそれぞれ光っていました。	特にありません。	今回は例年になく修習委員との折衝に手間取りました。山本さん、諸田さん、お疲れさまでした。
清水	・受け答えがとても自然で、まさにディスカッションをしているように見えました。 ・多分修習委員の方？から、「青年のパネルディスカッションは毎年良く作り込まれていて見ごたえがある」とお褒めの言葉を頂きました。	発表時の立ち位置に戸惑っている様子がうかがえました。テープ等でマーキングがしてあると良かったかもしれません。	準備の方、大変お疲れ様でした。修習技術者として、とても勉強になるパネリストディスカッションでした。ありがとうございます。
鈴木	・山本さんが落ち着いていました。修習技術者の方に何かしらヒントを持って帰ってほしいという想いが伝わってきました。 ・ストーリーが明確でわかりやすかったこと。 ・参加者の方にはわかりづらいかもしれませんが、パネリストの個性がよく出たプレゼン、ディスカッションだったと思います。	特にありません。	特にありません。

2018年2月10日 修習ガイダンス 内部アンケート

【パ° 礼討論】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
田中	・山本さんのコーディネートが、とても自然で素敵でした。山本さん自身がパ° 礼ストの話に興味を持たれて、聞かれていると感じました。山本さんの問いは会場の参加者の問いと同じだと認識しています。山本さんの気持ちや発言が、会場の皆さんと一体化していると感じました。 ・谷川さんの素直さ、滝口さんの穏やかさ、萩さまの力強さ、小塚さんの安定感、パ° 礼ストそれぞれの異なったキャラクターがよく引き立っていて、聞いていて飽きなかったのではないかと思います。 ・会場からの質問が絶えなかったこと。質問が多いということは興味を持っていただいた証拠です。	・下野さんのご意見同様、後半もパ° 礼スト同士のインタビューがあっても良かったかものです(例えば、技術士パ° 礼ストから修習技術者パ° 礼ストへのインタビュー等)。 ・会場からの質問の際に、マイク係の方は会場全体が見えないので、質問者を探すのが大変そうでした。会場が一望できる方がどこに質問者がいるかを指示しても良かったかもしれません。 ・最初は会場からの質問があまり出ませんでしたが、制度に関する質問が出た後に、多くの方が挙手された印象です。今後は会場への質問があるかを聞く際に具体的な質問例(例えば「技術士制度についてもOKです」等)を言ってもいいかと思いました。	カメラ係の皆さんが一生懸命、あちこちに動いて撮影されていました。
萩尾	・山本さんの組み立てたストーリーがわかりやすかったこと。懇親会で、受験の心得と技術士になった後のことを両方知ることができとても参考になったと言われました。 ・谷川さんの「とりあえずやってみる」という言葉が印象的でした。悩みながらガイダンスに参加される方も多いと思いますので、参加者の背中を押した一言でないかと思います。 ・滝口さんの悩みは会場の共感を得られており、とても参考になったのではないかと思います。 ・田中仁美さんの発表は内容のわかりやすさ、落ち着きから技術士の貫禄を見せつけられた気がしました。 ・小塚さんの記入ミスの話は私にも衝撃的でした。会場のみなさんも気が引き締まったと思います。	パ° 礼討論の最後のお辞儀で息を合わせられませんでした。立ってお辞儀をするか座ったままか決めておけば良かったと思います。	・とにかく楽しかったです。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。会場の青年メンバーを見てると緊張がほぐれました。 ・全てに言えますが、カメラ係の方の写真が素晴らしいです！全方位撮影ですね！カッコイイ写真は、広報活動にも活用できるので重宝します。

2018年2月10日 修習がイダシ 内部アンケート

【パネリスト討論】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
山本	・討論のストーリーをパネリストの皆さんと共に練り上げられたこと。パネリストの皆さんへの事前インタビューと、その後の3回にわたるF2Fでの打合せを通じて、パネリストの皆さんが得意とする内容でストーリーを組むことが出来ました。とても感謝しています。 ・本番中、パネリストの皆さんと、落ち着いて討論することが出来たこと。 ・時間通りに進行できたこと。 ・スライドの切り替えがスムーズだったこと。赤木さん、PC操作ありがとうございました。守田さん、PC貸して頂いてありがとうございました。 ・中川さん、赤木さんのサポートが手厚く、安心できたこと。	質疑応答の時間、舞台上から挙手の様子が良く分からず、すぐに質問者への指名が出来なかったこと。マイク係のお二人に助けられました。	パネリスト経験が無いにもかかわらず、今回コーディネータをさせて頂きまして、ありがとうございました。実は、始まったときは、壇上テーブルに1人で孤独だなと感じていました。でも、私の問いかけに対するパネリストの皆さまのお答えが、どれも素晴らしく、かつ的確に返ってくるので、だんだんとやり取りが楽しくなってきて、あっという間に時間が過ぎてしまいました。貴重な経験をさせて頂き、有難く思っています。
小塚(俊)	・序盤は緊張しているように感じましたが、話題が進むに連れて緊張がほぐれ、見慣れた皆様のお姿を拝見できたこと。 ・技術士の皆様からのアドバイスが簡潔かつ明瞭であったこと。 ・受け答えが台本を読んでいる感じがせず、会話をしているような雰囲気、違和感が無かったこと。	・演台にプレゼンターの氏名が掲げられていましたが、演台にプレゼンターが立つことは無く、パッと見ると何のために掲げているのかわからなかったこと。 【提案】演台に氏名は掲げない。席にも氏名は書かれているので、無しでも問題無いと思います。	☆印象に残った名セリフ(※要旨です)「試験勉強の時間を家族で話し合い、時間を勝ち取りました!」「学生のときは勉強をする」と褒められるのに、社会人になってから勉強をしていると...」「土日祝日は勉強しませんでした」「技術士は諦めない人が合格できる」「情報は本丸に取りに行く」技術士は前向きかつ愚直に努力する方が多いのだなと改めて感じました。今年は私も受験生。貴重なアドバイスを踏まえて頑張りたいと思います!
瀧川	・山本さんの落ち着いた進行が素晴らしかった。 ・パネリストの個性がバランスよかったです。 ・コーディネータ・パネリストとも、穏やかでわかりやすい語り口でした。目の前の参加者の方がうなずきながら聞き入っていたのが印象的でした。	特にありません。	本番までにいろいろご苦労が多かったことと思います。長い間準備をしてくださった皆様、当日いろいろとフォローされていた皆様、本当にお疲れさまでした。

2018年2月10日 修習がイヴニング 内部アンケート

【祝賀会】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
白井	竹内さんの司会進行が爽やかでした。その影響で進行補佐として、突撃インタビューの参加者探しも爽やかにできました。	今回の形式、式次第で安心して青年に任せてもらえているという認識です。変える場合は修習委員会と良く認識合わせが必要と記しておきます。	ここでもカメラ清水さんの動きが目立ちました。意識も体力も向上していると、頼もしく感じています。
諸田	・竹内さんの司会進行がとても紳士的かつ分かりやすかったです。 ・パネラーとコーディネーターが再登壇し、会場の参加者とのコミュニケーションを図ることができた。 ・部会や各地域本部へアピールする場を提供したこと。 ・修習委員会との調整を的確に行っていたので、滞りなく盛況のうちに終えることができました。	パネリストと同様に、進行について、修習委員会と調整することに時間を要しました。そのためにも早めに振り返りをしましょう。	今年は青年委員会も参加者と一緒に食事を楽しみながらコミュニケーションを図れたので、良かったですね。楽しかったです！！
下野	・カメラ係りの方が精力的に撮影されていました。 ・青年スタッフも普通に食事してたので違和感を感じませんでした。 ・地域別のテーブルに集まったので、同じ出身地というだけで話すきっかけになりました。	特になし。	特になし。
滝口	・会場全体的に盛り上がっていたこと ・司会進行など、スムーズだったこと	とくにありません	とくにありません
小塚(隆)	司会進行がうまかったこと個人的には、金属部会(YES-Metals!)の紹介ができて、ありがたかったです。	特にありません。	ここでも清水さん、頑張って写真を撮られていました。
赤木	アイスブレイク的に同地域の方と話した後、本格的に部会の方と話せる順番はよいです。	東京、経営工学と入り口近くの場所にいましたが、壇上が見えづらく参加しづらい感じでした。	・竹内さん、こちらも修習との調整ありがとうございました。 ・外部アンケートも大好評でしたので、大成功だったと思います。
中川	竹内さんの落ち着いたスマートな司会はとても好印象でした。適役でしたね。	特にありません。	会場が一体となる企画は難しいですね。
清水	竹内さんの司会が落ち着いていて、とても良かったです。	去年もそうでしたが、マイクで話していても、何を話しているのか聞こえなかったです。	写真係で忙しくしているところに、守田さんがホストとサインイッチを持ってきてくれたのが、とても嬉しかったです。

2018年2月10日 修習がイグニス 内部アンケート

【祝賀会】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
後藤	多くの方が祝賀会に参加され、参加者からも素晴らしい会という声を多く聞きました。	中間での壇上での発表ですが、周りの声にかき消され、真ん中より後ろの方にはほとんど声が聞こえていない感じがしました。静粛にならない場での発表については、もう少しマイクのボリュームを上げて良かったかもしれません。	-
田中	・竹内さんの穏やかな司会と、安定感が素敵でした。 ・白井さんが壇上のパネリストへの質問者を連れてきていただいたことです。 ・諸田さんのご挨拶が落ち着いていながらもパッションを感じて、絶妙なバランスでした。	・会場が盛り上がりすぎて、壇上の声が、聞こえてにくくなっていました。次回は、もう少しマイクのボリュームを上げるか、質問を即席でPCで打ってスライドで映す等の検討をしても良いかもしれません。 ・年配の方が、ずっと立っているのがしんどそうでした。次回は端に椅子を置いてもいいかもしれません。	・ここでもカメラ係の皆さんが一生懸命、あちこちに動いて撮影されていました。本当にお疲れ様でした。 ・祝賀会でお話した方々は皆さんから、「来て良かった」、「ためになった」とのコメントをいただきました。
竹内	・インビューや部会からの一言など、出たところ勝負の部分もありましたが、みなさまの現場力の高さと盛り上げていただけたこと。 ・青年のみなさまがかたまらずに各テーブルに混ざって、交流を盛り上げていただいたこと。	・アドリブで余計なことを言ってしまうようになってこと。公平性をよく考えてアウンスすること。 ・4月例会の紹介が木原さん⇒白井さんに変更になることを、白井さんをお願いし忘れていたこと。ごめんなさい！	司会という貴重な経験の機会をいただきありがとうございます！白井さんに一緒に担当していただけて心強かったです！
萩尾	・竹内さんの司会が安定していました。 ・パネラーへの質問がない時、白井さんが質問者を捕まえてくれるところはさすがだと思います。	特にありません。	参加者の方は交流したいと思いますので、壇上の話を聞かないのは仕方ないかと思います。
鈴木	・竹内さんの司会進行、落ち着いていてさわやかな感じがよかったです。 ・部会、地域と分かれてお話ができたこと。	特にありません。	会の途中で、皆さんが出来上がった中で再注目をしてもらうには、照明を落として、スポットライトを演台に当てるぐらいのことが必要かもと思いました。
瀧川	竹内さんの穏やかな司会ぶりがよかったです。白井さんはもはや定位置ですね^^いつも盛り上げてくださってありがとうございます。	特にありません。	ご準備してくださった方々、お疲れさまでした。

2018年2月10日 修習が イグニス 内部アンケート

【祝賀会】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
山本	青年が各テーブルにばらけて、参加者と懇談していたこと。	マイクを使っても、会場に声が届かなかったこと。	場が白けそうになった時の白井さんの現場力が素晴らしかったです。平井さんと白井さん、着眼点がすごいです！
小塚(俊)	・司会進行がスムーズであったこと。 ・青年メンバーが自身の出身地域のテーブルに分かれて交流を図っていたこと。来場者のみのテーブルを作らないことにつながったと思うので良かったと思います。	・一生懸命であったところ申し上げにくいですが、壇上で何か喋っていても、壇上から離れたテーブルに居ると、何を話しているのかがほとんど聞こえませんでした。 【提案】スピーカーを増設する。壇をもう一段高くして、注目してもらえるようにする。	参加者の多い部門・地域では、テーブルでの交流が絶えないので、なかなか壇上に目が向かない…というのが率直な感触です。しかし逆の場合は、壇上でのやりとりをきっかけに、テーブルでの会話が盛り上がることにもつながると思うので、壇上でのやりとりは続けるべきだと思います。

2018年2月10日 修習がイグニス 内部アンケート

【青年二次会】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
白井	初めての参加者も来てくれていた。	各自の荷物置き場が確保できるハコを神保町で探しておく必要あり。今回の場所は駅に近いし、最低限スペースはあるけれどやや狭い印象。	個人的には上下水道部会の松山さんとずっと話し込んでいました。会社後輩を呼んでいましたが、みなさん相手をしてくれてありがとうございました。
諸田	・懇親会後であったにも関わらず、多くの方が参加してくださったこと。 ・金額がお手頃で助かりました。 ・青年委員会に興味を持っていた参加者が多く、今後の青年イベントへの参加者が多くなることが期待できたこと。	懇親会終了後に青年委員会の二次会へ参加する方を呼び込むことを忘れるところでした。気が付くのが遅れてしまい申し訳ございません。また、急遽、清水さんに呼び込みをお願いしてしまったのも反省しています。(事前に認識合わせすべきでした。申し訳ございません。)	1年前、参加者であった清水さんが、運営側としてお店の予約や会計などを行っているのを見てとても感慨深かったです。来年度楽しみです！
滝口	・青年の活動に参加したいという意欲がある方が数名見られたこと ・横田さんが早速連絡したり、交流されていたこと	とくにありません	とくにありません
小塚(隆)	新しく来られた方と仲良く話すことができた。(楽しかったです)	特にありません。	特にありません。
赤木	若い方に多く参加してもらえた。	・隣の若者は食べ物がない感じでした。終わって他テーブルを見ると余っていたので、移動させればよかったです。 ・大きく二つのグループに分けてしまう間仕切りがなければ。	清水さん、お店の手配、集客、会計、カメラと何役もありがとうございました。
後藤	2次会は参加しなかったのですが、修習技術者からの参加者も多くいてすごく良かったですと思います。	-	-
鈴木	多くの方に参加していただいたこと。	懇親会の部屋の出口での声掛けは、アンケート/ストラップの回収や荷物取りに行ったりと、声が通りにくい状態でしたので、二次会への誘導は、エレベータを降りたところで、降りてきた参加者に声掛けすれば、良かったかもしれません。	特にありません。

2018年2月10日 修習がイグニス 内部アンケート

【青年二次会】

回答者	良かったこと	改善したいこと	その他
田中	・清水さんがずっと二次会アウクスをしてくださったおかげで、たくさんの方に参加していただきました。 ・3月や4月例会にも参加したいと、青年に興味を持ってくださった方がたくさんいました。	出来れば全員が気軽に席を移動できるような席配置であれば、色々な方と話せてより良いかと思いました。	清水さん、汗だくになって二次会アウクス、引率、本当に本当にお疲れ様でした・・・！
竹内	清水さんに懇親会後から誘導していただき、スムーズに二次会へつながったこと。	特にありません。	清水さん、カメラ係でもあるなかで、大変お疲れさまでした、ありがとうございました。
萩尾	清水さんが先導して下さったおかげで、混乱無く2次会に移行できました。	今回は青年メンバーの方が参加者より多かったのも、参加者1に対し、青年が一人つくようにしても良かったと思います。	特にありません。
清水	若い参加者が多く、平成の輪を広げられました。	・青年スタッフの参加人数を把握しておきたかったです。 ・料理の残しが多かったので、2500円のコースでも良かったかもしれません。 ・40名の予約に対して26名でした、フールドを用意するなどして集客をもう少し工夫できれば良かったと思います。 ・写真係として、燃え尽きてました。体力を着けておきます。 ・学生に対しては料金的に配慮ができれば良かったと思います。	1年前に同じ場所で二次会を開いて頂いた事を今でも鮮明に覚えています。それが、今では自分が開催する側になっており1年の早さと自分の成長を感じました。これから、更に成長できるように頑張りたいと身が引き締まる思いでした。
山本	スムーズに2次会に移行できたこと。清水さん、先導ありがとうございました。	特にありません。	特にありません。
小塚(俊)	出席していないため、回答を控えさせていただきます。	・二次会のチラシを配布できなかったためか、清水さんの声を枯らすこととなったこと。 【提案】青年と修習とで合同で二次会を行う。	清水さん、二次会のご案内をさせていただいていたところ 帰宅してしまい、申し訳ございませんでした…。(翌日に用事があったため。)

行事名	3 月例会:「ライフラインから仲間と創る自分のロードマップ」
日時	2018 年 3 月 17 日(土) 13:45-17:00
場所	機械振興会館 6-65 会議室
司会・進行	守田委員、小和田委員補佐、清水委員補佐
担当者: (○印:リーダー)	井口委員、守田委員、小和田委員補佐、○清水委員補佐
参加者数	16名

1. 背景・目的

修習技術者が自分の価値観を再認識するとともに未来の自分について考えるきっかけとすることを目的としてライフライン*を用いて経歴やスキルの棚卸をした。

その上で、棚卸の結果をグループワークにて議論することにより、自分では気付かなかった考え方を交換し合うことで視野が広がり、未来のなりたい自分になるためにはどうしたらよいかというビジョンを明確化した。また、業務経験の棚卸し結果を深掘りすることにより二次試験での技術体験論文作成に役立てる内容とした。

*ライフライン：人生における成功や失敗、喜びや失望等を整理し、人生を見つめなおすためのキャリア・ディベロプメントツール。過去の出来事を整理し、自分自身の人生やキャリアにどのような影響を与えたのか考えるヒントになる。

2. 例会内容

2.1. 挨拶 (13:45～13:55)

2.2. アイスブレイク (13:55～14:10)

自己紹介と合わせて、自分の尊敬している先輩・上司または、反面教師にしている先輩・上司のエピソードを紹介してもらい、最後に「けれども」を付けてその人のエピソードをまとめてグループ内で発表した。声を出す練習と合わせて、多面的に人を見る練習をするのが狙い。

2.3. 先輩技術士・修習技術者紹介 (14:10～14:35)

後藤委員、小塚委員補佐、オブザーバーの Ye Han 氏より技術士を目指したきっかけとこれからの技術者としての目標について発表して頂いた。

後藤委員からは建設業界を志望したきっかけや今後どの様に研鑽をしていくか、また特に修習技術者として重要となる自己研鑽 IPD の大切さを含めて発表して頂いた。

小塚委員補佐からは鉄道業界における技術士の立場について、また、どの様に成長していきたいか発表して頂いた。

Ye Han 氏からは日本にきた経緯についてと現在の業務について CAFEO/YAFEO での体験を交えて発表して頂いた。

特に Ye Han 氏の話は技術者の国際化に対し良い刺激を与えることができた。

2.4. グループワーク (14:35～16:25)

事前に作成したライフライン、業務経歴票を元に発表して頂いた。

発表時間：10 分/人、質疑時間：10 分/人の持ち時間で、各グループ内で発表を行った。青年委員より赤木委員、竹内委員、田中委員、山本委員がファシリテーターとして各グループへ入ったが、ファシリテーターだけでなく青年委員、委員補佐それぞれが、各グループに入ることにより、一層議論が活発になった。

また、参加者が自身の経歴を発表することにより個性が理解でき、参加者同士の親交も深まった。

2.5. ファシリテーター感想 (16:25～16:40)：赤木委員、竹内委員、田中委員、山本委員

2.6. 委員長総評 (16:40～16:45)：諸田委員長

2.7. 青年紹介、アンケート (16:45～17:00)

2.8. 懇親会 (17:00～19:00)

例会を行った機械振興会館 6-65 会議室にて立食パーティー形式で実施した。

懇親会でも今後、技術者としてどうありたいかやどの様な経験を積んできたかが話題となり未来に向けてモチベーションアップすることができた。

3. 成果と所感

今回の例会は、参加者全員に対して標準を当てフィードバックを得る形式で行ったが、様々な年齢、部門の参加者がおり、コミュニケーション能力の向上と合わせて、それぞれに合ったフィードバックを多面的に得ることができ将来へのビジョンをより明確にすることができた。

また、周囲よりポジティブな後押しもありチャレンジ精神の向上へも寄与することができた。

アンケート結果も満足、ほぼ満足で 100%となり、これから将来について見据える修習技術者の期待にこたえる例会をすることができた。

4. 今後の展開

懇親会で「イベントに参加することで自分のキャリアを見直す良い機会ができました。」というコメントを頂き、このイベントを企画の意義を改めて感じると共に、今後もキャリアに関するイベントを定期的に企画する必要性を感じた。

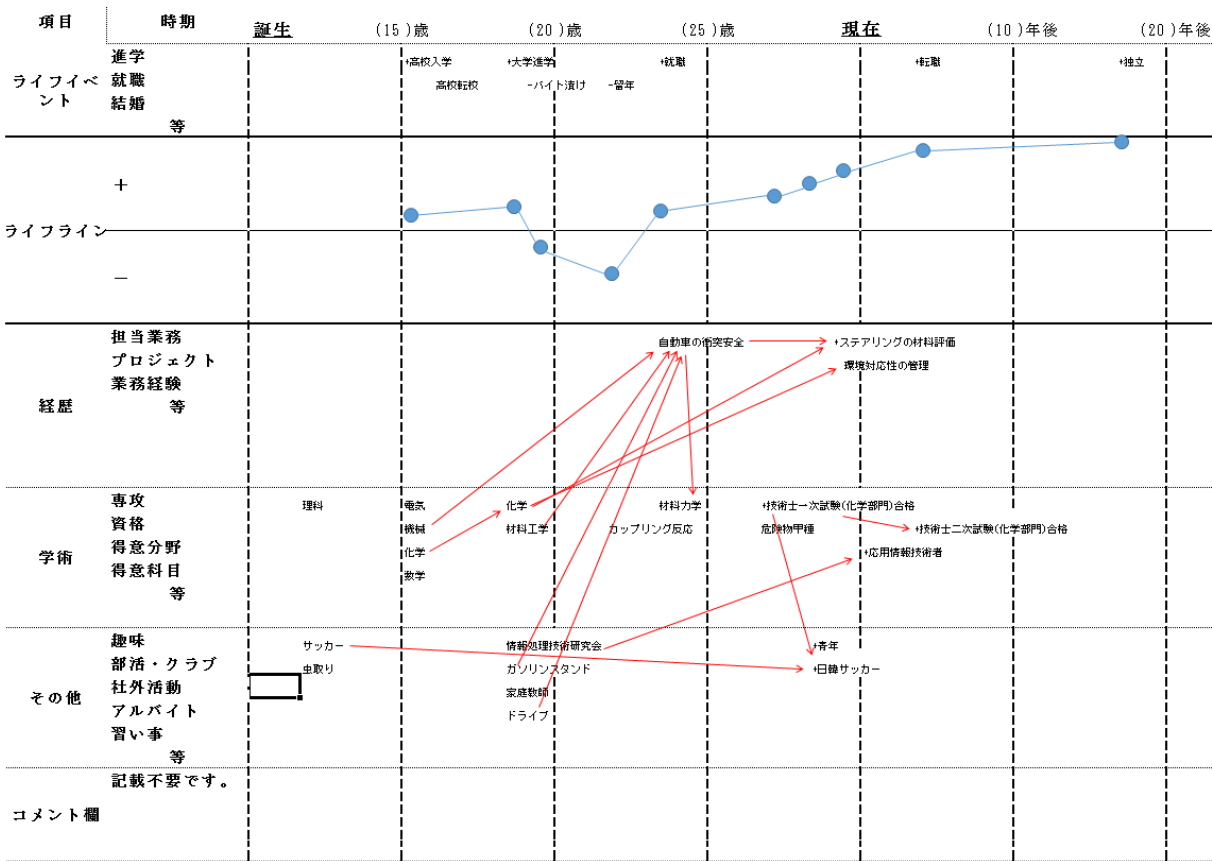
宿題の送付は迷惑メールに割り振られてしまうケースがあり、メール展開の他に、別手段をとる必要がある。

5. 実施状況



6.当日使用したシート

ライフラインシート



棚卸しシート

NO.	時期	社名・部署	地位・職位	職務内容(業務の簡単な説明と担当した内容を記載ください)	課題、工夫、成果等	コメント欄
例	2016.10 ～ 2018.01	AAA社・SE部 (正式名称でなくてもOKです)	係長 (相当職)	X社向け動画チャットシステム開発プロジェクト 海外ソフトベンダーと共同で、ライブビデオのチャットシステムを開発・構築した。 仕様検討・検証チームのリーダーとなり、顧客とベンダーと社内の調整役を担った。	海外ベンダーの仕様理解に相違が多発した。 仕様書を英語で細かく明文化し、現地にも技術者を常駐させることで、手戻り率を70%軽減し、手戻り期間を6日間短縮した。	記載不要です。 (グループワークでのコメントをメモしてください)
1	～					
2	～					
3	～					
4	～					

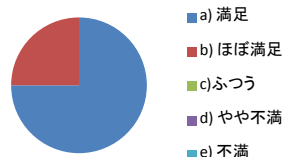
以上

●平成30年3月度 ～ライフラインから仲間と創る自分のロードマップ～（表面）

●今回の例会について

Q1-1. スタッフの対応はいかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
a) 満足	12	75.0
b) ほぼ満足	4	25.0
c) ふつう	0	0.0
d) やや不満	0	0.0
e) 不満	0	0.0
合計	16	100.0

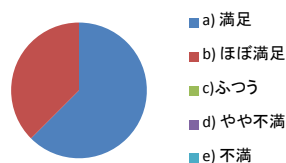


Q1-2. スタッフに伝えたいこと(コメントなど)ありましたら、お書きください。

- ・将来の目標が明確になった。きっかけを与えてくださり、ありがとうございました。
- ・丁寧に対応いただき、ありがとうございました。
- ・行事案内で、場所に加えて部屋まで明記していただけるとなお助かる。

Q2-1. 今回のイベントは、全体としていかがでしたか。

満足度	人数	割合 (%)
a) 満足	10	62.5
b) ほぼ満足	6	37.5
c) ふつう	0	0.0
d) やや不満	0	0.0
e) 不満	0	0.0
合計	16	100.0



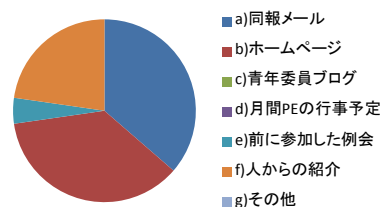
Q2-2. 今回のイベントへのご感想がありましたら、お書きください。

- ・来場してからイベント開始までのインターバルが長かった。イベント開始を前倒しする等の柔軟対応を取って欲しかった。開始時間を13:15と勘違いした。
- ・自分の経歴について、他の部門からの客観的な意見が聞けてよかった
- ・気さくな方が多く、楽しい時間を過ごすことができた
- ・アウトプットする機会はないかなかったので、良い経験になった
- ・直前に申し込んだため、各種シート作成が不十分だった。案内時点でもう少し詳細を明記して欲しかった。
- ・人数が丁度良かった

●今回の例会に参加するまでの経緯について

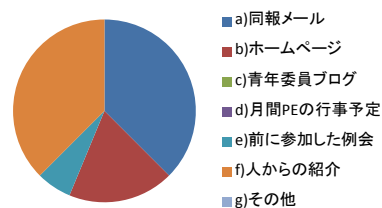
Q3-1. 今回の例会をどのように知りましたか。（複数回答あり）

きっかけ	人数	割合 (%)
a) 同報メール	8	36.4
b) ホームページ	8	36.4
c) 青年委員ブログ	0	0.0
d) 月間PEの行事予定	0	0.0
e) 前に参加した例会	1	4.5
f) 人からの紹介	5	22.7
g) その他	0	0.0
合計	22	100.0



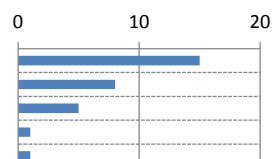
Q3-2. Q3-1の中で特に参加のきっかけとなったものはどれですか。（複数回答あり）

きっかけ	人数	割合 (%)
a) 同報メール	6	27.3
b) ホームページ	3	13.6
c) 青年委員ブログ	0	0.0
d) 月間PEの行事予定	0	0.0
e) 前に参加した例会	1	4.5
f) 人からの紹介	6	27.3
g) その他	0	0.0
合計	16	72.7



Q4. 今回の例会に参加した目的は何ですか。いくつでもお選びください。（複数回答可）

目的	回答数
a) 例会のテーマや内容に興味あり、知りたかった	15
b) 例会の参加者と知り合いになりたかった(人脈形成)	8
c) 青年委員会という組織や活動について知りたかった	5
d) CPDのポイントをもらいたかった	1
e) 上記以外	1

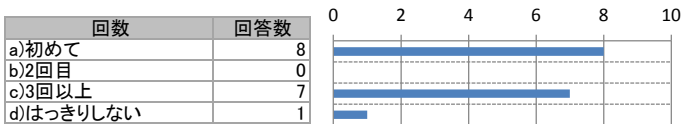


- ・技術を通した東北、九州被災地復興支援を考えるきっかけにしたかった。

裏へ

●平成30年3月度 ～ライフラインから仲間と創る自分のロードマップ～（表面）

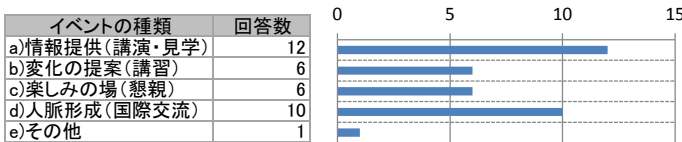
Q6. 青年委員会の例会に参加するのは、今回で何回目ですか。



Q6-1. 2回目以上の方にお伺いします。過去の例会で印象深かったテーマや面白かったテーマ

- ・試験の答案作成のヒントの様なもの
- ・ディスカッション、講演会、ダイアローグ
- ・4月の合格者交流会

Q7-1. 青年委員会の活動として開催して欲しいイベントについて、ご希望の内容（複数回答可）



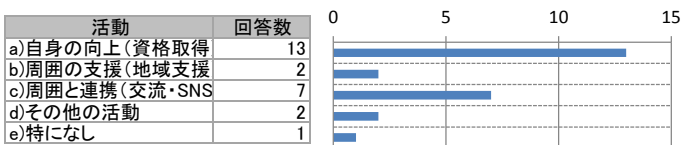
- ・工場、プラントの見学会
- ・福島第1原発見学、石崎氏の講演
- ・コーチング、コミュニケーション
- ・防災ゲーム
- ・ワークショップ、ファシリテーション、講習会
- ・シンギュラリティの技術としての対応

Q7-2. また、内容以外でご希望ございましたらお書きください。

- ・開催日時は、修習技術士イベントと重ならない様にしたい
- ・土日が良い
- ・1/17、3/11、4/14～16前後において、神戸・東北・熊本被災地スタディツアー

●技術士または技術者としての活動について

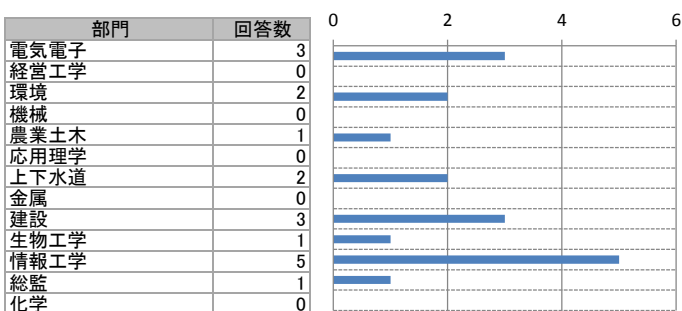
Q8. あなたご自身は技術士または技術者としての本業に加えてどのような活動をなさっています



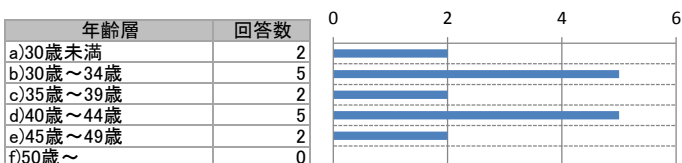
- ・ファシリテーションの勉強会、IT系・コンサル系の勉強会
- ・資格取得
- ・通信制大学、社会人学生として最新学習歴の更新、教育技術法則化運動
- ・清掃ボランティア

●あなたご自身について

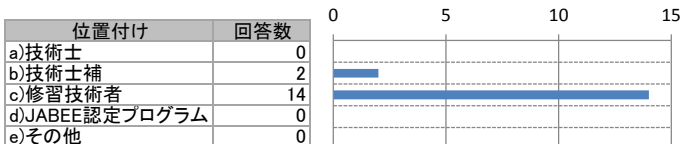
Q9-1. 技術部門。(複数回答可)



Q9-2. 年齢層をお選び下さい。



Q9-3. 会員層(技術士制度での位置付け)について、該当する項目をお選び下さい。



以上

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
横田	Ye Han さんがプレゼンターとして加わったので技術士として海外（世界）を意識できるものになったと思います。	参加者の一部が遅れてきたとき、いつからイベントを開始するか？どうフォローしていくかを想定することも今後のイベントでも必要だと思いました。	特にありません。
諸田	・修習ガイダンスで名刺交換した方や修習委員会の例会での勧誘が効果あり、参加者数が定員丁度だった。 ・参加者の皆さんが積極的にディスカッションしており、活気があった。 ・ファシリテータ以外の青年委員が各グループへ入って、一緒にディスカッションしていたこと。 ・青年内部向けサブ企画「Let's try Photography!」に参加した皆さんがカメラ 担当として例会の写真を撮れたこと。（属人化の解消） ・清水さんが生き生きとして例会の準備～実施をしていたこと。 ・守田さんの安定した穏やかな司会、他のメンバーが気が付かないところをフォローしていたこと。（PMO 的な動きが良かったです） ・委員補佐（小和田さん）の持ち味（キャリアコンサルタント）を活かした例会 を開催でき、参加者の満足度が高かったこと。 ・井口さんが縁の下の力持ち的な動きがとても良かったです。 ・委員、委員補佐、オブザーバの事例紹介パワポが良かったです。特に Ye Han さ んの発表は、青年委員会が国際交流をしていることをよりアピールできました し、海外の技術者の実情を知ること、日本との違いを認識できたと思います。	・同報メールの発信をもう少し早めにした方が良かったと思います。（理想は第一報を 1 ヶ月前、第二報を 2 週間前） ・「受付開始時間」と「例会開始時間」を分けて案内した方が良かった。 ・宿題や資料など、委員会から参加者へメール送信する際は、案内に「xxx@xxx.jp」というメールアドレスからのメールが迷惑メールに入らないように気をつけてください」と書くか、HP から DL できるようにした方が良かったですね。	・1 期メンバーのみでの例会開催でしたが、滞りなく無事に終わって良かったです。ありがとうございました。 ・時期的に他の委員会や部会の例会と日程が重なりますし、年度末のため、参加者を集めるのが大変ですね。来年は、3 月第 1 週など、日程を検討しましょう。 ・小塚俊吾さん、最後まで積極的に参画いただきありがとうございました。これまで様々なことに真摯に取り組んでいた心より感謝いたします。次の勤務先でのさらなるご活躍を祈念いたします。

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
赤木	・ 清水さんはじめ、3 月担当の方々の進行。 ・ 趣旨にあったプレゼン。 ・ 終了時刻がピッタリ。	案内の開始時刻が受付開始と分かりづらかった。	・ B 班では修習ガイダンス参加者が 3/4 人と多く、よい流れができていた。 ・ 清水さんは 1 年前の参加者で、もう主担当をしていることをアピールしてもよかったと思います。 ・ プレゼンされた方々、少しスクリーンを見過ぎかなと感じました。 ・ 3 月担当の方々、お疲れ様でした。
守田	参加者さんたちだけでなく、青年メンバーにも熱意が伝搬していたところ。タイムキーパーなので、自重しましたが自分も聞きにいきたくになりました。	準備品のリストに、印刷物を網羅できていなかった。当日に 2 度印刷しに行くことになり、その節は…。	宿題があるイベントは、工夫が必要ですね。添付ファイルではなく、ダウンロード式が良いのかな。
清水	・ ファシリテータ以外の青年メンバーも議論に入っていたこと。 ・ ドタキャンなく、満員御礼で例会ができたこと。 ・ 後藤さん、小塚(俊)さん、Ye Han さんのそれぞれ個性ある発表をしていたいて、とても勉強になりました。ありがとうございました。 ・ みほしさん、高橋さんが写真係を引き受けてくれた。ずっと立ちっぱなしの中、沢山写真を撮って頂きありがとうございました。 カメライベントをして良かったです。拡大委員会に向けてカメラ係が増えてもらえると嬉しいです。	・ 宿題が迷惑メールに入っていたこと。4 人がメールを受け取れていませんでした。 ・ 先輩技術士・修習技術者の発表時間が少し足りなかったこと。話の内容的にもう少し時間を取った方が良かったと思いました。 ・ 集合写真の撮り忘れ 何とか、懇親会後に撮ることはできましたが、帰ってしまっていた人もいたので例会直後に撮影できれば良かったです。	・ 小塚(俊)さん、最後の最後にありがとうございました。また、中部で鉄道会があれば行きます！ ・ 初の主幹事で不慣れな所が多かったですが、みなさまの支えのお陰で成功することができました。ありがとうございました。そして、とても楽しかったです。

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
田中	・ Ye Han さんの発表は、技術士として海外を考える上で、とても大きいインパクトを与えたと思います。 ・ 各人の発表の際に、参加者同士で互いの意見をポジティブに交換し合い、とても盛り上がりました。 ・ ファシリテーター以外の青年メンバーも各班に加わり、”青年メンバーと参加者との交流” という意味で、とても良かったです。（私のテーブルは私の専門外の内容が多く、理解が追いつかない部分もありましたが、諸田委員長にフォローいただき、とても助けられました。）	・ 受付開始時間を例会開始時間と思った方が多く、例会開始までに時間を持て余している方もいたように感じました。今後は案内時に、明記する方がより良いかなと思いました。 ・ 宿題が迷惑メールフォルダにいったしまった方がいましたので、CPD 行事等に「事前課題あり」等の記載をしておく、より良いかなと思いました。 ・ 宿題の印刷サイズが A4 の方が何人かいて、少し見づらい印象を受けました。案内時に印刷サイズもお願いしておく、より良いかなと思いました。 ・ 受付の際に、懇親会費のお釣りを用意していなかったので、今後は参加者に「お釣りのないように懇親会費を持参ください」とお伝えすると、より良いかなと思いました。 ・ 今回参加者がギリギリまで集まりにくかったですが、今後はできれば修習ガイドダンスの際にお誘いして、その場で申し込んでもらうくらいのことをしちゃっても良いかもしれません。	・ 清水さんの情熱的な司会、小和田さんの落ち着いた司会、守田さんのオシャレな感じの司会が素敵でした。井口さん、縁の下の力持ち、お疲れ様でした。 ・ 高橋さんとみほしさんが、たくさん写真を撮ってくれました。ありがとうございました！
太田	・ 各班、話が盛り上がっていたこと。客観的なコメントを受けることで、二次試験につながる何かをつかんでいたのではないのでしょうか。 ・ 宿題式だったので、コメントを受ける時間がたくさん確保できたこと。 ・ ファシリテーター以外の青年メンバーも各班に加わって、アドバイスしていたこと。	宿題式は、いい面もある一方で、メールが迷惑メールフォルダに行ってしまうなど、トラブルもあるようなので、メールを二段階にする（最初はテキストのみとして、宿題があること、迷惑メールもチェックしてほしいことを伝える。その後に宿題を送る。）などの対策が必要ですね。	

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
臼井	・全体的な時間の過不足なく司会進行がなされていたこと。 ・会の趣旨に沿った活動紹介(どの方も内容が濃密でした)。 ・アイスブレイクの内容がよく各グループで盛り上がっていたこと。 ・参加者全員が必ずグループ内でプレゼンするというシステム。	私自身の問題ですが、もっと積極的にグループ内の人の話を聞きに行くべきでした。実際聞いたら、大変興味深い話題がたくさんありました。	担当者の皆様、お忙しい中の企画お疲れ様でした。
白井	リピーター参加者だけでなく、新規の参加者が来てくださったこと。参加者の方々がご自身の経歴をよく整理されていて、目的通りキャリアプランについて考える機会になっていたこと。 後藤さんの自己紹介がとてもよかった印象です。	勝手にファシリテータに入ってドンドン発言してしまいました。控えてもよかったかもしれません。	とても順調なキャリアを積んでいる様子の方でも、その先を考えて参加していたので、前向きな姿勢でこちらも刺激を受けました。
井口	・小塚さん、Ye Han さん、後藤さんのプレゼンが濃密だった。刺激受けました。 ・参加者が本当に積極的に参加してくれた。本当に自分が参加者になりたかった。	受付開始と例会開始時間のインターバルが長かった。例会開始時間も事前周知しておくべきだった。	準備段階から、清水さん、守田さん、小和田さんにおんぶに抱っこ状態。。色々フォローしてもらい、ありがとうございました。
後藤	・清水さんからの誘いにより、青年で初めてプレゼンを行う貴重な機会を与えていただいたこと。 ・イベント開始前から参加者からの熱気が感じられ、良い雰囲気ができてました。 ・司会の進行や時間の管理などがしっかりされていて、ほぼ時間通りに進められていたこと。	自分のことですが、自己紹介プレゼンについて、所定時間を3分~4分もオーバーしてしまい、迷惑をかけました。小和田さん・清水さん・守田さん、フォローしていただきありがとうございました。プレゼンを少し甘く見ていました。小塚さん、Ye Han さん、その後の発表時間に影響を与えてしまいすみませんでした。お二方の発表、どちらも素晴らしかったです。	今回初めてグループワーク形式の例会に参加させていただき、プレゼンも行い、大変勉強になりました。プレゼン力の改善は今後の課題にします。

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
小塚 (俊)	・ 清水さんのハキハキした司会進行。 - 清水さんの自信と熱意を感じ、気持ちを掻き立てられた。 ・ タイムテーブル通りの進行であったこと。 ・ ファシリテーターの皆様のコメントには誉める点と今後に向けての改善点の双方が含まれており、参加者の成長を促すものになっていたこと。	参加者が随分早く来場されたようで、舞台裏を見られてしまったので、参加者があまり早く来られないような案内方法を考えたい。	・ YeHan さんが日本に来て 1 年ちょっととは思えないくらいの充実した内容のプレゼンを行っていたことに驚きました。来日される方のモチベーションの高さは尋常では無いことを再度認識しました。 ・ 諸田さん、労いのお言葉をありがとうございます。統括での経験を中部で活かしたいと思います！
山本	・ ファシリテータ以外の青年スタッフが積極的に各テーブルに回り、話を盛り上げてくれていました。 ・ YeHan さんのプレゼンが素晴らしかったです。エネルギッシュなプレゼンで、参加者にも青年メンバにも、すごく刺激になったと思います。 ・ ライフラインのプレゼンが、非常に分かり易かったです。	イベントの開始時間と受付を始める時間の両方を案内したほうが良いです。	私がファシリテータを受け持ったグループは、会社が倒産したとか給料未払いになったとかのディープな話が出て、ファシリとして、ちょっとひるんでしまいました。。。。
田角	・ 赤木さんの話し方がよく、ゆっくり落ち着いたトーンで一つ一つしっかり語りかけてくるようで、言葉がずっと入ってきました。ゴルフに見立てて目標に向かってどのような方法で球を打っていくかというたとえも、わかりやすくてよいと思いました。 ・ 守田さんの司会がプロすぎる。副業で結婚式場の司会者になれそうです。		ほぼ最後しかおらず、皆様のご講演を聞かれず申し訳ありませんでした。
竹内	参加者の方々は互いに初対面だったと思いますが、アイスブレイクが始めにあったことで、自己開示から始まる各自のライフラインの説明へ、抵抗なく流れていったと思います。とてもよく練られた構成だったと感じました。	受付をしました、おつり用の千円札の手配を忘れてしまいました。	参加者のみなさんが、自分の考えたライフライをに+αのアドバイスを得て、グループワーク後には自信を得てすがすがしい表情をされており、素晴らしい例会だったと感じました。
高橋	いろいろな方の業務内容や目標が聞けて良かった。	受付後からイベント開始まで時間が長かった。	写真係として、いっぱい写真を撮らせてもらえてよかった。

2018 年 3 月例会 内部アンケート回答（例会本編について 6 / 6）

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
鈴木	各テーブルで盛り上がっていたこと。 みなさん、自分のキャリアで思うところがいろいろあるんだなと思いました。	同報メールのタイミングが少し遅かったと感じました。例会マニュアルがあるので、再度目を通した方がいいかもしれません。	初めての機械振興会館でのイベントでしたが、滞りなくできてよかったと思います。
Ye han			
小和田			

2018 年 3 月例会 内部アンケート回答（懇親会について 1 /3）

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
横田	各自とても盛り上がっていたと思います。宅配ピザが出て切る懇親会は初めてでした。	飲み物の到着が少し遅かったので開始が遅れたこと。	技術士になるためにどう活動していくのか、二次試験に向けてどう取り組んでいくのかはみなさん悩んでいるんだなと思いました。
諸田	・日本技術士会の会議室が葺手ビルから機械振興会館へ引越したことで、懇親会 のやり方が懸念されていたが、これまで通り実施できた。 ・参加費が高くなかったにも関わらず、料理も飲み物も美味しかったです。	・飲み物の届く時間が若干遅かったので、遅れることを想定して発注した方が良いでしょう。 ・余剰金が多めだったので、参加費を下げるか、料理や飲み物を多め or グレードアップすると良いかも。5 月担当と情報共有しておきましょう。	3 月例会担当の皆さま、ありがとうございました！
守田	参加者さんが楽しんで、交流してくれたこと	飲み物が思ったより早く無くなったこと。多めに頼んでおいたつもりですが、少し参加者数を過小見積りしてました。余剰金も出ましたし…。	
清水	飲み物は冷えてて、食べ物温かくてケータリングサービスを使わなくても、とてもクオリティの高い懇親会ができたと思います。	・飲み物が少し遅くなってしまった。 ・余剰金が多かった。	余剰金は二次会で美味しく頂きました。
太田	・立食形式は移動しやすく良いですね。 ・その場での懇親会は、盛り上がった雰囲気を持続したまま交流できるので良いですね。	・ごみ問題。食べ物買ってきて懇親会をやる場合は、そのごみをどこに捨てればよいかまで考えておく必要がありますね。 ・徴収した懇親会費が余りすぎないようにしたいですね。	
白井	立食形式で他のテーブルの方とも話がしやすく、盛り上がっていたと思います。	特にありません。	リピーターの方々と盛り上がって、新規の参加者の方々とあまり話せなかったのは反省です。また来てもらえるよう、もう少し話をしたかったです。
井口	参加者が楽しんでくれた。会話も盛り上がりました。	・余剰金、多かった。 ・カクヤス、時間通りに来ず。	ピザごみは、普通にピザラが受け取ってくれました。

2018 年 3 月例会 内部アンケート回答（懇親会について 2 /3）

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
後藤	・立食形式でスムーズに懇親会に入れたので良かったと思います。 ・参加者でも準備や後片付けに参加されている方が複数いて、大変印象的でした。	飲み物（アルコール類）が思ったより早く終わってしまい、懇親会費が大分余っていたようなので、もう少し量を頼んでいても良かったと思います。	担当の皆さま、年度末の忙しい中大変お疲れさまでした。
小塚 (俊)	・立食形式で多くの方と懇親を深められたこと。 ・参加者も準備を手伝ってくださり、それが会話のきっかけとなっていたこと。	ゴミの処理方法。井口さんがどこかに持って行かれましたが、その後、問題はありませんでしたでしょうか…？	買い出しの不便を解消すべく、ピザを発注するというアイディアは良かったと思います。ただ、毎回ピザだと健康への影響が心配です。ヘルシーなケータリングサービスがあると良いのですが。。
田角		・青年メンバーは、率先して食べ物や飲み物を各テーブルに配置したり、空いたら少しずつ片付けるということを自発的にやりましょう。もちろん、参加者とのトークも大事ですが、各自がやればさりげなく食べ物飲み物が供給され、片付けも進んでいくので、全員心がけてもらいたいです。守田さんばかりお掃除スタッフのように各テーブルをこまねずみのようにゴミ袋を持って走り回り大変そうでした。あと青年メンバーももちろん食べたり飲んだりしても悪いとはいいませんが、自分の分は後回しにして、参加者に一番いいところを食べさせてあげてください。 ・土曜日に機械振興会館で自前でケータリングを行った際、ゴミ処理はどうするか考えたいですね。私も小分けになっていたので缶ゴミを2袋持ち帰りましたが、皆で少しずつ持って行けるよう、レジ袋サイズの袋を用意するとか・・・ （しかし、皆がゴミ袋を持って二次会に行くのも微妙かもしれません） ゴミを回収してくれるケータリング業者がいればよいのですが、それでも飲み物は酒屋さんに頼む気がするので、考えないといけませんね。	小塚さん2年間お疲れ様でした！

2018 年 3 月例会 内部アンケート回答（懇親会について 3 /3)

氏名	良かったこと	改善したいこと	その他、なんでも
鈴木	場所を変えずにできたことはよかったと思います。	せっかく場所を変えずに実施できたのですが、飲み物の到着が遅れた？みたいでしたので、宅配を利用する場合は、ある程度マージンを見ておく必要があるかもしれません。	特にありません。
高橋	イベント終了後に場所を変えずに懇親会ができたのは良かった。	予算が余ったので、量を増やすか、金額を安くするか検討が必要だと思います。	外でできる懇親会の会場も早めに見つけておきたいです。
竹内	おつまみにピザなどがあり、パーティーっぽく華やかさがありました。	特にありません。	機械振興会館になって最初の懇親会、ゴミ出し等の制約があり大変お疲れさまでした。後日、化学部会の合格者歓迎会で買い出し（ピザなど）を参考にさせていただきました。ただこの時は、機械振興会館でゴミを引き取っていただけました。機械振興会館に事務所がある団体ならば OK ということだそうです。次回はもう一押ししてみてもよいかもしれません。
Ye han			
小和田			

行事名	4 月特別例会:技術士第一次・二次試験合格者交流会
日時	2018 年 4 月 14 日(土)
場所	株式会社 損保会館 404&405 会議室
参加者	諸田、赤木、鈴木、萩尾、山本、白井、瀧川、太田(望)、田角、横田、明山、滝口、田中(仁)、臼井
担当者: (○印:リーダー)	赤木、萩尾、竹内、後藤、○臼井
参加者数	第一部 55名(委員除く) 第二部 43名(委員除く)

1. 背景・目的

- ・今年度の第一次試験合格/JABEE 修了者である新たな修習技術者、および第二次試験合格者を対象として、参加者間の交流を促すことで、技術士仲間をつくる。
- ・例年の企画趣旨を引き継ぐことで、継続的に新合格者を受け入れる交流の場を提供する。
- ・技術士および修習技術者の今後の活動の指針となるようにする。

2. 例会内容

2. 1. 第一部の司会挨拶とスケジュール説明(13:30~13:40):瀧川委員、臼井委員

会場案内、配布資料確認、注意事項、本日のスケジュール説明

2. 2. アイスブレイク(13:40~13:50):臼井委員

2. 3. 先輩技術士の活動紹介①(13:50~14:00):竹内委員

自己紹介、国際活動に対する想い、CAFFEO 紹介および次回 CAFFEO のご案内。

2. 4. 先輩技術士の活動紹介②(14:00~14:10):鈴木副委員長

自己紹介、理科教室に対する想い、理科教室の活動紹介。

2. 5. 先輩技術士の活動紹介③(14:10~14:20):横田副委員長

自己紹介、学生 WG に対する想い、学生 WG の活動紹介。

2. 6. インタビュータイムの説明(14:20~14:25):臼井委員

2. 7. シート記入および休憩(14:25~14:30)

2. 8. インタビュータイムのデモンストレーション(14:40~14:45):臼井委員、瀧川委員

インタビュータイムの詳細説明の実施。

実際に参加者が実施する前に、スタッフの実演で会場を盛り上げた。

2. 9. インタビュータイム(14:45~15:15):臼井委員、瀧川委員

1 テーブル 8 人のグループ内で、総当たりで交互インタビューを実施

1 回のインタビュー時間 2 分、1 組あたり時間 4 分、計 7 組で 28 分

2. 10. 席替えの案内(15:15~15:20):臼井委員

グループワークの前に席替え実施。新しいグループは最初のグループのアルファベット A~H の人ごとに集まることで、会場全員分の情報が集まることを説明。

2. 11. グループワークの説明(15:20~15:25):竹内委員、後藤委員、白井副委員長、瀧川委員、臼井委員

テーマは、「オリンピック・パラリンピックにおける課題を技術的に解決し、盛り上げよう」。

各グループにはコンサルティング会社となってもらい、オリンピックの課題を解決するための対策を A4 用紙 1 枚の技術提案書にまとめて発表してもらった。

技術提案書には他己紹介欄を設け、インタビューで得た情報が最大限活用されるようなものとした。

グループワークの説明においては寸劇を交えて、参加者の緊張をほぐし、グループワークに取り組みやすくなるよう配慮した。

2. 12. グループワーク(15:25~16:45):横田副委員長、田中委員、田角委員、太田(望)委員、高橋委員、

後藤委員、鈴木副委員長、井口委員、山本委員、河野氏

1. 席替え後グループでの自己紹介

2. 各役割決定(「社長」:議事進行役、「技術部長」:技術提案書作成役、「技術営業部長」:)

3. 活動内容の議論

各グループにオブザーバーとしてスタッフを配置。

2. 13. 各グループの発表(16:45~17:25):瀧川委員(4分を8グループ)

アルファベット順に作成した技術提案書(A4用紙1枚)をスキャナでスクリーンに映し出して発表。各グループの発表後に瀧川委員から一言コメントを頂いた。

2. 14. 委員長講評とグループワーク結果発表(17:25~17:35):諸田委員長、瀧川委員、白井副委員長

諸田委員長に全体の講評を頂くと同時に青年委員会の活動紹介を行ってもらった。その間に採点結果の発表を行った。

参加者から最も票を得たグループを優勝とし、最も多く他己紹介ができた(外注が行われた)グループに、青年委員賞を授与した。

2. 15. 次回予告/5月例会のご案内およびアンケートの記入(17:35~17:40):田中委員

5/19(土)開催予定の5月例会の告知を行い、継続的な参加を促した。

2. 16. 第一部終わりの挨拶および写真撮影(17:40~18:00):瀧川委員、赤木副委員長、清水委員補佐

第一部参加のお礼、写真撮影、第二部の案内、会場の移動、および参加者の誘導

2. 17. 第二部 乾杯の挨拶(18:00~18:00):赤木副委員長、諸田委員長

2. 18. 第二部締めめの挨拶(19:50~19:55):赤木副委員長、白井委員

参加への感謝に加え、青年委員会イベント及び青年委員会への参加を呼びかけた。

3. 成果と所感

【参加申込み】

・イベント参加申込時に、第二部の出欠についても回答してくれた参加者がかなり少なかった。同報メールや青年ブログでの案内文の方が目立たないところに書かれていたことが原因と思われるため、改善したい。

【第一部】

- ・最初のアイスブレイクに加え、寸劇等、随所に親しみやすい雰囲気を作るための仕掛けを作ったことで、例会全体における会場内の雰囲気がとても良いものとする事ができた。
- ・タイムリーなグループワークのテーマとすることで、グループ内の議論を活性化することができた。
- ・「実現性を問わない自由な提案」を強調したものの、実際に実現性にとらわれない提案が少なかったと感じた。グループワークの趣旨は強く主張すべきであり、伝え方も工夫する必要がある。
- ・グループワークの結果発表において、発表方法や集計方法等で計画が練り切れていなかった部分があり、混乱を招いてしまった。またそういったところでタイムロス等につながってしまった。
- ・上記に加え、グループワークの優勝賞品が準備不足となってしまったところを白井委員、諸田委員長の機転により場を盛り上げてもらえた。今後は商品を充実させてもよいと考える。
- ・会として盛り上がった一方で、終了時間を超過してしまい、第2部の懇親会の時間が短くなってしまった。今後は適度な時間管理を心がける必要があると思った。
- ・上記に加え、各グループワークによる発表で、4分の制限時間を守れていないグループが複数いたり等、発表時間のバラつきを感じた。呼び鈴等で時間を管理する等、改善が必要と思われる。

【第二部】

- ・ケータリング会社と使用する机の個数と配置を事前に確認しておくべきである。
- ・今回、担当者の携帯電話をグループワークの発表のためのスキャナとして使用していたため、事前に必要となっていた場合支障が出ていた可能性がある。そのため今後は注意する必要がある
- ・今回はあえて企画を設けなかったが、過去の写真をスライドショーで流すなどを行ってもよい。

【二次会】

- ・土曜日の遅い時間のため、キャバがほどほどで閉店時間が終了時間に近い店を選ぶと、貸切にでき人数変更など柔軟に対応できる。

【全体を通して】

- ・担当者以外の方にも多くの協力いただき、全体を通して参加者に楽しく有意義な時間を過ごしてもらえた。

4. 今後の展開

- ・合格者が少なかったことも要因となり、今回は例年より参加者の申し込みが少なかった。今後は新たな情宣方法を検討することも重要。
- ・今後も継続的に技術士会、青年技術士交流委員会をアピールしつつ、青年委員への参加を促すことが重要。
- ・飴システムは例年受け継がれているもので、極めて緻密で精巧なシステムである。飴システムは今後も一つの形式として捉え、新たな参加形式も検討していく必要がある。
- ・本会での方法(寸劇、来賓あいさつ等)に限らず、雰囲気作り・仕組み作りに継続して取り組んでいく必要がある。

5. イベントの様子

第一部の受付



第一部の司会挨拶



アイスブレイク



先輩技術士の活動紹介①



先輩技術士の活動紹介②



先輩技術士の活動紹介③



インタビュータイムのデモンストレーション



インタビュータイムの様子①



インタビュータイムの様子②



インタビュータイムの様子③



グループワークの説明



グループワークの様子



グループワーク発表①:



グループワーク発表②:



表彰式



集合写真



交流会の様子①



交流会の様子②



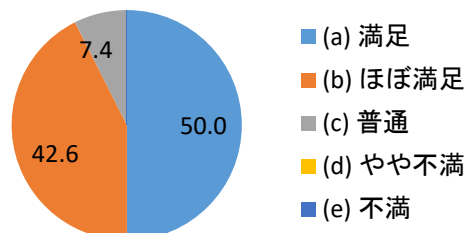
以上

●平成30年度 4月「一次・二次試験合格者交流会」 外部アンケート結果

●今回のイベントについて

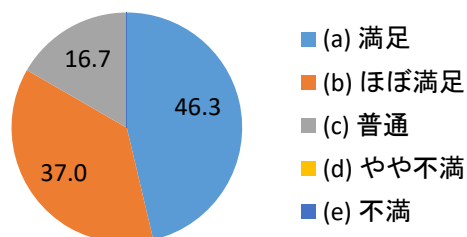
Q1. 今回のイベントは、全体としていかがでしたか？

回答	回答数	割合(%)
(a) 満足	27	50.0
(b) ほぼ満足	23	42.6
(c) 普通	4	7.4
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	54	100.0



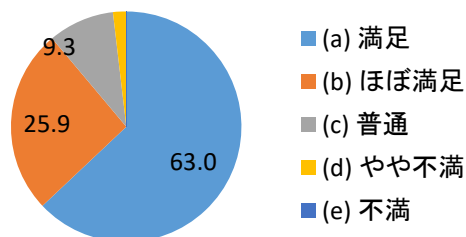
Q2. 青年委員会の用意した資料の内容はいかがでしたか？

回答	回答数	割合(%)
(a) 満足	25	46.3
(b) ほぼ満足	20	37.0
(c) 普通	9	16.7
(d) やや不満	0	0.0
(e) 不満	0	0.0
合計	54	100.0



Q3. スタッフの対応はいかがでしたか？

回答	回答数	割合(%)
(a) 満足	34	63.0
(b) ほぼ満足	14	25.9
(c) 普通	5	9.3
(d) やや不満	1	1.9
(e) 不満	0	0.0
合計	54	100.0



Q4. スタッフに伝えたいことがありましたら、お書きください。

【ご要望】

- ・前半のスライド送りがスムーズでなかった。
- ・BCC送信でも良いので受付確認のメールが欲しかった。
- ・グループワークは少し工夫が必要と思います(進め方、テーマなど)
- ・最初に委員長挨拶をして欲しかった。伯爵はグループワークの時だけで良かったのでは？
- ・原稿にページ番号を入れておけば良かったのでは？
- ・インタビュータイムの2minタイムが見えないので、スクリーン上半分に表示して欲しい！
- ・タイムキーパーの厳守
- ・委員長の資料も欲しかったです。

【その他】

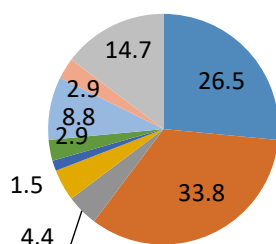
- ・ありがとうございました。
 - ・いろいろと準備をしていただき、ありがとうございます。
 - ・本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。交流を促すイベントは非常に素晴らしいと思います。
 - ・皆さまの熱意が伝わってきました。
 - ・優しい雰囲気良かったです。
 - ・とても良い機会を企画いただきありがとうございました。
- ※お礼や労い言葉を多数いただきました。重複しているため、一部の掲載としています。

●今回のイベントに参加するまでの経緯について

Q5. 今回のイベントをどのように知り、何で参加を決めましたか(複数回答あり)?

【認知】

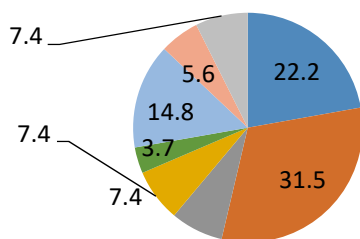
回答	回答数	割合(%)
(a) 日本技術士会の同報メール	18	26.5
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	23	33.8
(b2) その他のHP	3	4.4
(c) 青年委員会のブログ	3	4.4
(d) 月刊PEの行事予定	1	1.5
(e) 以前に参加した青年委員会のイベント	2	2.9
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	6	8.8
(f2) その他の人からの紹介	2	2.9
(g)その他	10	14.7
合計	68	100.0



- (a) 日本技術士会の同報メール
- (b1) 技術士会/青年委員会のHP
- (b2) その他のHP
- (c) 青年委員会のブログ
- (d) 月刊PEの行事予定
- (e) 以前に参加した青年委員会のイベント
- (f1) 青年委員会のメンバーからの紹介
- (f2) その他の人からの紹介

【判断】

回答	回答数	割合(%)
(a) 日本技術士会の同報メール	12	22.2
(b1) 技術士会/青年委員会のHP	17	31.5
(b2) その他のHP	4	7.4
(c) 青年委員会のブログ	4	7.4
(d) 月刊PEの行事予定	0	0.0
(e) 以前に参加した青年委員会のイベント	2	3.7
(f1) 青年委員会のメンバーからの紹介	8	14.8
(f2) その他の人からの紹介	3	5.6
(g)その他	4	7.4
合計	54	100.0

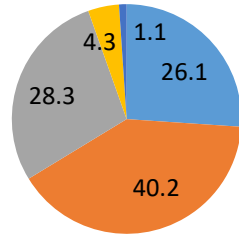


- (a) 日本技術士会の同報メール
- (b1) 技術士会/青年委員会のHP
- (b2) その他のHP
- (c) 青年委員会のブログ
- (d) 月刊PEの行事予定
- (e) 以前に参加した青年委員会のイベント
- (f1) 青年委員会のメンバーからの紹介
- (f2) その他の人からの紹介

- ・ 合格時に郵送されてきたチラシ
- ・ 委員長の勧め
- ・ 先輩からの勧め
- ・ 修習ガイダンス

Q6. 今回のイベントに参加した目的は何ですか（複数回答あり）？

回答	回答数	割合 (%)
(a) テーマや内容に興味等	24	26.1
(b) 参加者への興味(人脈の拡大)	37	40.2
(c) 青年委員会への興味	26	28.3
(d) CPDのポイント取得	4	4.3
(e) 上記以外	1	1.1
合計	92	100.0

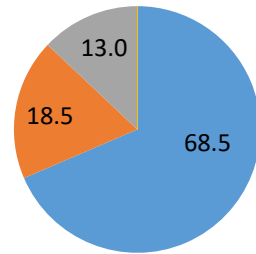


- (a) テーマや内容に興味等
- (b) 参加者への興味(人脈の拡大)
- (c) 青年委員会への興味
- (d) CPDのポイント取得
- (e) 上記以外

- ・ 若いエネルギーに触れたかった。

Q7. 青年委員会のイベントに参加するのは今回で何回目ですか？

回答	回答数	割合 (%)
(a) 初めて	37	68.5
(b) 2回目	10	18.5
(c) 3回目以上	7	13.0
(d) はっきりしない	0	0.0
合計	54	100.0



- (a) 初めて
- (b) 2回目
- (c) 3回目以上
- (d) はっきりしない

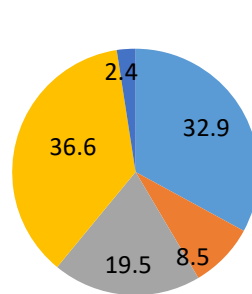
Q8. 過去に参加したイベントで、印象深かったテーマや面白かったテーマは何ですか？

- ・ 国際交流
- ・ 日本食の会
- ・ 高尾山
- ・ 4月イベント

●青年委員会の活動について

Q9. 青年委員会の活動として開催してほしいイベントは何ですか（複数回答あり）？

回答	回答数	割合 (%)
(a) 情報の提供	27	32.9
(b) 変化の提案	7	8.5
(c) 楽しみの場の提供	16	19.5
(d) 人脈形成の場の提供	30	36.6
(e) 上記以外	2	2.4
合計	82	100.0



- (a) 情報の提供
- (b) 変化の提案
- (c) 楽しみの場の提供
- (d) 人脈形成の場の提供
- (e) 上記以外

- ・ 工場見学、職場見学
- ・ 懇親会
- ・ 国際交流
- ・ 技術体感イベント
- ・ 技術者との交流
- ・ レジャー施設見学
- ・ 講演会

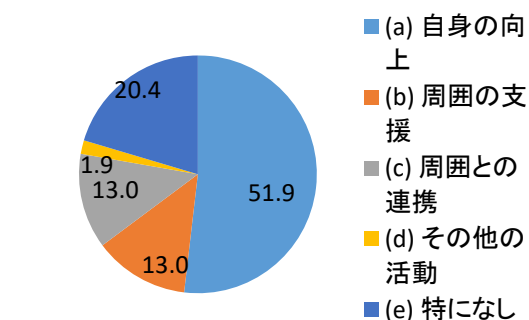
Q10. イベントの内容以外について、ご希望がありましたらお書きください。

- ・ 土曜日開催は参加しやすい
- ・ 地方でもやって欲しい
- ・ 最新技術の紹介
- ・ IPAの試験とはかぶらないタイミングが良い
- ・ CPD参加票の重み係数を入力しておいて欲しい

●技術士または技術者としての活動について

Q11. 技術士または技術者としての本業に加えて、どのような活動をなさっていますか(複数回答あり)?

回答	回答数	割合(%)
(a) 自身の向上	28	51.9
(b) 周囲の支援	7	13.0
(c) 周囲との連携	7	13.0
(d) その他の活動	1	1.9
(e) 特になし	11	20.4
合計	54	100.0



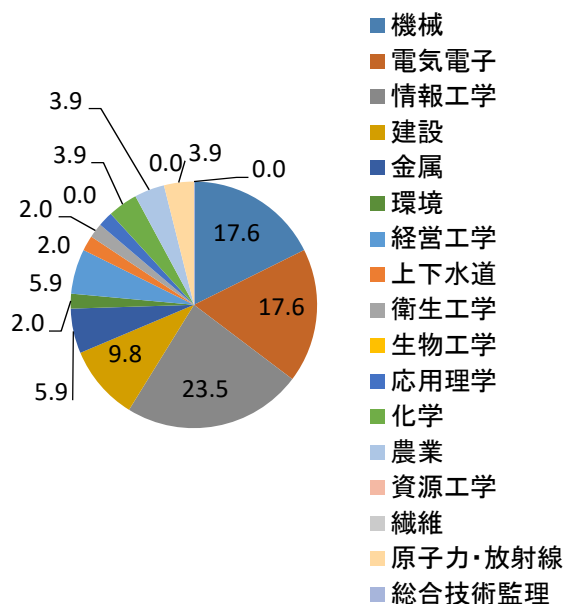
- ・ 資格取得
- ・ 資格取得支援
- ・ 技術士会イベントへの参加
- ・ ボランティア
- ・ 英語力向上/交流会

- ・ セミナー参加
- ・ 技術士等公的資格取得

●あなたご自身について

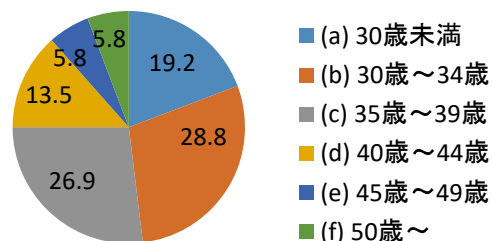
Q12. 技術部門は何ですか?

回答	回答数	割合(%)
機械	9	17.6
電気電子	9	17.6
情報工学	12	23.5
建設	5	9.8
金属	3	5.9
環境	1	2.0
経営工学	3	5.9
上下水道	1	2.0
衛生工学	1	2.0
生物工学	0	0.0
応用理学	1	2.0
化学	2	3.9
農業	2	3.9
資源工学	0	0.0
繊維	0	0.0
原子力・放射線	2	3.9
総合技術監理	0	0.0
合計	51	100.0



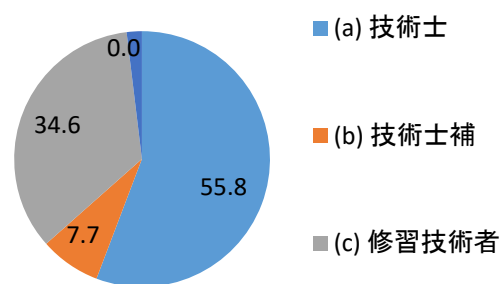
Q13. 年齢層について、該当する項目を選択してください。

回答	回答数	割合(%)
(a) 30歳未満	10	19.2
(b) 30歳～34歳	15	28.8
(c) 35歳～39歳	14	26.9
(d) 40歳～44歳	7	13.5
(e) 45歳～49歳	3	5.8
(f) 50歳～	3	5.8
合計	52	100.0



Q14. 会員層について、該当する項目を選択してください。

回答	回答数	割合 (%)
(a) 技術士	29	55.8
(b) 技術士補	4	7.7
(c) 修習技術者	18	34.6
(d) JABEE認定プログラムの学生	0	0.0
(e) その他	1	1.9
合計	52.0	100.0



■第一部【グループワークを通して仲間づくり】

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
赤木	・白井さんの昨年参加の感想を含めた熱い司会と瀧川さんの的確なコメントありの落ち着いた司会。 ・瀧川さんのシナリオにより、全体がスムーズに進行されました。 ・シライタン男爵で会場から笑いが起こり、打ち解けたと感じました。白井さん、さすがです。	・他の会と間違えて来る人がいました。同日に別の会があることも考慮し、機械振興会館以外での開催時は注意が必要です。 ・青年委員がリハで作成した提案書が薄くて見えませんでした。 ・検討用、下書用に A3 用紙もしくは模造紙を配布するべきでした。 ・各グループ発表後、質問タイムがあってもよいと思いました。	・青年の紹介は実施した結果を踏まえたほうが分かり易いと思い、グループワークの後にしましたが、やはり前でしょうか。 ・荷物の運搬も不要なため、次回は機械振興会館での開催としましょう。 ・人数が集まらなかったのは、他部門、修習委員と同日開催としたからでしょうか。早い者勝ちなので、合格発表前から案内するべきかもしれません。
井口	・白井さん、瀧川さんの司会が、安定感抜群でした。特に、各グループの発表終了後の瀧川さんのコメントが的確で感心しました。 ・参加者の皆さんが、積極的に交流しようという意思を持っていました。 ・飴システム、考えついた人を尊敬します。 ・シライタン、良かったです。優勝企画に印を押すアイデアも良かったです。	・会場が暑かった。人口密度高いので仕方ありませんが。	・全体的に大成功の企画だったと思います。担当の皆さん、お疲れ様でした。
白井	・主担当として仕事をさせていただきましたが、担当者を始め多くの方にサポートをいただいたこと。 ・シライタン男爵の挨拶を封切に、寸劇やグループワークの号令等の仕掛けが活き、交流会全体を通して良い雰囲気になってくれたこと。 ・司会進行において瀧川さんが全体を通した台本作成してくださったことで、安心して本番に臨めたこと。(台本があっけかなり安心できました) ・当日の無茶ぶりにも関わらず、グループワークのコメントを瀧川さんが担当してくださったこと。 ・オブザーバーやドタキャン対策の対応がスムーズに行われたこと。 ・オブザーバーの方各グループを盛り上げてくださったこと。 ・空調の調整や、明るさの調整を適宜対応してもらえたこと。 ・写真をたくさん撮ってもらったため、後のブログの更新等で困らなかったこと。 ・私自身が引き起こしてしまったパソコントラブルに対して、すぐに対応していただいたこと。(諸田委員長、田中さん、赤木さんありがとうございます。)	・時間管理:グループワークの発表において私の時間管理が杜撰になってしまったせいでかなり時間を押してしまいました。 ・スライド確認不足:技術提案書の例を表示する際、全然見えなかったもので、とても残念でした。スライドの確認をすべきでした。 ・準備不足箇所:自分の反省になってしまっているのですが、グループワークの集計時から結果発表、表彰に至る一連において準備不足となってしまったこと。皆さんの機転や現場力に頼りすぎてしまった部分があり大変申し訳ありません。	・頼りない主担当でありましたが、担当者を始め、多くの方の力強いサポートをいただき、やり切ることが出来ました。自分自身としても貴重な経験ができました。皆様には心から感謝しております。ありがとうございました。
太田	・運営委員会が早く終わって、余裕を持ってゲストをお迎えできたこと。 ・瀧川さんの落ち着いた司会、各発表後のコメントが良かったです。 ・グループワークの背景説明に寸劇を入れたのが良かったです。竹内さん、後藤さん、お疲れさまでした！ ・グループワーク開始前に全員で発声するのが、会場の一体感が出て良かったです。 ・最優秀企画にシライタンがハンコを押すというアイデア、良かったです！盛り上がりましたね！	・受験者、合格者の絶対数が減っていることもあると思いますが、年々、集客が落ちているように感じます。集客の工夫、もしくは人数を減らしたイベント構成を考えてもいいかもしれません。 ・合コン社以外の各社、外注(他己紹介)が少なかったのが個人的には残念でした。 ・今回はグループワークで発生したごみも、ケータリング業者さんが持っていってくれましたが…。外部会場で実施するときのごみの処理方法は予	・白井さん、ビックイベントの取りまとめ、お疲れさまでした！全体を通して盛り上がり良かったですね！ ・毎度のことながら、白井さんのやり切る力、すごい一言です！ ・このイベント、年々、新しいアイデアが入って、進化してますね！

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
後藤	・臼井さんのリーダーシップに頼もしさを感じました。 ・瀧川さんの絶妙なコメントやフォローが良かったです。対応力もすごく感じました。 ・シライタン男爵の登場により、真面目な空気が流れていたところに笑いや面白さを吹き込んでくれました。 ・寸劇、すごい緊張すると思っていたのですが、シライタン男爵と臼井さんの頼もしい司会に助けられ、安心して演技に専念することができました。竹内さんありがとうございました！打合せもやっておいて良かったです。	・め考えるようにしたいです。 ・自己紹介時のスクリーンのタイム表示が前の方にいる一部の人には見えなかったと思うので、スライドの見せ方や別の方法を取るなど改善が必要と思いました。 ・各グループによる発表時間が 4 分をかなりオーバーしていたりばらばらでしたので、タイムキーパーが必要だと思いました。 ・各グループの発表で、他己紹介が生かしていなかったところが多いように感じたため、GW の進め方にもう少し工夫が必要かもしれません。	・急な主担当交代を引き受けてくださいました臼井さん、年度末の最繁忙期にも関わらずあれだけの大変な作業を本当にお疲れさまでした。 ・自身青年に入ってから初めての本格的な例会の一担当をさせていただき、大変良い経験と勉強ができました。相互協力の精神によりみんながそれぞれの場で力を発揮し、一つのものが出来上がっていく素晴らしさに感動しました。
清水	・臼井さんの勢いのある司会と瀧川さんの優しくて場に合ったコメントがバランス良く、聞いていて楽しかったです。 ・竹内さん、後藤さんの寸劇でグループワークに物語性が出て良かったです。そして、見ていて楽しかったです。 ・白井タン男爵で安定の空気となって 4 月例会の空気感を感じてもらえたかと思います。 ・旬なネタで議論がしやすかったと思います。	・交流会費の徴収漏れの人がいたこと。 ・人数の割りに会場が少し狭かったかと思います。少し写真が撮りずらかったです。 ・集合写真がぎゅうぎゅう詰めになってしまい、すべての人の顔が入らなかった。参加者＋青年スタッフで 80 人程いるので、何かしら方法を考えた方がいいかもしれません。	・誰かブラカード知りませんか？
白井	・主担当の変更など大変な状況の中、協力してやり抜けたこと。 ・参加者のみなさまが積極的に交流に取り組んでくださったこと。	・グループワークのお題提示の寸劇は、やっていて面白かったのですがもう少し事前準備して完成度を上げておきたかったところです。伝わりにくかったかもしれません。 ・イベント企画手順の標準化が、もう少し工夫すればできるように感じます。	・臼井さんのご活躍でなんとかかなりました。お疲れ様でした。
鈴木	・臼井さんと瀧川さんの司会は、場をうまく和ませ引っ張っていたと思います。 ・グループの中で単にリーダーというのではなく、役職を与えて GW の実施と発表というのは面白いアプローチだったと思います。	・GW の後半で前もってメモ用紙が準備してあればよかったかと思います。 ・例で挙げた事業計画書がスクリーンで見づらかったこと。	・リピーターの方が多く来ていただいていたことは、素晴らしいのですが、もっと新規合格の方に来ていただけるようなことが必要かもしれません。 ・主担当の急遽変更など、大変だったと思います。担当されたみなさま、お疲れ様でした。 ・せっかく作ったあのハンコ、もっと有効活用したいですね。
瀧川	・臼井さんのリーダーシップと明るく元気な司会が青年委員会らしい雰囲気をつくり、会場を盛り上げていたこと。司会において、ざわつく会場の中で、私の声があまり通らなかったのですが、各所でフォローもいただきました。 ・青年スタッフ皆が自分の持ち場を守りつつ、且つフォローしあいながら、イベントを仕上げたこと。 ・萩尾さんや赤木さんをはじめ、青年スタッフが冷静に見守って、各所で助言くださったこと。 ・竹内さんと後藤さんの寸劇が面白かったこと。お二人の演技を別の機会にまた見たいです。 ・シライタン男爵が最後までめげなかったこと。さすがです！	・頑張るシライタン男爵に司会として良いツッコミができず、ひとりぼっちにしまったこと。その後の青年紹介の場でシライタン男爵をいじってください場が和んでよかったです。 ・個人的に司会を引き受けてから、なかなか準備ができていなかったこと。直前にも関わらず、イベントの内容の確認に親身に対応してくださった臼井さん、司会のコツを教えてくださいました栗野さん、どうもありがとうございました。 ・時間が押してしまったこと。	・臼井さん、4 月イベントスタッフの皆さま、長い期間の準備大変お疲れさまでした。楽しい時間をどうもありがとうございました。
竹内	・臼井さんの穏やかながら熱い思いの伝わる進行。	・ごみの処分先がなかったこと。 ・空調の設定、失敗しました。前のほう	・みなさまお疲れ様でした！ありがとうございました！！

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
	- 各班の発表に対する滝川さんのほんわかしたコメント。 - 参加者の皆様が積極的に取り組んでくれたこと。	は常時扉が閉まっていること、プロジェクターがあること、人の密度が高いことから、後方の受付付近より暑くなるので空調を強めに設定するべきでした。	
田角	- 臼井さんは名前の通り本当に明るくて元気の出る人だと思うのですが、当日も臼井さんキャラで明るくはきはきと進行を進められとても良かったです。 - 瀧川さんの司会がこちらにも明るくてトークもうまくとてもいい感じでした。 - 後藤さんと竹内さんの寸劇がうますぎないがとても良く伝わる感じで良かったです。 - シライタン男爵が最後までキャラをひっぱって盛り上げたこと。 - オリンピック招致のコンセプトはタイムリーな上わかりやすく良かったです。	飴システムで途中でグループ交代し、全員の情報がグループ内に集まるのですが、そこから集まった情報をどう最後の評価に活かすかという点がほぼ死んでいた。結局評価はアイデアが面白かったチームに投票されたが、グループを交代して自分のグループの人の技術、他グループの人の技術情報をうまく活かした、という点も評価に活かされるような工夫がないと、飴システムでなくてもよいかなという気がします。	今各月担当で ML をグループ分けしているので、正直当日まで4月担当の皆さんがどれだけやられているのかわかりませんでしたが、例年のごとく相当大変だったであろうとお察しいたします。特に、年度末の繁忙期と例会準備が重なった臼井さん、後藤さん(他にもいらっしゃるかもしれませんが)本当にお疲れ様でした。実際のところ、4月特別例会は「特別」というだけに本当は全員でやってもいいくらいで、もっとメンバー全員にどんどんヘルプを募ってよいと思います。本当に4月担当の皆さまお疲れ様でした。どうもありがとうございます！
田中	- 臼井さんの元気な司会、滝川さんの穏やかな優しい司会のコントラストが聞いていて飽きない、素敵な司会でした。 - 臼井さんの演技が場の雰囲気を物凄く盛り上げたと思います。 - 竹内さん、後藤さんのグループワーク説明の実演が分かりやすく、楽しく見させていただきました。 - ドタキャン対策の参加者として参加しましたが、とても盛り上がりました。オリンピックに向けた技術改善というタイムリーなテーマだったことも、盛り上がった要因の1つだと思います。 - 私のグループは田角さんがオブザーバーでしたが、適度に助言をいただき、充実した議論が出来ました。次回もオブザーバーが付いてくださると良いと思います。 - グループワークの際に青年スタッフが、付箋等足りない物が無いかを聞きにきてくれる等の細やかな対応が良かったです。	- グループごとの机の間隔がちょっと狭かった気がします(身体の大きい方が窮屈そうでした)。もう少し荷物置き配置や、青年用待機スペースを工夫しても良かったかもしれません。 - ppt 説明の際に、ppt 資料の上が切れてしまっていたこと。事前に確認した方が良かったかもです。 - PC の電源を切った際にデータが飛ぶハプニングがありました。今後は使用するデータはすべて USB 等で保存して持参しておくかと安心かと思います。 - 機械振興会館と間違われて来られる方が何人かいました。ご案内の際に、場所についてももう少し強調してお伝えしても良いかもしれません。 - 懇親会の“第二部”と“二次会”を混同しておられる方がおられましたので、懇親会名を変えてもいいかもしれません。 - まだまだ委員・委員補佐枠もありますので、第二部の懇親会の時等に、もう少し青年委員募集の宣伝をしても良かったかもしれません。	- 清水さんのカメラ撮影が相変わらずキレイでした。ありがとうございます。 - 臼井さん、途中からの主担当であったにも関わらず、素敵な例会をありがとうございました。 - 萩尾さん、常に全体を見て、さりげなくサポートいただき、ありがとうございました。 4 月交流会は本当に楽しくて素敵な会なので、もっと早めに宣伝しても良いかもしれません。
萩尾	- 赤木さん、滝口さん、田中(仁)さんの受付がとてもスムーズに流れていました。ドタキャン、会場間違いなどありましたが、混乱無くうまく対応して下さいありがとうございました。 - 臼井さんの真摯な態度の司会が会場をいい雰囲気にしていました。瀧川さんとうまく役割分担できており、スムーズな進行でした。 - 朝の準備がとてもスムーズに終わったこと。 - 竹内さん・後藤さんの演技力が高く、寸劇が盛り上がりました。 - どの班も楽しそうに GW に取り組めたのはオブザーバーとドタキャン対策の方のおかげだと思います。 - 鈴木さん、竹内さん、横田さんの発表を皆さん興味深そうに聞いていま	- 自己紹介デモをインタビュー交代して2回行ったので、間延びしてしまいました。イメージがつかめればいいので、1回で良かったと思います。 - 照明係を配置した方がよかったかもしれません。意外と照明の切り替えが必要でした。 - 名刺を持っていない学生のために、名前と連絡先をかけるカードを何枚か用意しておくと思います。	- 賞品の飴をあんなに面白く渡せる臼井さんに惚れました。準備不足を助けられました。 - 荷物搬送時、機械振興会館は東京タワーの目の前なので、いつでもすぐに流しのタクシーを捕まえられそうです。 - 後藤さん、当日の参加者からのメール対応ありがとうございました。 - 臼井さん、大役お疲れ様でした！

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
	した。		
諸田	・急遽、主担当が変わったにも関わらず、各担当の皆さんが主担当の臼井さんを 強力に支援することで、臼井さんが各種作業を上手く進め、満足度の高いイベントにできました。 ・準備段階から各担当者が運営委員会以外に自発的に集まり、検討会議、準備、 等々を行う姿を見て、責任感の強さ、実直さ、チームワークに大変感動しました。 ・木原さんが事前準備をしてくださっていたので、主担当が変わっても不具合が発生しなかったこと。 ・竹内さん、鈴木さん、横田さんの委員会説明に参加者が関心を持って見ていたこと。 ・清水さんが今回も沢山の写真を撮ってくれたこと。 ・臼井さん、瀧川さん、竹内さん、後藤さんの演技力の高さを実感！青年委員会に役者が多いことを知ることができました。 ・臼井さんが男爵をやり抜いて、最後には参加者の皆さんの笑顔を獲得したこと。 ・兎にも角にも参加者の皆さんが笑顔いっぱい楽しんでいたこと。	・当日は他の委員会や部会の祝賀会と重複していたため、間違って損保会館へ来た方がいました。来年度は機械振興会館で開催するかもしれませんが、会場を間違えないよう、案内に工夫すると良いと思います。 ・照明や空調など、作業環境に関するケアが必要だと思いました。	・グループワークの投票集計に時間が掛かると思い、じつくりと 20 分間青年委員会の紹介をしてしまいましたが、実は早めに集計が終わっていたことに気が付きませんでした。申し訳ございませんでした。 ・大型ポスターがかなりくたびれているので、拡大委員会に向けてリプレースを検討したいですね。 ・臼井さんお疲れさまでした！
山本	・昨年よりも遊び部分が多く、楽しめました。	・特になし。	・特になし。

■第二部【食事をしながら交流会】

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
赤木	・セッティングから片付けまでしていたので楽でした。 ・予定より参加人数が少なかったのですが、飲み放題は実際にいた人数にしてくれました。 ・その場で委員になりたい方が多くいました。	・枝豆、乾き物はビュッフェスタイルには不向きなので、別の物にするべきでした。 ・人数より多めの食事でしたが、かなり早めになくなってしまいました。	・ケータリング会社との連絡用の携帯をプロジェクターとして使用したため、電話を受けることができませんでした・・・結果としては問題ありませんでしたが。
臼井	・第1部の良い雰囲気のまま参加者の皆さんが交流会を楽しんでくださったこと。 ・青年委員の皆さんが積極的に盛り上げてくださったこと。	・特にありませんが、第1部が押ししまい、本来の時間より短くなってしまったことが少し残念でした。	・赤木さんや萩尾さん、後藤さんに頼り切りとなってしまう申し訳ありません。ありがとうございました。
太田	・盛り上がりましたね！	・特になし。	・特になし。
後藤	・立食形式での交流会は、動きやすく話しやすい雰囲気が出来ていましたので、良かったと思います。	・特になし。	・メールの受付対応をやっていたこともあり、私の名前を覚えてくれていた人がいて嬉しかったです。 ・沢山の参加者が楽しかったと言ってくれていましたので、すごく良かったです。
清水	・食べ物や飲み物の種類が多くてとても良かったです。	・特になし。	・特になし。
白井	・立食形式は交流しやすいので、初対面が多い4月が一番良いと思います。	・少し局所にとどまりすぎました。より多くの方と交流するよう意識して動きたいと思います。	・男爵役をやったせいか、特に新規の参加者に避けられたような気がします。
鈴木	・立食なので、みなさまが動きやすかった。 ・デリバリーではなく、ケータリングで出張サービスのため、飲み物や食べ物に気を遣わずに交流できる環境であったこと。	・終わったら、我々もだらだらせず次の行動を起こすようにしたいものです。	・特になし。
瀧川	・たくさんの方にご参加いただき、盛り上がったこと。	・後片付けの時、テーブルがかなり汚れていた。次回はテーブルクロスを敷いたほうが良さそう。	・特になし。
竹内	・どこも話が盛り上がっていたこと。 ・これから青年委員の活動に参加したい、CAFEOに参加したい、青年委員に入りたい、と言ってくれた人がいたこと。	・特になし。	・国際グループの活動紹介をさせてもらったおかげで、参加者のみなさまとの話題に困りませんでした。
田中	・ケータリング会社が飲み物をサーブしてくれたり、片づけをしてくれたりしましたので、余分な気遣いをする必要が無く、とても良いと思いました。	・立食形式は色々な方とお話がしやすく良いですが、年配の方で立ちっぱなしが辛そうな方がいらっしやいましたので、イスを端に置く等しても良かったかもしれません。	・第二部の際に参加者から「とても楽しかった！」、「是非また参加したい」、「来てよかった」というお言葉をたくさんいただきました。参加者の方に喜んでいただけると、とても嬉しいです。
萩尾	・参加者の方が本当に楽しそうに会話をしていました。	・特になし。	・特になし。
諸田	・第一部参加者の殆どが第二部にも参加してくれたのは大変良かったです。 ・低コストで沢山の料理は良いですね。	・立食形式とはいえ、立ちっぱなしで疲れる方もいるようなので、幾つか椅子を用意しても良いかと思いました。 ・テーブル配置(料理や飲み物を置くテーブルの配置)を当日業者の方と一緒に検討したこと。事前に検討しておくことで業者の方にも迷惑をかけず、円滑にテーブル設置ができたと思います。 ・終わった後のテーブルがとても汚れていて、掃除に手間取ったこと。使い捨てのテーブルクロスがあると良いですね。	・委員になりたい方が何名かいたのが嬉しかったです。来月以降オブザーバーとして委員会へ来てくれることを期待しています！
山本	・立食形式で、移動しやすかった。	・特になし。	・地酒の飲み比べとかしてみたいです。

■二次会

氏名	良かった点	改善すべき点	その他、なんでも
赤木	・予定(30名)より多くの方(38名)にご参加いただけたこと。 ・店のキャパに対して少人数でしたが、貸切にできたこと。	・移動距離が長かった。 ・スクリーンがあったため、写真を写すなどするべきでした。	・食事は各自で取りに行くタイプと聞いていましたが、実際はテーブルに配られました。
臼井	・場所がとても良い雰囲気であったこと。 ・マイクを使つての司会進行をしてもらえたこと ・参加者の皆様に楽しんでいただけたこと。	・特になし。	・途中退席となつてしまいましたが、本当に楽しかったです。
太田	・駅チカ！貸切！いい場所でした！	・特になし。	・特になし。
後藤	・お店の雰囲気が結婚式の二次会もできそうな素敵なお店で良かったと思います。 ・駅から近く便利な場所で、貸切りというのが良かったです。	・特になし。	・最後まで無事に終えることができ、本当によかったです。皆さまお疲れさまでした！
清水	・おしゃれでいいお店でした。特に窓側の照明がインスタ映えしそうで、いい感じでした。 ・お店が貸し切りで、プロジェクターまで使えたこと。 ・二部で交流できなかった人とも話げできた。	・せっかくのプロジェクターなので、青年の過去の写真や当日撮った写真などを流すのもありかなと思いました。	・4月例会担当のみなさま、長丁場お疲れ様でした。
白井	・貸し切りになつていたし、駅ビルで交通の便が良く、文句なしです。	・先の交流会であいさつできなかった参加者にも挨拶してまわれたが、新しい参加者との交流をもっと増やしたかったです。	・トイレが少なかったのがつらかった印象でした。
鈴木	・店が貸し切りで、駅から近く良かったです。	・特になし。	・特になし。
瀧川	・お店の選定が良かったです。ゆっくりお話をできる雰囲気でした。お料理もおいしかったです！	・特になし。	・特になし。
竹内	・駅近で貸切だったので、席の移動もしやすく、ゆったりできました。	・特になし。	・皆様お疲れ様でした！！
田中	・外部の方で二次会に参加いただいた方が多かったこと。 ・立地場所も駅から近く、お店の雰囲気もとても素敵でした。お店も広くて動きやすく、貸切だったので気兼ねもすることなく自由に過ごせました。	・特になし。	・赤木さん、司会や細やかなお気遣い、ありがとうございました。 ・瀧川さんの最後の挨拶が素敵でした。
萩尾	・参加者がとても多かったと思います。1部の満足度がとても高かったのだと思います。 ・会場が貸しきりのため、人数変更にも柔軟に対応出来たことが良かったと思います。	・特になし。	・特になし。
諸田	・二次会にも多くの方が参加してくれたのは大変良かったです。青年委員会の魅力が多く参加者に伝わった証拠だと思います。 ・秋葉原の駅近くにも関わらず、低コストで貸切できたのは大変良かったです。料理も飲み物も美味しかったです。	・特になし。	・プロジェクターがあったので、第一部や第二部の写真を流しても良かったかも。
山本	・お店が駅のすぐそばだったため、帰りが楽でした。 ・マイクが使えたことは、良かったのではと思います。	・特になし。	・特になし。

以上

国際活動報告書

会議名	CAFE035/YEAFEO24
日時	2017 年 11 月 16 日（木）～11 月 18 日（土）
場所	Bangkok, Thailand
参加者	青年委員：●萩尾(記)、●白井、●明山、田中(仁)、竹内、滝口 元青年委員：田中(雅)、北元 一般：西田、力石、塚越、小梶、園家 (●：公費派遣者、敬称略)
参加者数	13 名

1. 目的

- ・若手技術者の国際感覚の育成
- ・ASEAN 諸国の技術者との人脈構築
- ・二国間交流の推進
- ・当該会議への継続参加による日本のプレゼンス強化
- ・ASEAN 諸国の技術活動に関する情報収集

2. 概要

会議名：CAFE035 (The Conference of the ASEAN Federation of Engineering Organizations 35)
 YEAFEO24 (The Young Engineers of the ASEAN Federation of Engineering Organizations 24)
 期間：2017 年 11 月 16 日(木)～18 日(土)
 場所：Queen Sirikit National Convention Center(QSNCC), Bangkok, Thailand

3. 主日程 ※ 基本的に YEAFEO プログラムに参加し、空いた時間に CAFE0 プログラムに参加した

Date		Program
11 月 16 日	AM	[CAFE0/YEAFEO] Registration
		[CAFE0] Working Group（以下グループに分かれてセッションを行った）
		Transportation, Education & Capacity, Energy
		Disaster, Sustainable Cities, Environmental, AEI-Electrical
	PM	[YEAFEO] Technical Visit (G-Tower)
		[YEAFEO] MTG
		[CAFE0/YEAFEO] Opening Ceremony
		[CAFE0/YEAFEO] Welcome Dinner
11 月 17 日	AM	[CAFE0] Country Report
	PM	[YEAFEO] Country Report & Exchange of Souvenirs
		[YEAFEO] Networking
11 月 18 日	AM	[YEAFEO] Outdoor Activities
	PM	Free Time
		[CAFE0/YEAFEO] Farewell Dinner

4. 成果

4. 1 若手技術者の国際感覚の育成

- ・海外の技術者と直接対話することで、英語でのコミュニケーション方法を肌で感じる事が出来た。
- ・英語での議論に参加することにより、英語に対する苦手意識を軽減し、英語勉強のモチベーションアップにつながった。
- ・ASEAN 諸国の文化について見識を深めるすばらしい機会をもつことができた。

4. 2 ASEAN 諸国の技術者との人脈構築

- ・YEAFOに参加した各国の技術者と SNS 等を交換して連絡を取り合うことが出来るようになり、良好な人間関係を築くことができた。会議後も、継続的に SNS 等を利用して連絡を取り合っている。

4. 3 二国間交流

- ・青年委員会ではないが、Philippine の大学准教授から交流したいとの申し出があり、名刺交換を行った。
- ・香港の参加者である King Cheung 氏経由で HKIESC(The Hong Kong Institution of Engineers Student Chapters)から日本見学のサポート依頼があった。
- ・マレーシアから 2 件、日本訪問時の食事の誘いがあった。

4. 4 継続参加による日本のプレゼンス強化

- ・Country Report 時、日本派遣団から各国に先駆けて質問し、日本の存在感を示す一幕があった。
- ・日本の Country Report 発表において会場から拍手を頂き、好印象であった。
- ・Farewell Dinner 時は、毎年、各国それぞれ独自の民族衣装など文化に合わせた衣服を身に着けることになっているが、特に日本の空手道着および浴衣は大変好評で、多くの方々から写真撮影を求められた。技術面だけではなく、文化面でも日本の存在感を示すことが出来た。

4. 5 ASEAN 諸国の技術活動に関する情報収集

- ・技術者教育においては、国によって方法の差はあるものの、比較的若い年齢層(特に学生)から技術者の養成を実施するシステムを確立している国が多い。
- ・海外の技術者はインフラ関係の専門の方が多い印象。積極的に建築の技術を取り込もうとする姿勢を感じた。

5. 活動詳細

5. 1 11月15日

各自で現地入りをし、顔合わせを兼ねて現地レストランで夕食をとった。
翌 16 日の予定確認を実施した。参加できていないメンバーへはメッセージのメーリングリストを活用して翌日の集合時間等の予定を共有した。

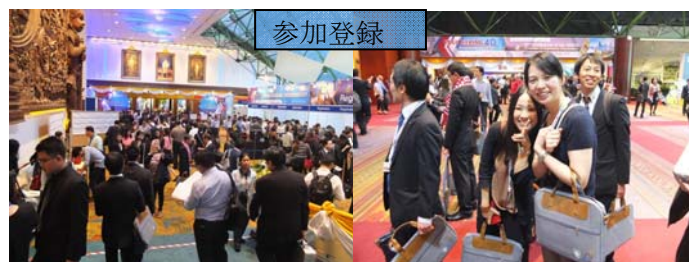


5. 2 11月16日

(1) CAFEFO/YEAFO 参加登録

当日現地入りのメンバーとは、ホテルのロビーで合流した（大半のメンバーは同じホテルに宿泊した）。8 時に全員で会場入りをし、参加登録を行った。
参加登録は、参加費を現地支払いとしたこともあり、時間を要した。

（事前支払いは参加登録時スムーズに動けるが、急遽参加出来なくなった場合は払い戻しが出来ないため、現地払いか事前払いのどちらを選択するかは検討が必要。現地払い時を選択した場合は、早めに会場入りした方がよい。）



(2) CAFEO ワーキンググループ(WG)への参加

参加登録後の 10 時頃から、各自興味のある WG に参加した。WG の議題を事前に入手できなかったため、議題を把握するのに時間がかかった。議論に参加するためには事前に WG の情報を入手する必要があると感じた。以下に各 WG の内容を示す。



(Education & Capacity)

各国での技術者の教育システムについての紹介が行われた。細かく段階がわかれており、学生の間から少しずつステップアップするように教育している国が多かった。CPD は各国でも取り組まれていた。

(Disaster)

国際委員会の稲垣氏と合流した。全員一言ずつの自己紹介から開始した。最初の議題は、ASEAN 各国から固定メンバーの選出であった。毎年、メンバーが入れ替わってしまい、議論が進まないため、主要メンバーを決めるとのこと。

その後、各国の災害に対する取り組みが紹介された。タイではスマートフォンの OS(Android)向けのアプリを開発し、警告が配信される仕組みを作っていた。各国ともに台風の被害が大きく、台風対応マニュアルの作成など日本の取り組みを参考にしたいという話が挙げられていた。急遽、日本の意見を求められる場面があり、ひやりとする場面があったが、稲垣氏に対応して頂き事なきを得た。英語能力のなさを反省させられる一幕であった。

(Sustainable Cities)

ASEAN の各代表者(日本は含まず)のみを中心に議論が開始され、それ以外の参加メンバーは後ろで傍聴する形式であった。まず座長(シンガポール)より各国に対して、「持続可能な社会とインフラについて、どのような取り組みをしているのか？情報共有していきたい」という問いかけがあった。しかし各国代表者からは、この会議の目的は何か、情報共有をしてその後どのように対応を進めていくのか、ガイドラインを作成したほうがよいのではないかなど、本題に入る前の議論・意見交換が続き、会議は終了した。

(Enviromental)

全員一言ずつの自己紹介から開始した。各国の環境改善に対する取り組みが紹介された。例えば、フィリピンでは浄水についての取組みが説明された。YEAFFO Technical Visit の集合時間の関係上、残念ながら本 WG は中座する形となった。

(Energy)

各国のエネルギー消費量とその内訳、今後の需要見通しおよびエネルギー政策について紹介が行われた。

いずれも旺盛な需要の伸びが予想され、エネルギーインフラ整備、再生可能エネルギーやクリーンエネルギーの活用、省エネに関する積極的な姿勢が見られた。

これらに関して日本の技術が貢献できる部分があるのではないかと感じた。

(3) YEAFFO Technical Visit

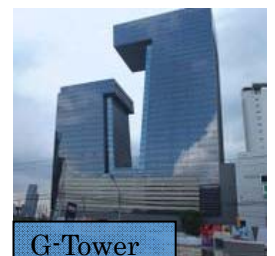
午後から、YEAFFO Technical Visit に参加した。参加人数は YEAFFO 全メンバーの半数程度であった。

CAFEO 事務局手配のバスに乗り、会場へ移動した。バス内では昼食も用意されていた。

Technical Visit では、建物が「G」の形をしている G-Tower という建築物について学んだ。

初めに設計者から建物の構造等についての貴重な説明を聞くことができた。

その後、G-Tower の見学をしたが、G-Tower 内には入らず、外から見るだけであったことが残念であった。



(4) YEAFEO MTG

Technical Visit 後の 16 時頃から、YEAFEO MTG に参加した。会議室が狭かったため、日本からは公費派遣者が優先的に中に入った。席の空き状況を確認し、最終的には日本全メンバーの半数程度が参加することができた。毎年会議形式が異なるとのことで、本年度は、オブザーバー国は会議の輪の中に入ることが出来ず、部屋の端の席での傍聴のみであった。

ASEAN 諸国のみ自己紹介を実施し、日本の紹介の機会はなく、寂しい思いであった。

MTG 内容は YEAFEO の規定内容の改訂等の運営に関するものが大半であった。



(5) CAFEO/YEAFEO Opening Ceremony & Welcome Dinner

18 時から Opening Ceremony が開催された。

タイ国王が来賓するため、厳密な Security Check が 16 : 30 から行われた。

YEAFEO MTG 参加組は MTG が長引いたために Security Check に間に合わず、外で列を作って待機となり、Ceremony には参加できず、Welcome Dinner からの参加となった。

Opening Ceremony 参加組は別室でモニタを通して Ceremony を見た。

Opening Ceremony 終了後、Welcome Dinner が始まり、各国の参加者との交流を深めた。

Dinner 後は YEAFEO 参加者同士の任意の Drinking party に参加した。

各国の参加者の人となりを知り、打ち解けることができた。



5. 3 11月17日

(1) CAFEO Country Report

午前中は CAFEO の Country Report の聴講が主であり、各自自由行動とした。自由行動中は、CAFEO Country Report に参加する者や、バンコク周辺を探索する者、当日午後に YEAFEO で発表する日本の Country Report の内容をブラッシュアップをする者等、三者三様であった。

(2) YEAFEO Country Report

午後から YEAFEO Country Report に参加した。各国の青年員会の一年間の活動報告を行った。

タイではシニアと若手の意見交換を行う等の各国が興味深い活動を行っており、今後の活動の参考となった。日本派遣団から質問をすることで、日本の存在感を増すことができた。

日本の発表は活動方針、本年度の具体的な活動内容を説明した。

最後に、今後も積極的に国際交流を行いたい意向を示し、各国メンバーから拍手が上がった。



(3) YEAFEO お土産交換

Country Report 後、各国間でのお土産交換を実施した。

お土産は、その国のランドマークタワーの置物等、その国の文化が分かるような工夫を凝らした物であった。

お土産交換は 2 カ国ごとに行われ、交換時には写真撮影を行った。

写真撮影の待ち時間を利用して、個人的なお土産交換も行った。



(4) YEAFEO Networking

YEAFEO 主催の Dinner に参加した。CAFEO 事務局手配の大型タクシーに 1.5 時間程度乗り、リバーサイド近辺の会場へ移動した。参加人数は YEAFEO 全メンバーの半数程度であった。

参加人数としては多すぎず少なすぎずという感覚で、参加者間でゆっくり話すことができた。

Dinner はタイ料理ビュッフェで、食事の際にタイの伝統的な踊りを見ることが出来た。

レストランはショッピングモールの中にあり、食後は小 1 時間程度モール内で自由に買い物をすることが出来た。買い物後は集合し、CAFEO 事務局にて手配済の大型タクシーに乗り、ホテルに戻った。



5. 3 11月18日

(1) YEAFEO Outdoor Activities

朝から夕方までタイの王宮周辺と運河ツアーに参加した。参加人数は YEAFEO 全メンバー2 割程度であった。(タイ：3～4 名、シンガポール：1 名、カンボジア：4 名) 少人数であったため、全員とコミュニケーションをとることが出来た。イベント名の通り、屋外を移動することが多かったため、30℃を超える炎天下にさらされ、体力的にやきついツアーであった。しかしタイの有名な寺院を巡ることができ、タイの文化を知る貴重な機会となった。

昼食は、タイ料理のビュッフェを楽しむことができた。



(2) Farewell Party の出し物の練習

ツアー終了～Farewell Dinner までは自由時間であったため、ホテルに戻った後、出し物の最終合わせを行った。

今年は、空手&フォーチュンクッキングスを行うため、空手の板割の順番、踊りの確認を行った。

(3) Farewell Dinner

18 時頃から Farewell Dinner に参加した。各国の参加者は民族衣装を纏い、とても華やかな雰囲気であった。日本は空手の道着や浴衣、法被を着た。来年度は衣装にもう少し力を入れたい。浴衣の人气が高く、写真を一緒に撮って欲しいと引っ張りだこになった。

Dinner の最中に各国の国旗交換も行った。日本は計 60 本程度の国旗を用意し、丁度良い量であったと感じた。

各国の出し物の際、ステージに呼ばれ一緒に踊る場面があったが、その際に自国の国旗を持って踊るメンバーが多かった。自国の番が終わると帰って行く参加者も多い中、各国 YEAFEO メンバーは最後まで残り、日本の出し物を盛り上げてくれた。

事前に日本の出し物の際に一緒に踊って欲しい旨をアナウンスした事が功を奏した。



6. 考察および今後の課題

《会議への参加》

- ・ オブザーバー国であるが故に、会議前に自己紹介すらさせてもらえない状況があった。会議資料も配付されず、一切内容がわからない状況に陥った。(10 数年参加されている園家氏の機転により、会議の途中で資料が入手できた。) 会議の内容を事前に把握するためにも、ミッドターム MTG に積極的に派遣したい。
- ・ 日本で言う“修習技術者”の段階から YEAFEO 等の国際会議等へ積極的に派遣している国もあった。技術者としての実績を積み、青年を卒業してそのまま CAFEO へ参加する流れが出来ていた(日本は青年を 45 歳以下と定義しているが、ASEAN 諸国では 35 歳未満を青年としている)。国際的な視点を持つことができる若手技術者を育てる必要があると考える。例えばインフラのように現地でも利権が絡みやすいビジネスに関しては、その地域の文化・習慣に精通し、地域のやり方に沿った解決策を出す必要があると考えるが、CAFEO への参加はそれを可能にする人材を育てることが出来ると考える。そのため、日本からも社会人 2～3 年目の若手技術者を積極的に派遣したい。各国からも若手が来ているため、同年代同士の方が、交流が進むと感じる。将来、各国を代表することになるであろう技術者と、若手のうちから親密な関係を築くことは 10 年後、20 年後の日本にとって大きな財産になると感じる。
- ・ 他国の PE は基本的に CAFEO に参加しており、YEAFEO への参加は少ない。なぜ PE なのに YEAFEO にでのかと聞かれる場合があった。YEAFEO と CAFEO 間の年齢のギャップがある。CAFEO になると年齢層が急に高くなり、中間層がない。YEAFEO を卒業した後に CAFEO に参加している人が他国においても少ない。オブザーバー国である日本が積極的に CAFEO に参加し、YEAFEO から CAFEO への流れを作ればと考える。現状では本活動が単発で終わっているため、本活動が長期的につながるような流れを作っていきたい。

《情報共有》

- ・ 昨年の CAFEO34 不参加であったこともあり、CAFEO についてのノウハウが一部受け継がれなかったため、参加準備に手間取ることがあった。可能な限り明文化しておく必要がある。暗黙知等も文書化することで、確実に引き継いでいきたい。
- ・ 個人情報の取り扱いは、名前とメールアドレスを残して他の情報は削除する。

- ・ 当日日程変更する事もあるため、現地では各自で WiFi を用意し、常に連絡を取れるようにしたことがよかった。連絡には Facebook のメッセージを活用した。各自の連絡の確認有無を把握できるため有効であった。
- ・ Chairman メッセンジャーには、連絡漏れを防ぐため（会議当日は頻繁に連絡を取り合う）に派遣団のリーダーとサブリーダーの少なくとも二人は登録する必要がある。

《会議》

- ・ 参加者のスケジュール管理や、会議室のスムーズな確保のために会議日程を予め決めておき、会議室を予約しておくといよい。今年は参加希望者 MTG1 回、準備 MTG4 回、振り返り MTG1 回実施した。
- ・ 準備において Facebook の CAFE035 ページを立ち上げ、連絡事項等のファイルをアップロードした。しかし、アップロードファイルは時系列順に表示されるため、必要なファイルがすぐに探せず、不便であった。今後は Dropbox 等のストレージを使用した方がよい。もしくは、ファイル保存用に、もう一つ別の Facebook ページを立ち上げて併用する等の対策が必要であると認識する。加えて、それらファイルアップロードのルール作りが必要であると認識する。
- ・ 地方からの参加者への対応が不十分であった。居住場所によって機会が左右されないようにしたい。来年以降、Skype 等の活用、地域本部との連携を強化していきたい。

《予算》

- ・ 予算は、使用する度に追加していく形であった。より有効な予算使用のために、今後は予め予算配分を決めておくといよい。

《ホテル》

- ・ ホテルは、日本メンバーにて打ち合わせする機会が多いため、全員同じホテルがよい。同じホテルでなくとも、少なくとも歩いて行ける距離がよい。また、着替えたり、物を取りに行くことがあるので、ホテルは会場の近場がいい。ホスト国おすめのホテルが良い。

《カントリーレポート》

- ・ カントリーレポートの内容を来年は変えていきたい。今年は状況がわからなかったため、日本に来て欲しいことをアピールしたが、来年は細かい取り組みを紹介してもよい。例会の内容をもう少し詳細に説明してもよいかもしれない。

《名刺》

- ・ 漢字文化圏の国も参加しているので、名刺に漢字名を書いてもよかったかもしれない。顔と名前を一致させるために、顔写真は必ず入れた方がよい。その他、Facebook のアカウントや IPEJ の表記、QR コードを記載しても良いかもしれない。

《お土産》

- ・ お土産は運搬の負担を鑑みて、かさばらないものがよい。カンボジアから貰ったリストバンドは、その場でつけられるのでよかった。個人お土産の数は 77 個(一人 5 個ずつ)を準備したが、少し多かった。来年は一人 3 個ずつでよいと思う。日本製のお土産を持っていったよかった。
- ・ 会議当日、インドネシアがお土産交換時にいなかった。余ったお土産を他に配ってしまったが、次の日にインドネシア単独でお土産交換を実施した。当日にいない場合もお土産を残しておく必要がある。

《国旗》

- ・ Farewell party の時の各国との交換用の旗の数(58 本)はやや多かった。また、今回大きいサイズと小さいサイズの旗を用意したが、大きいサイズの旗は持ちにくいので、少なめでよい。足りなくなった場合は、他国には旗はもう無いと断っても構わない。

《出し物》

- ・ Farewell party の出し物の音楽は、音楽をかけるタイミングが難しく、音楽を操作する担当者が混乱するため、出し物の各パートに分けて用意した方がよい（音楽無しのパートは設定しない方がよい）。
- ・ Farewell party の日本の出し物をやる前に、Chairman のメッセージでみんなに集まってもらうアナウンスをすると、出し物がより盛り上がる。

《その他》

- ・ 企業に勤めていると、CAFE0 に参加するための休暇が取りにくい。招待されたというと参加しやすい。青年から委員長名でインビテーションを発行してみるのも良いかもしれない。
- ・ 年に 1 度程度、OB/OG も含めた意見交換会を実施してもよい。その場で、YEAFOE および CAFE0 の情報共有をしていきたい(YEAFOE の OB/OG が CAFE0 で活躍していることが望ましい)。

- ・ 海外から学ぶだけでなく、行動を共にした日本派遣団の技術者から学ぶことも多かった。海外においては、必然的に密接な関係になるため、帰国後も良好な関係を続けることができる。信頼関係で結ばれた技術者を得られることは、CAFEO 参加の大切な副産物と考える。
- ・ 純粋な英語力だけではなく、文化的背景等も考慮したコミュニケーション能力が必要であると感じる。相手の国についての勉強はもちろんのこと、実際に対話する経験が大切であるとする。今後は参加人数を増やし、とにかく経験を積み場として提供していきたい。英語でのプレゼンテーションも同様と考える。

7. 所感

<萩尾>

ASEAN 諸国は英語が当たり前のように使われており、英語が堪能でない私は会話に入れないという悔しい思いをしました。日本の存在感を示すためには英語能力は必須で、積極的に発言していくべきだと痛感しました。

そう思う一方で、伝えたい気持ちさえあれば、相手も必死にくみ取ってくれることが多く、大まかな内容は伝わることも多いと感じます。海外の技術者と交流でき、また国内の技術者と信頼関係を構築できたことはとても貴重な体験となりました。参加することで、国際活動への方向性が見えました。

今回は渡航のチャンスを与えて頂きありがとうございました。納期月にも関わらず温かく送り出してくれた職場の皆様、生まれたばかりの子供の面倒を一人で見てくれた妻に感謝申し上げます。

<白井>

ASEAN 諸国のエンジニアは英語の教科書で勉強してきたということもあり、全般に英語に堪能な方が多い印象でした。

タイに行くならタイ語が必要ということではなく、何処に行くにも英語が必要ということを実感いたしました。

あるミャンマーのエンジニアは、「学生時代に JICA から支援を受けて第二東名高速道路の建設現場を見学させてもらった、今度は仕事で日本に恩返ししたい、大変感謝している」と熱心に語ってくれました。

あるマレーシアのエンジニアに、「中国北部では深刻な大気汚染が続いているが、マレーシアはどうか」と聞いたところ、「インドネシアから来る煙が話題になることはある。」などと、環境問題についても意見交換できました。

あるタイのエンジニアからは、「日本の温泉に行きたい。お勧めを教えてください。」と、日本の文化への関心の高さもよく分かりました。

タイも CAFEO も初めてのことでしたが、多くの会話ができ、貴重な経験をさせていただいたと感謝しております。

日本技術士会は ASEAN 側から招待されてオブザーバ参加させていただく立場として、注目されることもわかりました。

ASEAN 諸国の参加者に 1 つでも良い影響を与えられるように、交流を継続して広げられたら素晴らしいことだと感じています。

<明山>

今回私は 2015 年の開催国マレーシアに引き続き 2 回目の参加となった。そのため 2 年ぶりに再会できた海外メンバーもあり、さらに交流を深めることができた。海外の技術者と直接交流する機会は、このような国際会議以外には中々ないため、引き続き国際会議へ参加すると共に、仲良くなった技術者を日本へ招く又はこちらから相手国へ出向くなど、引き続き国際交流の活動を幅広く広げていきたい。

本国際会議へ参加するにあたり、社会人にとっては、普段の通常業務をストップまたは一時引継ぎが必要等、職場の理解が十分必要である。そのため、社会人よりも比較的休日を得やすい学生達にも積極的に参加してもらい、若いうちから刺激を得て、技術者になるためのモチベーションをアップしてもらうことが重要だと考える。



以上

サッカー 活動報告書

行事名	統括本部サッカー練習会とテクノツーリズム
日時	■サッカー練習会: 2017 年 5 月 27 日(土) 13:30~17:00 ■交流会: 2017 年 5 月 27 日(土) 19:00~21:00 ■テクノツーリズム: 2017 年 5 月 28 日(日) 9:30~12:00
場所	■サッカー練習会: 大宮けんぽグラウンド ■交流会: 楽蔵 大宮東口駅前店 ■テクノツーリズム: 鉄道博物館
講師、発表者	■テクノ解説: 小塚
担当者: (○印:リーダー)	○鈴木、高橋(記)
参加者数	■サッカー練習会: 統括本部23名(内中部本部1名)、北陸本部8名 ■交流会: 統括本部10名、北陸本部10名 ■テクノツーリズム: 統括本部10名、北陸本部7名

1. 背景・目的

日韓技術士国際会議の親善の一環として開催されている日韓親善サッカーでの勝利を目指して立ち上げられた「フットサル愛好会(2007 年 12 月)」では、各地方本部とサッカーを通じた交流の輪を広げ、現在まで継続した活動を行っている。今回は、統括本部と北陸本部の合同サッカー練習会とテクノツーリズムを開催した。

2. 例会内容

- サッカー練習 13:30~17:00
 - ・ランニング、準備運動、パス練習でウォーミングアップ
 - ・北陸本部と統括本部の 2 チームに分けて試合形式で練習
 - ※本格的な練習は北陸本部到着の 14:00 から開始
 - ・北陸本部と統括本部で試合を実施(延長ゴールデンゴールにより 2 対 1 で統括本部が勝利)
- 交流会 19:30~21:30
 - ・北陸本部と統括本部で交流会を実施
- テクノツーリズム 9:30~12:00
 - ・小塚委員補佐による鉄道の解説(車輪、電気、信号の仕組み)(約 1 時間)
 - ・鉄道博物館の自由見学

3. 成果と所感

今回のサッカー練習会は統括本部から 23 名、北陸本部から 9 名と多くの参加者に恵まれ、前日の降雨によるグラウンドコンディションを心配したがグラウンドコンディションもよく、約 3 時間半と長時間楽しくサッカーの練習をすることができた。また、大きな怪我や事故もなく無事に終了することができたのは、参加者一人一人の協力によるものと感謝している。サッカー練習後の交流会では、統括本部と北陸本部の参加と和気あいあいと歓談し、更なる交流を深めることができたと感じた。翌日の鉄道博物館でのテクノツーリズムでは、小塚委員補佐に車輪、電気、信号についてはわかりやすく解説していただき、電車の存在がより身近に感じることができた。また、SL の転車台での汽笛は迫力がありテクノツーリズムの締めくくりには非常に良かったと感じている。

サッカー練習の際に北陸本部の伊藤技術士からのドーナツツの差し入れや、練習終了後の統括本部の滝口委員補佐からのウェットティッシュの差し入れがあり、多くの参加者に支えられてサッカーの活動していることを改めて感じ、これからも継続してこのような交流活動が続けたいと考えている。

4. 今後の展開

10 月には本番である日韓親善サッカー大会の開催予定であるため、継続してサッカーの練習を続けたいと考えている。今後は以下の予定で計画している。

- ・2017 年 8 月 26 日~27 日 北陸本部サッカー合同練習会・テクノツーリズム(予定)
- ・2017 年 9 月 日韓サッカー強化合宿(予定)
- ・2017 年 10 月 26 日 日韓親善サッカー大会(韓国・釜山)(27 日本会議)
- ・2017 年 11 月~12 月 日韓親善サッカーお疲れ練習会(統括・予定)

5. 写真



サッカー集合写真



サッカープレー写真



交流会写真①



交流会写真②



テクノツーリズム集合写真



見学中写真

以上

行事名	統括本部、北陸本部サッカー交流試合及びテクノツーリズム
日時	■サッカー合同練習: 2017 年 8 月 26 日(土) 13:00~16:30 ■交流会: 2017 年 8 月 26 日(土) 19:00~21:30 ■講演会(テクノツーリズム): 2017 年 8 月 27 日(日) 9:30~12:00
場所	■サッカー練習会: みどり森の運動公園 多目的グラウンド(クレイ舗装) ■交流会: ぼんしゅ館 魚沼釜蔵 ■講演会(テクノツーリズム): 技術士センタービル 8 階 A 会議室
講師、発表者	■①「星の誕生から消滅まで」 中村健太郎氏(株式会社キタック) ■②「からだのしくみ(仮)」 高橋先生(たか整骨院)
担当者: (○印:リーダー)	○鈴木、清水、高橋(記)
参加者数	■サッカー練習会: 統括本部11名 ■交流会: 統括本部9名 ■テクノツーリズム: 統括本部6名

1. 背景・目的

日韓技術士国際会議の親善の一環として開催されている日韓親善サッカーでの勝利を目指して立ち上げられた「フットサル愛好会(2007 年 12 月)」では、各地方本部とサッカーを通じた交流の輪を広げ、現在まで継続した活動を行っている。今回は、統括本部と北陸本部の合同サッカー練習会とテクノツーリズムを開催した。

2. 例会内容

- サッカー練習 13:30~16:30
 - ・ランニング、準備運動、リフティングでウォーミングアップ
 - ・北陸本部 2 チームと統括本部 1 チームの 3 チームに分けて試合形式で練習
 - ・日韓参加者チームと北陸本部・統括本部連合チームで試合形式で練習
- 交流会 19:30~21:30
 - ・北陸本部と統括本部で交流会を実施
- テクノツーリズム 9:30~12:00
 - ・「星の誕生から消滅まで」(中村健太郎氏:株式会社キタック)の講演
 - ・「からだのしくみ(仮)」(高橋先生:たか整骨院)の講演と実演

3. 成果と所感

今回のサッカー練習会は日韓親善サッカー前の最後の練習会のため統括本部から 11 名の参加があった。午前中まであまり天候はよくなかったが、午後からは天気も良くグラウンドコンディションもよく、約 3 時間半と長時間楽しくサッカーの練習をすることができた。最後に日韓親善サッカーに参加するチームで行ったことで、チームでの問題点も見つかり日韓親善サッカーに向けての良い練習になったものと思う。また、大きな怪我や事故もなく無事に終了することができたのは、参加者一人一人の協力によるものと感謝している。サッカー練習後の交流会では、統括本部と北陸本部の参加と和気あいあいと歓談し、更なる交流を深めることができたと感じた。翌日のテクノツーリズムでは株式会社キタックの中村氏より「星の誕生から消滅まで」とたか整骨院の高橋先生より「からだのしくみ(仮)」の 2 講演を聴講した。「星の誕生から消滅まで」では、水素ガスが圧縮・燃焼し星の内核部分が徐々にヘリウムへと変化し最終的には鉄まで核融合することが分かった。また、「からだのしくみ(仮)」ではアイシング技術について実演を交えながら聞くことができ、アイシングの重要性を理解することができた。

10 月 26 日に日韓親善サッカー大会が開催されるので、韓国の若手技術者との交流を深め、怪我なく無事に試合をして、良い結果を持って帰りたいと思う。

4. 今後の展開

- ・2017 年 12 月 日韓親善サッカーお疲れ練習会(統括・予定)

5. 写真



サッカープレー写真①



サッカープレー写真②



交流会写真①



交流会写真②



テクノリズム写真①



テクノリズム写真②

以上

行事名	第 13 回 日韓親善サッカー大会(第 47 回 日韓技術士国際会議)
日時	日韓親善サッカー:2017 年 10 月 26 日(木)15:00~18:00 (日韓技術士国際会議:2017 年 10 月 27 日(金)~28 日(土))
場所	日韓親善サッカー:釜山アシアード補助競技場(Busan Asiad Sub-Stadium)(韓国・釜山) 日韓技術士国際会議:ロッテホテル釜山(韓国・釜山)
講師、発表者	テーマ:気候変化と自然災害への挑戦と対応
担当者: (○印:リーダー)	○鈴木利治、後藤洋之、清水雄太、高橋義也(記)
参加者数	20名

1. 背景・目的

日韓技術士の親善の一環として開催されている日韓親善サッカー大会でのサポートと本会議へ参加し、韓国若手技術士との交流を深めると共に、技術士としての知識の向上を目的として参加した。

2. 例会内容

2. 1. 日韓技術士親善サッカー大会(15:00~21:30)

- ・親善試合
- ・交流会

2. 2. 本会議(9:00~21:00)

- ・開会式
- ・基調講演
- ・分科会
- ・晩餐会

3. 成果と所感

今年は韓国釜山での開催であり、日本チームの到着とほぼ同時に日韓親善サッカー大会が開催された。日本チームの前日入りしているメンバは事前にウォーミングアップを行っていたが、当日到着のメンバは軽いウォーミングアップのみで親善大会に臨む形となった。

今回は、レギュラーマッチを 20 分ハーフで行い、その間にフレンドリーマッチを 20 分行う方式での開催となった。前半前のミーティングからポジションを決めていたため、順調な滑り出しであった。しかし、やや韓国チーム側のペースで試合は進んでいったが、要所をきっちりと固めて日本チームにも得点のチャンスがあったが、前半はお互い 0 点のまま終了した。

後半も残り 10 分までは韓国側の攻撃を退けていたが、やはりホームでの地の利なのか、後半終了間際に失点を喫してしまった。それでも、一矢を報おうと日本チームも最後まで戦い続けたが、残念ながら得点できず敗北してしまった。

敗北したもの的一年間の活動の成果は発揮でいたのではないかと感じている。昨年は勝利して仲間と喜びを分かち合うことはできたが、今年は残念ながら喜びを分かち合うことができなかった。来年はこの素晴らしい仲間と勝利を分かち合うため、サッカーの交流がこれからも続くことが大切であると思った。

4. 今後の展開

今年は韓国の開催ではあったが、20 名の参加者があった。これは青年委員からの参加が増えたことと、青年委員のイベントで告知した結果であると思う。そのため、引き続き青年委員のイベントで参加を集める活動を行っていく必要がある。

来年は日本の神戸で開催が決まっており、それに向けて活動を進めていきたいと考えている。

5. 写真



セレモニー①



セレモニー②



親善試合①



親善試合②



サッカー交流会



日韓技術士国際会議



晩餐会①



晩餐会②

以上

行事名	日韓サッカーお疲れ練習会
日時	■フットサル: 2017 年 12 月 16 日(土) 15:00~18:00 ■交流会: 2017 年 12 月 16 日(土) 20:00~23:00 ■テクノ: 2017 年 12 月 17 日(日) 10:00~11:30
場所	■フットサル: フットサルポイント 朝霞台店 ■交流会: 土風炉 池袋東口店 ■テクノ: すこやかプラザ 会議室(板橋)
講師、発表者	■「マシュマロチャレンジ」
担当者: (○印:リーダー)	○鈴木利治、高橋義也、後藤洋之、清水雄太(写真)
参加者数	■フットサル: 24名(統括本部17名:、北陸本部:7名) ■交流会: 21名(統括本部12名:、北陸本部:9名) ■テクノ: 11名(統括本部:6名、北陸本部5名)

1. 背景・目的

日韓技術士国際会議の親善の一環として開催されている日韓親善サッカーでの勝利を目指して立ち上げられた「フットサル愛好会(2007 年 12 月)」では、各地域本部とサッカーを通じた交流の輪を広げ、現在まで継続した活動を行っている。今回は、2017 年 10 月に韓国釜山で開催された日韓親善サッカー大会のお疲れ会練習会として、北陸本部とのサッカー合同練習会を企画した。

2. 例会内容

■フットサル

・15:00~18:00 全員を 4 つのチームに分け、1 ゲーム 10 分でリーグ戦を実施(異なるチームで 2 周)

<結果>

◇1 周目

順位	チーム	勝敗	勝点	得失点差
1 位	C チーム	2 勝 0 敗 1 分	7	6
2 位	A チーム	2 勝 0 敗 1 分	7	3
3 位	D チーム	1 勝 2 敗 0 分	3	10
4 位	B チーム	0 勝 3 敗 0 分	0	-5

◇2 周目

順位	チーム	勝敗	勝点	得失点差
1 位	A チーム	2 勝 0 敗 1 分	7	7
2 位	C チーム	2 勝 1 敗 0 分	6	6
3 位	D チーム	0 勝 2 敗 1 分	2	-3
4 位	B チーム	0 勝 2 敗 1 分	1	-10

■交流会

・20:00~23:00 日韓サッカー参加者、北陸本部の参加者、練習会の参加者で交流会を実施

■テクノ

・10:00~11:30 「マシュマロチャレンジ」を開催

「マシュマロチャレンジ」とは、乾式パスタ、テープ、ひも、マシュマロを使ってできるだけ高い自立可能なタワーをチームで建てるというチームビルディングのためのゲーム。研修などでも行われることがある成果を作り出すためのプロセスについて考えるワークショップ。今回は参加者を 3 チームに分け、実際にタワーを作ってもらった。

<結果>

チーム	1 回目	2 回目
A チーム	37cm	50cm
B チーム	76cm	80cm(倒れたため参考)
C チーム	3cm(倒れたため参考)	40cm

3. 成果と所感

このお疲れ練習会は当初、サッカーを行うことを考えていたが、グラウンドの抽選が当たらず、フットサルを実施することになった。グラウンドの確保は課題の一つと考える。参加は統括で17名北陸からも7名(子供除く)参加していただいた。フットサルのチーム分けは北陸も統括も混合で行ったため、最初はぎこちない部分もあったかもしれないが、時間が経つにつれ盛り上がっていったので交流は深められたのではないかなと思う。交流会でも20名を超える人数であったが、個室を確保できたので、周りを気にすることなく交流ができたと感じた。

テクノでは、「マシュマロチャレンジ」を実施した。場所は高橋氏に会議室を確保してもらうことで実施することができた。今回は子供も参加すると想定していたので、大人にとってはもちろん意味のあるもので、子供にも楽しめるというものということでこれを選択した。このワークショップは、研修等で行われることもあり、TEDで講演されたりもしている。短時間で「チームとしてどのように取り組んだか」「どのようなプロセスで取り組んだか」という観点で考えるにはいい教材だと思う。少し時間が必要であるが、楽しく取り組むことができるので、アイスブレイクにしてもいいかもしれない。自分の時間配分がうまくできず、思ったより短い時間でテクノが終わってしまったのが反省点である。

今回、初めてサッカー関係の全体を計画したが、課題としては、参加者を集めるのはもちろんであるが、場所の確保(グラウンド、交流会、テクノ)、さらにテクノの実施は協力者なしでは厳しいことを実感した。

全体を通して、後手になってしまった部分があるので、そうならないようにしていきたい。

※TED:様々な分野で活躍する人を招き、アイデアなどを語ってもらうイベントを開く米国の非営利団体。名前は「技術」「エンターテインメント」「デザイン」を意味する Technology Entertainment Design の略。ビル・ゲイツら著名人も登場、動画がインターネットを通じて無料で配信され、注目を集める。

4. 今後の展開

今回はフットサルと交流会で20名以上の参加者があり、楽しく盛大な企画を行うことができた。今後もこの活動を続けていく事で、統括本部内および地域本部との交流を図っていきたいと考えている。今後のサッカー活動の予定としては以下の通りである。

- ・2018年3月10-11日 合同サッカー練習会(新潟)
- ・2018年6月 統括本部サッカー練習会(予定)
- ・2018年8月 日韓サッカー強化合宿(予定)
- ・2018年10月 日韓親善サッカー大会(神戸)

5. 写真

■フットサル

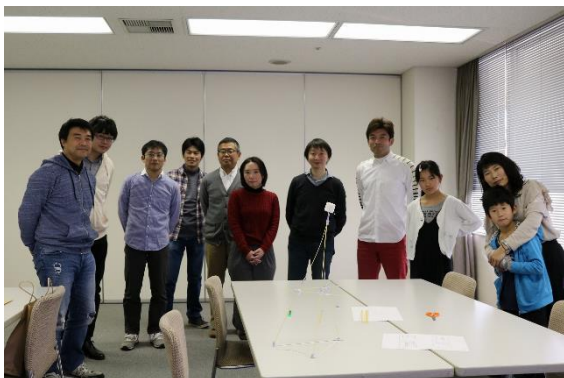




■交流会



■テクノ



以上

地域本部 活動報告書

統括本部活動報告

2018年6月9日

統括本部 青年技術士交流委員会
委員長 諸田敦洋

メンバーのご紹介



- 幅広い年齢層（20代～40代までまんべんなく）
- 7名の女性に参画いただいている！（男女共同参画）
- 様々な技術部門（17部門：網羅率は8割超！）

メンバーのご紹介

● は、女性の委員・委員補佐が所属している部門

機械	船舶・海洋	航空・宇宙
電気電子	化学 ●	繊維 ●
金属 ●	資源工学	建設
上下水道 ●	衛生工学	農業
森林	水産 ●	経営工学 ●
情報工学	応用理学	生物工学 ●
環境	原子力・放射線	総合技術監理 ●

- 2 -

活動報告 2017年度

年月	イベント
2017年7月	小学生向け夏休み理科教室・工作実験
2017年8月	年間計画合宿
2017年9月	中部本部の建設WGと合同見学会@横須賀
2017年10月	- 内部向け企画「自己紹介大会」→メンバーの結束力&プレゼン能力向上！ - 全国大会@山口 - 日韓サッカー@釜山 → 国際交流
2017年11月	「ディベートを通じて技術者倫理について考えよう」 - CAFE0/YEAFEO@タイ → 国際交流
2017年12月	「和食調理を通じて『食』の基本を学ぶ」→ 初めて調理をテーマに！ - 慶應大学技術士会のイベントへ参画。→ 産学連携！ - 埼玉大学イベントを実施。→ 産学連携かつ埼玉県支部と協力！
2018年1月	内部向け企画「高尾山を散策しよう」でメンバーの結束力向上！
2018年2月	「技術士を目指そう、修習ガイダンス2018」 →技術士第一次試験合格者、JABEE修了者向け
2018年3月	「ライフラインから仲間と創自分のロードマップ」 →修習技術者向けイベント

- 3 -

活動報告 2018年度

年月	イベント
2018年4月	「一次・二次試験合格者交流会」 →技術士第一次・二次試験合格者交流会
2018年5月	・「Improving English by Speaking Up More!」 → イギリス人講師 による英会話ワークショップ ・香港技術士会学生支部の来日支援 → 国際交流
★2018年6月	拡大委員会&テクノ ← NOW!
2018年7月	小学生向け夏休み理科教室・工作実験
2018年8月	部門横断企画、家族向企画（仮）建設系テクノ → 建設部会とコラボ
2018年9月	部門横断企画、家族向企画（仮）工場テクノ

今期は、産学連携や国際交流が多く、
これまで取り組んだことが形になった！

- 3 -

活動報告



2017年7月
理科教室



2017年12月
講義と実習



2018年4月
合格祝賀会



2018年5月
英語ワークショップ

活動報告



2017年10月
日韓サッカー（釜山）



2017年10月
全国大会（山口県）



2017年11月
CAFEO・YEAFFEO（タイ）



2018年2月
修習ガイダンス

ご清聴ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。

「第15期」1年目、始動 = 「より魅力ある青技交へ！」

大小含め、
年間18イベントを計画・実行！

取り組みの継承、見直し / 変化を恐れず新たな挑戦！！
約50名の幹事でのWG体制の実行 / 若手幹事の活躍！

全イベントの報告

- ①本部主催の合格祝賀会（2次試験）⇒青年2次会（4/6）
- ②新合格者&U-35対象 ワークショップ（4/22）
- ③「技術士を知ろう」@北海道科学大学（5/18）
- ④「技術士を知ろう」@北海学園大学1年生（6/1）
- 拡大委員会@東京 への参加（6/17-18）
- ⑤テクニカルツアー@豊平峡ダムほか（6/30）
- 北海道本部第52回年次大会参加（7/5）
- ⑥「技術士を知ろう」@函館高専（8/4）
- ⑦幹事+家族交流「夏合宿（キャンプ）」（8/5-6）
- ⑧講演会「青年技術士の起業者から学ぶ」
- 地域交流企画 九州×北海道のコラボ（8/23）
- ⑨「技術士を知ろう」@札幌工業高校（10/11）
- ⑩新北海道スタンダード研究委員会との共催勉強会
- 北海道を元気にする提案に向けたアプローチ（10/13）
- 全国大会（青年イベント）@山口への参加（10/20-22）
- 第47回日韓技術士国際会議（韓国・釜山）（10/26-28）
- ⑪「技術士を知ろう」@旭川高専（11/2）
- ⑫「技術士を知ろう」@北海学園大学3年生（11/10）
- ⑬公開型講演会 北の技術を語り継ぐ
- 札幌の「道」のはじまり～街の発展と道づくり～（11/11）
- ⑭エンジョイサイエンス研究会とのコラボイベント
- 北広島緑が丘小学校での出前授業（11/18）
- ⑮「技術士を知ろう」@秋田高専
- 地域交流企画 東北×北海道のコラボ（11/22）
- ⑯幹事交流イベント「技術交流・冬合宿」（12/2-3）
- ⑰「技術士を知ろう」@苫小牧高専（12/19）
- ⑱本部主催の合格祝賀会（1次試験）⇒青年2次会（1/31）



▲新合格者&U-35対象ワークショップ



▲小学校出前授業



▲テクニカルツアー
豊平峡ダム



▲講演会（九州コラボ）



▲公開講演会



▲夏合宿（キャンプ）



その実現へ向けた
事前打合せ・調整
＝ 幹事会&WG
計15回実施
※技術士を知ろうWGを除く



▲「技術士を知ろう」
（上から）道科大、函館高専
秋田高専（東北コラボ）

北海道本部) H30活動計画 & 既に記録も。

「第15期」の2年目、新体制始動！



委員長：仁田 智（継続）
副委員長：平岡 城栄（継続）、中前 千佳（継続）、
三吉 憲一（継続）、西村 力哉（継続）、
長内 克真（新任）
幹事長：須田 徹央（継続） 幹事=49名体制で始動！

研修会・ワークショップの開催

U-35&新合格者対象ワークショップ（H30/4/21（土））



全イベントの計画：H30=11イベントを予定

- ①本部主催の合格祝賀会（2次試験）⇒青年2次会（4/11）
- ②新合格者&U-35対象 ワークショップ（4/21）
- 「技術士を知ろう」@北海道科学大学（5/24）
- 拡大委員会@東京 への参加（6/9-10）
- 「技術士を知ろう」@北海学園大学1年生（6/14）
- ③テクニカルツアー@旭川（6/未定）
- 北海道本部第53回年次大会（7/4）
- 「技術士を知ろう」@苫小牧高専（7/中）
- ④幹事+家族交流「夏合宿（キャンプ）」（7/28-29）
- 「技術士を知ろう」@函館高専（8/9）
- ⑤講演会「コミュニティデザイン（山崎氏予定）」（8/30）
- 「技術士を知ろう」@札幌工業高校（9/中）
- ⑥テクニカルツアー（詳細未定）（9/下）
- 「技術士を知ろう」@旭川高専（10/中）
- ⑦新：青技交OBとの交流・研修（詳細未定）（10/下）
- 「技術士を知ろう」@北海学園大学3年生（10/下）
- 第48回日韓技術士国際会議（兵庫）（10/17-19）
- ⑧公開型講演会「（未定）」（11/上）
- 全国大会（青年イベント）@福島への参加（11/11-14）
- 「技術士を知ろう」@秋田高専（11/下）
- ⑨幹事交流イベント「技術交流・冬合宿」（12/上）
- ⑩新：技術士を知ろう！小学生編（12/中）
- ⑪本部主催の合格祝賀会（1次試験）⇒青年2次会（1/下）

「技術士を知ろう」⇒今年もミライ研との共催で実施！

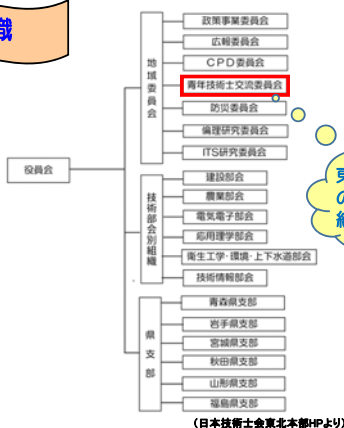


公益社団法人日本技術士会
北海道本部 社会活動委員会
技術者のミライ研究委員会

代表：小澤 正志
幹事長：木本 光則
幹事：千葉裕ほか、計16名



組織



東北本部の1つの委員会として組織

(日本技術士会東北本部HPより)

メンバー募集

拡大委員会で得たアイデアを形に

東北の会員に向けて
技術士PEの同封

【委員会メンバー大募集】

青年技術士交流委員会では委員会活動メンバーを募集しています。
本委員会では、会員相互の交流による親睦並びに技術研鑽による
青年技術士の資質向上を目的として毎月1回、定例委員会を開催し
ています。

青年技術士交流委員会の会員は、部門の枠を超えた45歳以下の
方を対象としています。資格は45歳以下という方のみならず、(技術
士を目指している技術士補・修習技術者の方もOKです。)

青年技術士交流委員会では、多様な業種と青年委員会の活動を両立
し、それを楽しむメンバーと活動することで、良い刺激を受けます。

部門の枠を超えた青年技術士メンバーと共に、自分を磨
いていきましょう。



お問い合わせはコチラ
青年技術士交流委員会 委員長 藤田 大介
E-Mail: Sabou_d@egkem.co.jp

定例幹事会

毎月1回 水曜日18:00～ 開催



議題討議
話題提供

会場の提供は各
社持ち回りで



合格者祝賀会

一次試験合格者

二次試験合格者



技術士会への入会・青年会への勧誘も兼ねて
(祝賀会での勧誘に成功！)
メンバー加入実績：5名(新卒者2名含む)

懇親会



コラボ企画

北海道青年とのコラボ企画
【学校へ行こう】

秋田高専 環境都市工学課

【地域交流会を実施】



技術士制度紹介

大学で社会で活躍する技術士を紹介

宮城大学 食産業学部

区画整理事業
の紹介

7-クォア 10年
後の自分



今後の活動

より活発な活動を目指します

全国大会の成功に向けて
技術研鑽の充実
勉強会、見学会企画
JABEE広報活動
東北他県との交流
などなど



「東北青年技術士」で検索



全国大会(福島)
みなさんよろしくおねがいします。

(1)メンバー紹介 ※総勢18名で活動中(卒業生含む)

 小酒 敬弥 (委員長) 株式会社 興和 技術士 建設、応用理学、総監	 多田 照代 (副委員長) 株式会社北陸環境科学研究所 技術士 建設・環境・農業	 中村 彰文 (副委員長) 株式会社 福山コンサルタント (東京勤務) 技術士 建設、総監	 森 将恒 (副委員長) 株式会社キタック 技術士 建設、総監	 大森 卓 (旧・委員長) グリーン産業株式会社 技術士 建設	 石田 謙介 株式会社 興和 技術士 建設
 飯澤 周佑 株式会社キタック 技術士補 森林	 江川千洋 株式会社キタック 技術士 応用理学	 河原 洋行 日本曹達株式会社 技術士 経営工学	 下島 稔 一般財団法人 上越環境科学センター 技術士 環境	 大門 健一 株式会社新日本コンサルタント 技術士 建設、総合技術監理	 高野 康夫 豊機工業株式会社 技術士 衛生工学部門
 中村 大輔 株式会社日立産機システム 技術士 電気電子	 渡島 俊光 株式会社日本海コンサルタント 技術士、博士(工学) 建設、農業	 村山 達也 オムニテック株式会社 技術士 建設	 安野 伸春 株式会社サンワコン 技術士 建設(都市及び地方計画)	 岡野 康弘 (旧副委員長・卒業) 新潟農業・バイオ専門学校 技術士 生物工学	 三善 啓昭 (卒業) 敦井産業株式会社 修習技術者 上下水道

技術登録部門10部門、15社の多士済々のメンバーで北陸本部は活動しています

☐ 今日の参加メンバー

(2)北陸本部活動紹介

北陸本部の年間の主な活動は年3回の見学会・講演会と全国の皆さんとの交流活動です。

(主体的活動)

- ・ 拡大青年委員会議(夏)・・・5月～6月、北陸4県※H30年度は石川
- ・ 見学会(秋)・・・9～10月
- ・ 講演会(冬)・・・1～2月

(その他活動)

- ・ 全国交流・・・技術士全国大会(秋)
- ・ スポーツ交流・・・年数回、日韓技術士会議
- ・ 地域間交流・・・適宜

青年技術士委員会 会議

年間6～10回程度
(青年イベントの企画等)



(3)活動方針

勉強会、現地学習会、講演会などをととして、若手技術者の技術力の向上と、それに伴う意識向上をつねに心がけさせ、技術者全体の資質向上を図る。

今見たいこと、聞きたいことをテーマに研鑽し、技術者同士の交流を深めることで、成長していきましょう。

(4)H29年度活動報告

見学会『情報システムと危機管理対策』
(H29.9.29) 22名

高速道路の管制センター、データセンターの免震構造を見学

「管制センター見学中」



フォトコン候補写真1
「背比べ」(落選)



「データセンター」
(セキュリティの問題で撮影禁止)



研 鑽

講演会『活力を生む経営企画・イベント・製品への取り組み方』
(H30.2.10) 16名

地域のストロングポイント
を再認識



酒の陣企画会社、時計専門店代表、経営コンサル代表による三者三様の講演会を実施

第12回拡大青年技術士委員会議(新潟)(H29.6.24~6.25) 延べ32名



技術発表会(発表4編)

色々な技術に触れる、知る



北陸青年旗作成しました！

青年旗お披露目！



地中熱ガラス模型デモ

下水熱、地中熱利用施設見学

見学(研鑽)は、楽しみながら！

交 流



下水熱バナナ

迎 える

新合格者のお祝い！&勧誘！



「青年ウェルカムパーティー」

広 報

活動公開！



「FACEBOOK」



(続く)

2017年度 中部本部青年 活動報告



年次総会・6月例会(仲間の技術を知ろう会)



@中部本部会議室

秋季例会(旬の施設を見に行く会)



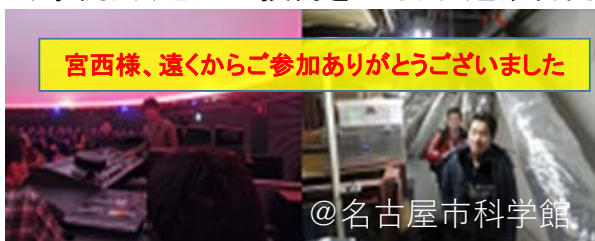
@大飯原子力発電所

年末例会(技術士の魅力や疑問に答える会)



@名古屋工業大学

冬季例会(地元の技術を知る会:近畿合同)



宮西様、遠くからご参加ありがとうございました

@名古屋市科学館

春季例会(外部との交流を図る会@JST合同)



@名古屋学院大学

新合格者歓迎会



@名古屋駅

2018年度 中部本部活動計画



2018年度の新体制

委員長	石川智康 (情報)	中部本部連携
幹事長	嘉田善仁 (機械)	例会企画改善、 新企画提案
副委員長	高瀬春之 (経営)	新会員広報、 交流会改善
委員	中迎 誠 (応用理学)	例会企画運営
	三島孝朗 (機械_修)	
	青山尚弘 (機械_修)	
	成田尚宣 (生物)	
	初谷昇太郎 (機械_修)	
	小塚俊吾 (機械_修)	
	加藤潤哉 (電気電子)	
委員補佐	小島茂樹 (建設)	例会運営
※企画 サポート (~50歳)	奥村 康 (機械)	
	藤田政利 (機械)	
	秋山幸之朗 (機械_補)	
運営委員	中島丈晴 (上下水道)	交流会企画運営
	中川勝統 (上下水道_修)	
	木村琢磨 (電気電子_修)	
	平野健二郎 (化学_修)	

2018年イベント計画

例会名	内容
年次大会	総会、技術自己紹介
7月勉強会	経営視点の議論の夜会
夏季特別例会 (イベント)	テーマに合った座学 +競うコンテスト
本部合同例会	中部本部での青年企画
9月勉強会	工場見学
11月例会	技術議論会 (ex. Bit Coin等)
11月勉強会	技術を語り合う夜会
忘年会	忘年会
新年会	新年会&計画
(地域連携)	近畿本部との合同例会
2月例会	体験談、困りごと相談WS
本部歓迎会	青年紹介
合格者歓迎会	青年歓迎会
4月例会	私の技術、困りごと相談

近畿本部青年技術士交流委員会 活動報告



2017年度委員

宮西 健次(委員長)
小宮 洋行
田中 慎
坂東 大輔
藤内 洋
藤本 喜敏
前川 裕美(11月～)
松山 賢五(11月～)
八木 基紀(～9月)
吉田 晋侑

サキトク×青年技術士 ついに始動！

社会に出てから役に立つ知識・スキルを、
先んじて身につけたい学生さんに「管理技術」
を伝授するためのワークショップを実施。
大学設置フ라이어用にサキトク学生×青年技術士が「IoT」
について対談実施。



近畿本部青年技術士交流委員会 活動報告



中部&近畿 青年委員会合同見学会

名古屋市科学館の
バックヤードツアー
(中部側主催
小島さん 企画ありがとう
ございました！)



2018年度委員

宮西 健次(委員長)
藤本 喜敏(副委員長)
小宮 洋行
杉浦 邦充
竹市 雄作
田中 慎
原口 宜明
坂東 大輔
藤内 洋
松山 賢五
吉田 晋侑

近畿青年技術士懇談会も盛大に活動中！

毎月1回の講演会中心の例会、8月のファミリーツアー
のほか、10月には「プロジェクトマネジメント」、3月には
「技術ロードマップ作成」をテーマにワークショップ形式も。



(一社)ライフナビアカデミーさん
とのコラボで、「管理技術」講座
もさらにパワーアップ開催予定！

平成29年度 中国本部 活動報告



中国本部
青年技術士交流委員会



(活動方針)

例会勉強会を柱とする 技術者間交流
および 技術を通じた社会貢献により
会員の 成長の機会を提供します

◇ 年間の主な活動内容 ◇

1. 例会・勉強会
2. 小・中学生向けの理科教室
3. 国際交流フェスティバルへの参加
4. 産学交流企画
5. 全国の青年技術士との交流



(平成29年度 活動内容)

開催月	内 容
4月	4月特別例会「帰れま10」
5月	5月例会「都市計画からまちづくりへ ～これまでの歴史とこれからの展望～」
6月	6月例会 全国大会分科会テーマ ディベート 「科学技術の発展のあり方とは テーマ討議」
7月	7月例会「楔デバイスによる新しい耐震構造」
8月	8月例会「社会貢献活動リハーサル」 社会貢献活動 感じる科学「浮かぶ ふしぎ」
9月	9月例会 ミニ発表大会 「あなたは情報派？データ派？」/「千〇一〇物語」
10月	10月例会 全国大会直前ミーティング 技術士全国大会 in 山口
11月	11月例会 西日本大会発表内容リハーサル 「中国地方の産業と文化の発展に関する考察」
12月	12月例会 山口全国大会反省会
1月	1月例会「みちびきの精度は本当に良いのか」
2月	2月例会「僕の悪性リンパ腫闘病記」 技術士一次試験合格者祝賀会
3月	3月例会「再生エネルギーと弊社の関わり」

毎月の例会勉強会・懇親会
+ 社会貢献活動（理科教室）+ 全国大会

例会勉強会



西日本大会参加



懇親会



一次合格者祝賀会



平成29年度 中国本部 活動報告



中国本部
青年技術士交流委員会



社会貢献活動（理科教室）

尾道特別支援学校「感じる科学」



全国大会 in 山口

参加いただきありがとうございました！



大会準備を通して中国本部内の一体感もUP!

18年度は中国本部内の交流をさらに拡大
青年中国大会 in 米子を開催予定！

【H30】四国本部 青年技術士交流会の活動紹介

★活動目的

四国地域における若手技術士を中心とする技術者ネットワークを構築し、会員相互の能力向上を果たすとともに、技術士としての職能を地域社会に幅広く浸透させ、技術士の地位向上を果たすことを目的とした活動を行う。

★活動方針

- 【方針1】 青年技術士として幅広い能力向上を図る
- 【方針2】 四国地域の青年技術士相互の交流を図る
- 【方針3】 青年技術士として地域との交流を通じ社会貢献を図る

【活動方針1】青年技術士として幅広い能力向上を図る
四国四県の特色を活かしたセミナー・見学会を
持ち回りで開催
科学分野だけでなく地域の文化に触れる内容も実施



【活動方針2】四国地域の青年技術士相互の交流を図る
昼の活動に引き続き、夜は必ず懇親会
ここからが真の青年技術士交流会の始まり？



【活動方針3】青年技術士として地域との交流を通じ
社会貢献を図る
香川大学・徳島大学で開催されている子供向けの科学体験
フェスティバルに出席



【H30】四国本部 青年技術士交流会の活動紹介

★2017年度活動報告

◎新合格者へのPR活動



◎四国四県でのセミナー・見学会



◎科学体験フェスティバル(8月徳島&11月香川)



★2018委員名簿

徳島県4名
香川県7名
愛媛県4名
高知県4名
移動は大変だけ
ど四国四県が協
して活動してます

役職	氏名	所属県	役職	氏名	所属県
委員長	池谷 聖	香川県	委員	西沢 尚之	香川県
副委員長	佐藤 悦史	徳島県	委員補佐	奥永 哲也	香川県
副委員長	白鳥 実	香川県	委員	池田 一郎	愛媛県
副委員長	中根 久幸	高知県	委員	曾我部 潤	愛媛県
委員	木村 充宏	徳島県	委員補佐	面地 琢也	愛媛県
委員	田中 良典	徳島県	委員補佐	藤浦 雅也	愛媛県
委員	松田 秀和	徳島県	委員	岡林 弘憲	高知県
委員	大西 真人	香川県	委員	片岡 寛志	高知県
委員	河端 悟司	香川県	委員	芝田 和仁	高知県
委員	太田 昌秀	香川県	以上、全19名		

◎フィールドワーク(お楽しみ会)



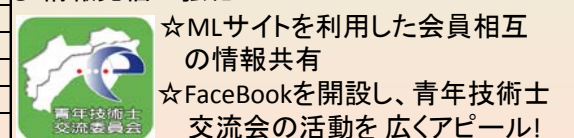
◎四国以外の地域本部との連携強化



◎学生・若手技術者の支援活動



◎情報発信の強化



【H30】四国本部 青年技術士交流会の活動紹介

★第45回 技術士全国大会(徳島)

 2019年10月・・・数多の感動と興奮を生み出してきた『技術士全国大会-青年技術士-』
いよいよ四国徳島で初開催！！ 10月5日(土),6日(日)徳島で皆様をお待ちしています



【H30】四国本部 青年技術士交流会の活動紹介

★青年技術士交流会の広報活動

 日本技術士会四国本部青年技術士交流会
ipejshikoku-seinen@freeml.com

ML TOP メール スケジュール フォト共有 ファイル共有 参加メンバー

メールを投稿 新しい予定を追加 共有フォトをアップ

メンバー掲示板

書き込む

※ 10/14 21:39 [返信]
6月11日に宮城県でおこなわれた第2回全国大会のときの資料をファイル共有しています。東北地
区に対する東北本部の熱い思いがこもった力作なので、是...

※ 10/13 18:43 [返信]
遅くなりましたが、6月4日の第13回青年技術士交流会の様子をフォト共有しています。先週末は第
二全国大会で東北地域の復興現場見学にいらしたので、近日にフ...

※ 10/30 22:00 [返信]
遅くなりましたが、4月23日の『第2回青年技術士フィールドワーク』の様子をフォト共有しています。
近日に『中部本部青年技術士30周年記念例会』の様子...

掲示板をもっと見る

最近更新のあったメール

【案内】平成28年度香川高等専... (0) 池谷さん 2016/09/06 19:02
四国青年技術士交流会の皆様 香川県技術士会プラスワンが中心となって毎年行っている 香...

西日本業績発表と技術士全国大会... (0) 池谷さん 2016/09/05 22:54
四国青年技術士交流会の皆様 青年技術士交流委員の池谷です。10月と11月に開催され...

第14回青年技術士交流会in愛... (0) 池谷さん 2016/08/31 15:36
来る9月10日(土)に第14回青年技術士交流会を開催します。会場は大三島の伯方場...

メールを投稿 トピック表示一覧 メール表示一覧

最近更新のあった共有フォト

<http://www.freeml.com/ipejshikoku-seinen>



 青年技術士
交流委員会

日本技術士会
四国本部 青年
技術士交流会
Facebookページの@ユー
ザーネームを作成

日本技術士会 四国本部 青年技術士交流会さんが写真3件を
追加しました。
作成者: 池谷 聖 171 - 8月22日 19:36 -

平成28年9月10(土)に第14回青年技術士交流会(愛媛)として、愛媛県今治市
大三島にて『伯方の塩工場、塩田見学』並びに『講演：ブランド「伯方の
塩」の生い立ち(仮称)』を開催します。
今回は瀬戸内海の大三島での開催ということで、四国だけでなく近隣の地
域からも多数のご参加お待ちしております。

第14回青年技術士交流会のご案内

[https://www.facebook.com/日本技術士会-四国本部-青年技術士
交流会-831629630305674/](https://www.facebook.com/日本技術士会-四国本部-青年技術士交流会-831629630305674/)

☆四国青年技術士交流会への入会方法・メーリングリストサイトへの登録方法

・メーリングリストを利用した情報共有の場。↓のメールアドレスに空メールを送信すると登録用URLが返信

join-ipejshikoku-seinen.Rhpo@ml.freeml.com

九州本部 青年技術士交流委員会

公益社団法人 日本技術士会 九州本部 青年技術士交流委員会

委員長 永岩 研一

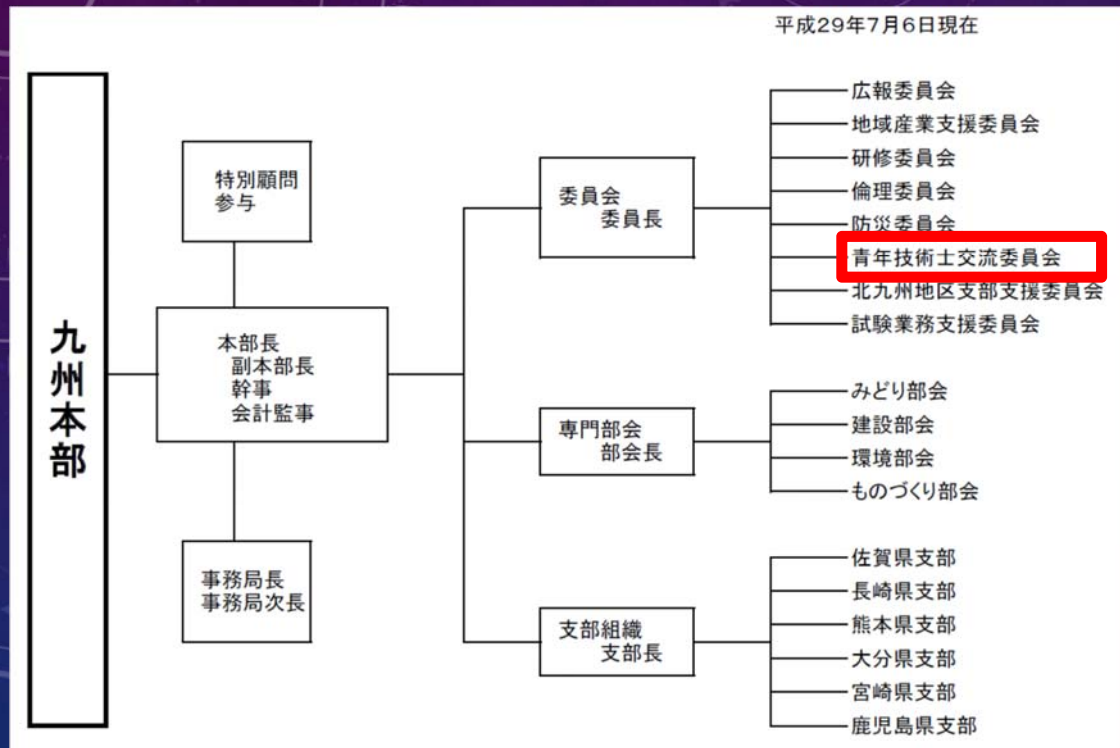
1. 九州本部 青年技術士交流委員会の紹介

九州本部 青年技術士交流委員会
略して・・・

「九青技交委」
(せいぎこう)



1. 九州本部 青年技術士交流委員会の紹介



1. 九州本部 青年技術士交流委員会の紹介

九青技交委参加のポイント！

- 幅広い年齢層が参加

(20歳代～？歳代までまんべんなく)

- 様々な技術部門が参加(11部門／21部門:H29)

- みんなで議論、企画、新しい発見！

モットー「できるひとが、できるときに、できることを」

- たのしく研鑽！

まずは、自分たちが「楽しい」「ためになる」ということを。



1. 九州本部 青年技術士交流委員会の紹介



研鑽G
(CPD・講演会等)
研鑽イベントの企画・運営

交流G
(見学会・懇親会等)
交流イベントの企画・運営

普及G
(大学・高専講義)
普及イベントの企画・運営

ITかわら版G
活動の広報・名簿管理
(FB・寄稿・ML管理等)

2. 九州本部 青年技術士交流委員会の活動

九青技交委 活動の3本柱 ①研鑽活動

合格祝賀CPD・見学会・夏休み自由研究教室・公開講演会・研鑽会(定例)

～夏休み自由研究教室(8月)～

大学や企業等と協同し科学技術に触れ合う機会を子供たちへ!



平成27年in福岡空港



平成28年in安川電機

STOP理科離れ!
子供たちの科学や技術
に対する興味関心を育
てることを目的に毎年
開催。

身近な技術から先端
技術まで子供の興味を
引くテーマを熟考して
企画しますが、基本的
に**大人が熱くなり**がち。



平成29年inKIGS

～見学会(6月)～

九州各地の技術遺産や施設、文化や風土など興味深い場所へ見学に行きます。



平成27年見学会in都城



園田技術士による林業の現状
と課題講義(座学)



平成27年見学会in長崎
三菱重工業機工場見学

～公開講演会(12月)～

話題性のある技術をテーマに、専門家と一般受講者との距離の近い講演。

2016年12月18日講演(福岡工業大学)

「巨大な非在来型天然ガス資源について～北部九州におけるCBM(コールバクソン)の現状報告～」

「地震による宅地の被害形態とその要因について～H28年熊本地震の復旧・復興に向けて～」



2. 九州本部 青年技術士交流委員会の活動

九青技交委 活動の3本柱

②普及活動

技術士制度説明講義・JABEE認定課程支援活動
(大学・高専での講演)



JABEE制度の活用促進や将来の技術士取得に向け、業務の現状や大変さ、責務、面白みなどをグループディスカッションを交えて講演しています。
(九州産業大学・鹿児島大学・大分高専・福岡大学・・・)

→その他、女性技術者・女子学生を対象とした「仮称）技術者サロン九州」を企画！！！！

③交流活動

もちろん！
あらゆる機会を捉えては、呑む、話す



2. 九州本部 青年技術士交流委員会の活動

九青技交委 活動の発信

技術士紹介動画「技術士ってなに？」
YouTubeで配信中！（現在19部門）

Facebookで活動配信中！



2015 - 2017 青年技術士交流実行委員会 委員

2018年6月9日現在

	氏名	推薦元部会 /地域本部	役職
委員(統括本部)	松井 聡大	機械	前副委員長、元国際Gリーダー
	鈴木 利治	機械	副委員長
	萩尾 友治	機械	副委員長、国際Gリーダー
	山本 恵一	電気電子	
	熊原 亮	電気電子	
	田中 雅人	電気電子	前委員長
	北元 芳明	電気電子	前国際Gリーダー
	白井 一光	化学	副委員長
	竹内 将人	化学	
	川崎 統	化学	
	中川 暢子	金属	
	小塚 隆	金属	
	磯部 永舟	金属	
	道家 健太郎	建設	
	中村 聡	建設	前副委員長
	瀧川 裕美	上下水道	前会計
	太田 望斗	衛生工学	会計
	臼井 朗	農業	
	木原 深	農業	
	田角 由香	水産	
	後藤 洋之	水産	
	赤木 宏匡	経営工学	前副委員長、例会Gリーダー
	井口 慧士	経営工学	
	諸田 敦洋	情報工学	委員長
	横田 敬久	情報工学	副委員長、広報Gリーダー
	守田 哲	情報工学	
	太田 道宏	情報工学	前副委員長
	下野 五月	応用理学	
	田中 仁美	生物工学	
	小野寺 純	生物工学	前広報Gリーダー
	丸山 奈緒子	環境	
	伊藤 友加里	原子力・放射線	前例会Gリーダー
	河野 恭彦	原子力・放射線	
委員(地域本部)	仁田 智	北海道	
	齋藤 大介	東北	
	堀内 深	東北	前委員長
	小酒 欽弥	北陸	
	大高 章	北陸	前委員長
	石川 智康	中部	
	宮西 健次	近畿	
	三角 春樹	中国	
	赤木 真也	中国	前委員長
	池谷 聖	四国	
	永岩 研一	九州	
委員補佐	細野 雄治	機械	
	小塚 俊吾	機械	
	明山 公也	機械	
	須藤 真也	電気電子	
	清水 雄太	化学	
	滝口 禎美	化学	
	山田 雅隆	化学	
	高橋 義也	情報工学	
	村崎 諒	情報工学	
	藤井 佳直	情報工学	
	小和田 真純	繊維	
	古川 星矢	衛生工学	
	栗野 美智子	経営工学	
	横畠 直也	環境	
	竹入 裕美子	環境	

活動年鑑 13
青年技術士交流委員会